

平成 30 年度

# 看護学科履修要項

国立大学法人

旭川医科大学

# 目 次

## ・旭川医科大学の教育理念、教育目標

- ・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
- ・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
- ・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）平成24看護カリキュラム カリキュラムマップ

## ・平成30年度看護学科授業科目一覧および卒業要件

### 【必修科目（第1学年）】

1. 英語 I A	13
2. 英語 I B	15
3. 情報リテラシー	16
4. 生命科学	17
5. 看護基礎物理	19
6. 看護化学	20
7. 自然科学実験	21
8. 医療史・医療哲学	22
9. 看護社会論	23
10. 形態機能学	24
11. 生体観察実習	27
12. 代謝栄養学	29
13. 感染免疫学	31
14. 健康教育論	33
15. 発達心理学	34
16. 臨床心理学	35
17. 看護学概論	36
18. 基礎看護技術学 I	38
19. 基礎看護技術学 II	40
20. 対人関係論	43
21. 地域看護学	44
22. 早期体験実習 I	45
23. 基礎看護学実習 I	46

### 【必修科目（第2学年）】

24. 英語 II A	47
25. 英語 II B	49
26. 統計学	50
27. 病態学	51
28. 薬理学	53
29. 疾病論 I	54
30. 疾病論 II	56
31. 疫学 I	58
32. 保健統計 I	59
33. 公衆衛生論	60
34. 基礎看護技術学 III	61
35. 看護過程論	63
36. 看護倫理	65
37. 看護理論	66
38. リハビリテーション看護学	67
39. 成人看護学 I	68
40. 高齢者看護学 I	71
41. 小児看護学	72
42. 母性看護学	74
43. 精神看護学 I	76
44. 精神看護学 II	77
45. 早期体験実習 II	79
46. 基礎看護学実習 II	80

**【必修科目（第3学年）】**

47.	保健医療福祉システム論	81
48.	成人看護学Ⅱ	83
49.	成人看護学演習	84
50.	高齢者看護学Ⅱ	86
51.	高齢者看護学演習	87
52.	小児看護学演習	89
53.	母性看護学演習	91
54.	精神看護学演習	93
55.	実践看護技術学Ⅰ	95
56.	実践看護技術学Ⅱ	97
57.	在宅看護学	99
58.	がん看護学	101
59.	英語文献購読	102
60.	看護研究Ⅰ	103
61.	看護研究Ⅱ	105

**【必修科目実習（第3学年）】**

62.	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	106
63.	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	107
64.	成人看護学実習Ⅲ（外来）	108
65.	高齢者看護学実習	109
66.	小児看護学実習Ⅰ	110
67.	小児看護学実習Ⅱ	111
68.	母性看護学実習	112
69.	精神看護学実習	113
70.	在宅看護学実習	114

**【必修科目実習（第4学年）】**

71.	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	115
72.	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	116
73.	成人看護学実習Ⅲ（外来）	117
74.	高齢者看護学実習	118
75.	小児看護学実習Ⅰ	119
76.	小児看護学実習Ⅱ	120
77.	母性看護学実習	121
78.	精神看護学実習	122
79.	在宅看護学実習	123

**【必修科目（第4学年）】**

80.	卒業研究	124
81.	医療安全論	125
82.	国際保健看護論	126
83.	総合実習	127

**【選択科目（一般基礎科目）】**

※別冊子『平成30年度 選択科目履修要項』参照

**【選択科目（専門基礎科目）】****第3学年開講**

84.	疫学Ⅱ	129
85.	保健統計Ⅱ	130
86.	保健医療福祉行政論	131

**【選択科目（専門科目）】****第2学年開講**

87.	公衆衛生看護学概論	132
-----	-----------	-----

**第3学年開講**

88.	助産学基礎理論Ⅰ	134
89.	助産活動論Ⅰ	135
90.	公衆衛生看護活動論Ⅰ （個人・家族・集団）	136
91.	公衆衛生看護活動論Ⅱ （地域アセスメント）	138

**第4学年開講**

92.	臨床検査論	140
93.	看護管理論	141
94.	看護教育論	142
95.	助産学基礎理論Ⅱ	143
96.	助産活動論Ⅱ	145
97.	助産活動論Ⅲ	147
98.	助産学実習	150
99.	公衆衛生看護活動論Ⅲ （公衆衛生看護管理）	151
100.	公衆衛生看護技術論	153
101.	公衆衛生看護学実習Ⅰ	156
102.	公衆衛生看護学実習Ⅱ	157
付:	オフィスアワー一覧	159
	平成30年度学年暦	168
	平成30年度カレンダー	169

# 旭川医科大学の教育理念、教育目標

## 教育の理念

豊かな人間性と幅広い学問的視野を有し、生命の尊厳と高い倫理観を持ち、高度な知識・技術を身につけた医療人及び研究者を育成する。また、地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。さらに、教育、研究、医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医師及び看護職者の養成に努める。

## 教育目標

旭川医科大学は上記の理念の下にこれらを達成するため、次のような目標を掲げる。

1. 幅広い教養とモラルを養うことにより、豊かな人間性を形成する。
2. 生命の尊厳と医の倫理をわきまえる能力を養い、病める人を思い遣る心を育てる。
3. 全人的な医療人能力や高度な専門知識を得るとともに、生涯に亘る学習・研究能力を身につける。
4. 幅広いコミュニケーション能力を持ち、安全管理・チーム医療を実践する資質を身につける。
5. 地域・僻地住民の医療や福祉を理解し、それらに十分貢献しうる意欲と能力を獲得する。
6. 積極的な国際交流や国際貢献のための幅広い視野と能力を習得する。

## 旭川医科大学医学部看護学科（学士課程） ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

旭川医科大学医学部看護学科では、教育の目標に沿って編成された年次カリキュラムを履修し、基準となる単位数を修得し、次の資質と能力を身につけたと認められる学生に対し学位（学士（看護学））を授与します。

### 「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

・医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

### 「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

・地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践研究を通して課題を解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

### 「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

・幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。

### 「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

・研究的視点から看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

### 「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」（技能・表現）

・すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

## 旭川医科大学医学部看護学科（学士課程） カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学科では、高齢社会の到来、医療の高度化など、新たな医療・看護に対する社会の要請に応え、広い教養基盤に支えられ看護実践力を備えた看護専門職を養成するための看護基礎教育を行っています。また、保健師・助産師になるための選択履修科目をそれぞれ設けています。

教育課程は、一般基礎科目・専門基礎科目・専門科目の3群で構成し、さらに専門科目は「看護の基礎」「特性と看護」「看護の発展と探求」の3段階に配置し、看護学を体系的に学習できるよう配慮してあります。

当学科では講義・演習・実習の授業形態を有機的に組み合わせ、段階的かつ系統的な教育によって、看護実践ができる人材の養成を目指しています。

看護学科の学位授与の方針を実現するために、上記の方針を以下のとおり具体化して、カリキュラムを編成しています。

### ①「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

1. 看護職に必須な倫理を理解するために、看護の基礎となる科目として「看護学概論」「対人関係論」を第1学年に、「看護倫理」を第2学年に配置しています。
2. また、医療チームの一員としての看護実践に備えるために、第1学年に「早期体験実習Ⅰ」を、第2学年に「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。

### ②「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。

3. 文化・社会・自然等に関する幅広い知識を身につけ多様な価値観等に触れるために、教養科目を一般基礎科目として位置づけ、個人の希望に合わせた履修選択ができるようにしています。
4. 専門分野を学ぶうえで必要な基礎的知識を習得するために専門基礎科目を設定し、その履修を必修としています。生活体である人間を理解する基礎として、生物体である人間の特性を学べるよう「生体観察実習」を配置しています。
5. 専門科目については、看護の基礎的知識を学び、人間の各発達過程の特性と看護とに関する科目を習得し、臨床全般の看護の知識を学べるよう配置しています。
6. 看護の学びを探究し生涯にわたって学習する出発点となる基礎能力を培うことができるように、第1学年から学んできた知識をさらに発展させた「在宅看護学」「がん看護学」「総合実習」を配置しています。

### ③「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」(技能・表現)

すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

7. 基礎的な看護技術を身につけるために第1学年から第2学年において「基礎看護技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を配置しています。また、看護への関心を高めるよう「基礎看護学実習Ⅰ」を、患者を担当し看護援助を行うことによって看護実践力を養うよう「基礎看護学実習Ⅱ」を配置しています。
8. さらに、第2学年に学んだ各領域別の看護学の知識を基に、第3学年には「小児看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」「母性看護学」「精神看護学」「実践看護技術学Ⅰ・Ⅱ」の各演習科目を配置し、講義内容と関連づけて看護技術の学びを深め看護の実践能力を身につけることができるようにしています。
9. 第3学年から第4学年では看護学実習を行い、ライフステージの特徴や健康レベルを的確に把握し個別的看護実践に結びつけることができるようカリキュラムを展開しています。

10. 第4学年には夜間の実習や複数の患者を担当するなどの「総合実習」を配置し、看護の実際的体験を通して看護実践力をより向上できるようカリキュラムを展開しています。

**④「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」(思考・判断)**

研究的視点から看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

11. 個人や集団の健康現象を論理的に思考・判断することができるように、第1学年には、保健師・助産師選択者にも必須の科目である「健康教育論」「地域看護学」、第2学年には「看護過程論」、第3学年には「保健医療福祉システム論」などを配置しています。
12. 獲得したさまざまな知識を用いて看護の現実問題の解決に取り組むことのできる素養を身につけるために、第3学年に「看護研究Ⅰ・Ⅱ」、第4学年に「卒業研究」を配置しています。

**⑤「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」(意欲・関心)**

地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通して課題を解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

13. 北海道の医療ニーズを探索するための実習科目として「早期体験実習Ⅰ・Ⅱ」を第1学年と第2学年に配置しています。
14. 看護実践や看護研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献することが可能となるよう、第3学年に「英語文献講読」「保健医療福祉行政論」、第4学年に「国際保健看護論」を配置しています。



# 旭川医科大学医学部看護学科 平成24看護カリキュラム カリキュラムマップ

一般基礎科目
専門基礎科目
専門科目(看護の基礎)
専門科目(特性と看護)
専門科目(看護の発展と探求)

領域	態度	知識	技能	思考・判断	意欲・関心
キーワード	倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行	看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力	根拠に基づいた基礎的看護実践能力	問題解決能力、発展的思考能力、研究心	地域社会・国際社会へ貢献するための能力
ディプロマ・ポリシー	医療チームの一員として人間の尊厳と倫理観に根ざした看護を実践できるための態度を身につけている。	幅広い教養を身につけ、看護実践のための基本的知識を有している。看護の発展を探求する生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	ライフステージに応じた健康レベルのアセスメントを行い、根拠に基づいた看護を計画できる。	看護研究の意義を理解し、関連する科学的情報を収集し評価するとともに、看護実践のための計画を立案できる。	医療・保健・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。
第4学年	医療安全論		国際保健看護論		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ・公衆衛生看護学実習Ⅱ		公衆衛生看護学実習Ⅰ・公衆衛生看護学実習Ⅱ		
	助産学実習		助産学実習		
	総合実習		総合実習		
第3学年	成人看護学実習Ⅰ(慢性期)・成人看護学実習Ⅱ(急性期)・成人看護学実習Ⅲ(外来機能)・高齢者看護学実習・小児看護学実習Ⅰ・Ⅱ・母性看護学実習・精神看護学実習・在宅看護学実習		在宅看護学実習		
	在宅看護学		在宅看護学実習		
	在宅看護学		在宅看護学実習		
	在宅看護学		在宅看護学実習		
第2学年	看護倫理		基礎看護学実習Ⅱ		
	早期体験実習Ⅱ		看護過程論		早期体験実習Ⅱ
	早期体験実習Ⅱ		基礎看護技術学Ⅲ		
	早期体験実習Ⅱ		基礎看護技術学Ⅲ		
第1学年	対人関係論		基礎看護技術学Ⅱ		
	早期体験実習Ⅰ		健康教育論		早期体験実習Ⅰ
	早期体験実習Ⅰ		健康教育論		
	早期体験実習Ⅰ		健康教育論		
看護学概論		基礎看護学実習Ⅰ			
看護学概論		基礎看護技術学Ⅰ			
看護学概論		基礎看護技術学Ⅰ			

# 第 1 ~ 4 学年

## 平成30年度 看護学科授業科目一覧および卒業要件

区分	授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		必修・選択の別
				前	後	前	後	前	後	前	後	
一般 基礎 科目	英語 I A	1	演習	○								必修
	英語 I B	1	"	○								
	英語 II A	1	"			○						
	英語 II B	1	"			○						
	情報リテラシー	1	講義	○								
	統計学	1	"			○						
	生命科学	2	"	○								
	看護基礎物理	1	"	○								
	看護化学	1	"	○								
	自然科学実験	1	実験		○							
	医療史・医療哲学	1	講義	○								
	看護社会論	1	"	○								
	教育学	1	講義	○		○						選択
	社会学 I	1	"	○		○						
	社会学 II	1	"	○		○						
	地域社会論	1	"	○		○						
	現代言語学概論	1	"	○		○						
	感情心理学	1	"	○		○						
	社会福祉論	1	"	○		○						
	環境科学	1	"	○		○						
	社会の中の物理	1	"	○		○						
	数学概論	1	"		○	○						
	医学古典講読	2	"	○		○						
	ドイツ語講読	2	"	○		○						
	フランス語講読	2	"	○		○						
	ロシア語講読	2	"	○		○						
	中国語講読	2	"	○		○						
	医事評論抄読	1	"	○		○						
	哲学基礎	1	"		○							
	教養論	1	"		○							
	言葉と文化	1	"		○							
	医療文化史	1	"		○							
	医系文学	1	"	○								
法学	1	"		○								
経済学	1	"		○								
医療人間学	1	"		○								
比較文化論	1	"		○								
医療のラテン語	1	"		○								
心身論	1	"		○								
世相史	1	"		○								
青少年文化論	1	"		○								
科学論文の読み方・書き方	1	"		○								
教養連携科目 I	1	"	○	○								
教養連携科目 II	2	"	○	○								
専門 基礎 科目	形態機能学	4	講義		○						必修	
	生体観察実習	1	実習		○							
	代謝栄養学	2	講義		○							
	病態学	2	"			○						
	薬理学	1	"				○					
	感染免疫学	2	"		○							
	疾病論 I	3	"			○						
	疾病論 II	2	"				○					
	健康教育論	1	"		○							
	疫学 I	1	"			○						
	保健統計 I	1	"			○						
	公衆衛生論	1	"				○					
	保健医療福祉システム論	2	"					○				
	発達心理学	2	"	○								
	臨床心理学	2	"		○							
疫学 II	1	講義					○			選択 (公衆衛生看護学 選択者は必須)		
保健統計 II	1	"					○					
保健医療福祉行政論	1	"						○				
臨床検査論	1	"						○				

※ 教養連携科目 I 及び教養連携科目 II は、複数の講義題目により行われ、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

区分	授業科目	単位数	授業形式	第1学年 前	第1学年 後	第2学年 前	第2学年 後	第3学年 前	第3学年 後	第4学年 前	第4学年 後	必修・選 択の別
専 門 性 と 看 護 科 目	看護学概論	2	講義	○								必修
	基礎看護技術学Ⅰ	1	演習	○								
	基礎看護技術学Ⅱ	2	〃		○							
	基礎看護技術学Ⅲ	1	〃			○						
	対人関係論	1	講義		○							
	看護過程論	2	〃			○						
	看護倫理	1	〃				○					
	看護理論	1	〃				○					
	地域看護学	1	〃		○							
	リハビリテーション看護学	1	〃			○						
	早期体験実習Ⅰ	1	実習	○								
	早期体験実習Ⅱ	1	〃			○						
	基礎看護学実習Ⅰ	1	〃	○								
	基礎看護学実習Ⅱ	2	〃				○					
	成人看護学Ⅰ	4	講義				○					
	成人看護学Ⅱ	1	〃					○				
	成人看護学演習	1	演習						○			
	高齢者看護学Ⅰ	1	講義				○					
	高齢者看護学Ⅱ	1	〃					○				
	高齢者看護学演習	1	演習						○			
	小児看護学	2	講義				○					
	小児看護学演習	1	演習					○				
	母性看護学	2	講義				○					
	母性看護学演習	1	演習							○		
	精神看護学Ⅰ	1	講義				○					
	精神看護学Ⅱ	2	〃					○				
	精神看護学演習	1	演習						○			
	成人看護学実習Ⅰ(慢性期)	2	実習							○		
	成人看護学実習Ⅱ(急性期)	3	〃							○		
	成人看護学実習Ⅲ(外来機能)	1	〃							○		
	高齢者看護学実習	4	〃							○		
	小児看護学実習Ⅰ	1	〃							○		
	小児看護学実習Ⅱ	2	〃							○		
	母性看護学実習	2	〃							○		
	精神看護学実習	2	〃							○		
	実践看護技術学Ⅰ	1	演習						○			
	実践看護技術学Ⅱ	1	〃						○			
	在宅看護学	2	講義						○			
	がん看護学	1	〃						○			
	医療安全論	1	〃							○		
	国際保健看護論	1	〃							○		
	英語文献講読	1	演習						○			
看護研究Ⅰ	1	〃						○				
看護研究Ⅱ	1	〃							○			
卒業研究	2	〃								○		
在宅看護学実習	2	実習							○			
総合実習	2	〃								○		
看護管理論	1	講義							○			
看護教育論	1	〃							○			
助産学基礎理論Ⅰ	1	〃						○				
助産活動論Ⅰ	1	〃						○				
公衆衛生看護学概論	2	〃					○					
公衆衛生看護活動論Ⅰ(個人・家族・集団)	2	〃					○					
卒業要件単位数	必修科目110単位および選択科目14単位以上(一般基礎科目7単位以上、専門基礎科目および専門科目7単位以上)、合計124単位以上を修得すること。											
助産学選択者	助産師国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たし、助産学科目の全てを修得すること。次頁、助産学選択者履修科目参照。											
公衆衛生看護学 選 択 者	保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たし、公衆衛生看護学学科目の全てを修得すること。次頁、公衆衛生看護学選択者履修科目参照。											

## 助産学選択者履修科目

科目名	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
形態機能学	1	講義		○							必修科目として修得する科目
疾病論Ⅱ	1	〃			○						
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
健康教育論	1	〃		○							
公衆衛生論	1	〃			○						
地域看護学	1	〃		○							
医療安全論	1	〃						○			
国際保健看護論	1	〃						○			
公衆衛生看護活動論Ⅰ	1	〃					○			注1	
小計	10										
助産学基礎理論Ⅰ	1	講義					○			注1	
助産学基礎理論Ⅱ	2	〃						○		注2	
助産活動論Ⅰ	1	〃					○			注1	
助産活動論Ⅱ	1	演習						○		注2	
助産活動論Ⅲ	2	〃						○			
助産学実習	11	実習						○			
小計	18										
合計	28										

注1) 卒業要件の選択科目(専門科目)単位数に含まれる。  
 注2) 卒業要件とは別に履修する科目。  
 注3) 上記単位数は助産師国家試験受験資格取得に必要な単位数であり、本学の修得単位数とは異なります。

## 公衆衛生看護学選択者履修科目

科目名	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康教育論	1	講義		○							必修科目として修得する科目
公衆衛生論	1	〃				○					
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
疫学Ⅰ	1	〃			○						
保健統計Ⅰ	1	〃			○						
地域看護学	1	〃		○							
在宅看護学	2	〃					○				
国際保健看護論	1	〃						○			
小計	10										
公衆衛生看護学概論	2	講義				○					注1
公衆衛生看護活動論Ⅰ(個人・家族・集団)	2	〃					○				注2
公衆衛生看護活動論Ⅱ(地域アセスメント)	2	〃					○				
公衆衛生看護活動論Ⅲ(公衆衛生看護管理)	2	〃						○			
公衆衛生看護技術論	2	演習							○		注2
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習							○		
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	〃							○		
疫学Ⅱ	1	講義						○			注1
保健統計Ⅱ	1	〃						○			
保健医療福祉行政論	1	〃						○			
小計	18										
合計	28										

注1) 卒業要件の選択科目(専門科目)単位数に含まれる。  
 注2) 卒業要件とは別に履修する科目。

# 必修科目

【第1学年】

# 1. 英語 I A (必修)

担当教員	◎戸塚 将		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 本授業は、英語による医療情報の読解や聴解のトレーニング、および実際の医療現場に即した英語の基礎知識の実践演習を通して、英語力の維持と向上に不可欠な英語学習の習慣づけを図ることが目的である。			
到達目標 ①英語による基本的な医療情報の読解やディクテーションができるようになる。 ②看護の場面で使用する頻度の高い基本的な表現を習得し、活用できる。 ③体の部位や疾病に関する基本的な語彙や表現に関して、日本語と英語の対応関係が説明できる。			
授業の形式 基本的な医療記事について、読解やディクテーションを課題演習形式で行います。医療関係に関する語彙や有用な表現についての小テストを課します。グループワークを通して、習得した表現を活用する練習を行います。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 指定した医療分野の教材について、事前に読み内容を理解しておくこと。音声教材については、事前に聞いて内容を理解しておくこと。医療分野で頻繁に使用される語彙やフレーズについて、事前に覚えてくること。			
成績評価の基準等 ①出席点：2点×30コマ＝60点 ②授業課題：10点×20回＝200点 ③単語課題：4000語レベル到達＝50点 合格 A：285点、B：265点、C：245点、不合格 245点未満 ※不正を行った学生は原則失格となります。詳細は初回のガイダンス時に説明します。			
学生へのメッセージ 英語の勉強には継続的な努力が必要です。毎回の課題を着実にこなしていくことで、目標の達成が可能となります。頑張ってください。			

## 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
First Aid!		金星堂	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	大学における英語学習の意義・将来の英語のニーズ・本授業の年間計画	戸塚
2	パソコン利用法	語彙学習ソフトの利用法・語彙レベル診断	〃
3	英語力診断①	英語力全般についての実力診断	〃
4	英語力診断②	英語力全般についての実力診断	〃
5	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現	〃
6	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成	〃
7	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
8	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
9	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成	〃
10	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成 (脳・神経系)	〃
11	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成 (脳・神経系)	〃
12	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成 (消化器系)	〃
13	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成 (消化器系)	〃
14	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成 (循環器・血液系)	〃
15	読解演習語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成 (循環器・血液系)	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（呼吸器系）	戸塚
17	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（呼吸器系）	〃
18	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
19	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
20	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（泌尿器・生殖器系）	〃
21	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（泌尿器・生殖器系）	〃
22	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
23	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
24	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（耳鼻・咽喉系）	〃
25	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（耳鼻・咽喉系）	〃
26	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（皮膚・関節系）	〃
27	読解演習 語彙	医療記事の読解 医療現場での会話表現 医学用語の語構成（皮膚・関節系）	〃
28	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
29	総合演習	英語演習とグループワーク	〃
30	まとめ	1年間のまとめ	〃



## 2. 英語 I B (必修)

担当 教員	David Fariweather (非常勤)、 ◎戸塚 将		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 The goal of this class is to improve students' skills and confidence in using English. Students practice speaking and listening as well as studying grammar and vocabulary in order to attain basic conversation skills.			
到達目標 Upon completion of the class students should be able to communicate in English about a variety of topics in a variety of situations. Students will also be able to give an opinion, backed up with reasons, about topics they are discussing.			
授業の形式 As well as the textbook there will be supplementary materials. Students will often be asked to work in pairs or groups to complete exercises. Some short class presentations will also be required.			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 Students are expected to prepare for each class by reading the pages in the textbook that will be covered in that class. In addition, there will be short presentations throughout the year that will require some preparation time.			
成績評価の基準等 There will be two written tests which will be worth 70% of your grade. Both tests will have a listening component. 30% of your grade will come from pair and group work activities done in the classroom as well as overall effort. A score of 'A' will be given to students who achieve 80% or more on both tests as well as achieving an average of 80% or more on the classroom assignments. A score of 'B' will be given to students who attain an average of 70% to 79% on the tests and classroom assignments. Students will be given a 'C' if they attain an average of 60 to 69% on the tests and assignments.			
学生へのメッセージ You will get out of this class what you put into it. Active participation in class is essential.			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
New Headway Pre-Intermediate: Fourth Edition. Student BookA	Liz and John Soars	Oxford University Press	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1~4	Unit 1	Present, past, future tense. Asking questions. Social expressions. Exchanging information	Fairweather (非常勤)
5~8	Unit 2	Present tenses. Collocations. Exchanging information about lifestyle. Expressing interest.	"
9~12	Unit 3	Past Tenses. Adverbs. Time expressions. Telling stories. Researching a news story.	"
13~16	Unit 4	Quantities and Articles. Discussions about shopping. Making requests. Role play.	"
17~20	Unit 5	Verb patterns. Future intentions. Literal and idiomatic phrasal verbs. Talking about problems and advice. Discussing diets.	"
21~24	Unit 6	Comparatives and Superlatives. Comparing things. Using synonyms and antonyms. Describing places. Discussion of multicultural places such as London.	"
25~28	Exercise	Role plays and presentations	"
29	Review	Review	"
30	Review	Review	"

### 3. 情報リテラシー（必修）〔電子メール・情報検索・データ処理・統計学〕

担当 教員	◎高橋 龍尚（(数理情報)） 岡崎 知也（(情報基盤)センター） 田中 愛子、平澤 杏里、田北 智子、 佐藤 恵介、大西 詩織、 糸林真優子（図書館情報課）		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	前期	1単位
コマ数 15コマ			
履修目的・授業概要 当該科目ではコンピュータを用いてデータを収集・加工・発信できる情報処理能力を習得します。現代の情報化社会においては、ネットワークや情報機器を用いた情報処理技術が、一般の社会のみならず、医療の現場でも重要な役割を果たしています。ネットワークと情報機器を正しく理解し、適切な処理能力を身につけることを目標とします。また、看護学に必要な基本統計量と解析、グラフ作成技術、医学看護情報検索についても学びます。			
到達目標 メール、ワード、エクセル、パワーポイントなどのソフトの使い方を習得します。エクセルを用いた数値計算やデータ処理、基本統計量の解釈と取り扱い技術を習得します。様々なデータの形式に適したグラフ作成技術を習得します。ホームページの作成では、ネットワークへの情報発信技術を習得します。看護学の論文読解に必要な統計学の基礎知識を習得します。			
授業の形式 情報処理実習室でパソコンを利用して行います。プリントを配布することはありますが、特に教科書は用いません。テーマ毎に小テストを行います。履修者一人一人の疑問や質問に対しては、個別に直接対応・指導致します。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予習の内容については、授業の終わりに次の授業の予習すべきポイントを説明します。復習は、苦手なところや理解不足のところを中心に確認する。			
成績評価の基準等 評価方法：授業小テスト（10点×5）、ホームページから習熟度の確認（50点）、欠席（－7点×回数）とします。 合格基準は、合計60点以上とします。			
学生へのメッセージ 情報処理実習室の空き時間を利用して積極的に学習しワークに慣れて下さい。質問等は実習時間内に限らずいつでも対応しますので、遠慮せず積極的にお尋ね下さい。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
わかりやすいデータ解析と統計学	高橋 龍 尚	オーム社	3,240円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	はじめに	コンピュータ・インターネットの仕組み、ログオン・ログオフの方法、パスワードの設定・変更について学ぶ	高橋 (数理情報) 岡崎 (情報基盤)
2	基本操作	タイピング練習、ログオン・ログオフの方法、パスワードの設定について学ぶ	〃
3	電子メール	電子メールの送信・受信・返信・転送、ファイル添付、ネットワークセキュリティ・エチケットについて学ぶ	〃
4	ワード 1	ファイル名・ファイルの保存方法、フォント、文字飾り、漢字変換、特殊文字、外字登録、IMEパッドについて学ぶ、インターネット検索	〃
5	ワード 2	文章入力、書式変更、表作成、ページレイアウト、ページ設定、段組設定、英語文章入力、英単語・文章の翻訳について学ぶ、図形描写、画像、印刷	〃
6	情報検索	蔵書検索（OPAC）等の情報検索を中心に実習し、資料予約やセミナー室の利用などWebから図書館サービスを利用する方法もあわせて学ぶ	高橋 岡崎 田中 他
7	エクセル 1	データ入力、数式入力、行・列の挿入・削除、表計算、相対セル参照、絶対セル参照について学ぶ	高橋 (数理情報) 岡崎 (情報基盤)
8	エクセル 2	棒グラフ、グラフエリアの書式設定、グラフの種類変更、追加データのグラフへの挿入、円グラフと補助グラフについて学ぶ	〃
9	エクセル 3	積上げグラフ、折れ線グラフ、データ欠損と補間プロット、散布図と回帰直線、多項式のカーブフィッティングについて学ぶ	〃
10	データ解析と統計 1	アンケート結果のデータ入力、データ置換、データの並べ替え、データベース関数の利用について学ぶ	〃
11	データ解析と統計 2	アンケート結果のデータ入力、データ置換、データの並べ替え、データベース関数の利用について学ぶ	〃
12	プレゼンテーション	パワーポイントの基本操作、表の作成、図の作成・取込み、グラフの作成・取込み、アニメーション設定、配布資料の作成について学ぶ	〃
13	WWW作成 1	看護学研究ページを作成する	〃
14	WWW作成 2	看護学研究ページを作成する	〃
15	WWW作成 3	看護学研究ページを作成する	〃

#### 4. 生命科学（必修）

担当 教員	◎林 要喜知、津村 直美（生命科学）、 立野 裕幸、日下部 博一（生物学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 生命のしくみは、微生物から動物や植物にいたるまでのすべての生物に共通なものである。それゆえ、様々な生命現象を通して生命一般の原理・法則性を理解することは、生命のしくみを理解する上で重要である。本科目では、原始生命の誕生と進化、生命現象の特性、生命の連続性などについて広く学習する。また、ヒトの発生と先天異常、ヒトの遺伝現象を学び、人類遺伝学の基礎に対する理解を深める。			
到達目標 1) 生命誕生や生命体の物質的構成を説明できる。 2) 細胞や細胞小器官の構造と機能を説明できる。 3) 体細胞分裂や減数分裂を説明できる。 4) 生殖器官の構造と配偶子形成過程を説明できる。 5) 受精や受精卵の初期発生過程を説明できる。 6) 発生過程における器官形成を説明できる。 7) 異常発生と疾患の関係を説明できる。 8) ヒトの遺伝性疾患を大きく分類して説明できる。 9) 分子生物学の発達とその遺伝性疾患等への応用を説明できる。 10) 生命倫理上の問題や遺伝カウンセリングの内容を説明できる。			
授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など) 黒板への板書の他、適宜プリントを配布する。また、パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を利用することもある。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 毎回シラバスの講義予定を確認し、参考書などで講義内容に関する予習をすること。講義後は、出来るだけ早い機会に講義資料や参考書で復習しておくこと。不明な点や質問があれば、次の講義までに各教員に質問に行き解決すること。			
成績評価の基準等 講義の成績評価は、出席点を加味した上で中間試験や定期試験で行う。時には、小テストやレポートなどを課すこともある。			
学生へのメッセージ（履修上の心得など） 履修主題をより深く理解するには日頃の学習が必要である。理解していないことを放置せずに、いつでも質問にきてほしい。勿論、電子メール等による質問でもよい。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 生命と環境	林要喜知・細谷夏美・矢沢洋一編	三共出版	2,940円
(参) ZEROからの生命科学	木下勉他	南山堂	2,520円
(参) 絵とき生命科学の知識	室伏きみ子	オーム社	2,310円
(参) 人の生命科学(第3版)	佐々木・堀口ら著	医歯薬出版	2,730円
(参) 看護実践に役立つ放射線の基礎知識	草間朋子編	医学書院	2,400円
(参) カラー図解 人体発生学講義ノート	塩田浩平	金芳堂	5,800円
(参) 遺伝子と遺伝子診断がわかる本	中込弥男	羊土社	1,575円
(参) 遺伝カウンセラー：その役割と資格取得に向けて	千代豪昭 滝澤公子	真興交易 医書出版部	2,940円
(参) 医療・看護系のための生物学	田村隆明著	裳華房	2,835円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	生命と生命現象の概観	生命現象や生命の連続性を概観し、その起源や生物分類について学ぶ。	林(生命科学)
2	生体とその構成成分	生体を構成する物質や細胞・組織・器官などの生体の成り立ちについて学ぶ。	津村(生命科学)
3	生物のつくり(1)	細胞の構造と機能(核や核小体)について学ぶ。	日下部(生物学)
4	生物のつくり(2)	細胞の構造と機能(細胞内小器官など)について学ぶ。	〃
5	生物のつくり(3)	細胞の構造と機能(生体膜)について学ぶ。	〃
6	生命の連続性(1)	細胞分裂のしくみや意義について学ぶ。	〃
7	生命の連続性(2)	無性生殖および有性生殖について学ぶ。	〃
8	生命の連続性(3)	減数分裂のしくみや意義について学ぶ。	〃
9	ヒトの発生(1)－配偶子形成－	精巣と卵巣の構造を学び、そこで進行している精子形成と卵子形成の過程を細胞組織学的に理解する。	立野(生物学)
10	ヒトの発生(2)－性ホルモン－	精子形成と卵子形成に関わっている性ホルモンの種類と作用について学ぶ。	〃
11	ヒトの発生(3)－排卵－	排卵現象や子宮変化について学び、月経周期のホルモン支配について理解する。	〃
12	ヒトの発生(4)－受精－	精子が受精部位へ移動し、卵子と受精するまでの過程を学ぶ。	〃
13	ヒトの発生(5)－卵割と着床－	受精卵の初期発生および着床の過程を理解する。双生児ができる仕組みを理解する。	〃
14	ヒトの発生(6)－胚葉形成－	栄養膜の発達や胚葉(外胚葉、内胚葉、中胚葉)の形成過程を学び、各胚葉に由来する器官を理解する。胎盤の構造と機能を学ぶ。	〃
15	ヒトの発生(7)－器官形成－	脳や手・足を例に、器官が形成される基本過程を学ぶ。また、分娩のしくみや出生前後における血液循環の変化についても理解する。	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	ヒトの発生(8)－先天異常－	先天異常の種類とその主原因である配偶子の染色体異常、およびその生成機序について学ぶ。	立野 (生物学)
17	遺伝の基礎	遺伝学の歴史や遺伝現象の概略を学ぶ。	林 (生命科学)
18	遺伝と疾患(1)	メンデル遺伝（常染色体遺伝）をする遺伝病について学ぶ。	”
19	遺伝と疾患(2)	メンデル遺伝（性染色体遺伝）をする遺伝病について学ぶ。	”
20	遺伝と疾患(3)	非メンデル遺伝（多因子遺伝および母性遺伝など）について学ぶ。	”
21	遺伝と疾患(4)	非メンデル遺伝（体細胞遺伝）について学ぶ。	”
22	遺伝と疾患(5)	染色体異常症や倫理的問題について学ぶ。	”
23	遺伝と疾患(6)	ゲノムとエピゲノムの基礎を学ぶ。	津村 (生命科学)
24	遺伝と疾患(7)	看護の視点からみたエピジェネティクスの応用例について学ぶ。	林 (生命科学)
25	分子生物学(1)	DNA、遺伝子、染色体などゲノムの基礎とベクターについて学ぶ。	”
26	分子生物学(2)	インスリン製法の変遷を例にして、バイオテクノロジーの基礎を学ぶ。	津村 (生命科学)
27	分子生物学(3)	バイオテクノロジーの再生医療への応用について学ぶ。	林 (生命科学)
28	生命倫理と遺伝(1)	出生前診断法の発展と問題について学ぶ。	”
29	生命倫理と遺伝(2)	看護における生命倫理の問題や遺伝カウンセリングについて学ぶ。	”
30	生命倫理と遺伝(3)	遺伝カウンセリングの具体例について学ぶ。	”

## 5. 看護基礎物理（必修）〔力、運動、回転、圧力、血圧、ベルヌーイの定理〕

担当 教員	◎稲垣 克彦（物理学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 看護は人命に関わることです。単に勘や経験に基づいて行動するのではなく、科学的知識の裏付けを持つことが大切です。この講義では、看護を物理学的な視点からとらえ、理解することを目的とします。			
<b>到達目標</b> 看護に関係する物理学的知識は、広範囲に渡ります。15コマという限られた時間内で全てを取り上げることは不可能です。従って、この講義では、特に看護物理の基礎を支える事項に絞って講義を展開します。講義で扱った内容をしっかり理解すれば、講義で取り上げなかった内容についても、自学自習である程度まで理解できると期待します。本講義では、看護物理を支える基礎的な考え方・知識の習得を目指します。この講義で扱った、浮力、摩擦力と人の測定部位による血圧の違いについては、後期開講される“自然科学実験（物理学分野）”で実験的に確かめることとなります。実験と合わせて講義内容の理解が深まることを、本講義のねらいです。			
<b>授業の形式</b> 主に視聴覚機器を使います。必要に応じて、プリントを配布します。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 講義初日に配布する講義ノートと教科書を基に、復習を中心とした準備学習を行ってください。復習して理解できなかったら担当教員に質問したり、図書館で調べたり、場合によっては物理の得意な友人に相談する等、積極的に問題解決するよう努力して下さい。			
<b>成績評価の基準等</b> 試験は中間試験と定期試験の2回実施します。各試験の受験資格にはそれぞれ3分の2以上の出席が必要です。各試験は100点満点の試験を実施し、計200点のうち60%以上得点したものを最終合格者とします。その他、出欠状況等を考慮し総合的に評価します。不合格者は試験の難易度・得点の伸び率等を考慮して決定されます。不合格者については、後日、再試験を1回実施する予定です。なお、中間試験の結果のみ、A、B、C、C'、D、Eとして（A、B、Cは合格相当。D、Eは不合格相当。C'は不合格に近い合格相当）公表されます。試験で60%以上をとった者はC以上の評価が約束されます。それ以外は、各試験の難易度（得点分布にて評価）に応じて、評価されます。なお、D、Eの評価を受けた者は後日、コーディネーターと学習上の問題点・今後の学習方針等について個別に相談することになります。			
<b>学生へのメッセージ</b> 講義は基礎的な内容から始まります。しかし、限られた時間内で基礎からある程度まで講義しますので、物理学初学者にとっては、少し戸惑うかもしれません。わからないことがあったら、遠慮なく物理学教室まで質問に来ること。自分で、“何がわからないか？”を整理して質問することも、物理学の学習では大事なことです。そのためには、普段からノートなどをしっかり整理しておくことが大切です。わずか15コマの講義ですが、科学的かつ物理学的な知的好奇心を育ててもらえればと期待しています。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 医療系のための物理 (第二版)	佐藤 幸一 藤城 敏幸	東京数学社	2,000円 (税抜き)
(参) 完全版 ベッドサイドを科学する	平田 雅子	学習研究社	2,730円 (税抜き)
(参) 講義ノート	本間 龍也	物理学教室	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	物体の基本的な運動	物体の基本的な運動である等速直線運動を学ぶ。	稲垣 (物理学)
2	力とベクトル	“力”の基本的な性質、及びベクトルを使った表現方法について学ぶ。	〃
3	力と運動	ニュートンの運動の法則を学ぶ。	〃
4	回転運動の基礎	回転運動を理解する上で、力のモーメントという考えが重要になることを学ぶ。	〃
5	安定・不安定	人の安定な姿勢・不安定な姿勢は力のモーメントを考えることで説明できることを学ぶ。	〃
6	摩擦力	床面を運動する物体には、摩擦力が働く。この摩擦力には、静止摩擦力と動摩擦力の2種類あることを学ぶ。	〃
7	復元力	バネは、その伸びし具合によって引く力が変化する。このバネの引く力（復元力）について学ぶ。	〃
8		中間試験	〃
9	圧力	圧力とその様々な単位間の関係を学んで「血圧の単位 (mmHg)」を理解する。	〃
10	浮力	浮力の基礎となる「液体中での圧力」を理解する。	〃
11		「液体中での浮力」と「浮力と密度差の関係」を学ぶ。	〃
12	仕事とエネルギー	仕事とエネルギーについて学ぶ。更に、力学的エネルギー保存則を学ぶ。	〃
13	ベルヌーイの定理	水や血液の流れに適用されるエネルギー保存則であるベルヌーイの定理を学ぶ。	〃
14	ベルヌーイの定理の看護への応用	液体が流れる仕組み（例えば、点滴）がベルヌーイの定理によって説明されることを学ぶ。	〃
15		測定部位による血圧の違いがベルヌーイの定理によって説明されることを学ぶ。	〃

## 6. 看護化学（必修）〔原子・分子、酸・塩基、酸化・還元、エネルギー、反応速度論、生体分子〕

担当教員	◎秋田谷龍男、眞山 博幸、室崎 喬之（化学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 本科目は高校化学の復習、ならびに1年次で開講される生命科学分野緒科目への準備・接続科目として位置づけられる。 将来、疾病と治療法の理解に到達するためには、生命・生体の基本原理を理解する必要がある。また医療現場にある物質についての基本知識も重要である。生体を構成する分子や分子集合体の分子構造と高次構造、それらの変化を駆動する法則を学ぶ。自己組織化、恒常性など生命に特徴的な性質や物質の性質を理解する化学的な考え方を養成する。			
到達目標 ・化学の理解に必要な基礎知識を説明し、濃度計算などの基本技能を実施できる。 ・原子や分子の基本的な構造と化学反応性を説明できる。 ・酸と塩基、酸化と還元を説明できる。 ・物質の状態を定量的に表す基本法則を説明できる。 ・平衡状態の基本的性質を説明できる。 ・化学変化の速度（反応速度論）の基本原則を説明できる。 ・生体分子や分子集合体の構造と性質、医学との関係を説明できる。			
授業の形式（板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など） 講義（スライド提示、板書、プリント）。テーマによっては教科書の解説、演習問題の配布、補足プリントのホームページでの公開を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 短い期間で上級科目に必要な知識・技能を確実に身につけることが要求されています。さらに大学の勉強を理解するには高等学校より質的に数段高い思考活動（帰納・演繹・抽象化・論理展開など）が必要です。十分な学習とその他の活動を両立させる“けじめ”が重要です。			
成績評価の基準等 筆記試験を行い、総合で60%以上の得点を合格とする。ただし、2/3以上出席しなければ試験を受けることができない。			
学生へのメッセージ “正しい”勉強は何かということをよく考えて下さい。術語を単純に記憶するだけで、背景にある論理や概念、歴史的経緯を理解しない行為は勉強ではありませんし、良い評価（成績）に結びつきません。“わからない”こと（勉強法も）を早くみつめて質問に来てください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 基礎分野 化学	奈良 雅之	医学書院	2,592円
(参) コ・メディカル化学 医療・看護系のための基礎化学	齋藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二	裳華房	2,592円
(参) 生命系のための有機化学I 基礎有機化学	齋藤勝裕	裳華房	2,592円
(参) 新しい高校化学の教科書	左巻健男	講談社	1,260円
(参) 高校で教わりたかった化学	渡辺匡、北條博彦	日本評論社	1,995円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	原子と分子の構造1	原子の電子軌道と原子の性質、イオン化や周期表との関係を理解する。	眞山
2	原子と分子の構造2	原子の電子軌道と分子の電子軌道、共有結合との関係を理解する。	〃
3	物質の状態とエネルギー(1)	物質の状態を考える方法の基本を学ぶ。	〃
4	物質の状態とエネルギー(2)	物質の状態についての基本法則を学ぶ。	〃
5	酸と塩基1	酸と塩基の定義の歴史的発展とその理由を理解する。分子軌道と酸性・塩基性との関係を理解する。	〃
6	酸と塩基2	アミノ酸の酸塩基平衡と等電点、緩衝作用を理解する。	秋田谷
7	溶液の化学	溶液の束一的性質（浸透圧など）の基本原則について学ぶ。	〃
8	アミノ酸とタンパク質	タンパク質の構造とそれを支える相互作用について理解する。	〃
9	糖質・核酸	糖質と核酸の構造と性質を理解する。	〃
10	脂質と生体膜	脂質と生体膜の構造と性質、膜透過の基本原則を理解する。	〃
11	酸化と還元1	酸化と還元の基本原則を理解する。	室崎
12	酸化と還元2	無機元素の酸化還元を含めて生体との関連を理解する。	〃
13	反応速度	化学反応速度、反応速度式、反応次数、反応速度定数について学ぶ。	〃
14	平衡状態	平衡状態とは何か、定量的な定義は何かを学ぶ。	〃
15	ソフトマター物理化学	生体や薬物のコロイド、界面、高分子、ソフトマターとしての性質を理解する。	〃

## 7. 自然科学実験（必修）

担当教員	◎林 要喜知、津村 直美（生命科学）、 立野 裕幸、日下部 博一、日野 敏昭、 渡部 浩之（生物学）、本間 龍也、 稲垣 克彦、藤井 敏之（物理学）、 秋田谷 龍男、眞山 博幸、室崎 喬之（化学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	1単位	45コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 本実験は、看護基礎物理、生命科学、看護化学の履修内容に関連したテーマで展開される実習である。自然科学的事象を実際に観察、測定して対象を的確に把握し、講義で学んだ知識を応用しながら、対象に潜む自然科学的法則性を物理、生物、化学分野のアプローチを通して理解する。			
<b>到達目標</b> 1) 実験機器や材料の取り扱いなど基本的な実験手法に慣れる。 2) 実験のねらいを理解した上で実際に実験を行うことができる。 3) データの取り方やデータの解釈法を学び実験データを採取できる。 4) 得られた実験データをまとめてレポート作成をできる。			
<b>授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)</b> 授業の最初に、実習用テキスト、プリント、チャートあるいはビデオ等を用いて実験目的や方法などが説明され、その後実習作業に入る。実習は、テーマによって個人単位あるいは共同実験形式で行われる。学生は実験ごとに観察・実験結果を整理・考察し、レポートとして提出する。 実習内容は大きく3分野に分かれており、1～12コマでは物理学的テーマ（第5実習室）で、13～33コマでは生物学的テーマ（第3あるいは第6実習室）で、そして、34～45コマでは化学的テーマ（第4実習室）で実験を行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 実習書や参考書などで学習内容を予習して、実習に臨むこと。実習後には、レポートなどの課題作成を出来る限り早い段階で着手すること。実習中や課題作成過程で生じた疑問は次回の実習までに質問し、解決しておくこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 成績評価は、(1)提出された観察・実験レポートの内容（レポート評価点）、(2)実習への出席状況（出席点）、(3)実習中の積極性、協調性、機器取り扱い技術の評価（態度・技術点）の3つを合わせて総合的に行う。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 実習を手際よく確実に進めるためには、あらかじめテキストをよく読み、その日に行う実験内容を理解しておくことが必要である。毎回、実習時間の最初に実験の目的、方法、注意事項などを説明するので、この時間に遅れないように集合すること。また、共同実験の場合には、グループで協力しながら、全員が積極的に実習に参加することを期待する。白衣やネームカードを着用して実験に臨むこと。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 生命科学テキスト	旭川医大・生物学教室、生命科学教室 編		
(教) 自然科学実験テキスト(物理学分野)	旭川医大・物理学教室 編		
(教) 自然科学実験テキスト(化学分野)	旭川医大・化学教室 編		
(参) 教養生物学実験	教養生物学実験編集委員会	共立出版	1,890円
(参) レポートの組み立て方	木下是雄	筑摩書房	819円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員	
1 2 3	測定部位による血圧の違い	血圧は一般に下肢ではなく、上腕で測定される。なぜそうなのか。その理由がベルヌーイの定理を使って、物理学的に説明されることを学ぶ。	本間 (物理学) 稲垣 (物理学) 藤井 (物理学)	
4 5 6	摩擦力の測定	最大静止摩擦力の測定を通して、摩擦力を理解する。		
7 8 9	浮力の実験	密度の異なる物体の浮力を測り、物体の体積と浮力の関係を理解する。また、浮力が生じる原因についても学ぶ。		
10 11 12	まとめ	レポート作成・提出&実習予備日		
13 14 15	ガイダンス、生物顕微鏡の使い方	生物学的テーマの実習に関するガイダンスを受ける。更に、光学顕微鏡の使い方を学ぶ。		林 (生命科学) 津村 (生命科学) 立野 (生物学) 日下部 (生物学) 日野 (生物学) 渡部 (生物学)
16 17 18	ヒト末梢血細胞の観察	ヒト末梢血塗抹標本を用いて血球の種類および性状を観察し、各血球の働きを学ぶ。		
19 20 21	ヒトの染色体I	ヒト染色体標本を観察し、ヒトの正常核型における染色体の形態を理解するとともに、核型分析の方法を学ぶ。		
22 23 24	ヒトの染色体II	ヒト新生児にみられる染色体異常症の核型分析による判定方法を学ぶ。		
25 26 27	プラスミドDNA電気泳動I	制限酵素によるDNA切断や電気泳動によるDNA断片の分離・同定などを学ぶ。		
28 29 30	プラスミドDNA電気泳動II	前回の実験の解説を聞き、レポート作成のためのグループ討論をおこなう。		
31 32 33	ヒトの味覚テスト	5つの基本味（甘・酸・塩・苦・うまみ）から3つを選択し、各自の味覚閾値を求め、また、口中の部位による各味の閾値を比較する。		
34 35 36	ガイダンス、炭酸ナトリウムの酸塩基滴定と緩衝作用	化学実験における安全教育を行う。炭酸ナトリウムの水溶液をpHを指標として滴定し、pH緩衝液の作用、pKaとpH緩衝域について学ぶ。また、pHメーターの使用方法を習得する。		
37 38 39	色素溶液の吸光度測定	生化学実験や臨床検査に不可欠な（オート）ピペットと分光光度計の操作、吸光度と濃度との関係を学ぶ。	秋田谷 (化学) 眞山 (化学)	
40 41 42	BZ反応の観察	代謝振動反応のモデルであるBZ反応の時間変化（リズム）と空間変化（パターン）を観測し、基本原理を理解する。	室崎 (化学)	
43 44 45	マイクロカプセルの作成と観察	医薬品に使われているマイクロカプセルを調製し、薬物送達システムに使われる担体について学ぶ。		

## 8. 医療史・医療哲学（必修・選択）

担当教員	◎阿部 泰之		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 医療は生や死、人間の尊厳、人生の意味といった、ある種「哲学的な」ものを扱う領域である。またそれを下支えする医学や看護学にも「哲学」の観点が必要とされる。哲学は言うなれば思考法の学である。つまり、どのように考えるかということを考え学ぶ学問であり、その意味で全ての学問に底流するものである。しかし、今の医学教育や看護教育は科学的な知見や経験則などを覚え込むことが中心となってしまうと、「考える」ことが極端に減ってしまう。看護学を学び始めるこの時期に、何を学ぶか、何を覚えるか、ではなく、どう考えるかを本科目にて経験し、今後の学びを柔軟に取り入れる基礎体力を養うことを目的とする。			
到達目標 一般目標（G I O） 哲学・思想で用いられる原理的思考法を、看護学や臨床看護において用いることができる。 個別行動目標（S B O s） ・原理的思考法について、どういったものかを説明できる。 ・看護の場面で原理的思考法がどのように活かされるのか述べることができる。			
授業の形式 2コマで1セットとする（※1講目を除く）。1コマ目は各回の問いに対して、グループ内での対話の中から自分なりの解決策を考え、その結果を全体に発表する。2コマ目は、問いに対する答えとして、各時代の哲学、思想家の考えを紹介する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスに記載されているキーワード（例えば「自律」「科学」など）について、事前に調べて考えを膨らませておくこと。 講義終了後は履修内容についてまとめを行うこと。			
成績評価の基準等 出席状況：45点（1コマ欠席につき3点減点） レポート：35点（ルーブリック評価） 講義中の発言：1回につき3点加点 最高100点、60点以上をもって合格とする			
学生へのメッセージ 楽しく、かつ深い思考となるような工夫をしていきます。「哲学なんて」と構えずに気楽に参加してください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) ナニコレ？ 痛み×構造構成主義	阿部 泰之	南江堂	3,024円
(参) ケアの本質 －生きることの意味	ミルトン・メイヤロフ	ゆみる出版	1,620円
(参) 病いの語り 慢性の病 いをめぐる臨床人類学	アーサー・クラインマン	誠信書房	4,536円
(参) 構造構成主義とは何か －次世代人間科学の原理	西條 剛央	北大路書房	3,024円
(参) 医療関係者のための信念 対立説明アプローチ	京 極 真	誠信書房	3,780円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	哲学的（原理的）思考法について概説し、本科目の狙いについて理解する	阿部（緩和ケア）
2・3	なぜ人は人をケアするのか？	なぜ人は人をケアする、もしくはしたいと思うのか？それは利己心から？それとも利他心から？	阿部（緩和ケア）
4・5	「病気とは何か」	「病気とは何か」	阿部（緩和ケア）
6・7	自律を尊重するとはどういうこと？	「自律を尊重する」という言葉が氾濫しているが、自律とはそもそも何か？を知る人は少ない。当人が決めることだけが自律なのか？	阿部（緩和ケア）
8・9	意見が対立したらどうしたらいい？	日常生活においても、医療現場においても、様々な場面で意見の対立は起きている。意見もしくは考えの対立をどのように調停したらいいのか？	阿部（緩和ケア）
10・11	死の恐怖にどう立ち向かったらよいか？	人は必ず死を迎えることを知らない人はいない。にもかかわらず、なぜ人は死を恐れるのか？どう立ち向かったらよいか？	阿部（緩和ケア）
12・13	科学を用いながら愛ある医療をするには？	科学とはそもそも何か？「病気を診て人を診ず」逆に「人を診て病気を診ず」と言われないような医療をするにはどうしたらよいか？	阿部（緩和ケア）
14・15	コースのまとめ	本科目で得られたことについて振り返りを行い、レポートにまとめる	阿部（緩和ケア）



## 9. 看護社会論（必修）〔家族 結婚 病気 労働 ライフコース〕

担当教員	◎工藤 直志		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 現代社会と看護師に関する知識を幅広く習得し、人文学や社会科学の視点から、さまざまな社会問題、医療や看護師に関わる社会問題を把握し、解決策を提示することができる。授業で扱う内容を前提として、将来のキャリアを具体的に示すことができる。			
到達目標 【一般目標】 人文学や社会科学の基礎的な知識を習得することを通じて、多様な価値観の存在に気づき、幅広い視点から社会問題を検討できる。 【個別目標】 ①現代社会の特質や今後の動向を理解して説明できる。 ②現代社会で看護師が果たしている役割を理解して説明できる。 ③現代社会の特色や看護師の役割を理解し、自分の将来像やライフプランを明示できる。			
授業の形式 特定の教科書は用いない。毎回の授業で配付する資料を用いて講義形式を進める。2～3コマごとに、授業内容に関わる課題などを所定の用紙に記入し提出する。 授業では、講義内容の理解を助けるために、映像資料なども積極的に活用する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 具体的な準備学習は求めません。普段から医療や福祉に関する情報に慣れ親しむようにし、授業内容と関連させて考えるようにしてください。授業後は、配付資料の内容を確認し、疑問点や関心を持ったことを調べるなどして、15回目の課題の準備をしてください。			
成績評価の基準等 授業内の課題（60%）、15回目のミニレポート（40%）から成績を評価する。欠席回数が6回以上の場合は、成績評価を「不可」とする。			
学生へのメッセージ 講義内容への質問や疑問を教員に積極的に伝えるなど、授業に能動的な態度で参加してください。将来のライフプランを考える時に、本科目の内容が役立つように授業を進めたいと考えています。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) テキスト現代社会学 [第3版]	松田 健	ミネルヴァ書房	2,800円+税
(参) 社会学	長谷川公一他	有斐閣	3,500円+税
(参) 感情と看護	武井麻子	医学書院	2,400円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	本科目のねらい、授業計画、成績評価などを理解する。	工藤 (社会学)
2	少子高齢社会	現在の少子高齢社会への理解を深め、今後の社会のあり方や自分の将来を検討する。	工藤 (社会学)
3	キャリア	看護師のキャリアのひとつである専門看護師について学ぶ。	工藤 (社会学)
4	家族	現代日本の家族の現状を理解し、自分の将来のキャリアを検討する。	工藤 (社会学)
5	結婚	現代日本の結婚の現状を理解し、自分の将来のキャリアを検討する。	工藤 (社会学)
6	死	末期患者への看護を通じて、現代の死の様相を理解する。	工藤 (社会学)
7	出産と不妊	現代日本の出産と不妊の現状を理解し、医療専門職としての関わり方を考える。	工藤 (社会学)
8	生殖補助医療	生殖補助医療を理解し、生命の誕生との関わり方を考える。	工藤 (社会学)
9	出生前診断	出生前診断の持つ倫理的な問題を理解し、医療専門職としての関わり方を考える。	工藤 (社会学)
10	医療	現代医療の基本的な前提を理解し、医療への理解を深める。	工藤 (社会学)
11	病人	病人役割を通じて、現代社会における病気を考える。	工藤 (社会学)
12	労働 (1)	社会学の視点から、看護師の感情労働を検討する。	工藤 (社会学)
13	労働 (2)	うつ病や過労死から、バーンアウトのリスクを理解し、将来の働き方を考える。	工藤 (社会学)
14	ライフコース	ライフコースという概念を学び、自分のキャリア形成を考える。	工藤 (社会学)
15	まとめ	これまでの内容を振り返り、ミニレポートを作成する。	工藤 (社会学)

## 10. 形態機能学 (必修) [解剖学、生理学]

担当 教員	平 義樹 (コーディネーター)、 吉田 成孝 (解剖学講座機能形態学分野)、 高井 章 (生理学講座自律機能分野)、 野口 智弘 (生理学講座神経機能分野)、 坂本 尚志 (入学センター)、 大森 行雄 (非常勤講師)			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第1学年	通 年	4単位	60コマ
<b>履修目的・授業概要</b>				
形態機能学は、一般的には解剖生理学の名称で知られ、人体の形態(形や構造)と機能(役割や働き)を学ぶための学問である。人体の形態と機能を知ることは、「人間」を理解するための第一歩であり、「医療」を学ぶための入り口である。ヒトの体のつくりや生理現象を深く理解し、正常な状態や健康な状態を知ることによって、病気の状態を把握するための基礎を確立する。				
<b>到達目標</b>				
一般目標：人体の形態や構造を正確に把握し、それに基づいて営まれている種々の生命現象、それらの関連性および全体像について理解し、論述することができる。 行動目標：各システムの構造と機能について説明できるようになることを学習の到達点(ゴール)とする。				
<b>授業の形式</b>				
担当者により授業の形式はさまざまであるが、時間の節約のために、パワーポイントによるスライドや手渡しプリント等を用いることが多い。履修主題および履修内容に沿って、形態と機能を相互に関連付けた内容とし、システム別・臓器別に講義を進める。したがって、講義内容を確認して予習すること。一部の講義資料についてはコーディネーターのウェブサイトより配布するので、あらかじめダウンロードし予習に活用すること。				
<b>準備学習(予習・復習)等の内容と分量</b>				
教科書を読み、当日の講義内容をあらかじめ大まかに理解して、その日の講義に臨むこと。講義終了後は、配布されたプリントを再度見直して講義内容を整理し、まとめを行うこと。理解できなかった点は参考書などで調べ、又は担当教員に質問して理解すること。理解できないままにしないこと。分野ごとの問題集をコーディネーターのウェブサイトから配布するので、時間を作って演習すること。				
<b>成績評価の基準等</b>				
基本的には、多肢選択形式の試験を、前期中間試験(6月または7月)および前・後期定期試験(9月および2月)期間中に計3回実施し、平均60点以上を合格とする。また、毎回講義に出席することは、医療職を目指す学生として当然の責務ではあるが、総講義時間数の3分の2の出席を、評価の前提とする。				
<b>学生へのメッセージ</b>				
医療者を目指す以上、職種を問わず、人体の構造と機能を熟知しておく必要がある。形態機能学は、看護学の学習や看護の実践におけるさまざまな場面で、考え方の拠り所となるはずである。限られた時間内に、豊富な内容の講義が展開される。集中を切らさないよう、体調を整えて授業に臨んでほしい。				

### 〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 解剖生理学	坂 井 建 雄 岡 田 隆 夫	医 学 書 院	3,990 円

コマ 数	履修主題	履 修 内 容	担当 教員
1	人体の基本システム1 「形態機能学の基礎知識」	形態機能学履修に必要な基礎知識 [ゴール] ①人体を区分し、各部の名称を列記できる。②基準面、投影線、体位、姿勢、体腔について述べられる。③位置・方向・動きを示す用語を整理できる。④各器官系の機能(植物・動物機能)が言える。⑤体液の区分と組成、生体の恒常性について解説できる。⑥バイタルサイン、死の定義等、生命の基本事象について説明できる。	平 4/11 (水) 4,5時限
2			
3	人体の基本システム2 「人体の成り立ち」	人体の構成要素(物質と構成単位)一階層性 [ゴール] ①分子から細胞小器官、細胞、組織、器官、器官系まで人体の階層性について解説できる。②上皮組織、筋組織、結合組織、神経組織の形態、種類、分布、機能等、組織学の基礎について説明できる。(人体を構成する「物質」・「細胞」については「看護化学」や「生命科学」で、「免疫学」については「感染免疫学」で学ぶ)	平 4/17 (火) 4,5時限
4			
5	人体の基本システム3 「膜の透過性・興奮性細胞」	神経・筋-興奮のしくみ [ゴール] ①細胞膜の選択的透過性、イオンチャネル、静止膜電位、活動電位について理解できる。②ニューロンの構造や刺激受容・興奮伝導・シナプス伝達の機構について述べられる。③神経伝達物質の種類と作用について分類できる。④骨格筋細胞の微細構造、興奮-収縮連関、神経筋接合部、筋収縮の特性について説明できる。	野口 4/18 (水) 4,5時限
6			
7	情報の受信・処理・発信システム1 「中枢神経系の構造・機能」	情報処理の中核-脳-脊髄 [ゴール] ①発生・分化を基に神経系を分類できる。②脊髄の構造と機能が言える。③脳幹の構成と働き、小脳の構造、間脳の位置と視床・視床下部の働き等について説明できる。④大脳皮質の構造と機能局在、大脳辺縁系と大脳基底核の構造を図上で説明できる。⑤髄膜や脳室と髄液の産生部位・循環、動・静脈の分布について解説できる。	平 4/25 (水) 4,5時限
8			
9	情報の伝送システム1 「末梢神経系-体性神経・自律神経」	中枢と末梢間-情報往来 [ゴール] ①求心性神経と遠心性神経の機能を対比できる。②脳神経(12対)の分布領域、機能を説明できる。③脊髄神経(31対)を分類し、神経叢・派生神経の分布域と機能が述べられる。④デルマトームが理解できる。⑤自律神経系の中核を指摘できる。⑥交感・副交感神経系の構成と機能が言える。⑦自律神経系の伝達物質が挙げられる。	平 5/1 (火) 4,5時限
10			
11	情報の受信・処理・発信システム2 「脳の高次機能」	認知と情動、言語と身体、自分と他人-心は脳と脳の間 [ゴール] 次の事柄の概略を説明できる。①脳の進化と機能区分(新皮質・辺縁系・基底核、間脳、小脳、中脳・橋・延髄)。②新皮質(認知)と辺縁系(情動)の葛藤と協調。③左脳(言語)と右脳(身体)の機能局在。④脳はミラーニューロンによって他人の脳の働きを推測する(心の理論)。	野口 5/2 (水) 4,5時限
12			
13	情報の受信・処理・発信システム3 「中枢神経と運動機能」	運動が意志を生む-随意運動の神経機構 [ゴール] 次の事柄の概略を説明できる。①随意運動は、反射・情動と違って、自分の意思で開始/中止ができる(運動の企画と実行)。②基底核は運動の適切さ、小脳は運動の正確さを制御する。③脳から脊髄へは複数の情報伝達経路が存在し、それぞれ役割が違う。④運動障害の種類と特徴。⑤姿勢反射の種類と関与部位。⑥脊髄反射の種類と回路。	野口 5/8 (火) 4,5時限
14			
15	情報の受容システム1 「感覚器系の構造」	情報・刺激の入力-感覚受容器 [ゴール] ①視覚器、平衡・聴覚器、味覚器、嗅覚器、等の構造について説明できる。②外皮(皮膚)の構造と役割や表皮の派生物の構造について話せる。	平 5/15 (火) 4時限

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	情報の受容システム1「感覚器系の構造」	③圧・触覚、温・冷覚、振動感覚、痛覚等の一般体性感覚装置を挙げ、局在や構造を説明できる。④深部感覚（筋紡錘・腱紡錘）や内臓感覚の受容装置の分布・構造について述べられる。	平 5/15 (火) 5時限
17	情報の受容システム2「視覚」	木を見て森を見ずー光の受容と眼球運動〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①動眼神経（第Ⅲ脳神経）はものをよく見るために様々な調節を行う（開眼、眼球運動、遠近調節、縮瞳）。②明るい場所では錐体で見える。暗い場所では桿体で見える。③注意の対象を解像度の高い網膜中心部で見えるために前庭動眼反射やサッケードが働く。④視覚異常。	野口 5/29 (火) 4、5時限
18	情報の受容システム3「聴覚・平衡覚」	視線の行方ー音源定位と前庭反射〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①両耳間の音のずれを聴覚伝導路の脳幹部分で検出し、音の発生方向を割り出す（音源定位）。②前庭神経核は頭部の揺れと反対方向に眼球を動かし、視野を安定させる（前庭動眼反射）。③音のした方を反射的に見るとき、聴覚による音源定位・視覚によるサッケード・平衡覚による前庭脊髄反射・前庭動眼反射が協働する。	野口 5/30 (水) 4、5時限
19	情報の受容システム4「味覚・嗅覚」	風味ー味覚と嗅覚の統合〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①5種類の基本味にはそれぞれ異なる味覚受容機構がある。②数百万種類の匂いを数百の嗅覚受容体の組み合わせで識別する。③ヒトの嗅覚は味覚を強化する。	野口 6/5 (火) 4、5時限
20	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	痛みは2回感じるー鈍痛と関連痛〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①痛みは脊髄反射を引き起こす。②痛みは慢性化する。③内臓の痛みは関連痛として現れる。	野口 6/5 (火) 4、5時限
21	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	生命維持と全天候型活動の前提ー体温の恒常性〔ゴール〕①体温を一定に保つ意義について述べることができる。②熱の産生・放散の仕組みと熱出納・効果器反応について解説できる。③中枢を含めた体温調節機構について説明できる。④発熱・解熱のメカニズムと様々な体温変動について解説できる。⑤高温障害・低温障害と温度適応（気候順化）について説明できる。	坂本 6/6 (水) 4、5時限
22	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	体格の決定、姿勢・運動の支持ー骨格〔ゴール〕①骨を形態により分類できる。②骨の機能が言える。③骨の発生・成長について述べられる。④骨の不動結合と関節を分類し、例示できる。⑤頭蓋骨の外観と内・外頭蓋底の特徴が述べられる。⑥椎骨の一般構造、脊柱の構成、胸郭の構造を説明できる。⑦上支帯骨・自由上肢骨と下支帯骨・自由下肢骨の形態を対比できる。	坂本 6/6 (水) 4、5時限
23	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	姿勢・運動の担い手ー骨格筋〔ゴール〕①骨格筋の特徴が言える。②表情筋、咀嚼筋、頸部の筋の名称・作用が示せる。③浅・深胸筋、横隔膜の説明ができる。④前・側・後腹筋の名称と作用が述べられる。⑤浅・深背筋の走行と作用を概説できる。⑥主な上支帯・上腕・前腕・手の筋の名称と作用を整理できる。⑦主な下支帯・大腿・下腿・足の筋の名称と作用を整理できる。	坂本 6/6 (水) 4、5時限
24	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	血液循環（＝物質の輸送）の原動力ー心臓〔ゴール〕①体循環・肺循環、右心・左心の特徴が言える。②心臓の位置、心音聴取部位が示せる。③心臓の外形と心嚢・心臓壁（心内膜・心筋・心外膜）の構造を述べることができる。④心臓の内景（心房・心室・房室弁・動脈弁、刺激伝導系）について説明できる。⑤冠状動脈・冠状静脈、心臓神経の分布について解説できる。	坂本 6/6 (水) 4、5時限
25	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	熱・物質の輸送システム2「呼吸」	坂本 6/6 (水) 4、5時限
26	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	熱・物質の輸送システム3「血液」	坂本 6/6 (水) 4、5時限
27	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	熱・物質の輸送システム4「泌尿器系の構造」	坂本 6/6 (水) 4、5時限
28	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	熱・物質の輸送システム5「血圧」	坂本 6/6 (水) 4、5時限
29	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	物質の輸送システム1「呼吸器系の構造」	坂本 6/6 (水) 4、5時限
30	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	物質の輸送システム2「呼吸」	坂本 6/6 (水) 4、5時限

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	物質の輸送システム2「脈管の構造・走行・分布」	熱・物質の輸送路ー脈管（血管、リンパ管）〔ゴール〕①動脈・毛細血管・静脈の構造が言える。②上行大動脈、大動脈弓、胸・腹大動脈およびその枝の走行を示せる。③上・下大静脈に注ぐ頭頸部、上肢・下肢（特に皮静脈）、内臓（特に門脈系と側副路）、体壁の静脈について話せる。④リンパ管・リンパ節の分布について説明できる。⑤胎児循環について解説できる。	吉田 6/20 (水) 4、5時限
32	物質の輸送システム3「心収縮のリズム」	心臓全体の収縮・弛緩のリズムー心臓の拍動〔ゴール〕①心拍動のリズムを作り出す機序が理解できる。②固有筋細胞が同期する理由が話せる。③心房・心室の興奮伝播のしくみを説明できる。④心拍リズムの神経等による調節について理解できる。⑤心電図の導出方法を知り、波形の意味、アイントフェンの三角形と心臓電気軸の解釈及び不整脈・心停止の説明ができる。	高井 6/26 (火) 4、5時限
33	物質の輸送システム4「心臓の機械的活動」	心房・心室の機械的収縮・弛緩ー血液の拍出〔ゴール〕①心拍出量（1回拍出量・心拍数・毎分拍出量）を説明できる。②心周期（収縮・弛緩の各ステージにおける心房・心室の内圧と容積の関係、房室弁・動脈弁の開閉、大血管の内圧）について話せる。③心室の機能状態に影響する因子（前負荷・後負荷・心筋収縮性）が理解できる。④心音・心雑音の説明ができる。	高井 6/27 (水) 4、5時限
34	物質の輸送システム5「血圧」	身体各部への血液輸送ー血圧維持〔ゴール〕①血圧の成因が話せる。②血圧測定法を理解し、最高・最低・平均血圧、脈波、脈拍の意味が分かる。③血圧と血流量の関係について説明できる。④血圧の調節因子（自律神経・反射・液性因子・腎機能）を挙げて説明ができる。⑤微小循環と物質交換の関係について述べられる。⑥循環系の不調の例を挙げるができる。	坂本 7/3 (火) 4、5時限
35	物質の摂取・排泄システム1「呼吸器系の構造」	空気の吸入・呼出ー呼吸器系〔ゴール〕①上気道（鼻腔・副鼻腔・咽頭・喉頭）の構造を話せる。②発声と構音のしくみが言える。③下気道（気管とその分岐ー気管支・区域気管支・細気管支・肺胞管）の構造が示せる。④肺（肺葉・肺区域・肺胞・肺胞上皮・肺毛細血管）の構造が話せる。⑤肺に分布する血管、胸膜と胸郭、縦隔の内容、呼吸筋・呼吸補助筋の解説ができる。	平 8/17 (金) 2、3時限
36	物質の摂取・排泄システム2「呼吸」	ガス交換ー呼吸〔ゴール〕①外呼吸と内呼吸が区別できる。②気道と肺胞上皮の機能が話せる。③呼吸の衷相と胸郭運動の関係が言える。④呼吸気量とスパイロメーターの説明ができる。⑤肺胞気・吸気・呼気・血液のガス分圧を比較できる。⑥肺の循環と血流の説明ができる。⑦呼吸運動の規律性とその調節を解説できる。⑧病的呼吸、換気障害、拡散障害の病態が分かる。	坂本 8/20 (月) 1、2時限
37	物質の摂取・排泄システム3「血液」	熱・物質の媒体ー血液〔ゴール〕①血液の組成と血球の分化が話せる。②赤血球（数・Hb濃度・Ht値・新生・破壊）の説明ができる。③Hbの構造と酸素解離曲線が理解できる。④貧血と赤血球増加症を対比できる。⑤白血球を分類し、その機能や血小板、血漿タンパク質の解説ができる。⑥血液凝固・凝固阻止機能、線維素溶解が分かる。⑦血液型と輸血について話せる。	坂本 8/22 (水) 4、5時限
38	物質の摂取・排泄システム4「泌尿器系の構造」	血中不要物排泄の構造ー泌尿器系〔ゴール〕①腎臓の位置、腎筋膜および構造（皮質・髄質・腎盤・腎乳頭・腎杯）を図示できる。②腎臓の組織（糸球体、尿管、ヘンレのワナ、集合管、メサンギウム細胞、偽足細胞）	高井 8/28 (火) 4時限

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	物質の摂取・排泄システム4「泌尿器系の構造」	胞、緻密斑、等について説明できる。③腎臓の血流を順序立てて話せる。④尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造を説明できる。⑤蓄・排尿反射機構を理解できる。	高井 8/28 (火) 5時限
47	物質の摂取・排泄システム5「尿生成・体液調節」	尿の生成と体液の恒常性－腎機能〔ゴール〕①原尿の生成機序（糸球体ろ過）と組成が分かる。②物質の再吸収、尿の濃縮、尿成分の調整（ホルモンの影響）について理解できる。③クリアランス・糸球体ろ過量・腎血流量の関係を解説できる。④水分摂取量・排泄量と脱水について説明できる。⑤電解質異常、酸塩基平衡、アシドーシス・アルカローシスについて述べられる。	高井 8/29 (水) 4、5時限
48			
49	物質の摂取・排泄システム6「消化器系の構造」	摂取食物の通り道と付属腺－消化管・消化腺〔ゴール〕①消化管の一般構造が図解できる。②口腔（歯、舌を含む）から肛門までの消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の構造を順に説明できる。③消化管の付属腺（唾液腺、肝臓と胆路、膵臓と膵管）の構造を解説できる。④壁内神経叢と外来神経の分布・機能が理解できる。⑤腹膜と腸間膜の構造と分布が述べられる。	平 9/5 (水) 4、5時限
50			
51	物質の摂取・排泄システム7「消化・吸収・排泄」	汝とは－汝が食べた物そのもの〔ゴール〕①咀嚼、嚥下、胃・腸の運動を説明できる。②消化管運動の神経性・体液性調節が話せる。③排便反射が言える。④消化液と胆汁の分泌機構について説明できる。⑤管内消化と膜消化の相違や各栄養素の消化・吸収の過程が話せる。⑥消化管機能の中樞性制御、摂食中枢と食欲の調節、嘔吐のメカニズムを説明できる。	平 9/12 (水) 4、5時限
52			
53	情報の伝送システム2「内分泌腺の構造と内分泌」	内分泌腺－液性情報（ホルモン）－標的細胞〔ゴール〕①神経系と内分泌系の対比ができる。②内分泌細胞と外分泌細胞の形態・機能の比較ができる。③内分泌諸器官の分布や構造の説明ができる。④ホルモンを化学構造により3タイプに分類できる。⑤各タイプのホルモンの分泌様式と作用様式が分類できる。⑥分泌調節（階層性とフィードバック）について説明できる。	平 10/18 (木) 4、5時限
54			
55	情報の伝送システム3「ホルモンの生理作用」	生体恒常性と生殖の体液性調節－ホルモンの作用〔ゴール〕①内分泌細胞と分泌されるホルモンの対比ができる。②ホルモンの生理作用（成長と代謝の促進、適応力増進とホメオスタシス維持、本能行動発現、他の内分泌腺の機能状態調節）が分かる。③個別のホルモン作用が説明できる。特に血中Ca濃度と血糖の調節機構が言える。④内分泌異常について述べられる。	平 10/31 (水) 4、5時限
56			
57	生命の継続システム1「生殖器系の構造」	命の引き継ぎ－生殖〔ゴール〕①精子を図解できる。②男性の生殖器（精巣、果巣上体、精管、精索、外陰部）と付属腺（精囊、前立腺、尿道球腺）を列挙できる。③勃起と射精のしくみを説明できる。④卵子を図解できる。⑤女性生殖器（卵巣、卵管、子宮、膈、女性外陰部）の構造を説明できる。⑥卵巣・子宮周期とホルモン変動の関連が言える。（「基礎助産学」関連分野）	大森 11/1 (木) 2、3時限
58			
59	生命の継続システム2「生殖・成長・老化」	受精、誕生、成長、老化、死－人間の一生〔ゴール〕①原始生殖細胞、精子・卵子の形成、卵胞発育・排卵、受精、卵割、着床、妊娠、胚子・胎児の形成・発達、胎盤・臍帯の形成、胎児の性分化、等を経て分娩に至る過程を説明できる。②成長（身長・体重の変化・思春期の性成熟）や乳幼児期、少年期、青年期、壮年期、老年期の心身の特性および死について説明できる。	大森 11/19 (月) 2、3時限
60			

# 11. 生体観察実習（必修）〔解剖実習、脳実習、骨学実習、循環調整、脳波、腎機能〕

担当 教員	平 義樹 (コーディネーター)、 吉田 成孝 (解剖学講座機能解剖学分野)、 春見 達郎 (解剖学講座顕微解剖学分野)、 金子 智之 (生理学講座自律機能分野)、 野口 智弘 (生理学講座神経機能分野)、 千葉 龍介 (脳機能医工学研究センター)、 高橋 未来 (脳機能医工学研究センター)、 赤坂 和美 (臨床検査・輸血部)			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第1学年	後期	1単位	45コマ
	履修目的・授業概要 形態機能学で学習した解剖学や生理学のうち、特に重要と考えられる項目について、人体と直接触れあう実習を行い、人体の形態と機能についてより深く理解する。			
到達目標 解剖学関連実習では、ご遺体（解剖体）や標本の観察を通して、各器官・器官系の立体的な配置と形態・構造に関する理解を深め、説明できるようになる。生理学関連実習では、学生自らが互いに検者および被検者となり、正確な手順・操作でデータを取得・記録できるようになる。さらにそのデータを分析・考察し、当該器官・器官系の機能を論理的に説明できるようになる。				
授業の形式 グループ単位で各項目総当たりの実習を行う。実習項目によっては、服装や生活上の配慮が必要であるから、事前に行われるガイダンスには必ず参加すること。				
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 事前に配布する生体観察実習を熟読するとともに当該分野の形態機能学の講義を復習しておくこと。				
成績評価の基準等 各実習におけるレポートの成績および実習直後に実施する試験（脳観察実習）を100点満点（出席点20点+成績80点）で点数化し全実習の平均が60点以上を合格点とする。正当な理由のないレポートの未提出については厳しく対応し、特に複数の実習において未提出の場合は未提出分を含めて合格基準に達していても不合格とするので注意すること。				
学生へのメッセージ 実習は直接ご遺体や測定機器に触れることのできる貴重な時間である。実習にまじめに取り組むことで学習内容に対する理解が自ずと深まることを理解してもらいたい。軽快な身のこなし、俊敏な頭の回転、真摯な学習態度を期待する。				

## 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(特に教科書は指定しない。)			
「生体観察実習の手引き」	担当者	看護学科	0円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	実習説明	①「生体観察実習の手引き」配布 ②実習全体に関する諸注意 ③実習事項と日程の周知・確認 ④グループ分け ⑤担当教員による項目ごとの諸注意 ⑥実習設備・物品・試薬等の準備 ⑦実習機器の調整や標本の確認	平
2			
3			
4			
5			
1	解剖実習見学	【実習目的】 医学科の解剖実習を見学する。体表からでは到底うかがい知れない諸器官の形態、構造および位置関係について実際に観察することによって理解を深め、内在する法則を考察する。同時に個人によってかなりの相違があることも認識する。また、解剖体に直接接することにより生命の尊厳や死について思いをめぐらし、さらには医の倫理をも考究する。 【到達目標】 ①解剖体に触れ、積極的に観察できる。 ②「解剖学実習見学の手引き」に記載された重要な構造について医学生に質問しあるいは解説を求めてより確かな知識とする。 ③解剖実習の見学を契機として人間の生と死について考察する。	平 吉田
2			
3			
4			
5			
1	脳観察実習	【実習目的】 ヒトの脳の標本を観察して、その形態・構造・機能についての理解を深める。 【到達目標】 ①担当教員によるヒト全脳標本、断面標本や分割標本を用いた示説を聞き、脳の全体像や内部の構造について「脳観察実習の手引き」に掲載された図と照合して理解を深める。 ②脳標本の観察を通じて、脳の形態・構造および主な機能について確認・整理できる。	平
2			
3			
4			
5			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	骨学実習	<p>【実習目的】 人体の個々の骨の形態学的特徴や骨格の構成について観察し理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①骨標本を用いて個々の骨の特徴を観察し「骨学実習の手引き」の骨・関節・骨格を示す図中の空欄に学名や重要事項を記入して図を完成させる。</p> <p>②骨格交連標本を参考にして、骨標本の骨と骨を結合・関節させ、人体の骨格を再構築できる。</p> <p>③実際の骨標本を用いた質問に正確に答えることができる。</p>	春見
2			
3			
4			
5			
1	脳波実習	<p>【実習目的】 他覚的な感覚検査法としての誘発脳波を記録する。臨床における生理学的指標としての脳波を実際に測定し、観察する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生全員が検者と被検者の両方を体験する。全員が頭皮上電極を装着できる。</p> <p>②クリック音に対する聴性脳幹反応時の誘発脳波を記録できる。</p> <p>③記録した脳波から、脳の活動状態を解析し、その意味を論理的に説明することができる。</p>	野口
2			
3			
4			
5			
1	循環機能実習 I (心電図)	<p>【実習目的】 心電図の記録法と正常心電図の基本項目について学ぶ。また心臓における電気現象と機械現象の関連を理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生が互いに検者と被検者になり、各自の心電図を正しい操作で記録できる。</p> <p>②記録した心電図から心拍数を算出し、また調律の正しさや異常波の有無などを分析して心臓の機能状態を把握し、論理的にまとめることができる。</p>	赤坂
2			
3			
4			
5			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	循環機能実習 II (循環調節)	<p>【実習目的】 急激な体位変換を行い、その際に起こる心臓レベルの循環調節反応や抵抗血管レベルでの調節を観察し理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生が相互に検者と被検者になり、チルトテーブルを用いて仰臥した状態から急速に立位にし、その時の心拍数や血圧の変化を正確に計測することができる。</p> <p>②上記計測結果を分析し、体位変換による循環系への重力の影響および心臓機能の変化や末梢血管における反射による循環調節機能について論理的に解き明かすことができる。</p>	千葉高橋
2			
3			
4			
5			
1	腎機能実習 (排泄)	<p>【実習目的】 種々の水分負荷に伴う浸透圧クリアランスを求め、腎臓の持つ排泄機能について理解を深める。また、臨床において尿量を測定する意義について理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生各自が水や生理食塩水を飲み経時的に採尿して、尿量や尿中クレアチニン濃度を正確に測定できる。</p> <p>②上記で得られたデータから糸球体ろ過量を計算し、水分負荷に伴う腎臓の排泄機能について論理的に記述することができる。</p>	金子
2			
3			
4			
5			
1	レポート作成・提出	<p>①実習項目ごとに指定された様式でレポートを作成する。</p> <p>②決められた期日までに指定された提出先（レポートボックスまたは担当教員）に提出する。</p>	平
2			
3			
4			
5			

## 12. 代謝栄養学（必修）

担当教員	◎及川 賢輔、比良 徹（非常勤）、 久保田のぞみ（非常勤）、谷口 隆信、矢澤 隆志、 鈴木 裕、大保 貴嗣		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	後期	2単位
コマ数 30コマ			
履修目的・授業概要 我々ヒトは食物を摂取し、これからエネルギーや身体構成成分その他生体活動に必要な物質を作り出すことにより生体としての恒常性を保っています。生化学（代謝学）では、このような生体代謝の分子的な仕組みを理解する。それをベースにして栄養学では栄養・食事の基本的な理解と健康への寄与について学習する。 トラディショナルな栄養学に加え、医療従事者が現今最も求められている新しい栄養学の知識とその世界的動向を学ぶ。葉食同源の視点から栄養学が深く関与する疾病、生活習慣病、代謝病などの理解を深め、その基本的知識を学ぶ。また、ベッドサイドナーシングに必要な栄養学の知識を供給する。			
到達目標 1. 生体構成成分の構造と機能を理解出来る。 2. 糖質、脂質、タンパク質の体内での合成、分解を理解出来る。 3. 核酸の構造、遺伝情報との関係、遺伝子発現について理解出来る。 4. 遺伝情報の誤り、代謝異常にもとづく疾病の成り立ちを理解出来る。 5. 主要な臓器の機能を生化学的側面から説明出来る。 6. 栄養素の構成、主要な栄養素の正常時での働きを説明出来る。 7. 各ライフステージにおける栄養学的留意点を理解出来る。 8. 疾病における栄養の影響を理解出来る。			
授業の形式 PC、レジュメ、板書、OHP、ビデオ等を用いた講義。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 復習に重点を置く学習が良いのですが、履修内容について、あらかじめ教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。疑問点はできるだけ講義中あるいは講義終了直後に積極的に講師に質問するようにしてください。			
成績評価の基準等 「評価方法」：定期試験（100%）＝栄養学（60点）＋生化学（40点） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり。			
学生へのメッセージ 疾患の予防／治療としての食生活／生活習慣を栄養学的／生化学的側面から理解し、将来諸君が看護師として活躍されるための基礎を築いて頂きたい。栄養学の授業時間割数にはかなりの制限があるため食事療法は入門のみ行い、不足分は成人看護学にて行うものとする。生化学分野では教科書に基づき講義を行うため必ず購入し、授業に際し持参すること。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる専門基礎講座 生化学	津田道雄	金原出版	2,100円
(教) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学	小池五郎	医学書院	1,900円
(参) 看護学生のための自己学習②生化学・栄養学	鏡山博行	金芳堂	2,000円
(参) ストライヤー生化学	(訳) 入村 達郎ら	東京化学同人	14,000円
(参) 症例から理解する生化学	(訳) 玉井 洋一ら	東京化学同人	3,786円
(参) 分子細胞生物学コンセプト	小関 直男ら	化学同人	2,200円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	食生活の変遷と栄養素の摂取パターン	戦後からの食生活の変化に伴い、栄養素の摂取パターンが変わり、生活習慣病の発症変動の一因となっていることを理解する。	比良 (非常勤)
2	糖質の栄養	糖質の栄養学的意義を学び、糖質の種類（特にでんぷん）の違いが生体に与える影響について理解する。	〃
3	脂質の栄養	脂質の栄養学的意義を学び、各種脂質（特に異なる脂肪酸）が生体に与える影響について理解する。	〃
4	たんぱく質の栄養	たんぱく質の栄養学的意義を学び、摂取するたんぱく質の量的な変化と生体内における窒素バランスの関係を理解する。	〃
5	たんぱく質の栄養評価	摂取するたんぱく質の質的な違いが生体内に与える影響を学び、たんぱく質の質的な違いを評価する方法を理解する。	〃
6	ミネラル、ビタミンの栄養	ミネラル及びビタミンの分類について理解し、それぞれの栄養機能の概要を理解する。	〃
7	食物繊維の栄養学的意義	食物繊維の定義を理解し、食物繊維が消化管を介した生理作用により健康維持に重要な役割を果たしていることを学ぶ。	〃
8	疾病と栄養機能の関わり1	栄養素が代謝の変動に影響を与えることを理解し、その変動と疾病発症の関わりを学ぶ。	〃
9	疾病と栄養機能の関わり2	一部の栄養素が生体の構成成分となることを理解し、それらの栄養素不足を起因とする疾病発症について理解する。	〃
10	食事摂取基準	食事摂取基準の策定の特徴を学び、栄養素の摂取基準について理解する。	久保田 (非常勤)
11	妊産婦の栄養	妊娠期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と食事について理解する。	〃
12	乳児期の栄養	乳児期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と調乳や離乳食について理解する。	〃
13	幼児期の栄養	幼児期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と幼児食について理解する。	〃
14	学童期の栄養	学童期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と食事のあり方について理解する。	〃
15	思春期の栄養	思春期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	青年期の栄養	青年期に於ける生理学的特徴を学び、それに対応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	久保田 (非常勤)
17	壮年期の栄養	壮年期に於ける生理学的特徴を学び、それに対応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	〃
18	高齢期の栄養	高齢期に於ける生理学的特徴を学び、栄養学的留意点及び摂食・嚥下機能障害に対応した食事形態について理解する。	〃
19	細胞と生体構成成分・酵素	細胞の構造とその構成成分について理解する。また、酵素の役割と基本的性質、さらに酵素活性測定による診断法を理解する。	大保
20	糖質代謝	糖質の基本構造、種類、性質、役割、代謝について理解する。そして血糖調節の機構とその異常を理解する。	〃
21	脂質・アミノ酸・蛋白質の代謝	脂質・アミノ酸・蛋白質それぞれの基本構造、消化と吸収、役割、代謝およびその異常による疾患を理解する。	鈴木
22			〃
23	ヌクレオチド・核酸	蛋白質合成、及び遺伝に基本的役割を担うDNAとRNAの構造と代謝について理解する。さらにDNA複製、転写、翻訳の機構を理解する。	矢澤
24	遺伝子診断・治療	遺伝子工学、DNA診断、遺伝子治療など、その応用と可能性について理解する。	〃
25	水、無機質、ビタミン、ホルモン	生体に含まれる水や無機質、ビタミン、ホルモンの性質、役割、及びその調整について理解する。	〃
26			〃
27	臓器の生化学(1) 肝臓の機能	肝臓の機能を生化学的観点から理解し、解剖学・生理学的知識をリンクさせる。	及川
28	臓器の生化学(2) 腎・筋・脳・神経・血液の機能	腎・筋肉・脳・神経組織・血液の生化学的機能や代謝について理解する。	〃
29	疾患の生化学(1) 悪性腫瘍と炎症など	悪性腫瘍、炎症、免疫、先天性代謝異常の概念を生化学的に重要な事項との関連で理解する。	〃
30	疾患の生化学(2) 生活習慣病	生活習慣病、特に糖尿病、高脂血症、動脈硬化症肥満について、生化学的観点から理解する。	〃



### 13. 感染免疫学（必修）

担当教員	◎及川 賢輔、 藤倉 大輔（教育研究推進センター）、 吉田 逸朗（非常勤）		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	後期	2単位
コマ数 30コマ			
履修目的・授業概要 将来医療現場で必ず遭遇するであろう「感染症」は、時に致命的であり、看護師としても的確な対応が要求されます。そのためには感染症の病態を理解していることが必要です。本学科においては、感染症の原因である「病原体（細菌・ウイルスなど）」の生物学的性状と、それらを排除する生体内機構としての「免疫システム」について学びます。講義は「免疫学」「細菌学」「ウイルス学」の3本立てで構成されます。			
到達目標 1. 細菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、およびウイルスに属する病原微生物の性状を理解し、これらの微生物の増殖と生体応答との相互反応から起こる感染症の発症機序を理解出来る。講義を補完する実習では培養法が理解出来、菌の観察・同定が出来る。 2. 微生物に対応する宿主側の反応としての種々の防御機構を理解出来る。また、免疫反応の宿主への傷害的作用が理解出来る。			
授業の形式 PC、レジュメ、板書、OHP、ビデオ等を用いた講義および実習。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 復習に重点を置く学習で良いのですが、履修内容について、あらかじめ教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。疑問点はできるだけ講義中あるいは講義終了直後に積極的に講師に質問するようにしてください。学修支援システム manaba を利用した、自習用小ドリルを用意します。			
成績評価の基準等 「評価方法」：定期試験（100%） ＝免疫学（40点）＋細菌学（30点）＋ウイルス学（30点） 「評価基準」：原則として定期試験の総得点が60%以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり。			
学生へのメッセージ 最初の免疫学の講義では、細菌感染とウイルス感染で引き起こされる生体内の防御反応を大まかに捉え、その2つの反応を軸として、詳細な免疫のメカニズムをできるだけ平易に解説していきます。それに引き続き、病原体の代表である細菌およびウイルスについて、その生物学的な特徴を、さらに詳しく学ぶ講義が展開されます。入学して初めて「疾病の成り立ち」を学ぶ学科です。目に見えないミクロの世界で何が起きているのか…学んでいきましょう。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学	吉田 眞一 編	医学書院	2,200 円
(教) 休み時間の免疫学	斎藤 紀 先	講談社	2,000 円
(参) わかりやすい微生物・感染症学	青木 眞ら 編	ヌーベルヒロカワ	2,200 円
(参) コンパクト微生物学	小熊・東 編	南江堂	2,000 円
(参) シンプル微生物学	東・小熊 編	南江堂	2,800 円
(参) ワンポイントウイルス学	吉倉・豊田 編	南山堂	4,000 円
(参) エッセンシャル免疫学	笹月 健彦 監訳	メディカルサイエンス・インターナショナル	6,300 円
(参) シンプル免疫学	中島 泉ら	南江堂	2,600 円
(参) 好きになる免疫学	萩原 清文	講談社	1,800 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	免疫学① 免疫学序論	免疫・免疫学とは何かについて、その誕生と発展の歴史も含めて学ぶ。	及川
2	免疫学② 細菌感染に対する防御反応の流れ	感染とは何なのか、細菌の侵入から炎症反応に至る生体内の反応をおおまかに捉える。	〃
3	免疫学③ 細菌感染における抗体産生の流れ	細菌感染に対する防御反応の中で、オプソニン化の役割を果たす抗体がどのように産生されるかについて学ぶ。	〃
4			〃
5	免疫④ ウイルスに対する防御反応の流れ	代表的病原体としてのウイルスの感染により引き起こされる免疫反応を大まかに捉える。細菌感染との違い、自然免疫過程と獲得免疫の過程について学ぶ。	〃
6			〃
7	免疫⑤ 免疫に関わる物質・細胞(1)	補体、抗体、抗原、白血球について学ぶ。	〃
8	免疫⑥ 免疫に関わる物質・細胞(2)	好中球、単球・マクロファージ、樹状細胞、NK細胞・NK T細胞について学ぶ。	〃
9	免疫⑦ リンパ球の世界(1)	B細胞の分化とクラススイッチ、T細胞の分化と種類（Th 1、Th 2、Th 17、Treg）について学ぶ。	〃
10	免疫⑧ リンパ球の世界(2)	細胞傷害性T細胞の反応、胸腺によるT細胞の教育、B細胞・T細胞の多様性について学ぶ。	〃
11	免疫⑨ 免疫と病気のメカニズム(1)	炎症とI型アレルギー疾患について学ぶ。	〃
12	免疫⑩ 免疫と病気のメカニズム(2)	II型・III型・IV型アレルギー疾患について学ぶ。	〃
13	免疫⑪ 免疫と病気のメカニズム(3)	移植と免疫反応について学ぶ。	〃
14	免疫⑫ 免疫と病気のメカニズム(4)	免疫不全を来す疾患、がんと免疫、敗血症などについて学ぶ。	〃
15	細菌学総論 1 細菌の生物学	病原体としての細菌が、二分増殖する原核生物であることを理解し、細菌の分類、形態、構造の概要を把握する。	吉田 (非常勤)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	細菌学総論 2 滅菌と消毒	高压蒸気滅菌、ガス滅菌等の滅菌法、及び各種薬剤等による消毒法の原理を学習し、感染防御におけるスタンダードプレコーションの理念を理解する。	吉田 (非常勤)
17	細菌学総論 3 化学療法	細菌感染症に対する化学療法薬の作用機序を学習し、薬剤耐性菌出現機序並びに抗菌薬適正使用の理念を理解する。	”
18	細菌学各論 1 病原球菌	代表的なヒト病原球菌であるスタフィロコッカス属、ストレプトコッカス属、ナイセリア属等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	”
19	細菌学各論 2 病原杆菌(1)	代表的なグラム陰性病原杆菌である腸内細菌科、ビブリオ科、シュードモナス科、スピロヘータ科等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	”
20	細菌学各論 3 病原杆菌(2)	代表的なグラム陽性杆菌であるクロストリジウム属、コリネバクテリウム属、マイコバクテリウム属等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	”
21	細菌学各論 4 マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア論	マイコプラズマ、リケッチア、及びクラミジアの微生物学的特徴を学習し、これらによる主なヒト感染症の概要を把握する。	”
22	実習 1 細菌の接種	身近常在細菌を検出するために、各種材料を血液寒天平板培地に接種し、培養する。	”
23	実習 2 細菌集落の観察	培地上に形成された細菌等のコロニーを観察・スケッチし、常在細菌の存在を確認する。	”
24	ウイルス学総論 1 ウイルスの生物学	濾過性病原体と呼ばれるウイルスの、分類法、構造、増殖サイクルを、細菌と対比しながら学習し、その生物学的特徴を把握する。	藤倉
25	ウイルス学総論 2 ウイルス感染症の予防と治療	ウイルス感染を制御する抗ウイルス薬の作用機序、並びにウイルス感染を診断するための検査法について理解する。	”
26	ウイルス学各論 1 RNAウイルス(1)	オルソ及びパラミキソウイルス、ラプトウイルス、フィロウイルス、ピコルナウイルス、レオウイルス、トガウイルス、フラビウイルス、コロナウイルス、カリシウイルス、アストロウイルス、ブニヤウイルス、アレナウイルスについて、その概要を把握する。	”
27	ウイルス学各論 2 RNAウイルス(2)	レトロウイルスについて、その感染の概要と起こす病気を把握する。	”
28	ウイルス学各論 3 DNAウイルス(1)	ポックスウイルス、アデノウイルス、パピローマウイルス、ポリオーマウイルス、パルボウイルスについて、それぞれの機構と特徴を理解する。	”
29	ウイルス学各論 4 DNAウイルス(2)	ヘルペスウイルス属のウイルスの構造と、その感染経路並びに潜伏感染機序を理解する。	”
30	5 肝炎ウイルス、腫瘍ウイルス、及びプリオン	A、B、C、D、E型肝炎ウイルスの各々の特徴を理解する。腫瘍をおこすウイルスの種類とその発がん機序を理解する。プリオンについて、その概念と生化学的特徴を理解する。	”

## 14. 健康教育論（必修）〔健康行動理論、自己効力感、ストレスコーピング、ソーシャルサポート〕

担当 教員	◎伊藤 俊弘（看護学科） 伊藤 幸子（看護学科） 久保 千夏（学内特別講師／看護部）		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	後期	1単位
コマ数 15コマ			
履修目的・授業概要 健康教育論の目的は、健康および健康教育に関連する概念・モデルについて広く学び、看護学の各専門領域で実際に行われる健康指導の基礎となる知識を習得することである。 本講義ではWHOによる健康の定義をはじめ、生活習慣病等の健康教育に関連する様々な健康行動理論を学び、さらに若者に対する性教育に必要な知識や喫煙防止教育についても学ぶ。			
到達目標 「健康」、「健康教育」、「ヘルスプロモーション」の概念を説明できる。 健康行動理論に関する各モデルの概念とその活用法の基本を習得し、様々な症例に対応できる知識を身につける。			
授業の形式 教科書、小冊子を用いて講義を行う。講義中に予習課題の発表や健康教育に関する小冊子の作成とその発表を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 事前に教科書をよく読み、さらに講義で配布する課題に必要な事項を記入してから授業に臨むこと。			
成績評価の基準等 評価は定期試験の成績（70%）、課題または小テスト（20%）、および講義の出席状況（10%）により評価する。出席は10回出席を0点として11回目から2点ずつ加算し15回出席で10点とする。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。 出席が2/3に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。			
学生へのメッセージ 一般の人々に、健康やQOLなど疾病予防に関する知識をわかりやすく説明し理解してもらえるように、講義の内容習得に努めること。本講義を通して人々の健康意識を向上させる様々なアプローチを学び、将来の仕事に生かせることを期待しています。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎	松本千明	医歯薬出版	1,800円
医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編	松本千明	医歯薬出版	1,800円
(参) 新版 健康教育ナビゲーター	渡邊正樹	大修館書店	2,268円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	健康・健康教育・ヘルスプロモーション・健康行動モデルの意義 健康信念モデル	WHOの健康の定義、WHOのヘルスプロモーションに関するオタワ憲章とバンコク憲章について学ぶ。 健康教育における健康行動モデルの意義について学ぶ。 健康信念モデル（ヘルスピリーフモデル）の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
2	自己効力感	自己効力感の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
3	変化のステージモデル	変化のステージモデルの概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
4	HIV予防	HIV予防における看護職の役割について学ぶ。	久保千夏 (看護部)
5 6	セクシャルヘルスと思春期の健康	セクシャリティ、セクシャルヘルス/ライツについて学び、思春期の健康を性の側面から理解する。	伊藤幸 (看護学)
7	計画的行動理論	計画的行動理論の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
8	ストレスとコーピングとソーシャルサポート	ストレスとそれに対するコーピングの概念と活用について学ぶ。ソーシャルサポートの概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
9	コントロール所在	コントロール所在の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
10	健康行動理論の現場への応用	講義の前半で学んだ健康行動理論を現場に応用するための方法を学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
11	食事療法	健康行動の観点に基づいて食事療法によるやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
12	運動療法	健康行動の観点に基づいて運動療法によるやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
13	薬物療法	健康行動の観点に基づいて薬物療法へのやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
14	手技	健康行動の観点に基づいて患者にとってやり慣れない手技へのやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
15	健康増進プログラム	健康行動の観点に基づいて健康増進プログラムへの参加のやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)

## 15. 発達心理学（必修）

担当教員			
◎高橋 雅治、池上 将永			
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要			
<p>本講義の目的は、基礎心理学、及び、発達心理学についての基本的な知識を修得することである。</p> <p>基礎心理学とは、人間の心理・行動の基本的な性質を研究する分野である。基礎心理学を理解することは、発達心理学や臨床心理学等の心理学応用分野を理解する上で欠かすことができない。本講義の前半では、簡単な実験等を行いながら、基礎心理学の研究手法と基礎知識を体得する。</p> <p>一方、発達心理学とは、心理・行動の発達の变化全般を研究する分野である。本講義の後半では、医療活動に必要とされる発達心理学の基礎知識を学ぶ。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>人間の感覚、知覚、注意、記憶、学習、動機づけ、情動についての基礎知識を説明できる。</li> <li>乳児期から老年期にわたる心理的・行動的变化についての基礎知識を説明できる。</li> </ol>			
授業の形式			
<p>基礎心理学については、実習とレポート作成を通して基礎的な知識を体得する。一方、発達心理学については、講義を中心として、必要に応じてビデオ教材等も利用する。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>履修前に、履修主題について、参考書等により予習を行うこと。講義終了後に、履修した内容についてまとめること。</p>			
成績評価の基準等			
<p>成績評価は、出席、レポート、および、筆記試験の成績に基づいて総合的に行う。全体の3分の2の出席を評価の前提とする。総合得点が60点以上を合格とする。</p>			
学生へのメッセージ（履修上の心得など）			
<p>発達心理学がもたらした様々な知識は、将来の医療活動にとって重要であるのみならず、自分の成り立ちや自分という人間の今後の展開を考える上で有用である。学生諸君の積極的な参加を望む。</p>			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 心理学辞典	中島ら（編）	有斐閣	7,140円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2 3	知覚1	視覚運動協応についての心理学的な知識を身につける。簡単な実験を通してその研究方法を体得する。	高橋(雅) 池上(心理)
4 5 6	知覚2	弁別と錯視についての心理学的知識を身につける。簡単な実験を通してその研究方法を体得する。	〃
7 8 9	知能検査	知能についての心理学的知識を身につける。知能検査の体験を通してその研究方法を体得する。	〃
10 11 12	思考	記憶についての心理学的知識を身につける。簡単な実験を通してその研究方法を体得する。	〃
13 14 15	意思決定	意思決定についての心理学的知識を身につける。簡単な実験を通してその研究方法を体得する。	〃
16 17	発達心理学とは	進化と発達の関係、系統発生の視点から見た個体発生としての発達について学ぶ。	高橋(雅) (心理)
18 19	知覚と運動の発達	知覚と運動の発達を研究する手法、視覚と聴覚の発達過程、運動の発達過程について学ぶ。	〃
20 21	認知の発達	様々な概念の形成、思考の発達、推論の発達、メタ認知の発達について理解する。	〃
22 23	言語と思考の発達	言語の機能、音韻の獲得、音声の弁別、語彙の発達、言語を用いたコミュニケーションの発達を学ぶ。	〃
24 25	自我と社会的発達	乳児期の遊び、児童期の遊び、社会的関係の発達について理解する。	〃
26 27	青年期の発達	青年期の心理とつまづき、青年の自立、成人への過渡期としての青年期について理解する。	〃
28 29	中年期以降の発達	中年期のストレスと危機、老人期の知能、幸福感、および、ソーシャルサポートなどについて学ぶ。	〃
30	総括	講義全体を総括し、生涯発達という観点について理解を深める。	〃

## 16. 臨床心理学（必修）

担当 教員	丸山 利弥（非常勤）、佐藤 博昭（非常勤）、 ◎長谷川博亮（コーディネーター）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 臨床心理学を概念的だけではなく、演習など体験を通して理解を深め、病を抱えて苦しんでいる人の心理的問題をどのようにとらえ、どのように理解し、そしてどのように対応していくかを学ぶ。 加えて、講義を自分自身を客観的に見つめるきっかけにし、援助者側のメンタルヘルスにも関心を持つ。			
到達目標 ・臨床心理学の基礎知識や社会的位置付けを知る。 ・心理療法の理論や事例を学び、心理学的視点からみた援助者としての姿勢・態度を知る。 ・心理査定の基本理論の説明、簡単な解釈が出来るようにする。			
授業の形式 スライドや講義内容を紹介するのにパワーポイントを用い、講義内容を取りまとめたプリントを配付する。演習やグループワークも取り入れる。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスに記載されている内容を確認し、講義各回のテーマについて、各種書籍、文献等を利用し予習すること。実習、グループワークで感じたこと、考えたことは講義終了後、周囲の友人たちと共有して欲しい。			
成績評価の基準等 成績評価は、毎講義終了時の小レポート、および講義内で扱った内容に関連したテーマが与えられるレポートを用いて総合的に行う。			
学生へのメッセージ ただ講義を聴いているだけではなく、課題やグループワーク等体験を通して理解し、しっかり考えられるようになってほしい。ぜひ、楽しんでください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引	American Psychiatric Association	医学書院	4,860円 (税込)
(参) 心理療法ハンドブック	乾 吉祐他	創元社	3,780円 (税込)
(参) 心理アセスメントハンドブック	上里一郎(監)	西村書店	15,120円 (税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2 3	心理査定1	知能検査について演習を通して学ぶ	丸山 (非常勤)
4 5 6	心理査定2	人格検査について演習を通して学ぶ	
7 8 9	心理療法1	基本となる心理面接技法や精神力動的 心理療法などについて学ぶ	佐藤 (非常勤)
10 11 12	心理療法2	グループワークを通して集団精神療法 やピアカウンセリングについて学ぶ	
13 14 15	心理療法3	人間的アプローチ、その他の心理面接 技法について学ぶ	丸山 (非常勤)
16 17 18	心理療法4	認知行動療法について学ぶ	
19 20 21	事例1	統合失調症・感情障害・強迫性障害・ 発達障害・思春期に特徴的な事例など 心理士との関わりを中心に学ぶ	丸山 (非常勤)
22 23 24	事例2		
25 26 27	事例3		丸山 (非常勤)
28 29 30	事例4		

## 17. 看護学概論（必修）

担当教員	◎升田由美子、神成 陽子、原口真紀子（看護部）、 奥田 久美（看護部）、山内 明美（栄養管理部）、 呂 隆徳（リハビリテーション部）、 尾崎 孝志（地域医療連携室）、 山崎緋沙子（非常勤）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> これから大学で看護学を学び、看護を実践するために必要な思考の技術を学ぶ。看護を学ぶ出発点として、その構成概念である。「看護」「人間」「健康」「環境」「生活」について学習する。さらに、社会の中の看護について学習し、看護者としての自己の在り方を探求する。			
<b>到達目標</b> 一般目標 看護に関する基本的知識を学び、看護の対象である人間の尊厳と倫理観、現代社会と医療における看護の役割について理解する。 行動目標 1. 看護の概念と、その概念に内包される共通要素（下位概念）を列挙することができる。 2. 看護の対象である「人間」の基本的特性について、人間の基本的欲求と適応、成長と発達、環境とのダイナミックな関係という観点から説明できる。 3. 看護における、統合体としての「人間の生活」の意味を説明できる。 4. 人間の生活や生き方を規定する「健康」の概念と、その考え方の変遷を説明できる。 5. 健康と環境の関係について説明できる。 6. 社会のなかの看護実践について、法と倫理、保健医療福祉活動の観点から理解する。 7. 看護の職業発展と看護教育の変化、およびそれらの関係性について理解する。 8. 現代医療のなかの看護の実際と課題について理解する。			
<b>授業の形式</b> 講義は教科書および配付資料に基づいて進める。また、実際の臨床での活動について非常勤講師による講義を行う。いずれも学生からの積極的な質問を期待する。またグループ学習を行い、その内容を発表する。適宜、理解度を確認するための小テストを行う。講義の内容に関連して別途提示する課題レポートを作成する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 履修主題・履修内容について教科書・参考書により予習する。また、別途配付する資料に基づいて課題レポートを作成・提出する。グループ学習は、事前に自分で文献・資料を用いて個人学習をしてから臨む。予習・復習に関してはガイダンスで配付する「学習要項」を熟読し計画的に取り組むこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席状況：10点（1コマ欠席につき2点減点） 定期テスト：50点（教科書と自筆ノートの持ち込み可） 事前学習課題等の提出物：20点 課題レポート：20点（ルーブリック評価）によって評価を行う。 計100点のうち60点以上をもって合格とする。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> これから大学で4年間学ぶ「看護」と「看護学」について取り上げます。この講義が皆さん自身の看護観形成につながることを期待しています。大学生に必要な「主体的に学ぶ」姿勢で講義や課題に取り組んでください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(1) 看護学概論 第16版	茂野香おる他	医学書院	2,400円+税
(教) 看護覚え書 改訂第7版	ナイチンゲール 湯槇ます他訳	現代社	1,700円+税
(教) 看護の基本となるもの	ヘンダーソン 湯槇ます他訳	日本看護協会 出版会	1,200円+税
(教) レポート・論文の書き方入門	河野哲也	慶応義塾大学 出版会	1,000円+税
(参) 看護学生のためのレポート書き方教室	江原勝幸	照林社	1,900円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	本科目の目的・目標、学習内容・方法について、履修上の留意点	升田
2	看護実践と思考技術	看護実践に必要な思考技術について学ぶ。①クリティカルシンキング②問題解決思考③リフレクション	〃
3	〃	〃	〃
4	現代の医療制度と看護	現代社会における医療制度と看護の実際について理解する。	〃
5	〃	〃	〃
6	看護職の発生と歴史	看護職の形成に影響した哲学的伝統と社会的要因を理解する。時代のニーズと看護の変遷を学ぶ	〃
7	〃	ナイチンゲール及びヘンダーソンの看護活動と専門性の発展について学ぶ。	〃
8	看護の定義・構成概念	「看護」の定義と、看護を構成する概念について学ぶ。	〃
9	〃	〃	〃
10	看護の構成要素①人間の基本的特性	人間の基本欲求と適応について学ぶ。 ①基本的欲求の概念	〃
11	〃	人間の成長・発達について学ぶ。 ①成長と発達の原則②身体的・心理的・社会的発達の課題と特徴	〃
12	〃	統合体としての人間と生活について学ぶ。 ①統合体としての人間 ②看護における生活の意味	〃
13	看護の構成要素②環境	人間と環境について学ぶ。 ①環境の概念 ②人間との環境の関わり	神成
14	看護の構成要素③健康	健康の概念とその変遷について学ぶ。 ①健康の定義 ②健康の概念の発展過程 ③人間の健康観	〃
15	〃	健康の成立要因と看護について学ぶ。 ①健康と環境の関わり ②看護における健康の意味	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	看護の対象	看護の対象（個人・家族・集団）について学ぶ	升田
17	社会の中の看護①看護の実践とは	看護実践するとは何かを学ぶ。 ①看護と看護実践 ②看護実践の構成要素 ③看護の科学的過程と人間関係の過程	〃
18	社会の中の看護②看護を支える法と倫理	我が国の看護職に係る法体系と看護実践の法的根拠を学ぶ。	〃
19	〃	看護実践における倫理とは何かを学ぶ ①看護者の倫理綱領 ②看護学生の倫理行動基準	〃
20	社会の中の看護③看護と保健医療活動	保健医療福祉活動における看護の役割とチーム医療について学ぶ。 ①保健医療福祉活動とは ②保健医療福祉活動と看護職の役割	〃
21	〃	地域における在宅医療と看護活動の実際について学ぶ。	山崎 (非常勤)
22	〃	保健医療活動における他職種の役割と連携①栄養士の役割	山内 (栄養管理部)
23	〃	保健医療活動における他職種の役割と連携②理学療法士・作業療法士の役割	呂 (リハビリテーション部)
24	〃	保健医療活動における他職種の役割と連携③MSWの役割	尾崎 (地域医療連携室)
25	社会の中の看護④看護教育と職業発展	看護職の専門性の発展と看護教育の変化について学ぶ。ベナーの看護理論により看護の専門性発達について理解する。	升田
26	社会の中の看護⑤継続教育と看護の専門性の発展	専門看護師・認定看護師の活動の実際を学ぶ。	奥田 (看護部)
27	社会の中の看護⑥看護職のキャリア発達とワークライフバランス	看護職のキャリア発達およびワークライフバランスについて学ぶ。	未定 (非常勤)
28	社会の中の看護⑦医療制度と看護管理の実際	我が国の現代医療制度と看護管理の目的と実際について理解する。	原口 (看護部)
29	〃	大学病院における看護管理と実践について、旭川医科大学病院の事例から学ぶ。	〃
30	まとめ	保健医療福祉活動が直面する課題と看護職の役割	升田

## 18. 基礎看護技術学 I (必修)

担当教員	◎一條 明美、升田由美子、神成 陽子、 網元 亜依、佐藤 貴子 (非常勤講師)、 高橋 幸恵 (非常勤講師)、他		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	前期	1単位
コマ数			
30コマ			
<b>履修目的・授業概要</b> 看護技術の概念を理解し、看護ケアに必要な基本的技術を科学的根拠に基づき学ぶ。			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護技術の概念を理解し、看護実践における看護技術の位置づけを説明できる。</li> <li>2. 看護における観察・記録・報告の目的、必要性、方法を説明し、看護実践上の意義を述べられる。</li> <li>3. 看護におけるコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションの方法を説明できる。</li> <li>4. 医療における感染予防の重要性、標準予防策を理解し、基本的な技術を身につける。</li> <li>5. ボディメカニクスの原理を理解し、看護実践におけるボディメカニクスの意義を述べられる。</li> <li>6. 看護実践におけるバイタルサインの観察の意義と観察のための留意点を述べられる。</li> <li>7. 療養生活における生活環境の意義が述べられる。</li> <li>8. 日常生活における活動と休息の意義を述べられる。</li> <li>9. 看護実践における安全・安楽・自立の重要性を理解し、以下の技術の基本を身につける。日常的手洗い・衛生的手洗い(手指消毒)、呼吸測定、脈拍測定、血圧測定、体温測定、ベッドメイキング、車いすの移送。</li> </ol>			
<b>授業形式</b> 講義・演習を行う。教科書、資料、視聴覚教材を用いて進める。單元または演習ごとに事前学習、事後学習を課す。			
<b>準備学習(予習・復習)等の内容と分量</b> 事前に單元ごとの学習目標と事前学習の資料を配付します。該当の教科書・参考書を熟読し、事前学習を行い講義に出席してください。また、事前学習は提出期限までに提出してください。演習は、最低限実施する看護技術の手順を覚えて出席してください。手順がわからないと演習が円滑に行えず、時間内に終わらない場合があります。グループメンバーに迷惑がかかります。演習後は、事後学習資料を配付します。また、実技試験の対象になります。主体的に学習計画を立て、繰り返し練習してください。必要なとき、いつでも実施できるような身につけることが目標です。そのために、個別指導が受けられる実習室アワーを設けます。詳細は、講義の中で説明します。			
<b>成績評価の基準等</b> 試験：70%、筆記試験(期末)35%、実技試験(中間)35% 提出課題：25%(未提出・内容不足は減点、十分な内容は加点) *遅滞は受理しない。 出席状況：5%(2コマ欠席につき1点減点) 2/3以上の出席かつ計100点満点中60点以上で合格とする。 ただし再試験の評価は可を限度とする。			
<b>学生へのメッセージ</b> この科目では卒業までに最低限必要な看護技術の中でも、特に基礎となる内容を学びます。授業の理解には形態機能学の知識が必要です。学習の状況に応じて、予習・復習をしましょう。演習は患者役、観察者または評価者において全員が実施します。技術を実施するだけでなく、患者の立場で考えたり、他者の技術を客観的に見て、お互いに学びましょう。また、技術を身につけるためには、反復練習が必要です。実習室アワーを利用して積極的に学習することを期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野I 基礎看護技術I	茂野香おる	医学書院	2,600円 +税
(教) 系統看護学講座専門分野I 基礎看護技術II	茂野香おる	医学書院	2,900円 +税
(教) 看護技術がみえるvol.1 基礎看護技術	医療情報 科学研究所編	メディック メディア	3,000円 +税
(教) 看護ヘルスアセスメント	稲葉佳江編	メヂカルフ レンド社	3,500円 +税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	科目の概要、学習方法を学ぶ。基礎看護学実習室の使用方法を学ぶ。	一條
2	看護技術の概念	看護技術とは何か、看護実践における看護技術の位置づけを学ぶ。看護実践における安全・安楽の重要性を学ぶ。	〃
3	観察	看護における観察の意義を学ぶ。観察の目的、方法を学ぶ。	〃
4	記録・報告	看護の情報とは何か、看護における記録・報告(SBAR)の意義を学ぶ。	〃
5	コミュニケーション	看護におけるコミュニケーションの意義を学ぶ。	〃
6	〃	言語的、非言語的コミュニケーションについて学ぶ。	〃
7	〃	演習を通して自己のコミュニケーションの傾向を考える。	一條 網元
8	感染予防	感染の要因と感染予防における看護師の役割について学ぶ。	一條
9	〃	標準予防策について学ぶ。医療廃棄物の管理を学ぶ。	〃
10	〃	演習：日常的手洗い、衛生的手洗い(手指消毒)を学ぶ。	一條 網元
11	ボディメカニクス	ボディメカニクスの定義、原理、動作の経済性および看護への活用について学ぶ。	一條
12	〃	〃	〃
13	〃	〃	〃
14	バイタルサインの観察	バイタルサインとは何かを学ぶ。呼吸・循環・体温の観察の意義を学ぶ。	〃
15	〃	〃	〃



コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	バイタルサインの観察	演習：呼吸、体温、脈拍の観察方法を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
17	”	演習：血圧測定の方法を学ぶ。	”
18	”	”	”
19	”	”	”
20	生活環境	環境因子と環境調整の意義を理解する。患者の生活環境とその整備について学ぶ。毎日の病床整備について学ぶ。	一條
21	”	”	”
22	”	演習：環境調整の技術（ベッドメイキング）を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
23	”	”	”
24	”	演習：病床の環境整備に関して事例を用いて学ぶ。	一條 升田 神成 綱元
25	活動と休息	人間にとっての活動と休息の意義を学ぶ。サーカディアンリズムを理解する。	一條
26	”	廃用性変化とその予防について学ぶ。日常生活動作、姿勢と体位について学ぶ。	”
27	”	”	”
28	”	全身の酸素化と酸素化が活動に与える影響を学ぶ。	”
29	”	移動、移乗・移送の基本を学ぶ。	”
30	”	演習：車椅子の移送方法について学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他

## 19. 基礎看護技術学Ⅱ（必修）

担当教員	◎一條 明美、升田由美子、神成 陽子、 綱元 亜依、佐藤 貴子（非常勤講師）、 高橋 幸恵（非常勤講師）、 宮地美穂子（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	2単位	60コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 人間の日常生活に対する理解を深め、日常生活に関する援助技術を科学的根拠に基づいて学ぶ。援助技術に共通な安全・安楽・自立の視点を踏まえ、基本的な方法について学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 人にとっての日常生活の意義と日常生活を援助することの意義を述べられる。 2. 日常生活における清潔の意義を説明できる。 3. 対象に適した身体の清潔に関する基本技術を身につける。 4. 対象に適した活動・休息の基本技術を身につける。 5. 濯法の基礎的知識に基づき、冷濯法・温濯法が実施できる。 6. 健康生活における食と栄養の意義を説明できる。 7. 対象に適した食と栄養に関する基本技術を身につける。 8. 日常生活における排泄の意義を説明できる。 9. 医療における感染予防の重要性、方法を理解し、基本的な技術を身につける。 10. 対象者の個性、多様性に合わせた看護援助について説明できる。 11. 看護実践における安全・安楽・自立の視点を踏まえ、以下の技術の基本を身につける。体位変換、リネン交換、病衣交換、洗髪、清拭、部分浴、口腔ケア、陰部洗浄、食事介助、床上排泄の介助、腹部のフィジカルアセスメント、洗腸、導尿、無菌操作			
<b>授業の形式</b> 講義・演習を行う。教科書、資料、視聴覚教材を用いて進める。単元または演習ごとに事前学習、事後学習を課す。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 事前に単元ごとの学習目標と事前学習の資料を配付します。該当の教科書・参考書を熟読し、事前学習を行い講義に出席してください。また、事前学習は提出期限までに提出してください。演習は、最低限実施する技術の手順を覚えて出席してください。手順がわからないと演習が円滑に行えず、時間内に終わらない場合があります。グループメンバーに迷惑がかかります。演習後は、事後学習資料を配付しますので学習し、期限までに提出してください。事後学習はのちに自己学習するとき役立つ内容であることが目標です。内容が不足の場合は再提出が指示される場合があります。演習で学習した看護技術はその後の演習で必要となります。また、実技試験の対象となります。自主的に計画を立て、繰り返し練習してください。必要なとき、いつでも実施できるよう身につけることが目標です。そのために、個別指導が受けられる実習室アワーを設けます。詳細は、講義の中で説明します。			
<b>成績評価の基準等</b> 試験：70%、筆記試験（期末）35%、実技試験（中間・期末）35% 提出課題：25%（未提出・内容不足は減点、十分な内容は加点） *遅滞は受理しない。 出席状況：5%（3コマ欠席につき1点減点） 2/3以上の出席かつ計100点満点中60点以上で合格とする。 ただし再試験の評価は可を限度とする。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> この科目では日常生活にかかわる援助の基本を学びます。演習で学ぶ技術は、臨床で対象者に援助することの基本となるものです。技術を身につけるためには、提示された事前課題（予習）に取り組み、演習での学びを充実させ、事後学習（復習）することが必須です。計画的に学習してください。また、ボディメカニクスや体位変換・体位保持など基礎看護技術学Ⅰで学んだ技術が必要です。いつでも実施できるよう常に練習し、基礎看護技術学Ⅱの演習に支障がないようにしてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	2,600円 ＋税
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	茂野香おる	医学書院	2,900円 ＋税
(教) 看護技術がみえるvol.2 基礎看護技術	医療情報 科学研究所編	メディック メディア	3,600円 ＋税
(教) 七訂 食品成分表 2018	香川明夫監修	女子栄養大 学出版部	1,512円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	日常生活援助	日常生活とは何か、日常生活を援助することの意義を学ぶ。	一條
2	清潔	健康な生活における身体の清潔、整容の意義を学ぶ。	〃
3	〃	健康な生活における衣の意義を学ぶ。	〃
4	〃	衣のアセスメントについて学ぶ。更衣の援助方法を学ぶ。	〃
5	〃	身体の清潔、整容のアセスメントについて学ぶ。	〃
6	〃	身体の清潔の援助方法とその原則を学ぶ。	〃
7	活動・休息	演習：臥床患者の体位変換と体位保持の方法を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 宮地
8	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃
10	生活環境	演習：環境調整の技術（臥床患者のリネン交換）を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
11	〃	〃	〃
12	〃	〃	〃
13	清潔	演習：臥床患者の病衣交換の技術を学ぶ。	〃
14	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	清潔	洗髪目的、基本的な留意点を学ぶ。	綱元
17	"	演習：ケリーボードを使用した臥床患者の洗髪技術を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
18	"	"	"
19	"	患者の健康状態に合わせた身体の清潔の援助方法について学ぶ。	一條
20	"	演習：基本的な清拭の方法を学ぶ。	一條 神成 綱元
21	"	演習：臥床患者の清拭、足浴の援助について学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
22	"	"	"
23	"	"	"
24	"	"	"
25	"	演習：臥床患者の陰部洗浄の技術を学ぶ。	"
26	"	"	"
27	"	演習：臥床患者の口腔ケアの技術を学ぶ。	"
28	"	"	"
29	食と栄養	健康な生活における食の意義を学ぶ。	神成
30	"	栄養状態のアセスメントについて学ぶ。	"

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	食と栄養	栄養状態のアセスメントについて学ぶ。	神成
32	"	演習：対象に適した食と栄養の援助について学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
33	"	"	"
34	"	健康状態に応じた栄養摂取の方法を学ぶ。	神成
35	"	健康状態に応じた栄養摂取の方法を学ぶ。	"
36	清潔	患者の健康状態に合わせた援助について事例を使って学ぶ。	一條
37	電法	電法の目的、適応、種類を学ぶ。温熱刺激による生体への反応を学ぶ。	"
38	"	演習：温電法、冷電法の技術を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
39	"	演習：温電法、冷電法の技術を学ぶ。	"
40	排泄	健康な生活における排泄の意義を学ぶ。	神成
41	"	排泄状態のアセスメントについて学ぶ。	"
42	清潔	演習：事例による課題学習を行い、対象者に適した援助について考える（グループワーク）	升田 一條 神成 綱元
43	"	"	"
44	"	"	"
45	排泄	自然な排尿のための援助を学ぶ。	神成

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	排泄	自然な排便のための援助を学ぶ。	神成
47	〃	演習：床上排泄の援助（便器・尿器の使用）を学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
48	清潔	演習：事例による課題学習を行い、対象者に適した援助について考える（グループワーク発表）	升田 一條 神成 綱元
49	〃	〃	〃
50	〃	〃	〃
51	排泄	健康状態に応じた排泄の援助および腹部のフィジカルアセスメントについて学ぶ。	神成
52	〃	浣腸の目的、適応、方法について学ぶ。	〃
53	〃	演習：腹部のフィジカルアセスメントおよびグリセリン浣腸について学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
54	感染予防	感染予防技術の種類と方法、留意点について学ぶ。	神成
55	〃	演習：個人防護用具の着脱方法について学ぶ。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
56	〃	演習：無菌操作の原則、清潔・不潔の観察と判断について学ぶ。	〃
57	排泄	導尿の目的、適応、方法を学ぶ。	神成
58	〃	演習：一時的導尿について学ぶ。シミュレータを用いて、導尿の技術を身につける。	一條 神成 綱元 佐藤 高橋 他
59	〃	〃	〃
60	まとめ	看護実践と看護技術の関係を考える。	一條

## 20. 対人関係論（必修）

担当 教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 人間関係を個人から集団まで広く捉えながら、対人関係の理論と対人スキルの基本を学ぶ。さらに、臨床の場において様々な対人関係を捉える視点をもち、その関係性を活用することで、看護援助の質を高めることを目標とする。			
到達目標 1. 対人関係論を重視した看護理論を理解し、看護における対人関係の特徴を説明することができる。 2. 集団における対人関係の特徴について、グループ・ダイナミクス、リーダーシップ・メンバーシップを体験し説明することができる。 3. 言語的・非言語的コミュニケーションの基本概念を理解し、コミュニケーションの可能性と限界について説明することができる。 4. カウンセリングの基本態度を理解することで、「傾聴」の必要性についていくつかの視点から考えることができる。 5. 相手を受容するコミュニケーションについてポイントをおさえながら実践することができる。 6. 対人援助職における自己理解の必要性について考えることができる。			
授業の形式 講義が中心です。講義前に資料を配布します。グループワークやロールプレイ等を講義の中で数多く取り入れます。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 理論的な部分も触れますので、予習・復習は必ずして欲しいです。また、講義中に行う演習を大事にしてください。対人関係は何よりも実践から学ぶことが重要です。そのため、演習のウエイトが高いです。			
成績評価の基準等 ①出席状況（演習の参加状況、積極性、発言）50% ②レポート50%			
学生へのメッセージ 対人関係を深めるためには能動的な姿勢が重要です。最初はロールプレイをしても恥ずかしく思い、消極的になることもあるかもしれませんが、そのような部分も自己理解しながら主体的に参加してください。この講義が終わると、看護実習等で対象者とのかわりがきつと変化することでしょう！			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 人間関係論	長谷川 浩	医学書院	2,160円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	対人関係論のガイダンス	・授業の進め方、成績評価 ・対人関係論が目指すところ	長谷川
2	看護と対人関係論	・対人関係を重視した看護理論の概念 ・対人関係のプロセスと看護の役割	長谷川
3	コミュニケーションの基本	・「伝える」「受けとる」体験 ・グループ・ダイナミクス ・コミュニケーションの構造	長谷川
4	言語的・非言語的コミュニケーション	・言語的・非言語的コミュニケーションの機能と種類	長谷川
5		・言語的・非言語的コミュニケーションの特徴と限界	長谷川
6	自己理解	・自己を客観視し理解する ・自己開示と自己呈示	長谷川
7		・カウンセリング・マインド ・傾聴とは	長谷川
8	カウンセリングの基本的態度	・受容と共感 ・共感の効果	長谷川
9		「傾聴」「受容」「共感」の実際 ・「傾聴」「受容」「共感」をロールプレイで体験する	長谷川
10	アサーションと看護	・アサーションの基本概念 ・自分のアサーション度は？ ・自己の権利を主張するとは？	長谷川
11		・場面に応じたアサーションの方法 ・アグレッシブな自己主張と不利益 ・看護援助とアサーションの活用	長谷川
12	コーチングと看護	・コーチングの基本概念 ・状況に応じた質問方法 ・コーチングの効果を実験する ・看護への活用の可能性	長谷川
13	リーダーシップとメンバーシップ	・多職種連携を体験する ・多職種連携に必要な視点	長谷川
14		・リーダーの役割と必要性 ・メンバーの役割と機能	長谷川
15	まとめ	・看護と対人関係 ・レポートの提出に関して	長谷川

## 21. 地域看護学（必修）

担当教員	◎塩川 幸子、藤井 智子、北村久美子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 地域看護は、病人の訪問看護活動に由来しており19世紀中頃に1つの地域（イギリスのリバプール）での組織的な活動に始まるとされている。その背景には、ナイチンゲールがすでに看護の領域に病院看護とともに地域看護を位置づけるとした考えがあった。病院・施設あらゆる地域の看護活動が網羅されるもので、人々が地域・病院・施設いづれにあっても、必要なときに必要な看護が継続的に総合的に提供される看護のしくみ、保健医療福祉ネットワークされたシステムを看護でつくり出すことの重要性を理解する。看護師、保健師、助産師はPHCに基づく看護活動の必要性を理解する。 ここでは、地域看護の概念を広く捉えることとする。			
到達目標 ・地域看護は、地域で生活している人々の健康やQOLの向上を目指した活動であることを理解する。 ・保健師・助産師・看護師の看護職がこぞって協力し合い、地域の中で看護をとおして住民の健康を守ることを理解する。 ・地域特性（地域医療含む）をふまえ、地域で生活する人々の看護のあり方について深める。			
授業形式 講義、グループワーク、地域見学を考えています。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 世の中の移り変わり、人々が生活するということについて考えをまとめておくこと。毎回の講義終了後、履修主題について自分の考えをまとめておくこと。			
成績評価の基準等 出席（20%）、試験（80%）から総合的に評価します。 2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。			
学生へのメッセージ 地域を対象とした看護とは何だろう、地域社会における人々の生活、暮らしを基盤にした看護とは何だろう、健康な人への看護とは何だろう……と次々に疑問が湧くことを望んでいます。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護師教育のための地域看護概説	眞船拓子編集	ヌーベルヒロカワ	2,100円
(参) ナイチンゲール著作集第2巻	薄井担子訳	現代社	3,672円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	なぜ地域を基盤とした活動が重要か	学生が住んでいた「地域」に着目し、あらゆる健康段階にある人々が懸命に生きていることを理解し、地域を基盤にした活動の重要性を学ぶ。	北村(非常勤)
2	地域看護活動と看護理論	ナイチンゲールの看護理論から地域看護の原点を学ぶ。北海道巡回看護師制度をとおして地域看護の原点を学ぶ。	
3	"	地域看護の基盤となる主要概念であるプライマリヘルスケアとヘルスプロモーション、ノーマライゼーション、セルフケアについて学ぶ。	"
4	地域看護と公衆衛生看護	「地域看護とは何か」のコンセンサスは得られていない現状であるが、相違点・類似点・関連性等について学ぶ。	"
5	地域看護活動の展開	地域看護活動の展開過程を理解する。	"
6	地域看護の対象としての個人・家族	地域での生活者としての健康・生活を見る視点、家族をみる視点をとおし家族支援の意義について学ぶ。	"
7	"	"	"
8	地域看護の行われる場の活動と特質①	地域看護活動分野・活動対象・活動方法について具体的に理解する。	"
9	地域看護の行われる場の活動と特質②	地域看護活動分野・活動対象・活動方法について具体的に理解する。(インタビュー)	塩川
10	"	"	"
11	地域看護の行われる場の活動と特質③	" (インタビュー結果の報告)	北村(非常勤) 藤井 塩川
12	"	"	"
13	地域看護活動における技術	地域で行われる家庭訪問、集団検診、健康相談、健康教育、地区組織活動の基本と看護職の連携調整技術を学ぶ。	藤井
14	"	"	"
15	地域看護の展望	地域特性（地域医療含む）をふまえ、地域で生活する人々のニーズに添う看護のあり方について模索する。	"

## 22. 早期体験実習Ⅰ（必修）〔地域医療・社会福祉・保健行政・コミュニケーション・プロフェッショナルリズム〕

<b>担当教員</b>	教育センター 地域医療教育部門、 服部ユカリ（老年看護学）、 外部講師、各実習施設担当者		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第1学年	前期	1単位	31コマ
<b>履修目的・授業概要</b>			
早期体験実習Ⅰは、医学生の早期に医療・保健・福祉の現場で体験実習を行う事により、医療者として必要な能力・行動規範に対する関心を高める実習です。医学科・看護学科の合同実習として行います。			
<b>到達目標</b>			
【一般目標】 将来活動する、地域に根差した質の高い医療者となるために、地域社会における医療・保健・福祉の現場を体験し、医療者に必要とされる能力や行動規範を理解する。			
【行動目標】 (1)高齢者や介助が必要な人の視点に立ち、個別のケースでふさわしい支援方法を見つけることができる。 (2)医科大学で学ぶ学生にふさわしい、安全で衛生的な行動ができる。 (3)医療・保健・福祉の現場において多職種関連が必要な理由を説明できる。 (4)実習施設のスタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。 (5)患者さんや施設利用者の方々と良好なコミュニケーションをとることができる。 (6)実習を通して学んだ事柄から、自分自身の将来あるべき医療者の姿を説明することが出来る。			
<b>授業の形式</b>			
(1)オリエンテーション：講義形式で行います。 (2)グループワーク：実習施設の事前学習と、実習における目標設定をグループメンバーで行います。 (3)学内演習：学外施設実習で必要となる可能性がある項目のうち、高齢者体験・食事介助・車椅子・標準手洗いを小グループに分かれて学習します。 (4)反プロフェッショナルリズムに関するワークショップ：学外施設実習へ行く前に、反プロフェッショナルリズムに関するワークショップに参加し、医療者としての行動規範・倫理観について考察します。 (5)学外施設実習：原則2日間、学外の施設で実習を行います。 (6)発表会：実習先ごとに現場で学んだことを発表し、情報の共有と意見交換を行います。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
この実習では、実習時間外の学習時間が比較的多くなります。必要であれば、授業で用意された時間以外にもグループワークで話し合いをしたり、事前の準備・事後のまとめ作業を行って下さい。 学外施設実習が始まるまでに「アカデミック・スキルズ」などの大学でも学び（高等教育）に必要な情報が書かれた書籍を読了しておくこと。大学での学び方をすでに理解していることを前提に評価を行います。 また学外施設実習の前に、自分たちで立てた実習目標をクリアするために必要な情報を整理しておいてください。参考書は報告書提出までに最低1冊は読了しておくことと良いでしょう。 さらに自己評価表や報告書など、実習で使用した資料・プロダクトを整理・保管しておくこと、早期体験実習Ⅱや臨床実習・地域医療実習でも役に立つでしょう。			
<b>成績評価の基準等</b>			
出席状況と態度・報告書（約50%）・報告会の発表内容（約20%）を主な評価対象とします。さらに自己評価及び実習施設での評価表の内容を加えて総合的に評価します。 行動目標の(1)(3)(6)については、報告書および報告会での発表内容を中心に到達度を評価します。行動目標の(2)(4)(5)に関しては、報告書・自己評価表を使って総合的に評価します。 病気などで実習に参加できない場合には、学則を尊重して必要な手続きを取って下さい。なお実習に参加しない場合には、評価対象になりませんので注意してください。報告書については後日返却します。			
<b>学生へのメッセージ</b>			
本実習は講義と異なり、単位認定にはすべての授業・実習に出席する事が原則となります。また学外実習施設においては患者さんや施設利用の方たちと接するので、実習を行うのにふさわしい身なり・言葉遣い・態度が必要です。さらに医療者としての健康弱者にどのように対応していくことが必要なかを体得して来てくれることを、教員一同期待しています。また、健康弱者に接する時には、自身が健康でなければなりません。実習前は特に自分の健康管理に注意し、実習に臨むようにしてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 実践！患者満足度アップ	前田 泉	日本評論社	1,600円+税
(参) チーム医療とは何か	細田 満和子	日本看護協会 出版社	2,592円
(参) 超高齢社会の基礎知識	鈴木 隆雄	講談社現代新書 (電子書籍あり)	648～799円 +税
(参) アカデミック・スキルズ (第2版) 一大学生のための知的技法入門	佐藤 望 他	慶応義塾大学 出版会	1,000円+税
旭川医科大学病院 院内感染対策マニュアル Ver 4 2014改訂版	旭川医科大学病院 感染制御部	旭川医科大学病院 ホームページ内	無料 (学内限定)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1～3	ガイダンス・グループワーク (平成30年5月9日午後)	実習内容・評価方法の説明 講義：高齢者とのコミュニケーション 講演：接遇について グループワーク：学外実習準備	教育センター 地域医療教育部門、 服部ユカリ、 外部講師、 その他
4～9	学内演習・反プロフェッショナルリズムWS (平成30年5月16日・21日・22日)	学内演習 1) 高齢者疑似体験・高齢者とのコミュニケーション 2) 車椅子介助 3) 食事のケア 4) 標準手洗い 反プロフェッショナルリズムに関するワークショップ	教育センター 地域医療教育部門員 その他
10～25	施設実習 (平成30年5月22日～25日)	学外施設実習 1) 各実習施設へ赴き、それぞれの実習を行う。 2) 患者さん、施設利用者の方たちとのコミュニケーション（実践・振り返り） 3) 各施設で働く同職・多職種とのコミュニケーション・コラボレーション（実践・振り返り） 4) 医療者としての自身の将来像を考察する。 5) 発表会の資料を作成する。	各実習施設の担当者
26～31	報告会 (平成30年5月28日)	実習施設ごとの班で発表を行い、情報共有と意見交換を行う。 1) 各グループの持ち時間は5分を予定。 2) 司会・タイムキーパー・マイク係は学生が交代で行う。	教育センター 地域医療教育部門員 その他

## 23. 基礎看護学実習 I (必修)

担当 教員	◎神成 陽子、升田由美子、一條 明美、 網元 亜依、非常勤講師、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	1週間
履修目的・授業概要			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の生活を理解する。</li> <li>2. 患者が受けている看護を理解する。</li> <li>3. 看護実践に必要な基本的態度を身につける。</li> </ol>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の生活（入院前・退院後を含む）を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の入院生活を把握し、述べることができる。</li> <li>2) 患者が生活している環境を把握し、述べることができる。</li> <li>3) 身体的・心理的・社会的側面から統合体である患者の生活について考え、述べることができる。</li> <li>4) 患者の入院生活と看護について自分の考えを述べることができる。</li> </ol> </li> <li>2. 患者が受けている看護を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護援助を受けている患者を観察することができる。</li> <li>2) 実践されている看護の必要性を知識を活用して考え、述べる ことができる。</li> <li>3) 実践されている看護の安全・安楽・自立について述べるこ とができる。</li> <li>4) 看護実践におけるコミュニケーション（患者－看護師間、看護 師－看護師間、患者－学生間）の重要性を述べる ことができる。</li> <li>5) 医療がチームで実践されていることについて述べるこ とができる。</li> </ol> </li> <li>3. 看護実践に必要な基本的態度を身につける。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護実践の見学や体験を通して患者の安全・安楽・自立につ いて考え、看護師のとるべき行動について述べるこ とができる。</li> <li>2) 看護チームにおける連絡・報告の重要性を理解し、行動できる。</li> <li>3) 看護学生として倫理的な行動をとることができる。</li> </ol> </li> </ol>			
授業の形式			
<p>実習ガイダンス：①基礎看護学実習 I の概要（目的・方法）、②看護学生 の倫理行動基準、③実習時に必要な感染予防、④入退院センタ ーにおける看護活動について行う。</p> <p>病院実習：旭川医科大学病院で4日間行う。10グループに分かれ、 看護師と共に行動し、看護実践場面・入院患者とのコミュニケーション の見学・体験、入退院センターの見学、それぞれの学びの共有、 実習記録の記述を行う。</p> <p>報告会：実習最終日に各グループの実習の学びを報告・共有する。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>臨地看護学実習はこれまでに学習した知識を全て用い、実際の臨 床の場で学ぶ。学内では得られない学びがあるが、そのためには学 内での学習を十分に行うことが必要となる。特に、看護学概論、基 礎看護技術学 I で学習したことの復習が、基礎看護学実習 I の予習 となる。看護とは何かを自分の言葉で説明できる、統合体としての 人間と生活、社会的コミュニケーションと専門的コミュニケーション の違い、バイタルサインの観察・生活環境・活動と休息に関する 情報収集項目とアセスメントの視点を頭に入れ実習に臨む。</p> <p>実習は実習ガイダンスから始まる。ガイダンスは実際の臨床の場 で実習を行う上での準備となり、不可欠なものである。実習要項を 熟読し、必ず出席する。</p>			
成績評価の基準等			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・病院実習状況（出席を含む）・実習記録：65点（ル ーブリック評価）</li> <li>2. 実習レポート：15点（ルーブリック評価）</li> <li>3. 報告会参加状況：10点（ルーブリック評価 発表資料の内容お よび完成度4点・発表内容・発表態度4点・参加態度2点）</li> <li>4. 実習記録・レポートの提出期限（実習中および最終提出も含む） 上記総合点が54点以上であることで合格とする。2/3以上の出 席（ガイダンスを除く）を必要とする。</li> </ol>			
学生へのメッセージ（履修上の心得など）			
<p>初めての臨地看護学実習はみなさんの看護観の土台を培うもので す。みなさんの取り組みが学内では得られない学びの大きさ・深さ に反映します。心と体と頭脳の準備を十分整えることが大切です。 大変緊張する場面が多いですが、学内での学習を基礎にして、多く を学び、看護の素晴らしさ、厳しさを肌で感じ、看護を学んでいくこ と・看護職へのモチベーションが高まることを期待します。</p>			



# 必修科目

【第2学年】

## 24. 英語ⅡA

<b>担当教員</b>	◎桑名 保智・三好 暢博		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	通年	1単位	30コマ
<b>授業の概要（履修目的・到達目標）</b>			
【履修目的】グローバル化に対応した、基礎英語力を身につけることです。			
【到達目標】Voice of America の外国人向けの放送に対して、1) 聞き取りができる、2) 放送を書き起こすことができる、3) 音読することができる、翻訳することができる、4) 日本語に翻訳できる、5) 翻訳した日本語を英語に戻すことができる。			
<b>授業の形式</b>			
演習形式で行います。指定されたVOAのHealth Reportについて、各自が予習をして授業に臨んでください。準備ができた時点で、1) 語彙的知識、2) dictation、3) 音読、4) 英文解釈、5) 和文英訳の5つの試験を授業中に受け、これらの試験をすべて通過した上で、新しい記事に取り組みます。授業では、Health Reportの記事6本に取り組みでもらう予定です。課題をすべてクリアした学生は、難易度の高い課題に取り組みでもらいます。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
1時間程度の予習が必要である。			
<b>成績評価の基準等</b>			
1/31までにALC Power WordsのLevel 5を終了していること。出席点30点、Health Reportの到達度確認試験150点（5 step×5点満点×6本）、まとめのテスト70点。【優】200点以上、【良】175点以上200点未満、【可】150点以上175点未満 【不可】150点未満。			
<b>学生へのメッセージ</b>			
1週間に1度の英語の授業では、英語力がつくことはありません。各自意欲的に取り組んでください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	履修上の注意・確認テスト	桑名三好
2	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
3	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
4	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
5	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
6	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
7	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
8	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
9	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
10	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
11	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
12	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
13	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
14	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
15	総合演習	VOA Learning English	桑名三好

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
17	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
18	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
19	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
20	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
21	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
22	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
23	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
24	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
25	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
26	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
27	総合演習	VOA Learning English	桑名三好
28	総合演習	VOA Learning English	桑名・三好
29	試験	まとめのテスト	桑名三好
30	試験	まとめのテスト	桑名三好

## 25. 英語ⅡB (必修)

担当 教員	◎桑名 保智、 Gwendolyn Gallagher (非常勤)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 In this class we will practice speaking English in clinical situations. We will use an English textbook for health professionals, and students will prepare for class by completing listening exercises for homework with the accompanying CD. Term tests will be oral, reflecting the kinds of activities emphasized in class, and there will be a written quiz. At the beginning of each lesson we will have an unstructured "news time", intended to improve students' general fluency and listening ability and to raise their comfort level in English. Students will also have an opportunity of learning about nursing in the United States by submitting questions to veteran American nurses and discussing their answers.			
到達目標 Students will be able to describe and query basic symptoms, give basic instructions as will be useful in a physical examination, and express some of the actions they might perform while dealing with patients.			
授業の形式 We will be using a medical English textbook with accompanying CD. A dictionary will also be useful.			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 Before each class students should review the exercises in the textbook covered in the previous lesson. When assigned, students should complete listening homework using the textbook and accompanying CD. Students will also prepare questions for American nurses and study the resulting answers for a quiz. We will have an opportunity to talk about news, small or large, personal or public, at the beginning of each class. In order to participate, students should reflect on recent happenings in their life before each class and think about how to explain them in English. Students should expect to do about one hour of preparation.			
成績評価の基準等 Good attendance is absolutely essential. There will be two oral tests. Class performance(70%), test(30%). GRADING CRITERIA: A:80 or more points, B:79 ~ 70, C:69 ~ 60, D(Fail):59 ~ 0			
学生へのメッセージ			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
Vital Signs< Revised Edition >	Morooka	南雲堂	2,160円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	Introduction	Getting to Know You : Class mechanics	Gallagher (非常勤)
2-3	Unit 1	Exercise	"
4-5	"	Exercise	"
6-7	"	Exercise	"
8-9	Unit 2	Exercise	"
10-11	"	Exercise	"
12-13	"	Exercise	"
14-15	Unit 3	Exercise	"
16-17	"	Exercise	"
18-19	"	Exercise	"
20-21	Unit 4	Exercise	"
22-23	"	Exercise	"
24-26	Review	Review	"
27-29	Practice	Test Practice	"
30	Test	Test	"

## 26. 統計学（必修）〔統計学入門〕

担当教員	◎寺本 敬		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
<b>授業の概要（履修目的・到達目標）</b> 〔履修目的〕 医学、看護学を学習する上で、収集したデータを統計学的に処理する技術は基本的素養の一つです。従って、看護学科においては統計学が必修科目として展開されています。本講義では、高校数学の確率統計から、t検定、カイ二乗検定等の統計的仮説検定の基礎まで解説します。また統計処理ソフト（SPSS）を利用して、より実践的なノンパラメトリックな検定手法等も学びます。  〔到達目標〕 データをどのように統計処理し、計算するかを学び、結果の解釈ができることを目標とします。			
<b>授業の形式</b> 講義室での座学形式と情報処理室でのパソコン利用形式を併用します。座学形式では、座学授業最終回時に筆記試験を行います。パソコン利用形式では、課題レポートを毎回提出していただきます。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 座学形式では市販教科書を使い、必要に応じて授業資料プリントを追加します。パソコン利用形式では、テキスト冊子を配布します。それぞれ授業前に読んでおいてください。			
<b>成績評価の基準等</b> 授業への3分の2以上の出席が必要です。筆記試験の結果（70%）、課題レポート（提出状況と内容、30%）を合わせ、60%以上を合格（「可」以上）とした4段階評価します。			
<b>学生へのメッセージ</b> 講義はできるだけ丁寧に行うつもりですが、高等学校の時と比較するとスピードが速く感じられるかもしれません。質問は授業時間内に限らず対応しますので、遠慮せずにお尋ねください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 新統計入門	小平	裳華房	2,000円
(参) 疫学・保健統計	浅野	南山堂	2,400円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	学習目的、到達目標	寺本
2	記述統計と確率分布	度数分布、代表値	寺本
3	記述統計と確率分布	分散、相関係数	寺本
4	記述統計と確率分布	確率変数、正規分布、二項分布	寺本
5	推測統計	母集団と標本	寺本
6	推測統計	区間推定、母平均の検定	寺本
7	推測統計	適合度・独立性の検定	寺本
8	まとめ	学習内容の総括、演習問題	寺本
9	まとめ	筆記試験	寺本
10	アプリケーションの使い方	SPSSの基本操作	寺本
11	アプリケーションの使い方	基本統計量とヒストグラム	寺本
12	ソフトによる検定	2群間の比較、t検定	寺本
13	ソフトによる検定	2群間の比較、ノンパラメトリック検定	寺本
14	ソフトによる検定	多群間の比較、分散分析	寺本
15	ソフトによる検定	カイ二乗検定	寺本

## 27. 病態学 (必修)

担当 教員	◎及川 賢輔		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 看護師の業務は「医師の行う医療行為の補助」と「患者の療養上の世話」であり、患者の抱える「疾患」すなわち「医学」の知識が不可欠です。その医学の中核・礎をなすのが「病理学」で、本学科はそれを学ぶために開設されています。病理学は疾病の成り立ちを明らかにする学問であり、診療に直結する「臨床医学」の根拠となります。 疾病論では、疾患を大まかに分類する総論的な考え方と、重要な疾患の概念・病因・病態・病理組織学的事項・臨床的事項について臓器ごとに学んでいきます。			
到達目標 1. 病理学総論の枠組みを理解し、それぞれの病態についての説明ができる。 2. 主要疾病の原因、発症メカニズム、形態学的変化および機能的変化、臨床的事項を説明出来る。 3. 1および2を統合して、病んでいる患者の全体像を理解出来る。			
授業の形式 PC (パワーポイント) のスライドとハンドアウトによる講義を行います。また、単元ごとに看護師国家試験レベルの確認テストも行います。確認テストは、学修支援システム manaba を使用して行います。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 予習することが望ましいですが、復習中心の学習で良いです。理解・到達度をチェックするために確認テストを利用してください。ただ、できる限り授業後必ず復習するようにしてください。開講期間中は、講義中・放課後いつでも、履修内容に関わらず質問を受け付けます。			
成績評価の基準等 「評価方法」：定期試験 (100%) 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、2/3以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。			
学生へのメッセージ 広範な内容を30コマで駆け抜けます。しかし、決して難しいことはありません。学習しやすいように配慮しますし、まずは看護師国家試験レベルの知識習得を目指します。限られた時間のなかで、各疾患の捉え方、エッセンスを解説していきます。履修内容を理解する上で1年生で学んだ解剖学・生理学・生化学の知識が必要になってきますので、適宜復習してください。また各疾患を、まず総論的な考え方(腫瘍?感染症?など)で整理していくことも大切です。閉講時には、頭の中に各種疾患を整理する棚が出来るようにと期待しています。それは将来、どの道に進んでも必ず役立つでしょう。講義時間内で機会があれば、病理解剖の見学があるかもしれません。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学	大橋 健一	医学書院	2,400円
(参) シンプル病理学	綿貫 勤ら編	南山堂	2,900円
(参) 看護学生のための自己学習4 病理学	花房 俊昭編	金芳堂	2,400円
(参) はじめての病理学	清水道生監修	ナツメ社	1,980円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	授業の進め方・日程に関するオリエンテーションを行い、病理学とは何かについて概説する。	及川
2	総論① 細胞と組織の障害	細胞の基本構造をそれらの機能変化、細胞障害に対する細胞の適応・死の変化を学ぶ。	〃
3			〃
4	総論② 循環障害	正常循環とその調節につき学び、その異常による充血、うっ血、虚血、出血、血栓、塞栓、梗塞、水腫、ショック、高血圧、低血圧を理解する。	〃
5			〃
6	総論③ 炎症と免疫	第1学年の代謝栄養学及び感染免疫学で履修した内容についての復習と問題演習を行う。アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療、感染症、生活習慣病、代謝障害について理解を深める。	〃
7	総論④ 感染症・代謝障害		〃
8	総論⑤ 老化と死・先天異常と遺伝子異常	老化・個体の死による生体の変化を理解しそれに伴って生ずる疾患・病態について学ぶ。先天異常(奇形含む)、遺伝子・染色体異常、について学ぶ。	〃
9			〃
10	総論⑥ 腫瘍	腫瘍の定義・分類、腫瘍発生のメカニズム・性状・生体の腫瘍に対する反応、腫瘍の診断と治療、疫学について学ぶ。腫瘍組織型による特徴の違いを理解する。	〃
11			〃
12	各論① 循環器疾患	血管および心臓疾患の病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患群を以下に示す。 ・血管の疾患 ・先天性心疾患 ・虚血性心疾患 ・心筋症 ・心膜の疾患 ・弁膜症 ・不整脈	〃
13			〃
14	各論② 血液・造血器系の疾患	代表的な血液・造血器系疾患の病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 貧血 ・白血病 ・悪性リンパ腫	〃
15			〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	各論③ 呼吸器系の疾患	頭頸部を含む気道・呼吸器系に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 ・鼻腔・咽頭・喉頭の疾患 ・肺炎 ・気管支喘息 ・肺塞栓症 ・肺がん／悪性胸膜中皮腫／胸腺腫	及川
17			”
18	各論④ 消化器系の疾患	食道～大腸に至る消化管、肝臓・胆管系、膵臓に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 ・食道がん ・胃がん ・大腸がん ・炎症性腸疾患 ・ウイルス性肝炎／肝硬変／肝がん ・胆石症 ・膵炎 ・膵がん	”
19			”
20			”
21	各論⑤ 腎・泌尿器・生殖器系および乳腺の疾患	腎・泌尿器系、生殖器系、乳腺に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。 ・糸球体腎炎／腎不全／腎細胞がん ・尿路がん ・前立腺がん ・子宮頸がん／子宮体がん／卵巣腫瘍 ・乳がん	”
22			”
23			”
24	各論⑥ 内分泌系の疾患	内分泌器官の代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。 ・下垂体腺腫／尿崩症 ・バセドウ病／橋本病／甲状腺がん ・アジソン病 ・原発性アルドステロン症 ・クッシング症候群 ・褐色細胞腫	”
25			”
26	各論⑦ 脳・神経・筋肉系の疾患	脳・神経系および筋肉系の代表的疾患の病態について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 ・脳血管障害 ・脳・神経系の感染症 ・神経変性疾患(アルツハイマー病など) ・脳腫瘍 ・末梢神経疾患 ・進行性筋ジストロフィー	”
27			”
28	各論⑧ 骨・眼・耳・皮膚の疾患	骨・関節系、感覚器、皮膚の代表的疾患の病態について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。 ・骨折／関節リウマチ／骨肉腫 ・緑内障／白内障 ・中耳炎／メニエール病 ・アトピー性皮膚炎 ・皮膚腫瘍(有棘細胞癌、悪性黒色腫)	”
29			”
30	総括	全講義を通しての総括、弱点事項についての補足を行い、診断病理業務の実際と病理解剖についての概説を行う。	”

## 28. 薬理学 (必修)

担当 教員	牛首 文隆、◎結城 幸一、柏木 仁、 今道 力敬、田崎 嘉一、福土 将秀		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	17コマ (予定)
<b>履修目的・授業概要</b> 薬物の生体への薬理作用を理解する。これには、薬物の用量と作用の関係、薬物の作用機構や薬物の副作用などが含まれる。ついで、これらの基本をふまえて、各臓器や器官系でのさまざまな疾患や病態に使用される薬物について理解を深めることを目的とする。			
<b>到達目標</b> 主な薬物の薬理作用について説明できる。この講義で扱う薬物は、抗感染薬、消毒薬、免疫治療薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬、末梢神経作用薬、中枢神経作用薬、心血管系作用薬、呼吸器作用薬、消化器作用薬、物質代謝作用薬、抗がん薬、救急時使用薬である。			
<b>授業の形式</b> 講義は、教科書に沿って進められるが、理解を深めるために関連資料のプリントも一部使用する。			
<b>準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量</b> ・講義は、効率良く進めるために、教科書を一度読んでいることを前提に行われる。よって各講義の履修主題に関係する教科書の分野を、講義の前に必ず一度読んでおく。 ・講義終了後は、配付資料を参考に教科書をもう一度読み、各単元末のゼミナールを学習し、内容の理解を深めること。			
<b>成績評価の基準等</b> 筆記試験 (70%)、出席点 (30%) の合計で評価する。試験問題は講義 (教科書) の範囲内から出題する。なお、筆記試験の受験資格として規定の出席率は必須とする。			
<b>学生へのメッセージ</b> 薬理学の教科書には膨大な数の薬物が記載されている。これらを、全て記憶することは不可能であり、まず薬理学の基本と必要最低限の薬物を憶えるように努力してほしい。また、講義を効率的に進めるため、学生諸君の積極的な予備学習を期待する。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門基礎分野 薬理学	吉岡充弘 他	医学書院	2,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	薬理学総論1	薬理学とは何か。その基本概念や方法論を理解する。また、薬理作用の発現や薬物動態を学習する。	福土 (薬剤部)
2	薬理学総論2	薬効に影響を及ぼす様々な要因への理解を深める。また、薬物の有害作用について学ぶ。さらに、薬物の適用経路と特徴を理解する。また、各種製剤と処方箋の基礎を学び、看護との関連への理解を深める。	〃
3	抗感染薬と消毒薬	感染症の治療薬としての抗感染薬と感染予防の観点からの消毒薬について学ぶ。	柏木 (薬理)
4	免疫治療薬	免疫反応のしくみを理解し、それを基に免疫抑制薬、免疫増強薬について学ぶ。	結城 (薬理)
5	抗アレルギー・抗炎症薬	アレルギーや炎症の概念を理解し、抗アレルギー薬、抗炎症薬、痛風治療薬について学ぶ。	牛首 (薬理)
6	末梢神経系作用薬	末梢での神経活動に作用する薬物として、交感・副交感神経系作用薬、筋弛緩薬や局所麻酔薬について学ぶ。	柏木 (薬理)
7	中枢神経作用薬1	中枢神経系に作用する薬物として、全身麻酔薬、睡眠薬と抗不安薬について学ぶ。	田崎 (薬剤部)
8	中枢神経作用薬2	中枢神経系作用薬として、抗精神病薬、抗うつ病、パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、麻薬について学ぶ。	〃
9	心血管系作用薬1	心血管系作用薬として、抗高血圧薬、抗狭心症薬、心不全治療薬、抗不整脈薬について学ぶ。	今道 (薬理)
10	心血管系作用薬2	心血管系作用薬として、利尿薬、高脂血症治療薬、血液作用薬について学ぶ。	〃
11	呼吸器作用薬	呼吸器作用薬として喘息治療薬や鎮咳薬、去痰薬、呼吸促進薬などについて学ぶ。	結城 (薬理)
12	消化器作用薬	消化器作用薬として消化性潰瘍治療薬や、制吐薬、下剤、止痢薬などについて学ぶ。	〃
13	物質代謝作用薬	物質代謝作用薬として、糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬や各種ホルモン製剤について学ぶ。	牛首 (薬理)
14	抗がん薬	がん治療に用いられる薬物の抗がん作用のしくみを理解する。また、各抗がん薬の特徴について学ぶ。	結城 (薬理)
15	救急時使用薬	救急蘇生法における薬物療法や疾病の急変に対応した薬物治療を学ぶ。また、急性中毒への対処について学ぶ。	牛首 (薬理)
16・17	薬害被害者の声を聴く	医学科との合同講演会 (日時・テーマ未定)	未定



## 29. 疾病論 I (必修)

担当 教員	コーディネーター：及川 賢輔 担当臨床医学講座：精神医学、小児科、外科、循環・呼吸・神経病態内科、消化器・血液腫瘍制御内科、病態代謝内科、産婦人科、麻酔科		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	前期	3単位
コマ数 45コマ			
履修目的・授業概要 この疾病論では、医師たちが患者の抱える疾患をどのように捉え、治癒に導こうとしているのかについて、すなわち、病理学を基礎として発展してきた「臨床医学」について学んでいきます。大学病院に勤務する現役医師50名が、重要な疾患の概念・病態・診断法・治療法に関する講義を展開します。疾病論 I は全45コマで、内科的疾患の講義が多くなっています。			
到達目標 1. 主要な疾患の成り立ちが理解出来る。 2. 診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。 3. 診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来それぞれの短所、長所を理解出来る。 4. 病期や予後判定などの意義が理解出来る。 5. 上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。			
授業の形式 PC、レジュメ、板書、OHP、ビデオ等を用いた講義。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 復習に重点を置く学習が良いのですが、履修内容について、あらかじめ教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。疑問点はできるだけ講義中あるいは講義終了直後に積極的に講師に質問するようにしてください。			
成績評価の基準等 「評価方法」：定期試験（100%） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、45コマのうち30コマ以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。			
学生へのメッセージ 専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。講義時間外の履修内容についての質問あるいは各講師への取次などは、本学科コーディネーターの及川まで。なお担当講座の都合により、講師・日程変更（疾病論 I と II の間でコマの変換も含む）が必要な場合があります。シラバス通りに進行しない可能性もありますのでご了承ください。開講時に改めて日程表を配布します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 疾病と治療 I～IV	松田 暉 編	南江堂	各2,600円
(参) 臨床病態学 1～3巻	北村 聖 編	ヌーベルヒコカワ	各3,150円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	てんかん	原因、発作型分類などについて学ぶ。	精神医学
2	睡眠覚醒障害・摂食障害	診断、治療について学ぶ。	〃
3	認知症	認知症の診断、治療について学ぶ。	〃
4	精神医学的診断法および精神症状	精神医学的診察の概要と特色について学ぶ。特に診察によってとらえられる精神症状について理解する。具体例として統合失調症、気分障害をとりあげる。	〃
5	精神科治療学	精神療法や薬物治療について学ぶ。	〃
6	中毒性精神障害	アルコールや覚醒剤使用による精神障害について学ぶ。	〃
7	貧血・出血性疾患	種々の貧血性疾患、出血傾向について学ぶ。	消化器・血液腫瘍制御内科
8	白血病・悪性リンパ腫	血液悪性疾患について学ぶ。骨髄移植についても学ぶ。	〃
9	高血圧	高血圧について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
10	虚血性心疾患・不整脈	狭心症、心筋梗塞、不整脈について学ぶ。	〃
11	心筋症・弁膜症・心不全	心筋症、弁膜症、心不全について学ぶ。	〃
12	心臓弁膜疾患	弁膜疾患に対する外科的対応について学ぶ。	外科(心臓)
13	血管疾患	閉塞性動脈硬化症、バージャー病、動脈瘤、静脈瘤の外科的治療について学ぶ。	外科(血管)
14	小児心疾患	先天性心奇形、川崎病について学ぶ。	小児科
15	呼吸器感染症	呼吸器感染症（市中肺炎、院内感染、結核、耐性菌感染症等）について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	閉塞性肺疾患	慢性気管支炎、肺気腫、気管支喘息などについて学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
17	腫瘍性肺疾患	肺癌について学ぶ。	〃
18	呼吸不全	病態、治療について学ぶ。	〃
19	肝疾患	肝炎、肝硬変、肝癌について学ぶ。	消化器・血液腫瘍制御内科
20	上部消化管疾患	食道、胃、十二指腸疾患について学ぶ。	〃
21	下部消化管疾患	小腸、大腸の疾患について学ぶ。	〃
22	小児の遺伝性疾患	人の遺伝学の基礎、代表的遺伝性疾患について学ぶ。	小児科
23	代謝内分泌疾患Ⅰ	糖尿病の病態生理、治療、ケアについて学ぶ。	病態代謝内科
24	代謝内分泌疾患Ⅱ	糖尿病合併症について学ぶ。	〃
25	代謝内分泌疾患Ⅲ	下垂体、甲状腺、副腎の疾患について学ぶ。	〃
26	膠原病Ⅰ	自己免疫疾患の概念について学ぶ。	〃
27	膠原病Ⅱ	関節リウマチ、SLE、PSS、皮膚筋炎について学ぶ。	〃
28	神経疾患	変性疾患、脱髄疾患について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
29	新生児医療・低出生体重児	新生児期の異常について学ぶ。	小児科
30	成長と発達	ホルモンの働きについて学ぶ。	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	糖尿病・栄養障害	小児の糖尿病について学ぶ。また小児期における栄養障害についても学ぶ。	小児科
32	小児の腫瘍	代表的小児腫瘍（白血病、脳腫瘍等）について学ぶ。	〃
33	小児感染症	小児期に多く見られる代表的感染症（肺炎、髄膜炎）について学ぶ。	〃
34	予防接種	予防接種について学ぶ。	〃
35	小児神経疾患	小児に特徴的な神経疾患（脳性麻痺、発達障害など）について学ぶ。	〃
36	女性のライフサイクル	性機能と内分泌動態、受精、初期発生、妊娠について学ぶ。	産婦人科
37	周産期と女性のヘルスプロモーション1	妊娠各期期の異常（流産、子宮外妊娠、早産、妊娠中毒症）について学ぶ。	〃
38	ショックと救急蘇生法	ショックと救急蘇生法について学ぶ。	麻酔科
39	婦人科疾患とヘルスプロモーション1	婦人科良性疾患について学ぶ。	産婦人科
40	婦人科疾患とヘルスプロモーション2	婦人科腫瘍性疾患（子宮頸癌、体癌、卵巣腫瘍）について学ぶ。	〃
41	周産期と女性のヘルスプロモーション2	分娩（正常、異常）について学ぶ。	〃
42	周産期と女性のヘルスプロモーション3	産褥の生理と病理について学ぶ。	〃
43	全身麻酔	全身麻酔を学ぶ。	麻酔科
44	リプロダクティブヘルス・ライツ1	性感染症について学ぶ。	産婦人科
45	リプロダクティブヘルス・ライツ2	避妊法について学ぶ。	〃

### 30. 疾病論Ⅱ (必修)

担当教員	担当教員コーディネーター：及川 賢輔 担当臨床医学講座：外科、循環・呼吸・神経病態内科、腎泌尿器外科、脳外科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、歯科口腔外科、放射線科		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	後期	3単位
コマ数 30コマ			
履修目的・授業概要 この疾病論では、医師たちが患者の抱える疾患をどのように捉え、治癒に導こうとしているのかについて、すなわち、病理学を基礎として発展してきた「臨床医学」について学んでいきます。大学病院に勤務する現役医師50名が、重要な疾患の概念・病態・診断法・治療法に関する講義を展開します。疾病論Ⅱは全30コマで、外科系の講義が多くなっています。			
到達目標 1. 主要な疾患の成り立ちが理解出来る。 2. 診断法の意味、適応を理解出来る、診断への道筋を理解出来る。 3. 診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来るそれぞれの短所、長所を理解出来る。 4. 病期や予後判定などの意義が理解出来る。 5. 上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。			
授業の形式 PC、レジュメ、板書、OHP、ビデオ等を用いた講義。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 復習に重点を置く学習が良いのですが、履修内容について、あらかじめ教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。疑問点はできるだけ講義中あるいは講義終了直後に積極的に講師に質問するようにしてください。			
成績評価の基準等 「評価方法」：定期試験（100%） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、30 コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。			
学生へのメッセージ 専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。講義時間外の履修内容についての質問あるいは各講師への取次などは、本学科コーディネーターの及川まで。なお担当講座の都合により、講師・日程変更（疾病論ⅠとⅡの間でコマの変換も含む）が必要な場合があります。シラバス通りに進行しない可能性もありますのでご了承ください。開講時に改めて日程表を配布します。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 疾病と治療Ⅰ～Ⅳ	松田 暉 編	南江 堂	各2,600円
(参) 臨床病態学Ⅰ～Ⅲ巻	北村 聖 編	ヌーベルヒコカワ	各3,150円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	肺疾患の手術	肺の良性、悪性腫瘍の手術、術後管理について学ぶ。	外科 (腫瘍病態)
2	乳腺疾患の手術	良性、悪性腫瘍の鑑別、外科的治療について学ぶ。	〃
3	食道癌の手術	食道癌の手術と術後の管理について学ぶ。	〃
4	胃の手術	術後管理、予後について学ぶ。	外科 (消化器)
5	腸の手術	術後管理、予後について学ぶ。	〃
6	他の消化器系の手術	肝癌、膵臓癌、胆のう疾患について学ぶ。	〃
7	腎疾患・透析療法	腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全について学ぶ	循環・呼吸・神経病態内科
8	尿路器感染症	腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎について学ぶ。	腎泌尿器外科
9	尿路結石	上部尿路結石、膀胱結石について学ぶ。	〃
10	小児外科Ⅰ	小児外科の特殊性について学ぶ。	外科 (小児)
11	外傷性疾患	骨折、脊髄損傷、膝靭帯損傷について学ぶ。	整形外科
12	排尿障害	排尿困難、尿失禁について学ぶ。	腎泌尿器外科
13	尿路器器腫瘍	腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍について学ぶ。	〃
14	小児外科Ⅱ	食道閉鎖、鎖肛、Hirschsprung病の外科的対応について学ぶ。	外科 (小児)
15	脳血管障害	脳出血、脳梗塞、くも膜下出血について学ぶ。	脳外科

疾病論Ⅱ 第2学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	頭部外傷	診断、治療、予後について学ぶ。	脳外科
17	脳腫瘍	診断、治療、予後について学ぶ。	”
18	糖尿病性網膜症	診断、治療と看護ケアについて学ぶ。	眼科
19	緑内障、白内障、網膜剥離	診断、治療、看護ケアについて学ぶ。	”
20	変形性股関節症	病態と治療、人工関節について学ぶ。	整形外科
21	耳疾患	難聴、めまいについても学ぶ。	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
22	咽頭喉頭疾患	炎症、良性悪性腫瘍について学ぶ。	”
23	骨粗鬆症	病態と治療について学ぶ。	整形外科
24	皮膚感染症	皮膚に表現される感染症について学ぶ。	皮膚科
25	アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎の診断、治療について学ぶ。	”
26	皮膚悪性腫瘍	悪性黒色種について学ぶ。	”
27	う蝕と歯周疾患	齲蝕症、歯肉炎、歯周病、菌性病巣感染	歯科口腔外科
28	口腔ケア	口腔ケアの重要性について学ぶ。	”
29	放射線と医療	放射線の基礎を学ぶ。	放射線科
30	放射線診療	画像診断について学ぶ。	”

31. 疫学 I (必修) [疫学、疫学調査、メタアナリシス、スクリーニング、公衆衛生看護]

担当教員 ◎伊藤 俊弘 (看護学科) 西條 泰明 (社会医学講座) 吉岡 英治 (社会医学講座) 佐藤 遊洋 (社会医学講座)			
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 本講義は、看護師の活動や保健師による保健指導に加えて公衆衛生・産業保健活動に必要な疫学の基礎知識を学ぶ。 疫学は人間集団において健康とそれに関連する事象の頻度と分布を明らかにし、健康に関連する問題の有効な対策に役立て公衆衛生の発展を目指す分野である。保健、医療、看護等の分野のほか地域活動においても疫学の知識は必須となっている。			
到達目標 疫学で用いられている調査の方法・特性と疫学指標を理解し、説明できること。各疾患の疫学についても概説できることを目標とする。			
授業の形式 講義は複数の教員によるオムニバス方式で行う。各教員が教科書に沿った内容に従い、パワーポイントおよび配布プリントを中心に進行。学生主体、問題解決型教育を意識した授業とする。最後の2コマは、演習問題を元にしたまとめを行い、総合的な疫学の応用力を養う。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 シラバスに記載されている履修内容を教科書等で予習してくること。講義終了後は、配布されたプリントや講義内容を整理し内容のまとめを行うこと。			
成績評価の基準等 定期試験の成績 (70%)、課題または小テスト (20%)、および講義の出席状況 (10%) により評価する。出席は10回出席0点として11回目から2点ずつ加算し15回出席で10点とする。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。 出席が2/3に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。			
学生へのメッセージ 疫学手法は保健師に必須であるが、看護師や助産師においても研究を遂行する上で重要な知識となっている。 講義内容をしっかりと理解して、研究論文を読んだり、自ら調査・研究を行うことができるように、疫学の勉強を続けるための基礎を身に付けてもらいたい。 講義はカリキュラムに示された項目に基づいてすすめるので、あらかじめ教科書等を予習して受講することを期待する。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
標準保健師講座 (別巻2) 疫学・保健統計学	牧本清子他	医学書院	2,800円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	疫学概念 (1)	疫学の定義と分類 (記述疫学と分析疫学、人・場所・時間)、曝露と疾病発生 (危険因子、診断基準) を学ぶ	西條 (社会)
2	疾患概念 (2)	因果関係 (時間的関係、強固性と一貫性、量反応関連)、疫学研究における倫理 (人を対象とする医学系研究に関する倫理指針) を学ぶ	西條 (社会)
3	疾患頻度の指標	割合 (有病率、累積罹患率、致命率 (致死率)、相対頻度)、率 (罹患率、死亡率) を学ぶ	吉岡 (社会)
4	曝露効果の指標	相対危険 (罹患率比・死亡率比、累積罹患比<リスク比>、オッズ比)、寄与危険 (寄与危険割合、人口<集団>寄与危険、人口<集団>寄与危険割合) を説明できる。	佐藤 (社会)
5	疫学調査法 (1)	対象集団の選定 (母集団と対象集団、標本抽出法、無作為抽出) を説明できる。調査方法①一生態学的研究、横断研究を説明できる。	伊藤 (看護)
6	疫学調査法 (2)	コホート研究・症例対照研究を説明できる	伊藤 (看護)
7	疫学調査法 (3)	介入研究を説明できる	吉岡 (社会)
8	疫学調査法 (4)	誤差 (偶然誤差と精度、系統誤差と妥当性)、偏り<バイアス> (選択の偏り、情報の偏り)、交絡とその制御方法 (交絡因子、無作為化 (割付)、制限、マッチング、層化) を説明できる。年齢調整 (死亡率) (直説法、間接法) を説明できる	吉岡 (社会)
9	疫学調査法 (5)		吉岡 (社会)
10	スクリーニング	スクリーニングの目的 (疾病の早期発見 (二次予防)、集団の特性の把握) と要件 (健康に及ぼす影響、有病率、疾病の検査・診断・治療法の確立、評価 (感度と感度、陽性的中度、偏り<バイアス>)) を説明できる	佐藤 (社会)
11	生活習慣の疫学	栄養・食生活、活動・運動、休息・睡眠、飲酒、歯・口腔に共通する生活習慣に起因する健康課題頻度と分布、危険因子を説明できる。	西條 (社会)
12	主な疾患の疫学	母性関連疾患、小児疾患、がん、心血管疾患 (高血圧含む)、脳血管疾患、糖尿病、難病、精神疾患、感染症、事故、環境要因による疾患の疫学について概説できる	伊藤 (看護)
13	エビデンスに基づく公衆衛生看護に関連する疫学 (1)	社会疫学 (健康の社会的決定要因、健康格差)、政策疫学 (政策の方針決定への疫学の関わり、危険因子に対する予防対策)、臨床疫学 (治療効果の評価) について概説できる。がん登録・循環器疾患の登録について概説できる。	伊藤 (看護)
14	エビデンスに基づく公衆衛生看護に関連する疫学 (1)	メタアナリシスについて概説できる。演習問題を例に、これまでのまとめを行い、疫学の応用について学ぶ	西條 (社会)
15	まとめと演習問題 (2)	演習問題を例に、これまでのまとめを行い、疫学の応用について学ぶ	西條 (社会)

## 32. 保健統計 I (必修) [統計学、人口統計、保健統計調査、情報処理]

担当 教員	◎伊藤 俊弘 (看護学科)、 西條 泰明 (社会医学講座) 吉岡 英治 (社会医学講座) 神田 浩路 (社会医学講座) 佐藤 遊洋 (社会医学講座)			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	前期	1単位	15コマ	
<b>履修目的・授業概要</b> 統計学は、地域・集団の健康状態を正しく評価するためには必須の学問であり、疫学調査などを行う場合にも正しい方法を用いて評価することが求められている。講義では統計学の基礎知識を身につけるとともに、日本で行われている様々な保健統計調査および統計情報の取扱いについて正しく説明できるようになることを目標とする。				
<b>到達目標</b> ・統計に関する幅広い基礎知識を習得し、主な統計方法の特徴をそれぞれ説明できる。 ・統計調査について概説できる。 ・情報処理に関する必要な知識・方法を習得し効率的に文献検索できる。				
<b>授業の形式</b> 講義は複数の教員によるオムニバス方式で行う。各教員が教科書の内容に準じてパワーポイントと配布プリントを用いて講義を行い、状況に応じた様々な統計解析の方法に関する基礎知識に加え、保健医療分野に関係のある重要な保健統計調査とその動向について教授する。				
<b>準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量</b> シラバスに記載されている主題・履修内容に沿って教科書および参考書で予習をしてから講義に臨んで下さい。講義後は講義内容を整理し実際に統計解析が行えるようにすること。				
<b>成績評価の基準等</b> 定期試験の成績 (70%)、課題または小テスト (20%)、および講義の出席状況 (10%) により評価する。出席は10回出席0点として11回目から2点ずつ加算し15回出席で10点とする。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。 出席が2/3に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。				
<b>学生へのメッセージ</b> 統計学は、卒後の調査・研究には必須の知識です。統計処理には多くの計算を伴いますが、計算についてはPCの統計処理ソフトで行うのが一般的になりつつあります。そのために統計に関する正しい知識を身につけることが重要ですので、状況に応じた統計解析の方法を確実に習得するように心がけましょう。				

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
標準保健師講座 (別巻2) 疫学・保健統計学	牧本清子他	医学書院	2,800円
国民衛生の動向		厚生労働統計協会	2,500円
図説 国民衛生の動向		厚生労働統計協会	1,650円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健統計学の基礎 (1、2)	①データの種類と分布、測定と尺度など、統計解析を行うために必要な基礎知識を学ぶ。統計に関するあらゆる状況で知っておくべき知識である。	伊藤 (看護)
2		②主な確率分布 (正規分布、二項分布など) および代表値 (平均値、中央値、最頻値) と散布度 (分散と標準偏差、四分位数とパーセンタイル値) について学ぶ。	伊藤 (看護)
3	保健統計学の基礎 (3)	③関連の指標 (相関・散布図、回帰、クロス集計など) について学ぶ。	伊藤 (看護)
4	保健統計学の基礎 (4)	統計分析 1 : 推定と検定 (点推定と区間推定、帰無仮説と統計学的有意性) について学ぶ。	西條 (社会)
5	保健統計学の基礎 (5)	統計分析 2 : 推定と検定 (割合に関する推定と検定) について学ぶ。	西條 (社会)
6	保健統計学の基礎 (6)	統計分析 3 : 推定と検定 (平均に関する推定と検定) について学ぶ。	西條 (社会)
7	保健統計学の基礎 (7)	統計分析 4 : 推定と検定 (相関に関する検定、ノンパラメトリック検定) について学ぶ。	西條 (社会)
8	保健統計学の基礎 (8)	統計分析 5 : 多変量解析1. 重回帰分析について学ぶ。	吉岡 (社会)
9	保健統計学の基礎 (9)	統計分析 6 : 多変量解析2. ロジスティック回帰分析について学ぶ。	吉岡 (社会)
10	保健統計学の基礎 (10)	統計分析 7 : データの表現 (図表の作り方、プレゼンテーション) について学ぶ。	伊藤 (看護)
11	人口統計 (1)	人口統計 1 : 人口動態統計について学ぶ。	神田 (社会)
12	人口統計 (2)	人口統計 2 : 人口動態統計、生命表と主な健康指標について学ぶ。	神田 (社会)
13	保健統計調査 (1)	保健統計調査 1 : わが国の基幹統計について学ぶ。	佐藤 (社会)
14	保健統計調査 (2)	保健統計調査 2 : わが国の基幹統計以外の統計調査について学ぶ。	佐藤 (社会)
15	保健医療情報の管理と活用	保健医療情報の管理・活用と関連する法令・指針について学ぶ	伊藤 (看護)

### 33. 公衆衛生論（必修）〔公衆衛生、疾病予防、保健行政、各種保健活動、環境衛生〕

担当教員	◎伊藤 俊弘（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 【履修目的】 公衆衛生学は人間集団における疾病の予防と健康増進およびQOL向上などについて医療制度・地域保健・環境保健・産業保健など幅広い分野が関わっている。人の健康が多要因から成り立っていることを理解し、健康増進と疾病の予防のために、広い視野に立って考え行動することができるように、知識と方法論を修得することを目的とする。			
到達目標 人間集団全体、または各年齢層（母子、青少年、成人、高齢者）毎の活動の場（学校や職場、地域など）における公衆衛生活動について組織・職種・制度などの「しくみ」と法規や規則などの「きまり」の両面から具体的な例を示して説明できる。			
授業の形式 講義はプレゼンテーションソフトを使用して行い、講義内容のプリントを配布する。授業の最後に知識の整理を進めるために小テストを随時行う。授業に関する質問は、授業中の他、オフィスアワーを中心とした放課後、また電子メールも受け付ける。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスに記載されている履修内容について教科書と国民衛生の動向を読み、日本の状況・問題点等を把握しておくこと。講義後は配布プリントの空欄部分を完全に埋め、知識を整理すること。			
成績評価の基準等 評価は定期試験の成績（70%）、課題または小テスト（20%）、および講義の出席状況（10%）により評価する。出席は10回出席を0点として11回目から2点ずつ加算し15回出席で10点とする。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。 出席が2/3に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。			
学生へのメッセージ 公衆衛生学は、医療関係をはじめ多くの職業に関係する重要な科目です。それゆえ講義の対象範囲は非常に多岐に渡っていますが、看護学の各専門領域と深く関わっているので、そのことを意識して学習することを期待しています。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
わかりやすい公衆衛生学	清水忠彦 他	ヌーヴェルヒロカワ	2,200円
国民衛生の動向 2017/2018版 (前期「保健統計Ⅰ」で使用)		厚生労働統計協会	2,500円
図説国民衛生の動向 2017/2018版 (保健統計学Ⅰで使用)		厚生労働統計協会	1,650円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生学総論	公衆衛生の歴史と健康の定義、疾病予防、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションなど健康に関わる概念を理解する。	伊藤(看護)
2 3	感染症予防	感染症の成立の三要因（病原体・感染経路・宿主）を介した感染予防対策を理解するとともに、関係法規からわが国の感染症対策を学び、国内外で問題になっている感染症の動向を理解する。	伊藤(看護)
4 5	食品保健と栄養	わが国の食品安全と食品管理のしくみを理解し、食中毒の原因と発生動向について学ぶ。 わが国の国民栄養の現状と食事摂取基準などの栄養対策を学び、健康食品などの動向についても理解する。	伊藤(看護)
6 7	環境保健	生活環境から地球規模の環境まで人間の健康に影響を及ぼす環境要因と環境汚染による健康被害とその対策について学ぶ。上下水道および廃棄物処理のしくみを学び、公衆衛生におけるこれらの意義を理解する。	伊藤(看護)
8	保健行政 地域保健 災害対策	わが国の地域保健に係る仕組みを学び、地域における保健活動の現状と災害時における保健医療活動について理解する。	伊藤(看護)
9	母子保健・ 学校保健	母子保健に係る出生や死亡に関する保健統計指標の動向と母子保健対策の制度と法律を学ぶ。	伊藤(看護)
10	生活習慣病 老人保健	がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病の発症・死亡動向と予防対策、さらに高齢者をとりまく状況と疾病動向を学ぶ。	伊藤(看護)
11 12	難病 精神保健 障害者保健	国際生活機能分類をとおりて障害者の健康状態を学ぶとともに難病患者を含む障害者に対する福祉施策や自立支援のしくみを理解する。	伊藤(看護)
13 14	産業保健	職場の安全衛生管理のしくみと労働衛生に関連する法律、職場の安全衛生を支える制度とともに労働に関する様々な健康障害について学ぶ。	伊藤(看護)
15	これからの 公衆衛生	近年の公衆衛生に関する様々な問題を取り上げ、それらの問題の現状と対策の取組み等について学ぶ。	伊藤(看護)

### 34. 基礎看護技術学Ⅲ（必修）

担当 教員	◎神成 陽子、升田由美子、一條 明美、 綱元 亜依、小野 尚志（薬剤部）、 江口 明子（非常勤）、高橋 幸恵（非常勤）			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第2学年	前期	1単位	30コマ
<b>授業の概要（履修目的・到達目標）</b> 【履修目的】 1. リスクマネージメントに対する理解を深めながら、診療に伴う援助技術を学ぶ。 2. 看護技術としてのフィジカルアセスメントの概念、目的、意義について理解し、フィジカルアセスメントに必要な共通技術を学ぶ。 3. 実施する看護を説明する方法・態度を身につける。 【到達目標】 1. 与薬の目的を述べることができる。 2. 薬物療法における看護の意義を述べるができる。 3. 与薬における援助を理解し、基本的看護技術として注射薬の準備、皮下注射、筋肉内注射、点滴静脈内注射の準備と観察ができる。 4. 検査の目的を述べるができる。 5. 検査における看護の意義を述べることができる。 6. 検査における援助を理解し、基本的看護技術として静脈血採血ができる。 7. 身体各部の解剖学的位置および機能を説明できる。 8. 身体各部の視診、聴診、打診ができる。 9. 対象者の反応を見ながらアセスメントを進めることができる。 10. 得られた情報の分析・解釈、看護の視点から判断したことを記録できる。 11. 実施する看護を説明する方法・態度を身につけ行動できる。				
<b>授業の形式</b> 看護技術の実践に必要な知識を講義、個人テストで学習する。技術演習を行うための予習や事前課題を行った後に演習を行う。演習は学生同士で看護者役、患者役、観察者の役割をグループで行いながら進める。講義・演習ともに教科書資料・パワーポイント・DVDなどを使用する。				
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 各履修主題・履修内容の事前に配付される資料に基づき、予習をする。予習には履修内容の看護技術について、演習で実施できるように方法・留意点を覚えることを含む。正確・安全な看護技術が習得できるように、具体的な予習内容や実習室アワーがある。患者役となる対象者の安全を確保できるための予習と復習を課題として課す。課題の実施について、内容に不足がある場合は、再提出を課す。				
<b>成績評価の基準等</b> 1. 定期試験（診療関連技術における看護師の役割、検査・与薬およびそれらに関する看護技術）・個人テスト（演習毎）50% 2. 呼吸、循環、感覚・運動調節・高次脳、運動機能フィジカルアセスメント演習 30%（事前学習24点、演習記録70点、事後学習6点） 3. レポートおよび事前・事後課題 15% 4. 授業への参加状況 5%（欠席1コマにつき1点の減点、遅刻は3回で1コマの欠席として減点）により評価する。 2, 3の提出遅滞、未提出は評価の対象としないため、十分注意する。 以上の成績評価の総合点が60点以上であることで合格とする。				
<b>学生へのメッセージ</b> 演習では、単に手順を覚えるのではなく、1年次に学んだ形態機能学で学んだ知識を活用し、安全・正確で根拠に基づいた看護技術を習得することが求められます。療養生活の中で診療に伴う援助を必要としている対象者には、実施する看護について説明し同意を得る能力も必要です。知識・態度・技能を統合し、身につけられるよう、積極的に学習することを期待します。				

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ	深井喜代子編	メヂカルフレンド社	3,100円+税
(教) 新体系看護学全書 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ	深井喜代子編	メヂカルフレンド社	3,100円+税
(教) 看護ヘルスアセスメント	稲葉佳江編	メヂカルフレンド社	3,500円+税
(教) 看護技術がみえるvol.2 臨床看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,600円+税
(教) 看護技術がみえるvol.1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,000円+税
(参) 医療安全とリスクマネージメント	嶋森好子	ニューヴェルヒロカワ	2,400円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	基礎看護技術学Ⅲの講義演習の進め方と自己学習の必要性を理解する。	神成
2	診療関連技術における看護師の役割	診療関連技術における看護師の役割と法的責任を学ぶ。	〃
3	与薬	与薬における看護師の役割と責任を学ぶ。 与薬の種類と方法、留意点を学ぶ。	神成
4	与薬に関する看護技術 (1) 注射器の清潔な取扱い・注射薬の準備	演習：注射器の無菌的取扱いのモデルを見る。注射器の無菌的取扱い・注射薬の準備の方法を学ぶ。	神成 升田 一條 綱元 江口 高橋
5			
6	与薬：皮下注射・筋肉注射	皮下注射・筋肉注射の目的・方法、実施時の観察点、注意点について学ぶ。	神成
7	与薬に関する看護技術 (2) 皮下注射	演習：皮下注射技術のモデルを見る。 皮下注射技術を学ぶ。	神成 升田 一條 綱元 江口 高橋
8			
9	与薬に関する看護技術 (3) 筋肉内注射	演習：筋肉内注射技術のモデルを見る。 筋肉内注射技術を学ぶ。	神成 升田 一條 綱元 江口 高橋
10			
11	与薬：点滴静脈内注射	点滴静脈内注射の目的・方法、実施時の観察点、注意点について学ぶ。	綱元
12	与薬に関する看護技術 (4) 点滴静脈内注射	演習：点滴静脈内注射技術のモデルを見る。 点滴静脈内注射技術を学ぶ。	綱元 神成 升田 一條 江口 高橋
13			
14	薬物療法を受ける患者の看護	薬剤師と看護の連携について学ぶ。	小野 (薬剤部)
15	薬物療法を受ける患者の看護	事例を用いて薬物療法を受ける患者の看護について学ぶ。	神成



コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	検査	検査における看護師の役割と責任を学ぶ。 検査の種類と方法、留意点について学ぶ。	神成
17	採血	採血の目的・方法、実施の観察点、留意点について学ぶ	〃
18	検査に関する看護技術 (1):採血	演習：採血技術モデルを見る。 採血の技術を学ぶ。	神成 升田 一條 網元 江口 高橋
19			
20	検査に関する看護技術 (2):採血	演習：採血技術モデルを見る。 採血の技術を学ぶ。	神成 升田 一條 網元 江口 高橋
21			
22	フィジカルアセスメント	観察技術としてのフィジカルアセスメントを学ぶ。	神成
23	身体各部のフィジカルアセスメント (1)	演習：呼吸機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。	神成 升田 一條 網元 江口 高橋
24			
25	身体各部のフィジカルアセスメント (2)	演習：循環機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。	神成 升田 一條 網元 江口 高橋
26			
27	身体各部のフィジカルアセスメント (3)	演習：感覚・運動調節・高次脳機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。	神成 升田 一條 網元 江口 高橋
28			
29	身体各部のフィジカルアセスメント (4)	演習：運動機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。	神成 升田 一條 網元 江口 高橋
30			

### 35. 看護過程論（必修）

担当 教員	◎升田由美子、一條 明美、神成 陽子、 網元 亜依、非常勤講師、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 看護過程の展開に関する基礎的な知識・考え方を学び、論理的思考・判断力に基づいた看護実践のための基本を修得する。紙上事例と模擬患者による事例展開を行い、個人ワークとグループワーク、全体発表によって看護過程による思考方法を理解する。			
<b>到達目標</b> 一般目標 科学的思考技術であり問題解決技法である看護過程を理解し、根拠に基づいた看護実践のための看護過程の展開ができるようになる。 行動目標 1. 看護実践と看護過程の関係について説明できる。 2. 看護過程の構成要素を列挙できる。 3. 紙上事例に対して看護過程を展開し、ゴードンの機能的健康パターンに沿ってアセスメントした内容を記述することができる。 4. 紙上事例に対して看護問題の明確化、看護目標の決定、看護計画の立案を行い、具体策までを記述することができる。 5. グループワークおよび全体発表を通して、紙上事例に対する看護過程と看護実践を説明し、記述することができる。 6. 評価とは何かについて理解し、評価方法を説明することができる。 7. 情報収集のための面接技術について理解し、対象者（模擬患者）に対する面接を行うことができる。 8. 立案した初期計画に基づき、対象者（模擬患者）に必要な看護援助の実施・記録・評価を行うことができる。			
<b>授業の形式</b> 講義およびグループワークと全体発表により学ぶ。1～12コマは紙上事例Aの看護過程の展開を行いながら看護過程の構成要素について講義を行う。13～30コマはグループワークと全体発表によって紙上事例Bの看護過程を展開する。グループワークはファシリテータである教員の助言を受けながら学生が主体となって進める。模擬患者を用いた演習（面接等）を行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> この科目は毎回事前学習課題を課し、提出を求める。ガイダンスで配付する学習スケジュールに記載された予習内容（課題）に沿って、紙上事例についてアセスメントなど看護過程のプロセスを学習し、講義やグループワークに臨む。必要な場合は、科目終了時に個別学習用追加事例を配付する。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席状況：20点（1コマ欠席につき2点減点） グループワークの参加度・貢献度：15点（ルーブリック評価） プレゼンテーション：5点（ルーブリック評価） 事前学習課題等の提出物：20点（遅滞1回につき2点減点） 最終課題：40点（ルーブリック評価）によって評価を行う。 プレゼンテーションにおける有益な質問に対して1点加算 計100点のうち60点以上をもって合格とする。 なお事前学習課題の提出がない場合は、グループワークには参加できない。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 基礎看護学実習Ⅱで受け持つ患者さんに根拠のある看護を実践するために看護過程について学びます。これまでに履修した学習内容を活用し、自己学習を行い、看護過程に関する理解を深めましょう。グループワークを十分に活用し、知識を深めたり、広げたりすることが必要です。積極的に話し合いを行いましょう。オフィスアワーを活用し、疑問解決して下さい。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ	深井喜代子編	メジカルフレンド社	3,100円+税
(参) ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 第4版	江川隆子編	ヌーヴェルヒロカワ	2,300円+税
※看護過程に関する参考書を1冊は用意すること。書籍部、図書館または教員研究室にある書籍を実際に見て自分が使いやすいと思うものを選んでください。			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス看護過程とは	看護過程とは何かについて学ぶ。看護過程の構成要素について理解する。	升田
2	看護実践としての看護過程	看護実践としての看護過程について理解する。POSについて理解する。	〃
3	情報とは何か	看護にとって必要な情報とは何かについて理解し、情報収集とその整理方法を学ぶ。データベースの活用方法を知る。	〃
4	アセスメントとは何か	情報の分析・解釈について学ぶゴードンの機能的健康パターンを用いてアセスメントを行う。	〃
5	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃
8	看護問題とは何か	看護問題の抽出と記述方法について学ぶ。全体像が表す情報と記述方法について学ぶ。	〃
9	看護目標とは何か	看護問題の優先順位の決定方法及び看護目標について学ぶ。短期目標・長期目標の設定方法について学ぶ。	〃
10	看護計画とは何か	初期計画における具体策の立案方法を学ぶ。	〃
11	〃	〃	〃
12	評価とは何か	評価方法とその意義を学ぶ。	〃
13	紙上事例による看護過程の展開	グループワークの目的と個人学習の進め方について理解する。紙上事例について理解する。	升田 一條 神成 網元 他
14	〃	紙上事例を用いグループワークを行い、看護過程を実際に展開する。アセスメント、全体像の記述によって対象者を把握するプロセスを体験・理解する。	〃
15	〃	グループで情報収集について検討し、対象者（模擬患者）に対して面接を行う。	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	紙上事例による看護過程の展開	情報収集した内容に基づいて、対象者のアセスメント・全体像についてグループで検討する。	升田 一條 神成 綱元 他
17	"	紙上事例を用いグループワークを行い、看護過程を実際に展開する。アセスメント、全体像の記述によって対象者を把握するプロセスを体験・理解する。	"
18	"	"	"
19	"	グループワークに基づき、事例のアセスメントと全体像の発表を行う。内容を全員で検討し、看護過程の理解を深める。	"
20	"	"	"
21	"	紙上事例を用いグループワークを行い、看護過程を実際に展開する。他のグループの発表内容も参考にし、自分たちのグループのアセスメント内容を再検討する。引き続き事例の看護過程を展開する。	"
22	"	"	"
23	"	"	"
24	"	"	"
25	"	立案した初期計画に基づいて、対象者（模擬患者）に必要な看護援助（バイタルサインの観察他）を行う。経過記録を記載し、行った看護実践を評価する。	"
26	"	"	"
27	"	グループワークに基づき、事例の看護計画の発表を行う。内容を全員で検討し、看護過程の理解を深める。	"
28	"	"	"
29	まとめ	これまでの学習内容に関する質疑応答・まとめを行う。	升田
30	"	"	"

### 36. 看護倫理（必修）

担当教員	◎升田由美子、一條 明美、神成 陽子、網元 亜依		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 看護を実践する場では、さまざまな形の問題や葛藤が生じる。看護者として適切な倫理的意思決定と行動をするために必要な基本的知識を学習する。			
<b>到達目標</b> 一般目標 看護実践に必要な看護倫理に関する基本的知識を理解するとともに、看護実践における倫理的問題やジレンマとその対処法について理解する。 行動目標 1. 看護実践に必要な看護倫理に関する基本的知識である看護倫理原則、看護者の倫理綱領について説明できる。 2. 紙上事例、ビデオ事例、抑制体験演習に基づき、看護実践における倫理的問題やジレンマとその対処法について倫理的に分析し、自分の考えを述べるができる。 3. チームカンファレンス（グループ学習）によって、チームの一員として看護実践を考え、発表することができる。			
<b>授業の形式</b> 講義、グループ学習を行う。紙上事例、DVD事例などを用いて看護実践における倫理的問題やジレンマについて検討する。抑制体験を行い、看護者・患者両者の立場から抑制について考察する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 予習として、教科書の該当するページを精読する。課外学習として、抑制に関するDVD（約50分）2種類を事前に視聴する（詳細はガイダンスで説明する）。適宜、学習のまとめのレポート（A4判1～2枚程度）の提出を課す。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席状況：20点（1コマ欠席につき2点減点） グループワーク・発表：30点（ルーブリック評価） レポート：30点（ルーブリック評価） ミニツッパーパー等の提出物：20点によって評価を行う。 計100点のうち60点以上をもって合格とする。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 自分自身のうちにある「倫理」観と向き合いながら、看護者として、看護学生として看護実践に必要な看護倫理について学びます。チームカンファレンスを通して、倫理的意志決定と看護実践について全員で考えましょう。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護学基礎テキスト 第1巻 看護学の概念と理論的基盤	野嶋佐由美編	日本看護協会 出版会	2,400円+税
(教) 看護学基礎テキスト 第4巻 看護の機能と方法	小山真理子編	日本看護協会 出版会	2,400円+税
(参) 看護学テキストシリーズ NiCE 看護倫理	小西恵美子編	南江堂	2,200円+税
(参) 医療倫理学のABC 第3版	井部俊子監修 服部健司他編	メヂカルフレンド社	2,900円+税
(参) 看護学生のための医療倫理	盛永審一郎他編	丸善出版	2,600円+税
(参) 看護実践の倫理 第3版	サラT.フライ他	日本看護協会 出版会	2,200円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス 看護倫理とは	講義の進め方についてガイダンスを行う。看護倫理の定義、倫理原則について学ぶ。	升田
2	看護倫理原則	ピーチャムとチルドレスによる倫理原則、フライによる倫理原則について学ぶ。	〃
3	看護者の倫理綱領	日本看護協会（2003）の示す「看護者の倫理綱領」について学ぶ。	〃
4	看護学生の倫理行動基準	「看護学生の倫理行動基準」について学び、看護学生に求められる倫理的態度を理解する。	〃
5	看護実践と看護倫理	看護実践における倫理的問題について事例を通して学ぶ。	〃
6	事例検討① 抑制	抑制に関する事例を通して看護倫理についてグループで検討する。	〃
7	〃	〃	〃
8・9	〃	演習：抑制体験	升田 一條 神成 網元
10	〃	抑制に関する事例を通して看護倫理についてグループで検討・発表する。	升田
11	事例検討②	DVD事例について、グループで倫理的課題について検討する。	〃
12	〃	〃	〃
13	〃	グループごとに討議した内容を発表する。	〃
14	〃	〃	〃
15	まとめ	看護実践と倫理についてこれまでの学習のまとめを行う。	〃

### 37. 看護理論 (必修)

担当教員	◎升田由美子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 看護実践の科学的基盤となる看護理論とは何かを学び、看護実践に看護理論はどのように活用されるかを理解する。			
到達目標 1. 看護理論の定義と歴史の変遷について理解し、看護理論のタイプを説明できる。 2. コミュニケーションに関する理論について理解する。自分自身のコミュニケーションの傾向について説明できる。 3. 危機理論・役割理論について理解し、看護との関連を説明できる。 4. 以下の看護理論について理解し、看護実践での活用について説明できる。 ①哲学としての看護理論 ②ケアリング理論 ③セルフケア理論 ④システム理論・適応モデル ⑤目標達成理論 ⑥文化的ケア理論 ⑦人間関係の看護理論 ⑧キャリア発達理論 5. 実習中の自己の看護実践を看護理論に基づいて分析し、記述することができる。			
授業の形式 講義およびグループワーク、学生によるプレゼンテーションを組み合わせて行う。看護理論①～⑧については、個人で行う事前学習と疑問の明確化、学生によるプレゼンテーションと質疑応答、授業後の評価・感想の提出を課す。 授業のまとめとして、各自の看護体験を看護理論の視点から分析・考察する課題レポートを記述し提出することが必要である。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 履修内容を参照して、指定教科書の該当箇所をよく読み、疑問を明確にする。プレゼンテーションの準備として、教科書ならびに参考となる書籍を用いて事前に担当する看護理論について各自が個人学習したうえでグループワーク (課外) を行い、発表内容をまとめる。自分の担当外の看護理論については指定項目に関する理論の概要をルーズリーフにまとめるとともに疑問点を明らかにしておく。			
成績評価の基準等 出席状況：8点 (1コマ欠席につき2点減点) 定期テスト：40点 提出課題：32点 (4点×8回) レポート：20点 (ルーブリック評価) 計100点のうち60点以上をもって合格とする。			
学生へのメッセージ (履修上の心得など) これまでに履修した学習内容を活用し、積極的に自己学習を行い、看護理論に関する理解を深めましょう。看護理論というと苦手意識をもつ人が多いのですが、この授業を通して自分の看護観にフィットしたお気に入りの「看護理論」を見つけてください。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護学基礎テキスト 第1巻 看護学の概念と理論的基盤	野嶋佐由美編	日本看護協会 出版会	2,400円+税
(教) 看護の基本となるもの	ヘンダーソン 湯慎ます他訳	日本看護協会 出版会	1,200円+税
(参) 看護学テキストシリーズ NiCE 看護理論(第2版)	筒井真優美編	南江堂	2,200円+税
(参) 看護理論家とその業績 (第3版)	都留伸子監訳	医学書院	6,400円+税
(参) 事例を通してやさしく学ぶ 中範囲理論入門(第2版)	佐藤栄子編	日総研出版	3,500円+税
(参) 実践に生かす看護理論 19 新訂版	城ヶ端初子	サイオ出版	2,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス看護理論とは	講義の進め方についてガイダンスを行う。看護理論と看護実践の関係を理解する。	升田
2	看護理論の歴史の変遷	看護理論の歴史の変遷を概観し、看護理論の意義を理解する。看護理論のタイプについて学ぶ。	〃
3	ニーズ論	ヘンダーソンのニーズ論に基づき「看護独自の機能」について学ぶ。	〃
4	看護理論と中範囲理論	看護理論と関係の深い中範囲理論である危機理論、役割理論について学ぶ。	〃
5	哲学としての看護理論	ナイチンゲールおよびウィーデンバックの著作に拠り、哲学としての看護理論について学ぶ。	〃
6	ケアリング理論	ケアリングの概念およびケアリングに関する理論について学ぶ。	〃
7	セルフケア理論	学生のプレゼンテーションにより、セルフケア理論について学ぶ。	〃
8	システム理論・適応モデル	学生のプレゼンテーションにより、システム理論・適応モデルについて学ぶ。	〃
9	目標達成理論	学生のプレゼンテーションにより、目標達成理論について学ぶ。	〃
10	文化的ケア理論	学生のプレゼンテーションにより、文化的ケア理論について学ぶ。	〃
11	人間関係理論	学生のプレゼンテーションにより、人間関係の看護理論について学ぶ。	〃
12	キャリア発達理論	学生のプレゼンテーションにより、看護職のキャリア発達に関する理論について学ぶ。	〃
13	看護理論についてのまとめ①	これまでのプレゼンテーションのまとめを行い、質疑応答を通して疑問を解決し、看護理論の理解を深める。	〃
14	看護理論についてのまとめ②	学習した看護理論の活用方法について理解する。	〃
15	看護理論と看護実践	自らの看護実践体験について、看護理論を用いて分析しレポートにまとめる。	〃

### 38. リハビリテーション看護学（必修）

<b>担当教員</b>	◎服部ユカリ、大田 哲生、牧野 志津、野中 雅人、呂 隆徳（学内特別講師）、作業療法士・未定（学内特別講師）、林 圭輔（学内特別講師）、大宮 剛（学内特別講師）大坪 智美（非常勤講師）		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	前期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> リハビリテーションの概念と看護の役割やリハビリテーション専門職の役割とチーム医療を理解する。			
<b>到達目標</b> 1. リハビリテーションの理念について理解する。 2. リハビリテーション看護の役割を説明できる。 3. リハビリテーション専門職の役割を説明できる。 4. 嚥下障害・癌・コミュニケーション障害のリハビリテーションについて説明できる。			
<b>授業の形式</b> プリント資料・視聴覚教材の活用、グループワークなどを行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> シラバスの内容について、教科書・参考書で予習してくること。講義終了後は、講義内容に該当する高齢者看護学の教科書だけでなく、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、主題について整理しておくこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席状況、授業への参加態度、レポート、試験などから総合的に評価する。			
<b>学生へのメッセージ</b> リハビリテーションは医療・看護のすべての対象者に関わる概念である。参考書等も活用して主体的に学ぶことを期待する。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) リハビリテーション看護	酒井郁子他編	南江堂	2,520円
(参) 標準リハビリテーション医学	上田敏編	医学書院	7,350円
(参) 現代リハビリテーション医学	千野直一編	金原出版	9,800円
(参) ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション	藤原俊之他監修	医歯薬出版	5,460円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	リハビリテーションとは1	リハビリテーションの概念と生活機能を理解する	服部 牧野 野中
2	リハビリテーション看護1	患者の心理とリハビリテーションについて学ぶ(1)	服部 大坪
3	リハビリテーション看護2	患者の心理とリハビリテーションについて学ぶ(2)	服部 大坪
4	リハビリテーションとは2	リハビリテーション医療と専門医の役割を学ぶ	大田
5	リハビリテーションとは3	脳血管疾患のリハビリテーションを理解する	大田
6	リハビリテーション専門職の役割1	理学療法士の役割を学ぶ	呂
7	リハビリテーション専門職の役割2	作業療法士の役割を学ぶ	未定
8	リハビリテーションとは4	コミュニケーション障害、嚥下障害のリハビリテーションを理解する	大田
9	リハビリテーション専門職の役割3	言語聴覚士の役割を学ぶ	林
10	リハビリテーションとは5	癌のリハビリテーションを理解する	呂
11	地域リハビリテーション	地域におけるリハビリテーション・訪問リハビリテーションを学ぶ	大田
12	リハビリテーション看護3	リハビリテーション看護の実際を学ぶ(1)	大宮
13	リハビリテーション看護4	リハビリテーション看護の実際を学ぶ(2)	〃
14	リハビリテーション看護5	ライフサイクルにそったリハビリテーションと看護を学ぶ	服部
15	リハビリテーション看護6	リハビリテーションに関する課題学習	大坪

### 39. 成人看護学 I (必修)

担当教員	◎阿部 修子、荒 ひとみ、苔米地真弓、山口 希美、松田奈緒美、日野岡蘭子 (学内特別講師)、笹田 豊枝 (学内特別講師)、伊藤 史 (非常勤講師)、古澤亜矢子 (学内特別講師)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	通 年	4単位	60コマ
<b>授業の概要 (履修目的・到達目標)</b> 履修の目的 ・成人看護学の対象である成人期の特徴や健康問題を理解し、成人看護学の重要性と健康増進や疾病予防など成人保健活動における看護職の役割を学ぶ。 ・成人各期、健康の諸段階、多様な健康障害の各側面から、成人を対象とした看護の特徴を理解する。 ・成人における急性期、周手術期、慢性期、リハビリテーション期、終末期などの健康段階に応じた看護を学ぶ。さらに、それぞれの期において代表的な健康障害のある患者への看護援助を通して理解を深める。 到達目標 授業の開始時に資料で提示する。			
<b>授業の形式</b> 板書、プリント資料および視聴覚機器などを用いた講義、グループワークなど			
<b>準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量</b> 記載されているキーワードについて教科書参考書にて予習しておくこと。関係する既習学習は復習しておく。 講義終了後は、配布されたプリントを整理し履修主題についてまとめを行うこと。各履修主題達成目標についても考えをノートにまとめておくこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 定期試験 (80%)、課題レポートなどの提出物および出席状況 (20%) により評価する。			
<b>学生へのメッセージ</b> 成人看護学の対象者は、学生の皆さんの時期から始まります。成人看護学 I では、対象者のさまざまな健康状態に必要な看護支援について考えていきます。「もし、自分がこのような健康状態であったらどう思うか」、また「看護職にどのような看護援助を求めらるか」など、想像力を働かせて講義に参加することを期待します。なお、教科書は3年の成人看護学 II・成人看護学演習でも使います。また教科書「リハビリテーション看護 (南江堂)」は、リハビリテーション看護学と同じものを使います。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学成人看護学概論	林直子他編	南 江 堂	2,400円+税
(教) 急性期看護・クリティカルケア	明石恵子他編	メヂカルフレンド社	2,800円+税
(教) 周手術期看護	明石恵子他編	メヂカルフレンド社	3,800円+税
(教) 成人看護学慢性期看護 第2版	鈴木久美他編	南 江 堂	3,300円+税
(教) リハビリテーション患者	酒井郁子他編	南 江 堂	2,400円+税
(教) E.がん患者の看護 第3版	氏家幸子監修	廣 川 書 店	2,200円+税
(教) 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア	田村恵子他編	メヂカルフレンド社	3,000円+税
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南 江 堂	3,000円+税

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1	成人看護学のガイダンス 成人看護学の対象	授業の概要 成人看護学の対象について学ぶ	阿部
2	成人の発達と役割	成人各期の発達課題と成人の役割について学ぶ	〃
3	成人の生活と健康	成人の生活と、生活が健康におよぼす影響について学ぶ	〃
4	成人の健康問題と看護 (1)	成人の健康問題と看護について学ぶ	〃
5	成人の健康問題と看護 (2)	〃	〃
6	成人看護学で用いられる看護理論	成人看護学で用いられる基礎的な看護理論の概要を学ぶ	〃
7	成人保健の動向	人口構造や死亡の動向、成人期における疾病構造や受療行動の動向について学ぶ	荒
8	慢性疾患患者の看護 (1)	慢性期にある患者の看護を学ぶ	〃
9	慢性疾患患者の看護 (2)	〃	〃
10	慢性疾患患者の看護 (3)	〃	〃
11	慢性疾患患者の看護 (4)	〃	〃
12	慢性腎臓病患者の看護 (1)	慢性腎臓病患者の看護について学ぶ	阿部
13	慢性腎臓病患者の看護 (2)	〃	〃
14	慢性腎臓病患者の看護 (3)	〃	〃
15	慢性腎臓病患者の看護 (4)	〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	内分泌疾患患者の看護(1)	内分泌疾患患者（糖尿病等）の看護について学ぶ	阿部
17	内分泌疾患患者の看護(2)	"	"
18	内分泌疾患患者の看護(3)	"	"
19	糖尿病患者の看護の実際(1)	糖尿病の患者の看護活動の実際について学ぶ	古澤 (学内特別講師)
20	糖尿病患者の看護の実際(2)	"	古澤 (学内特別講師)
21	炎症性腸疾患患者の看護(1)	炎症性腸疾患患者の看護について学ぶ	苔米地
22	炎症性腸疾患患者の看護(2)	"	"
23	炎症性腸疾患患者の看護(3)	炎症性腸疾患患者の事例から退院時指導を検討する	荒 阿部 苔米地
24	炎症性腸疾患患者の看護(4)	"	"
25	肝障害のある患者の看護(1)	肝炎・肝硬変患者の看護について学ぶ	苔米地
26	肝障害のある患者の看護(2)	"	"
27	血液・造血器疾患患者の看護(1)	血液・造血器疾患患者の看護について学ぶ	松田 阿部
28	血液・造血器疾患患者の看護(2)	"	松田 阿部
29	血液・造血器疾患患者の看護(3)	"	松田 阿部
30	血液・造血器疾患患者の看護(4)	"	松田 阿部

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	慢性呼吸不全の患者の看護(1)	慢性呼吸不全の患者の看護について学ぶ（慢性呼吸不全の患者）	伊藤 (非常勤講師)
32	慢性呼吸不全の患者の看護(2)	"	"
33	回復期及びリハビリテーションが必要な患者の看護(1)	回復期およびリハビリテーションが必要な患者の看護について学ぶ	荒
34	回復期及びリハビリテーションが必要な患者の看護(2)	"	"
35	回復期及びリハビリテーションが必要な患者の看護(3)	"	"
36	回復期及びリハビリテーションが必要な患者の看護(4)	"	"
37	脳・神経疾患患者の看護(1)	脳・神経疾患患者の看護援助について学ぶ	苔米地
38	脳・神経疾患患者の看護(2)	"	"
39	骨折患者の看護(1)	骨折患者の看護について学ぶ	荒
40	骨折患者の看護(2)	"	"
41	関節リウマチ患者の看護(1)	関節リウマチ患者の看護について学ぶ	荒
42	関節リウマチ患者の看護(2)	"	"
43	I V Rを受ける患者の看護(1)	カテーテルを使った検査・治療を受ける患者の看護援助について学ぶ	山口
44	I V Rを受ける患者の看護(2)	"	"
45	急性期にある患者の看護(1)	急性期にある患者の看護を学ぶ	阿部



コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	急性期にある患者の看護（2）	急性期にある患者の看護を学ぶ	阿部
47	急性期にある患者の看護（3）	〃	〃
48	急性期にある患者の看護（4）	〃	〃
49	循環器疾患患者の看護（1）	循環器疾患患者の看護援助について学ぶ	阿部
50	循環器疾患患者の看護（2）	〃	〃
51	循環器疾患患者の看護（3）	〃	〃
52	循環器疾患患者の看護（4）	〃	〃
53	循環器疾患患者の看護（5）	〃	〃
54	循環器疾患患者の看護（6）	〃	〃
55	ストーマ造設患者看護（1）	ストーマ造設患者の特徴および看護援助について学ぶ	日野岡 (学内特別講師)
56	ストーマ造設患者看護（2）	〃	〃
57	緩和ケアを受ける患者の看護（1）	緩和ケアを受ける患者の看護	笹田 (学内特別講師)
58	緩和ケアを受ける患者の看護（2）	〃	〃
59	終末期にある患者に対する看護（1）	終末期にある患者に対する看護について学ぶ	阿部
60	終末期にある患者に対する看護（2）	〃	〃

#### 40. 高齢者看護学 I (必修)

<b>担当 教員</b>	◎服部ユカリ、牧野 志津、野中 正人、 坂本 尚志、 間瀬 智子 (学内特別講師) 近藤 国嗣 (非常勤講師)		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	後期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 高齢者看護学の理念を学ぶ。高齢者の身体・生理的、心理・発達の、社会的特徴の理解をもとに、老年期に多い疾患の特徴と看護を学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 高齢者への看護の基本的な考え方が理解できる。 2. 高齢者の身体・生理的・心理・発達の特徴を説明できる。 3. 老年期に多い疾患の特徴と看護について説明できる。			
<b>授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)</b> 教科書を補足するため適宜プリントを用いる。 適宜視聴覚教材を用いて、内容を主体的に理解する。 適宜国試の過去問題の小テストを行う。 講義のポイントを各自でまとめる。			
<b>準備学習(予習・復習)等の内容と分量</b> シラバスの内容について、教科書・参考書で予習してくる。講義終了後は、講義内容に該当する高齢者看護学の教科書だけでなく、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、配布されたプリントと合わせて主題について整理しておくこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 試験の成績に履修態度、出席状況を加味し総合的に評価する。 遅刻・早退は3回で欠席1回として扱う。			
<b>学生へのメッセージ(履修上の心得など)</b> 講義の内容は必要な知識のごく一部でしかない。自ら考え貪欲に学んで欲しい。 質問を歓迎する。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教)系統看護学講座 老年看護学	北川公子編	医学書院	2,730円
(教)系統看護学講座 老年看護病態・疾病論	佐々木英忠編	医学書院	2,310円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1・2	高齢者看護の理念	高齢者看護学の特徴と理念を考察する	服部
3・4	高齢者の特徴1	高齢者の特性の概要を学ぶ	服部 野中
5・6	高齢者の特徴2	高齢者の感覚器の加齢変化と生活への影響を理解する	間瀬
7・8	高齢者の特徴3	高齢者の循環器・呼吸器の生理的变化と病態の特徴を理解する	坂本
9・10	高齢者の特徴4	高齢者の精神・心理的变化と生活への影響を理解する	服部 野中
11・12	高齢者看護の基本1	高齢者看護に活用できる理論を学ぶ	服部 牧野
13	高齢者看護の基本2	高齢者のリハビリテーションを学ぶ	近藤
14	高齢者看護の基本3	高齢者の看護とエンパワメントを学ぶ	服部
15	高齢者看護の基本4	高齢者の人権擁護と虐待防止について考察する	牧野

#### 41. 小児看護学（必修）

<b>担当教員</b> ◎森 浩美、学内特別講師、非常勤講師			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	後期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 本科目の目的は、小児看護学の基礎として、①小児と家族が生きる社会環境について理解する、②小児と家族の権利、健康や成長・発達に関する知識を修得する、③小児と家族の権利を擁護するために必要な論理的態度を探究することである。小児と家族に関わる社会環境や法律・施策、統計データなどを概観する。その後、成長・発達段階別、症状別、状況別に小児の特徴と看護について学ぶ。さらに、学習の過程では、常に子どもと家族の権利について考え、看護師としての論理的行動について理解する。			
<b>到達目標</b> 1. 小児と家族を取り巻く社会環境について説明できる。 2. 小児と家族の権利、健康、成長・発達について説明できる。 3. 小児看護の役割と責務について説明できる。 4. 小児と家族を看護する者としての論理的態度について説明できる。			
<b>授業の形式</b> これまでの学習を基盤にして、小児看護学の基礎について解説します。主に教科書、資料、パワーポイント、DVDを用いた講義形式で行い、随時、グループワークも取り入れる予定です。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 教科書、参考書を元に、シラバスに記載されている内容について予習して臨んでください。講義終了後は教科書や配布資料を読み返し、復習してください。グループワークでは自己の意見を持って積極的に臨んでください。			
<b>成績評価の基準等</b> 中間試験40%、レポート10%、後期試験50%とし、合わせて60%以上を合格とします。試験は授業内容の理解、レポートは課題と記述内容の整合性や意見の論理性などを評価します。レポートの評価項目は課題配布時に提示します。また、全コマ数の2/3以上を出席しないと後期試験を受けることはできません。			
<b>学生へのメッセージ</b> 「子どもと家族の権利」「子どもと家族にとっての最善」「小児看護の役割・責務」について、学生の皆さんと考えるような授業にしたいと考えております。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,730 円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,940 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員	
1	小児看護の理念	小児看護の対象を明確にし、小児看護の目的、役割・責務について説明できるようにする。	森	
2		子どもの権利について説明できるようにする。	〃	
3	小児看護に関連する法律・施策、保健統計	小児と家族に関連する法律・施策、保健統計について概説できるようにする。	〃	
4	小児の成長・発達と看護	小児の特性、成長・発達の原則、発育評価について説明できるようにする。	〃	
5		乳児期の小児の成長・発達と看護について説明できるようにする。	〃	
6			〃	
7			〃	
8		幼児期の小児の成長・発達と看護について説明できるようにする。	〃	
9		学童期・思春期の小児の成長・発達と看護について説明できるようにする。	〃	
10			〃	
11			〃	
12		症状別にみる小児と家族の看護	症状別に小児の看護について説明できるようにする。 ①発熱 ②嘔吐 ③下痢 ④便秘 ⑤痛み	〃
13				〃
14	〃			
15	状況別にみる小児と家族の看護	外来を受診する小児と家族の看護について説明できるようにする。	〃	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	症状別にみる小児と家族の看護	外来を受診する小児と家族の看護について説明できるようにする。	森
17		入院している小児と家族の看護について説明できるようにする。	”
18			”
19		周手術期の小児と家族の看護について説明できるようにする。	”
20			”
21		在宅療養をする小児と家族の看護について説明できるようにする。 (医療的ケアを必要とする小児を中心に)	森 学内特別講師 非常勤講師
22			
23			
24			
25			
26		終末期の小児と家族の看護について説明できるようにする。	森
27		特別な支援を必要とする小児と家族の看護について説明できるようにする。 (児童虐待を中心に)	”
28			”
29			”
30	小児看護の課題	小児看護にある課題について説明できるようにする。	”

## 42. 母性看護学（必修・選択）〔看護学、母性、女性のライフステージと健康課題、周産期の看護〕

<b>担当教員</b>			
◎伊藤 幸子、山内まゆみ、野原 樹理、 本村 勲子（学内特別講師） 蒔田 芳男（学内特別講師） 横浜 祐子（学内特別講師）			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	後期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b>			
母性看護学における基本的な知識を学習する。女性のライフステージにおける健康課題と看護、リプロダクティブヘルス/ライツの概念、周産期の女性と新生児の生理的・心理的・社会的特徴と看護、母子関係を促進する看護を理解する。			
<b>到達目標</b>			
1. 女性の各ライフサイクルの健康課題を述べるができる。 2. 母子保健のための主な法律と施策を述べるができる。 3. 周産期の女性の看護アセスメントに必要な知識を習得する。 4. 胎児発育、新生児の健康のアセスメントと看護ケアについて述べるができる。 5. 新たな家族を迎える準備について述べるができる。 6. 母乳育児を確立するために必要な支援の方法を述べるができる。 7. 母子関係を促進する看護について述べるができる。			
<b>授業の形式</b>			
講義が中心となるが、積極的な参加・発言を期待する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書で予習してくること。講義後は時間内に配布された資料の自分の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。これらのことを前提として進める。			
<b>成績評価の基準等</b>			
出席3分の2以上のものを評価の対象とする（遅刻・早退は3回で1回の欠席とする）。試験は中間試験と後期試験の2回行い、その平均点60点以上を合格とする。但し、中間試験は追再試は行わない。授業時間中の態度、課題に対する取り組み姿勢は、参考点とする。			
<b>学生へのメッセージ</b>			
この科目は次年度に行われる母性看護学演習および実習の看護過程の展開に必要な基礎知識として、位置づけられていることを踏まえ、主体的に予習・復習に取り組み、学習してほしい。また、近い将来の自分自身のこととして、リプロダクティブヘルス、母子保健をとらえてほしい。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
系統看護学講座 母性看護学1	森 恵美 他	医学書院	2,400円+税
系統看護学講座 母性看護学2	森 恵美 他	医学書院	3,000円+税
(参) 新生児学入門	仁志田博志	医学書院	5,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	母性の意味、母性看護学の位置づけ、用いられる概念と看護理論について学習する。	伊藤
2	女性のライフステージ・母性の発達	女性のライフステージ各期（思春期・成熟期・更年期）の特徴と健康課題について学習する。また、母性の発達について学習する。	伊藤
3	母子保健に関わる法律と施策	母子の健康を守るための法律と施策を理解する。	伊藤
4	母子保健の動向	母子保健統計から現状の問題点や課題を理解する	伊藤
5	妊婦の看護①	妊娠による身体的変化と経時的変化、心理社会的特徴について学習する。	伊藤
6	妊婦の看護②	妊婦の健康と胎児の健康をアセスメントする。	伊藤
7	妊婦の看護③	妊娠によって生じる日常生活の変化をアセスメントする。	伊藤
8	妊婦の看護④	妊婦の身体的、心理社会的特徴から、起こりやすいトラブルについて考察する。	伊藤
9	妊婦の看護⑤	妊婦に必要な保健指導について学習し、その内容を考察する。	伊藤
10	特別講義	遺伝と出生前診断の基礎について学習する。	蒔田
11	産婦の看護①	分娩の機序と経過、産婦の身体的特徴について学ぶ。	山内
12	産婦の看護②	分娩が母体と胎児に与える影響と胎児の健康について学ぶ。	山内
13	産婦の看護③	分娩経過に伴う産婦の心理、家族の心理を学ぶ。	山内
14	産婦の看護④	分娩経過に伴う産婦のケアについて考察する。	山内
15	産婦の看護⑤	異常へと逸脱した産婦の看護について学ぶ（帝王切開を含む）。	山内

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	褥婦の看護①	褥婦の身体的変化の経時的特徴を学ぶ。	野原
17	褥婦の看護②	産褥期の進行性変化（乳房の変化）と母乳育児について学ぶ。	野原
18	褥婦の看護③	産褥期の心理的变化と母子相互作用、家族の役割調整について学ぶ。	野原
19	褥婦の看護④	産褥期に起こりやすいマイナートラブルについて学ぶ。	野原
20	褥婦の看護⑤	退院後の生活指導について学ぶ。	野原
21	新生児の看護①	新生児の看護の特徴について学ぶ。	山内
22	新生児の看護②	新生児の生理的特徴とその経時的変化を理解する。	山内
23	新生児の看護③	新生児の健康をアセスメントする。	山内
24	新生児の看護④	新生児の適応を促進する看護を考察する。	山内
25	新生児の看護⑤	新生児におこりやすい異常と看護について学ぶ。	山内
26	新生児の看護⑥	退院後の生活に向けた看護について学ぶ。	山内
27	ハイリスク新生児の看護	NICUで行われる看護について学ぶ	本村
28	思春期の健康	思春期に起こりやすい健康問題、課題について学ぶ。	横浜
29	更年期の健康	更年期に起こりやすい健康問題、課題について学ぶ。	伊藤
30	まとめ	母性看護学に関する最近のトピックスについて考察する。	伊藤

### 43. 精神看護学 I (必修)

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 精神看護の対象を発達の側面や社会的側面から理解し、精神障害の有無にかかわらず、全ての人の心の健康を支えるための看護について必要な基礎的知識と視点を学ぶ。			
到達目標 1. 精神医療が成立するまでの歴史的経緯と法制度を理解し、その中で精神科患者の人権がどう捉えられてきたか説明することができる。 2. 精神看護の対象の特徴を発達の視点や社会的視点と関連させながら説明することができる。 3. 精神障害の影響について個人と社会的要因を関連させながら説明することができる。 4. 精神科における行動制限の特徴と人権を擁護するための法的制度、及び看護について理解することができる。 5. 精神の健康を多角的に捉え、精神看護における人間理解と自己理解の必要性について説明することができる。 6. 現代の精神医療の課題をふまえ、精神看護の可能性と役割について考えることができる。			
授業の形式 主として講義形式です。講義前に必ず資料を配布しますが、考える材料として活用して欲しいため、講義内容を“聴き”そして“感じ”最後に“自分で考え”それを資料に書き込んで学びを深めてください。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 参考図書を示していますので、講義内容の部分をおらかじめ読んでから参加すると良いでしょう。復習ができるように各履修主題を終えた後に課題用紙も配布しますが、強制はしません。			
成績評価の基準等 ①出席状況 出席2/3以上 ②定期試験 100%			
学生へのメッセージ 精神看護の人権擁護の第一歩は、主体的に学び対象者を理解しようとするところから始まります。決して大きいことはしなくてよいので、真摯に学んでください。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護の基礎 精神看護学[1]	武井麻子、他	医学書院	2,376円
(参) 精神看護の展開 精神看護学[2]	武井麻子、他	医学書院	2,376円
(参) 精神看護学I 精神保健学	吉松和哉、他	ヌーヴェルヒロカワ	2,376円
(参) 精神看護学2 精神臨床看護学	川野雅資	ヌーヴェルヒロカワ	2,916円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神看護学のガイダンス	・授業の進め方・成績評価 ・精神看護とは何かを理解	長谷川
2	精神医療の歴史の変遷	・精神医療の成立 ・精神医療と社会・法制度	長谷川
3		・精神科患者の人権と自立 ・精神医療の課題と可能性	長谷川
4	精神の機能と健康	・精神の概念と機能 ・精神機能の障害	長谷川
5		・パーソナリティと防衛機制 ・精神障害と健康の視点	長谷川
6	生涯発達と精神の問題	・幼児期～学童期の発達と精神の問題 (親や友人関係の影響)	長谷川
7		・思春期・青年期の発達と精神の問題 (自己と向き合う不安)	長谷川
8		・成人期の発達と精神の問題 (社会関係の影響)	長谷川
9		・老年期の発達と精神の問題 (人生の統合と孤独)	長谷川
10	生活の場と精神保健	・学校・職場、地域におけるメンタルヘルス	長谷川
11	現代社会と精神の危機	・ストレス社会と健康問題 ・危機理論と精神保健	長谷川
12		・暴力と健康問題 ・児童虐待死から見えるもの	長谷川
13		・統計データから自殺問題を考察 ・自殺と精神疾患の関連性	長谷川
14	精神看護と人権擁護	・精神科における行動制限 ・精神保健福祉法の理解	長谷川
15	精神看護と自己理解	・精神科における感情の活用 ・プロセスレコードの概念	長谷川

#### 44. 精神看護学Ⅱ（必修）

担当教員	◎長谷川博亮、石川 千恵、他（旭川医科大学病院）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 精神障害の基本的知識を踏まえながら、精神症状が対象者に及ぼす影響を精神機能、身体機能、生活機能、社会機能から多角的に捉え、対象者の発達段階を考慮した回復と自立（自律）を促進する看護援助について学ぶ。			
到達目標 1. 精神障害の特徴を対象者への影響と関連させながら理解できる。 2. 理論的背景を踏まえながら精神科治療について理解できる。 3. 精神障害の影響を多角的に考えながら、対象者の精神状態の回復や安定に必要な情報収集とアセスメントができる。 4. 対象者の個性を踏まえながら、自立（自律）を考慮した看護援助の視点を身につける。 5. 精神科治療における看護師の役割を説明できる。 6. 精神科における医療安全管理（危機管理を含む）の留意点と看護について説明できる。 7. リエゾン看護について理解し、精神看護の多様性と可能性を深める。 8. 精神障害と社会復帰について理解し、対象者を地域で支える“人”“場”“制度”について説明できる。			
授業の形式 主として講義形式です。講義前に必ず資料を配布します。事例も多く示していきたいと思えます。事例についてはその講義の復習として位置づけてください。様々な文献を検討しながら自己学習して、皆さんのアセスメント能力を高めて欲しいと考えています。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予習をして欲しい内容は、事前に皆さんにお知らせします。各自、図書館等で学習してください。復習については事例を提供します。			
成績評価の基準等 ①出席状況 出席2/3以上 ②定期試験 100%			
学生へのメッセージ 精神科における現象は、視覚化やデータ化ができないことも多いため、我々は、様々な理論的背景を理解し、知識を得る必要があります。おそらく膨大な知識量になるでしょう。“専門職になる＝対象者と向き合い続ける”ということはそう簡単なことではありません。積極的にコツコツと学んでください。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護の基礎 精神看護学[1]	武井麻子、他	医学書院	2,376円
(参) 精神看護の展開 精神看護学[2]	武井麻子、他	医学書院	2,376円
(参) 精神看護学I 精神保健学	吉松和哉、他	ヌーヴェルヒロカワ	2,376円
(参) 精神看護学2 精神臨床看護学	川野雅資	ヌーヴェルヒロカワ	2,916円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神看護学Ⅱのガイダンス	・授業の進め方・成績評価 ・精神看護学Ⅱが目指すこと	長谷川
2	統合失調症と看護	・統合失調症の基本的理解 ・精神症状と生活への影響 ・薬物療法と副作用 ・ストレス脆弱性-対処技能モデル ・社会生活技能訓練の実際 ・統合失調症と自立支援 ・統合失調症と看護の留意点	長谷川
3			長谷川
4			長谷川
5	気分障害と看護	・気分障害の基本的理解 ・うつ病と身体との関係 ・不眠と看護 ・気分障害と自殺企図 ・薬物療法と副作用 ・新型うつ病 ・気分障害と看護の留意点	長谷川
6			長谷川
7			長谷川
8	不安障害と看護	・不安の定義 ・自我意識障害と不安 ・不安障害の基本的理解 ・パニック障害と予期不安 ・心的外傷後ストレス障害 ・認知行動療法 ・自律訓練法 ・不安障害と看護の留意点	長谷川
9			長谷川
10			長谷川
11	身体表現性障害と看護	・身体表現性障害の基本的理解 ・疾病利得の理解 ・身体表現性障害と看護 ・(適応障害) ・(解離性障害) についても触れます。	長谷川
12			長谷川
13	摂食障害と看護	・摂食障害の基本的理解 ・ボディイメージ ・摂食障害が身体に及ぼす影響 ・摂食障害と治療 ・家族の機能と家族療法 ・摂食障害の対象者の背活を知る(DVD視聴) ・摂食障害と看護の留意点	長谷川
14			長谷川
15			長谷川



コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	物質関連障害と看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質関連障害の基本的理解</li> <li>・依存の形成過程</li> <li>・アルコール依存症とせん妄</li> <li>・イネイブラーと共依存</li> <li>・依存症と治療</li> <li>・依存症と自助グループ</li> <li>・依存症と社会問題</li> <li>・物質関連障害と看護の留意点</li> </ul>	長谷川
17			長谷川
18			長谷川
19	パーソナリティ障害と看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナリティの概念</li> <li>・パーソナリティ障害の基本的理解</li> <li>・パーソナリティ障害と防衛機制</li> <li>・パーソナリティ障害と治療（リミット・セッティングを中心）</li> <li>・パーソナリティ障害と看護の留意点</li> </ul>	長谷川
20			長谷川
21			長谷川
22	自閉症スペクトラムと看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症スペクトラムの基本的理解</li> <li>・精神遅滞の考え方</li> <li>・精神障害との関連性</li> <li>・治療の方向性と看護の役割</li> <li>・自閉症スペクトラムと看護の留意点</li> </ul>	長谷川
23			長谷川
24	リエゾン看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リエゾン看護の概念</li> <li>・身体疾患と精神障害</li> <li>・リエゾンと医療チーム</li> </ul>	石川
25	安全医療管理と看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科における安全管理・危機管理の特徴</li> <li>・精神科と制限</li> <li>・人権擁護を踏まえた看護援助</li> <li>・精神科と医療チーム</li> </ul> ※講義の日程および講義内容を変更することがある	非常勤
26			非常勤
27			非常勤
28	老年期と精神障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症と精神症状</li> <li>・せん妄の基本的理解</li> </ul>	長谷川
29	精神障害と社会復帰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害と自立</li> <li>・長期入院患者と地域生活（ACT：包括型地域生活支援）</li> <li>・リカバリーの概念</li> <li>・精神障害を支える地域の力</li> </ul>	長谷川
30			長谷川

#### 45. 早期体験実習Ⅱ（必修）

<b>担 当 教 員</b>	教育センター 地域医療教育部門構成員		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	前期	1単位	1週
<b>履修目的・授業概要</b> 各人の1年間の学習体験を踏まえ、将来地域医療の担い手となる者として、地域での人々の生活、地域の保健医療福祉サービスの状況等を知ることが目的とし、宗谷・留萌・遠紋・十勝・空知管内の保健医療福祉施設で学習を実施します。地域での人々の暮らし、生活の実態を知り、医療、保健、福祉の現場に直接触れることにより、将来看護職者になるための学習の意味を知ると共に、地域包括ケアシステム、社会における看護職者の立場、役割を理解していただき地域医療への興味と関心を高めていただきたいと思います。			
<b>到達目標</b> ・人々の生活、暮らしの実態を知り、地域の特性や健康課題について考える。 ・地域の保健医療福祉サービスの状況や特徴を理解する。 ・看護師、保健師、助産師の活動を見学し、地域の看護職の役割を考える。 詳細は、実習要項に示す。			
<b>授業の形式</b> 宗谷、留萌、遠紋、空知、十勝地域の保健・医療・福祉の関係施設で実施する。多様な施設の見学、地域の特性を知るための産業の見学、病院の見学および看護ケアの体験を行う。 学内プレ発表（半日） 臨地実習 4日 学内発表 1日（準備含む） 学習形態 グループ学習 *実習は7～8月の間で1週間行う。実習地により時期が異なることに留意し実習地を選択すること。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 実習マニュアル等は熟読すること。 実習先が決まったら、その地域や、病院の特色について調べること、そこで何を学びたいか、実習目標を考え、そのためには何を体験したいか、具体的に考え、準備すること。 毎日の体験から何を学び何を期待されているのかまとめ、報告会に生かして下さい。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席状況と態度・報告書（約70%）・報告会の発表内容（約10%）を主な評価対象とします。さらに各実習施設での評価表の内容を加えて総合的に評価します。			
<b>学生へのメッセージ</b> 広域的、かつ医療過疎地域をあらゆる角度から体験して下さい。わたしたち看護職に何が求められているのか、地域の住民や地域医療の場で働くスタッフから学んで下さい。			

## 46. 基礎看護学実習Ⅱ

<b>担 当 教 員</b>	◎一條 明美、升田由美子、神成 陽子、 網元 亜依、稲垣 邦子（非常勤講師）、 江口 明子（非常勤講師）、 佐藤 貴子（非常勤講師）、 高橋 幸恵（非常勤講師）、他		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第2学年	後 期	2単位	2週間
<b>履修目的・授業概要</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入院患者を統合体として理解し、療養生活の看護援助を行う。</li> <li>2. 看護実践に必要な基礎的看護技術を習得する。</li> <li>3. 対人関係を築くために必要なコミュニケーション能力を高める。</li> </ol>			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受け持ち患者および家族との対人関係を築くことができる。</li> <li>2. 受け持ち患者の療養生活を身体・心理・社会的側面からとらえ、看護計画に沿って看護援助ができる。</li> <li>3. 看護チームメンバーの役割について理解する。</li> <li>4. 看護学生として、倫理行動基準に基づいた行動をとることができる。</li> </ol>			
<b>授業の形式</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学内において実習ガイダンス（実習の概要・倫理行動基準・健康管理等）を行う。</li> <li>2. 病棟実習は旭川医科大学病院で行う。入院患者を受け持ち、看護実践（情報収集、計画立案、実施・評価）を行う。</li> <li>3. 実習期間中は病棟実習後、学内で実習の振り返り、翌日の行動計画立案、記録の記載（グループ別・個別指導を含む）などを行う。</li> </ol>			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
<p>目標達成のためには、これまでに学習した内容をすべて統合させることが求められる。看護過程論で学習した看護過程の展開方法および受け持ち患者の看護実践に必要な知識と看護技術を復習する。事前に教員から提示される予習・復習内容（解剖生理学や疾患、検査、治療、実践することが多い看護技術等）を参考に個人・グループで学習する。また、全ての病棟実習終了後に、実習中の指導内容、受け持ち患者の経過および看護実践を振り返り、アセスメント・全体像・看護計画・経過記録の修正を行い、実習記録の最終提出を行う。</p>			
<b>成績評価の基準等</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・病棟実習状況（出席を含む）・実習記録：85点（ルーブリック評価）</li> <li>2. 実習レポート：15点（ルーブリック評価）</li> <li>3. 実習中および最終提出の提出期限も含めて評価する 出席が2/3以上であることかつ、総合点が60点以上であることで合格とする。</li> </ol>			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b>			
<p>これまでに学習した内容を活用し、積極的に実習に取り組んでください。実習でより良い学びを得るには日頃の学習が非常に重要です。また、体調管理も重要です。感染予防を十分に行い、生活習慣を整えて、実習に臨みましょう。</p>			

# 必修科目

【第3学年】

## 47. 保健医療福祉システム論（必修）

<b>担当教員</b>			
◎藤井 智子、児玉真利子、塩川 幸子、 横山 純一（非常勤）、中澤 香織（非常勤） 石戸谷康治（非常勤）、多田 伝生（非常勤）、 旭川市役所の職員（非常勤）、難病連（非常勤）			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第3学年	前期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b>			
わが国の健康課題の変化とそれに対応した保健医療福祉制度の変遷、および制度を支える法体系、財政のしくみについて学びます。歴史を踏まえ、現在の人々の健康を支えるために保健、医療、福祉がどのようにかわりあっているのかを概観し、看護職として求められていることは何か、果たすべき役割、について学びます。			
<b>到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療福祉制度の歴史、法的基盤および財政のしくみについて理解する。</li> <li>・社会福祉の概念をとらえ、障がい者、高齢者、労働者、子ども、女性が抱える問題について知り、社会福祉政策の現状と課題について理解する。</li> <li>・多様化・複雑化する社会福祉問題への援助について看護の機能とあり方について考えることができる。</li> </ul>			
<b>授業の形式</b>			
保健医療福祉の各専門分野で研究、活躍されている講師陣のオムニバス形式による講義			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
講義前には教科書の該当部分をよく読み臨んでください。配られた資料、プリントは講義終了後よく読んでください。			
<b>成績評価の基準等</b>			
・定期試験（各講師から出題）（80%）、出席状況（20%）により総合的に評価します。			
<b>学生へのメッセージ</b>			
人々の健康、生活を守るには医療だけではなく多様な分野の専門職と協力しながらしくみをつくっていかねばなりません。患者・住民に近い存在である看護職がどのような力を発揮すべきか考えてください。また、新聞・テレビ等のマスメディアに報道される保健医療福祉問題の話題に注意を向けてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 健康支援と社会福祉制度③ 社会福祉	山崎泰彦 他	メヂカルフレンド	2,000 円
(教) 健康支援と社会福祉制度④ 関係法規	山本光昭	メヂカルフレンド	2,200 円
(参) 地方自治体と高齢者福祉・教育福祉の政策課題	横山純一	同文館出版	2,808 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健医療福祉のめざすもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ法律や制度を学ぶのか</li> <li>・看護と福祉領域のつながり</li> <li>・保健・福祉・医療の連携とシステムづくり</li> </ul>	藤井
2		健康づくり・疾病予防に関連する法規および施策の概観 ・母子保健対策	塩川
3	地域保健法と保健活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり対策（健康日本21）</li> <li>・感染症対策</li> </ul>	〃
4		・難病・がん対策	〃
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民医療費の推移と財源構成</li> <li>・診療報酬の仕組み</li> <li>・医療保険料の仕組み</li> <li>・患者負担</li> </ul>	横山（非常勤）
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の進展</li> <li>・高齢者介護費の推移と財源構成</li> <li>・介護報酬の仕組み</li> <li>・介護保険料の仕組み、利用者負担</li> </ul>	〃
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的年金制度と財政</li> <li>・国民負担率とその国際比較</li> </ul>	〃
8	医療の質と医療経済の構造	・医療と介護の経済	〃
9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療提供体制</li> <li>・地域医療と自治体立病院</li> </ul>	〃
10		・今後の社会保障の課題と展望	〃
11		・診療報酬制度を看護を評価する指標としての観点から理解する	児玉
12	看護と経済	・経済的側面から看護実践を理解する	〃
13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉の概念・考え方</li> <li>・社会福祉の起源、歴史、範囲</li> </ul>	中澤（非常勤）
14	社会福祉の基礎と応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活者の健康と福祉</li> <li>・生活および生活構造、生活の障害とは</li> </ul>	〃
15		〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16		社会福祉の援助とソーシャルワーク ・ソーシャルワークの体系 ・ソーシャルワークの方法	中澤 (非常勤)
17	社会福祉の基礎と応用	〃	〃
18		〃	〃
19		社会福祉諸法における基本理念と施策体系	〃
20	社会保障・社会福祉の法規	障がいを持った人々への医療保障、生活ニーズを保障する制度を理解する	〃
21		・介護保障の制度をライフステージごとに理解する	〃
22		・精神に障害をもった人々の医療・生活を保障する制度を理解する	〃
23		①年金保険・公的扶助 福祉事務所、ケースワーカーの役割	旭川市役所職員 (非常勤)
24		〃	〃
25		②障がい者福祉制度 患者会の活動と役割	難病連 (〃)
26	社会福祉制度の概要と活動の実際	〃	〃
27		③成年後見制度 社会福祉協議会の役割	石戸谷 (非常勤)
28		〃	〃
29		④児童家庭福祉 児童相談所、児童福祉司の役割	多田 (非常勤)
30		〃	〃

## 48. 成人看護学Ⅱ（必修）

担当 教員	◎苫米地真弓、阿部 修子、荒 ひとみ、 酒井 周平（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 周手術期看護の概念を理解し、周手術期における看護師の役割と手術を受ける患者および家族の特徴、必要な看護援助について学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 周手術期看護の概念を理解し、手術を受ける患者および家族の特徴を説明できる。 2. 手術による麻酔の影響や外科的侵襲について説明できる。 3. 手術前、手術中、手術後に必要な看護援助について考えることができる。 4. 手術後の心身の反応と回復過程について説明できる。 5. 手術が必要な疾患と各疾患に特徴的な周手術期における看護援助を説明できる。 6. 集中治療を受ける患者の特徴と必要な看護について説明できる。			
<b>授業形式</b> 板書、プリント、視聴覚機器を活用しての授業			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 事前課題は教科書・参考書及び他の文献などを用いて予習をして提出すること。 提出された課題は講義中に一度返却するので、講義終了後は追加修正などを行い再提出すること。			
<b>成績評価の基準等</b> 定期試験（85%）、事前課題（15%）から得点を算出して評価する。 80点以上：優、70点以上80点未満：良、 60点以上：可、60点未満：不可			
<b>学生へのメッセージ</b> 事前課題による予習や自己学習などの十分な準備を必要とします。また、後期から開始される臨地実習に向けて、主体的かつ積極的な講義への参加姿勢を期待します。なお、教科書は2年生の時に購入した成人看護学の教科書を使用します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 成人看護実習ガイドⅠ	井上 智子	照林社	2,940円
(参) 成人看護実習ガイドⅡ	野並 葉子	照林社	2,940円
(教) B. 急性期にある患者の看護Ⅰ 第3版	氏家幸子監修	廣川書店	2,100円+税
(教) B. 急性期にある患者の看護Ⅱ 第3版	氏家幸子監修	廣川書店	2,200円+税
(教) D. リハビリテーション患者の看護 第3版	氏家幸子監修	廣川書店	2,500円+税
(教) E. がん患者の看護 第3版	氏家幸子監修	廣川書店	2,200円+税
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	周手術期看護（1）	周手術期看護の概念を学ぶ	阿部
2	周手術期看護（2）	手術前の患者の特徴と手術前に必要な看護援助を学ぶ	〃
3	周手術期看護（3）	手術中の患者の特徴と手術中に必要な看護援助を学ぶ	〃
4	周手術期看護（4）	手術後の患者の特徴と手術後に必要な看護援助を学ぶ	〃
5	脳外科手術と看護（1）	脳外科手術を受ける患者の特徴と看護援助を学ぶ	苫米地
6	脳外科手術と看護（2）	〃	〃
7	呼吸器系の手術と看護（1）	呼吸器系（肺）の手術を受ける患者の特徴と看護援助を学ぶ	荒
8	呼吸器系と手術と看護（2）	〃	〃
9	消化器系の手術と看護（1）	消化器系（上部消化管）の手術を受ける患者の特徴と看護援助を学ぶ	苫米地
10	消化器系の手術と看護（2）	〃	〃
11	消化器系の手術と看護（3）	消化器系（下部消化管・肝臓）の手術を受ける患者の特徴と看護援助を学ぶ	苫米地
12	消化器系の手術と看護（4）	〃	〃
13	循環器系の手術と看護（1）	循環器系（心臓）の手術を受ける患者の特徴と看護援助を学ぶ	荒
14	循環器系の手術と看護（2）	〃	〃
15	集中治療下での看護	集中治療を受ける患者の特徴と看護援助を学ぶ	酒井 (学内特別講師)

## 49. 成人看護学演習（必修）

担当教員	◎荒 ひとみ、阿部 修子、苫米地真弓、 松田奈緒美、野中 雅人、 岩崎 真実（学内特別講師）、 宗方 孝次（学内特別講師）、 平瀬美恵子（学内特別講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	通年	1単位
コマ数 30コマ			
履修目的・授業概要 健康障害を生じている成人期の患者に必要な看護援助を習得する。			
到達目標 1. 急性疾患で入院した患者に対して、必要な情報収集（フィジカルアセスメントを含む）し、初期計画を立案することができる。 2. 呼吸器疾患の患者に対する治療・検査・処置に関連して看護援助を行うことができる。 3. 化学療法を受ける患者に対する看護を行うことができる。 4. 手術を受ける患者に対して必要な検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。 5. 糖尿病を持つ患者に必要な検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。 6. 水分出納管理が必要な患者に対する看護援助を行うことができる。 7. 放射線療法を受ける患者に対する看護を行うことができる。 8. 成人期にある患者の初期計画を立案し、その評価をすることができる。 9. 緊急対応が必要な患者に対する看護援助を行うことができる。 10. 医療機器の安全な取り扱いを述べることができる。 11. 外来看護の実際を述べることができる。			
授業形式 模擬患者やシミュレーターを活用し、学内で演習を行う。看護過程の展開に関しては、グループワーク、プレゼンテーションを行う。化学療法、医療機器の取り扱い、外来看護については講義を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスに記載されているキーワードについて教科書・参考書にて予習しておくこと。演習では関係する既習学習及び既習技術は習得しておく（例：アナムネーゼ聴取の時はアナムネーゼとは何か、その方法、コミュニケーションの技術、バイタルサインの測定等々）。配布資料にある自己学習の課題は、ノートにまとめておくこと。 講義・演習の終了後は、演習技術の復習及び配布されたプリントを整理し、必要な知識についてのまとめを行うこと。			
成績評価の基準等 レポート課題類（15%）、演習の参加状況（5%）、試験（80%）などにより総合的に評価する。			
学生へのメッセージ（履修上の心得など） 事前学習および事前の十分な準備を必要とします。グループ演習ですので、準備をしていない学生がいると、演習の課題が終了しません。積極的な参加を期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 臨床看護技術 パーフェクトナビ	猪又克子	学研	4,410円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	アナムネーゼ聴取と看護過程(1)	呼吸器疾患患者と設定しアナムネーゼ聴取・フィジカルアセスメントと看護過程の展開を行う。	阿部 荒 苫米地 松田
2	アナムネーゼ聴取と看護過程(2)		
3	アナムネーゼ聴取と看護過程(3)		
4	アナムネーゼ聴取と看護過程(4)	看護過程の展開の評価を行う。	阿部 荒
5	呼吸機能に障害のある患者に対する看護援助技術	呼吸機能に障害のある患者を設定し、呼吸状態の観察、酸素吸入、ネブライザー、パルスオキシメーター測定、口腔内吸引、筋肉内注射などの演習を行う。	阿部 荒 苫米地 松田
6			
7			
8	水分出納管理の必要な患者に対する看護援助技術	水分出納の管理の必要な患者を設定し、静脈確保、点滴静脈内注射、中心静脈栄養法の管理（輸液速度等）、輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱いなどを演習する。膀胱留置カテーテルの取り扱いと尿及び浮腫の観察を行う。	"
9			
10			
11	糖尿病を持つ患者に対する看護援助技術	糖尿病患者を設定し、糖尿病患者に必要なフィジカルアセスメント、自己血糖測定、インスリン皮下注射（シリンジ・ペン型）の演習を行う。	"
12			
13			
14	化学療法を受ける患者の看護	化学療法を受ける患者の看護を学ぶ。	岩崎真実 (学内特別講師)
15			



コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	医療器具の取り扱い(1)	医療現場で使用されている医療器具を安全に取り扱うための知識を学ぶ。	宗方孝次 (学内特別講師)
17	医療器具の取り扱い(2)		
18	外来看護	外来における看護について学ぶ	平瀬美恵子 (学内特別講師)
19	事例展開(1)	事例展開のガイダンス	阿部
20	事例展開(2)	初期計画のカンファレンスを行う	阿部 荒 吉米地 松田
21			
22			
23	緊急時の看護技術	応急処置の必要な患者を設定し、一次救命処置、AED、気管内挿管時の看護援助や患者急変時の看護援助などについて演習を行う。	"
24			
25			
26	手術を受ける患者に対する看護技術	周術期にある患者を設定し、手術前の呼吸器合併症予防のための看護援助、術前処置、手術後の観察（麻酔からの覚醒の確認、呼吸音聴取など）、各種ドレーンの管理と観察などの演習を行う。	"
27			
28			
29	放射線療法を受ける患者の看護	放射線療法を受ける患者の看護を学ぶ	野中
30			

## 50. 高齢者看護学Ⅱ（必修）

担当 教員	◎服部ユカリ、佐藤 伸之、牧野 志津、 野中 雅人、 植山さゆり（学内特別講師） 内島みのり（非常勤講師） 中田 真依（非常勤講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	1単位
コマ数 15コマ			
履修目的・授業概要 高齢者の個別性に応じた老年看護の展開ができるよう、基本となる知識の修得と感性を涵養する。また、健康障害・生活障害が家族や地域とどのような関係があるかについても理解し、高齢者を支える社会制度の現状とあり方について学ぶ。			
到達目標 1. 老年期に多い排泄障害、嚥下障害、廃用症候群、骨折の予防と看護について説明できる。 2. 認知症の基礎知識を学び、患者や家族の看護について説明できる。 3. 高齢者看護の倫理について説明できる。 4. 高齢者が利用できる制度について理解できる。			
授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など) 主として講義形式で行う。適宜視聴覚教材を用いる。 適宜看護師国家試験の過去問題の小テストを行う。 講義のポイントを各自でまとめる。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスの内容について、教科書・参考書で予習してくること。 講義終了後は講義内容に該当する高齢者看護学の教科書だけでなく、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、配付されたプリントと合わせて主題について整理しておくこと。			
成績評価の基準等 試験およびレポートの成績に履修態度、出席状況を加味し総合的に評価する。 遅刻・早退は3回で欠席1回として扱う。			
学生へのメッセージ（履修上の心得など） 講義の内容は必要な知識のごく一部でしかない。自ら考え貪欲に学んで欲しい。 質問を歓迎する。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
高齢者看護学Ⅰと同じ			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	高齢者看護における援助の基本1	高齢者に多い疾患の概要と看護について学ぶ	服部
2	高齢者看護における援助の基本2	高齢者に多い循環器系疾患について学ぶ	佐藤
3	高齢者看護における援助の基本3	高齢者に多い骨折と予防・看護について学ぶ	中田
4	高齢者看護における援助の基本4	高齢者に対する検査と看護について学ぶ	野中
5	高齢者看護における援助の基本5	高齢者の手術療法と看護の実践について学ぶ	植山
6	高齢者看護における援助の基本6	高齢者の薬物療法と看護について学ぶ	野中
7	高齢者看護における援助の基本7	高齢者のせん妄とうつの看護について学ぶ	中田
8	高齢者看護における援助の基本8	認知症の原因疾患・症状について学ぶ	服部
9	高齢者看護における援助の基本9	認知症の看護を学ぶ	服部
10	高齢者看護における援助の基本10		
11	高齢者看護における援助の基本11	認知症高齢者の家族への看護を学ぶ	服部
12	高齢者看護における援助の基本12	音楽療法について学ぶ	内島
13	高齢者看護における援助の基本13	高齢者のターミナルケア・性について学ぶ	服部
14	高齢者を支える制度1	介護保険制度を理解しサービス利用に関する看護職の役割を学ぶ	牧野
15	高齢者を支える制度2	高齢者と家族を支える多職種連携について考察する	牧野

## 51. 高齢者看護学演習（必修）

担当教員	◎牧野 志津、服部ユカリ、野中 雅人、 内島みのり（非常勤講師）、 塚田 鉄平（学内特別講師）、 田中 団（学内特別講師）、 高橋 夢子（学内特別講師）、 工藤 紘子（学内特別講師）、 金 絵理（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 高齢者の個別性に応じた看護が展開できるよう技術を習得する。			
到達目標 ・高齢者の特徴について理解を深める。 ・高齢者の個別性に応じた看護を理解し、実施することができる。			
授業の形式 主に演習方式で行う。 ロールプレイ、シミュレーション、グループワークを組み合わせで行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予習：基礎看護技術学で学んだ看護技術の復習をして演習に臨むこと。配付する高齢者看護学演習要項を読み学習しておく。 復習：講義で学んだ看護技術は一人でできるよう復習や練習をしておくこと。			
成績評価の基準等 実技試験（40%）、筆記試験（30%）、レポートの成績・演習への参加姿勢・出席状況（30%）			
学生へのメッセージ ・積極的かつ主体的な学習を期待します。 ・特別な事情がない限り、連絡なく欠席した場合は、別途試験や課題を課すことがあります。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 根拠と事故防止からみた老年看護技術	亀井智子編集	医学書院	本体価格 3,800円 税込価格 4,104円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	本科目の進め方などについて理解する。	服部 牧野 野中 非常勤講師
2	高齢者の看護過程の展開方法1	疾病のある高齢者の看護家庭を事例を用いて展開する。	〃
3	認知症高齢者とその家族の理解1	「認知症家族会の方を囲んで」に参加するために事前学習を行う。	〃
4			
5	認知症高齢者とその家族の理解2	認知症高齢者とその家族について理解を深めるために「認知症家族会の方を囲んで」に参加し、お話を伺い、家族の状況や思いを理解する。	〃
6			
7	認知症高齢者とその家族の理解3	家族会でまとめたレポートをグループ毎に発表する。	
8			
9	高齢者への援助方法	音楽療法について学ぶ	内島
10			
11	高齢者の看護課程の展開方法2	看護課程展開のグループ発表・解説、グループ毎の見直しをとおして看護課程の展開について理解を深める。	服部 牧野 野中 非常勤講師
12			
13			
14	体圧測定	看護課程展開のグループ発表・解説、グループ毎の見直しをとおして看護過程の展開について理解を深める。	服部 牧野 野中 非常勤講師
15			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	嚥下障害のある高齢者への援助	嚥下障害のある高齢者への具体的な援助方法（食事内容、介助方法、胃瘻および口腔ケア）を学ぶ	金工藤
17			
18			
19	更衣の介助 排泄の介助	障害のある高齢者の更衣の援助方法を演習する。 例) 二部式病衣からトレーナーへ障害のある高齢者の排泄の援助方法を演習する。 例) オムツ交換	服部 牧野 野中 非常勤講師
20			
21			
22	移動の介助	障害のある高齢者の更衣の援助方法を演習する。 例) 立位介助、車椅子への移乗介助	服部 牧野 野中 非常勤講師 学内特別講師 (PT・OT)
23			
24			
25	筆記試験 グループ学習	筆記試験によって知識の確認をする。 学んだことを復習し実技試験に備える。	服部 牧野 野中 非常勤講師
26			
27			
28	実技試験	試験（グループ毎の実技試験）を実施し高齢者に必要な看護技術の習得度を評価する。	"
29			
30			

## 52. 小児看護学演習（必修）

担当 教員	◎森 浩美、坂東 利枝 舟林 綾子（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 本科目の目的は、①成長・発達や発達課題の視点から小児を理解し、必要な看護、看護師の役割・責務を考察する、②看護学の知識を活用し、小児のフィジカルアセスメント技術、検査・処置に伴う看護技術を修得する、③小児と家族を対象とする看護師の論理的態度を養う、ことである。 看護技術の修得についてはモデル人形を使用し、学生が母親役や看護師役をしながら実習室で演習する。授業は学生の能動学習を中心に展開するため、必要に応じて図書館や講義室などを自由に活用する。			
<b>到達目標</b> 1. 小児と関連する現代社会の問題・課題を考察し、看護の役割・責務を明らかにする。 2. 健康問題のある小児と家族の看護を理解する。 3. 小児の看護に必要な基本的看護技術の目的・方法を理解し、修得する。 4. 小児と家族に対する論理的態度を身につける。			
<b>授業の形式</b> 小グループに分かれ、実習室での学習・演習を基本とする。それと並行して、図書館や講義室なども活用しグループワークを行う。各セクション終了ごとに全体会を行い、それぞれの学習成果を発表し、議論を重ねながら学習を共有し深める。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 小児看護学講義や基礎看護技術学などこれまでに学習した内容を復習したうえで、本科目に臨む。加えて、授業内での学習成果をそれ以降の学習に活用し、形式的に学びを深める。			
<b>成績評価の基準等</b> 個人学習による成果50%、グループ学習による成果50%として評価し、全体の60%以上の獲得を持って合格とします。但し、コマ数全体の2/3以上出席しないと単位の取得はできません。			
<b>学生へのメッセージ</b> 小児と家族をよく理解したうえで、科学的根拠に基づく看護技術の修得を目指してください。また、本科目で取り上げる内容は小児看護学の一部に過ぎません。小児看護学を広く深く理解するための学生自身による能動的学習を期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,730 円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,940 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員	
1	ガイダンス	本科目の目的、目標、授業方法などについて理解する。	森坂東舟林	
2	小児看護の役割・責務	小児と家族を看護する看護師の役割・責務について理解する。	〃	
3			〃	
4			〃	
5	小児のフィジカルアセスメント技術	モデル人形（小児サイズ）を使用し、以下の看護技術を修得する。 ①フィジカルアセスメント技術 ②バイタルサイン測定 ③身体計測	〃	
6			〃	
7			〃	
8	小児と関連する現代社会の問題・課題	小児と関連する現代社会の問題・課題について考察し、看護の役割・責務を明らかにする。（グループワーク）	〃	
9			〃	
10			〃	
11			〃	
12			〃	
13			〃	
14			小児と関連する現代社会の問題・課題について考察し、看護の役割・責務を明らかにする。（全体会・成果発表）	〃
15			〃	

小児看護学演習 第3学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	対象理解と小児看護技術	健康問題のある小児と家族の看護を理解し、必要な看護技術を修得する。 (グループワーク)	森坂東舟林
17			”
18			”
19			”
20			”
21			”
22			”
23			”
24			”
25			健康問題のある小児と家族の看護を理解し、必要な看護技術を修得する。 (全体会・成果発表)
26	”		
27	”		
28	看護師の論理的態度	小児と家族を看護する看護師としての論理的態度を理解する。	森坂東舟林
29			”
30			”

### 53. 母性看護学演習（必修）

担当 教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、 野原 樹里		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3・4学年	後期	1単位	30時間
<b>履修目的・授業概要</b> 母性看護学（第2学年）の学習をふまえ、妊産褥婦および新生児を対象とした事例の看護過程を展開し、具体的なケアを立案する。また、母性看護学に特有の看護技術を学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 事例展開を通して褥婦および新生児の看護過程を学ぶ。 ・アセスメントに必要な情報を整理できる。 ・アセスメントに基づいた看護問題と解決目標を設定できる。 ・目標達成のための具体的な計画が立案できる。 2. 妊婦・褥婦・新生児の看護に必要な看護ケア技術が実施できる。 ・技術の目的、方法論の根拠に基づいて実施できる。 ・安全性に配慮した方法で実施できる。 3. 学習・技術練習を主体的に進めることができる。 4. 看護過程の展開と技術演習を通して、対象を尊重した内容であったか、自己の振り返りができる。			
<b>授業の形式</b> 第2学年で学習した内容を基に、翌週から始まる実習に備えた演習であり、グループワークが中心となる。事例による看護過程の展開はグループワークで行う。技術演習は実習で実践できるように、学生個々の練習が必要となる。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 第2学年で学習した母性看護学を基に看護過程を展開するので、使用した教科書・授業資料・参考図書を復習し、参加すること。学習した技術は実際の対象に実践できるように、復習・反復練習すること。			
<b>成績評価の基準等</b> 看護過程のグループワークへの参加姿勢・提出物、プレゼンテーションのためのグループワークの参加姿勢・発表（10%）、技術試験（ポイントの理解、技術の正確性、危険性の排除など）（90%）とし、全体の60%以上を合格とする。出席3分の2以上で評価の対象とする。			
<b>学生へのメッセージ</b> 主体的な姿勢で出席し、看護過程の展開、技術の取得に取り組んでください。グループワークの進行のためには健康上の自己管理に努めましょう。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,700円+税
(教) 系統看護学講座 母性看護学1	森 恵美他	医学書院	2,400円+税
(教) 系統看護学講座 母性看護学2	森 恵美他	医学書院	3,000円+税
(参) ウェルネスから見た母性看護過程+病態関連図	佐世正勝他	医学書院	3,800円+税
(参) 新生児学入門	仁志田博志	医学書院	5,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	コースガイダンス（日程と進め方）看護過程の事例紹介と進め方	伊藤 山内 巻島 野原
2	事例展開	対象の看護に必要な情報の整理と知識の確認	
3		自己学習	
4		フィードバック	
5		全体像を描く、看護問題の明確化	
6		目標の設定と具体策の立案について自己学習	
7		フィードバック	
8		実施した看護の評価	
9		自己学習	
10		教員によるデモンストレーション	
11		技術演習	
12		プレゼンテーション発表に向けたグループワーク	
13		妊婦・褥婦のフィジカルアセスメント（子宮底測定、レオポルド触診法、胎児心拍聴取）	
14	技術演習	産婦の看護ケア（産痛緩和法、陣痛測定法、胎児心拍の見方）	
15		新生児のフィジカルアセスメント（バイタルサイン測定、体重測定、全身の観察法）	

母性看護学演習 第3・4学年・後期・30時間（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	技術演習	新生児の沐浴と臍の処置、更衣	伊藤 山内 巻島 野原
17		乳房の見方、ポジショニングの取り方	
18		自己学習	
19	技術演習	看護技術に関する自己学習	
20			
21			
22			
23			
24			
25	技術試験	与えられた課題に対する看護技術の試験を行う。	
26			
27			
28	施設見学	実習施設（産科病棟・外来）の見学	
29			
30			



## 54. 精神看護学演習（必修）

<b>担当教員</b> ◎長谷川博亮、石川 千恵、他（非常勤看護師等）			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第3学年	前期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 対象者の成長・発達の視点を考えながら、精神看護学領域における看護援助について、精神症状や治療的側面を深めながら、実践能力を身につける。			
<b>到達目標</b> 1. 精神障害者の内的体験をアセスメントしながら、いくつかの接近の方法を示すことができる。 2. 精神症状が及ぼす影響を多角的に捉えるために知識の獲得しながら、看護過程を展開することができる。 3. 看護過程にもとづき、看護援助技術の実践的な展開ができる。 4. 精神科の治療について知識を獲得し、それぞれの治療における看護の留意点を示すことができる。 5. 精神科の治療において、対象者の状況に応じた対応と医療チームとしての連携ができる。 6. 精神科における行動制限の必要性と課題について、看護師・対象者の視点を踏まえて説明できる。 7. 行動制限における看護の留意点について観察項目を示しながら説明できる。 8. 対象者にとっての暴力の意味を説明できる。 9. 段階に応じた暴力の介入技術について、対象者の安全・安楽を踏まえながら実施できる。 10. 倫理的配慮を踏まえた看護実践ができる。 11. 演習を通じて、自己の特徴を客観視することができる。			
<b>授業の形式</b> 演習とグループワークを中心とする。演習前に、到達目標達成のためのポイントについて講義を行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> シラバスに記載されている履修主題・内容について事前に確認し、参考図書をもとに予習及び復習を行うこと。特に、演習前の予習を重視してください。			
<b>成績評価の基準等</b> ①出席状況及び参加態度を重視します。 30% ②レポート課題が2回あります。 20% ③最後に試験をします。 50%			
<b>学生へのメッセージ</b> 専門基礎科目、専門科目を通して学習したことを活用し、精神看護における実践技術を高められるように積極的に学習に取り組んでくれることを期待しています。また、演習を通して、対象者の人権を意識した行動がとれるような学習の機会になって欲しいです。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
精神看護学Ⅰ 精神保健学	吉松和哉、他	ヌーヴェルヒロカワ	2,376円
精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学	川野雅資	ヌーヴェルヒロカワ	2,916円
エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図	川野雅資	中央法規出版	3,240円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神障害の内的体験と接近法①	・精神看護学演習オリエンテーション ・精神障害の内的体験と接近法（講義）	長谷川石川
2	精神障害の内的体験と接近法②	課題提示：体験記を捜し、読む ・対象者の内的体験を様々な視点から理解する	長谷川石川
3	精神障害の内的体験と接近法③	個人ワーク（レポート提出） ・対象の精神障害の特徴や対人関係の特徴を踏まえながら、接近法を考察	長谷川石川
4	精神症状と看護①	・精神症状と看護（講義） ・事例紹介 ・グループワークのオリエンテーション	長谷川石川 非常勤
5	精神症状と看護②	グループワーク（学習） ・事例の精神症状をグループで調べる ・事例における問題点を明確化する	長谷川石川 非常勤
6	精神症状と看護③	グループワーク（学習） ・事例の精神症状をグループで調べる ・事例における問題点を明確化する	長谷川石川 非常勤
7	精神症状と看護④	グループワーク（看護計画） ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	長谷川石川 非常勤
8	精神症状と看護⑤	グループワーク（看護計画） ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	長谷川石川 非常勤
9	精神症状と看護⑥	グループワーク（ロールプレイ） ・場面を想定し、ケアを展開する ・発表に向けたロールプレイの準備	長谷川石川 非常勤
10	精神症状と看護の実践①	事例に基づいた看護の実践（発表） ・1グループの持ち時間30分（ロールプレイ15分 質疑応答15分） 1～3グループ	長谷川石川 非常勤
11	精神症状と看護の実践②	事例に基づいた看護の実践（発表） ・1グループの持ち時間30分（ロールプレイ15分 質疑応答15分） 4～6グループ	長谷川石川 非常勤
12	精神症状と看護の実践③	事例に基づいた看護の実践（発表） ・1グループの持ち時間30分（ロールプレイ15分 質疑応答15分） 7～9グループ	長谷川石川 非常勤
13	精神科治療と看護①	・精神科治療と看護（講義） ・グループワークのオリエンテーション	長谷川石川 非常勤
14	精神科治療と看護②	グループワーク（学習） ・割り当てられた精神科治療についてグループで調べる ・治療における看護の留意点をまとめる	長谷川石川 非常勤
15	精神科治療と看護③	グループワーク（学習） ・割り当てられた精神科治療についてグループで調べる ・治療における看護の留意点をまとめる	長谷川石川 非常勤

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	精神科治療と看護④	グループワーク（看護の展開） ・治療の流れに沿った看護の展開をグループで確認する ・精神科治療に必要な役割を決める	長谷川 石川 非常勤
17	精神科治療と看護⑤	グループワーク（看護の展開） ・治療の流れに沿った看護の展開をグループで確認する ・精神科治療に必要な役割を決める	長谷川 石川 非常勤
18	精神科治療と看護⑥	グループワーク（看護の展開） ・治療の流れに沿った看護の展開をグループで確認する ・精神科治療に必要な役割を決める	長谷川 石川 非常勤
19	精神科治療と看護の実践①	精神科治療に基づいた看護の実践（発表） ・1グループの持ち時間30分（ロールプレイ15分 質疑応答15分） 1～3グループ	長谷川 石川 非常勤
20	精神科治療と看護の実践②	精神科治療に基づいた看護の実践（発表） ・1グループの持ち時間30分（ロールプレイ15分 質疑応答15分） 4～6グループ	長谷川 石川 非常勤
21	精神科治療と看護の実践③	精神科治療に基づいた看護の実践（発表） ・1グループの持ち時間30分（ロールプレイ15分 質疑応答15分） 7～9グループ	長谷川 石川 非常勤
22	行動制限と看護①	・精神症状と看護（講義） ・緩和抑制帯の構造と看護の留意点 ・抑制のデモンストレーション	長谷川 石川 非常勤
23	行動制限と看護②	グループワーク（身体拘束の体験） ・看護師役と患者役に分かれて緩和抑制帯を体験する ・それぞれの立場をふり返り、必要な看護について議論する	長谷川 石川 非常勤
24	行動制限と看護③	グループワーク（身体拘束の体験） ・看護師役と患者役に分かれて緩和抑制帯を体験する ・それぞれの立場をふり返り、必要な看護について議論する	長谷川 石川 非常勤
25	精神科における暴力介入①	・精神科における暴力と看護（講義） ・精神科看護師が体験した暴力 ・暴力発生のメカニズム	長谷川 石川 非常勤
26	精神科における暴力介入②	グループワーク（暴力の対処） ・暴力の事例に基づき、暴力に至るまでの要因や対象者の状況を多角的に捉える ・介入の実際をロールプレイで再現	長谷川 石川 非常勤
27	精神科における暴力介入③	グループワーク（暴力と看護の展開） ・事例における暴力の看護を発表（5分） ・暴力を段階的に捉えながら、看護介入の多様性を理解する	長谷川 石川 非常勤
28	当事者のナラティブ①	当事者を交えたミニシンポジウム	長谷川 石川 非常勤
29	当事者のナラティブ②	当事者を交えたミニシンポジウム	長谷川 石川 非常勤
30	当事者のナラティブ③	フリーディスカッション	長谷川 石川 非常勤

55. 実践看護技術学 I (必修)

担当教員	◎山田 咲恵、照井 レナ、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 各看護学領域の講義や技術演習を統合してアセスメントし、より根拠に基づいた在宅療養者への個別性のある看護を実践するための技術を、学生が主体的に修得する。			
到達目標 一般目標 1. 在宅療養者の状況に応じ、個別性に合った看護援助を実施できる。 2. 看護職に必要な倫理的態度を身につけることができる。 行動目標 1. コースの概要を理解し、履修目的・到達目標を説明できる。 2. 在宅療養者の状況に応じた看護技術の目的・根拠・方法・注意事項が説明できる。 3. 在宅療養者の状況に応じた看護技術の実施（行動調整・実施報告含む）ができる。 4. 看護実践に必要な倫理的配慮を考え、実践できる。 5. 看護者としての自己の課題が列挙できる。			
授業の形式 学生は12グループに分かれ、在宅で提供される主要な12の看護技術について、1グループにつき1技術のプレゼンテーション（以下、プレゼン）およびデモンストレーション（以下、デモスト）を割り当てる。 基本1回（3コマ）につき2技術の演習を行い、そのうち1技術について後半の時間を使って実践的な演習を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 担当する在宅療養事例のアセスメントに基づき、必要な援助技術を明らかにし、担当教員の指導のもと、プレゼンとデモストの内容を考える。 資料として PowerPoint を作成し、補足する資料があれば準備すること。また、DVD教材の活用も考えること。			
成績評価の基準等			
評価方法	到達目標（行動目標）	評価基準	評価割合（%）
	1 2 3 4 5		
ミニテスト（事後）	○ ◎ ○ ○ ○ ○	単元ごと実施。12技術の積算。	50
グループ発表	○ ◎ ○ ○ ○ ○	発表・資料の妥当性・適切性	30
実技試験	○ ◎ ○ ○ ○ ○	1回目の合格には満点。	20
授業態度	○ ◎ ○ ○ ○ ○	講義・演習への取り組み	評価の参考
出席		2/3以上の出席	欠格
◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず グループ学修・プレゼン・デモストの内容および成果物（30%） ミニテスト（50%） 技術試験（20%）により評価 技術試験が不合格であった場合再試験を行います。再試験で合格した場合も技術試験の点数は20点となります。			
学生へのメッセージ 医療依存度の高い在宅療養者の増加に伴い、生活援助技術と高度医療技術の双方が求められています。演習は、「在宅看護学実習」などで経験するであろう在宅看護援助技術の中から、特に重要な項目を中心に構成しています。グループワークを主体とした演習を展開しますので、個々の参加度が課題達成に大きく影響します。皆さんの能動的・主体的な取り組みを期待します。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 写真でわかる訪問看護 ISBN-13：978-4899962915	押川真喜子	インターメディア	2,700円
(参) 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 ISBN-13：978-4830660467	日本糖尿病学会	文光堂	972円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	コースガイダンス	<input type="checkbox"/> グループ編成 担当G決定 <input type="checkbox"/> 事例提供	照井山田非常勤
2	グループ学修・発表時準備	<input type="checkbox"/> グループ学修 <input type="checkbox"/> グループ発表準備	
3			
4	訪問看護の実際	<input type="checkbox"/> 訪問時のマナー <input type="checkbox"/> 他職種との連携・チームビルディング	照井山田非常勤
5	フィジカルアセスメント	<input type="checkbox"/> フィジカルアセスメント	
6			
7	在宅における清潔のケア	<input type="checkbox"/> 在宅における入浴の援助に関するプレゼン・デモスト1G <input type="checkbox"/> オムツ使用中の褥瘡のある在宅療養者に関するプレゼン・デモスト2G	照井山田非常勤
8		<input type="checkbox"/> スキンケア演習 <input type="checkbox"/> オムツフィッティング	
9			
10	在宅における薬物療法	<input type="checkbox"/> 服薬管理に関するプレゼン・デモスト3G <input type="checkbox"/> 在宅血糖管理に関するプレゼン・デモスト4G	照井山田非常勤
11		<input type="checkbox"/> 血糖管理技術演習 ①血糖測定 ②インシュリンの投与 ③食事評価	
12			
13	在宅における排泄のケア	<input type="checkbox"/> 膀胱留置カテーテル管理中の在宅療養者への援助に関するプレゼン・デモスト5G <input type="checkbox"/> 在宅人工肛門造設者への援助に関するプレゼン・デモスト6G	照井山田非常勤
14		<input type="checkbox"/> ストマケア技術演習	
15			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	在宅における栄養のケア	<input type="checkbox"/> 在宅中心静脈栄養法施行中の療養者への援助に関するプレゼン・デモスト（7G） <input type="checkbox"/> 在宅胃瘻施行中の療養者への援助に関するプレゼン・デモスト（8G）	照井山田 非常勤
17		<input type="checkbox"/> 胃瘻ケア技術演習	
18			
19	在宅における呼吸ケア	<input type="checkbox"/> 在宅酸素療法施行中の療養者に対する援助に関するプレゼン・デモスト（9G） <input type="checkbox"/> 在宅人工呼吸療法施行中の療養者に対する援助に関するプレゼン・デモスト（10G）	照井山田 （業者）
20		<input type="checkbox"/> HOT 技術演習 <input type="checkbox"/> TPPV 技術演習 （レンタル機器使用）	
21			
22	実技試験	実技試験練習	照井山田 非常勤
23			
24			
25	実技試験	演習で行った技術のうち2技術についてグループごとの試験になります。ただし技術の実施者はくじで決まります。	照井山田 非常勤
26			
27			
28	開発・考案したアイデア商品・便利グッズの発表会  実践看護技術学Ⅱ コースガイダンス	アイデア商品作成	照井山田
29		<input type="checkbox"/> 担当した技術に特化したアイデア商品・便利グッズの発表	
30		<input type="checkbox"/> コースガイダンス <input type="checkbox"/> 事例提供 <input type="checkbox"/> グループ編成	

## 56. 実践看護技術学Ⅱ（必修）

<b>担 当 教 員</b>	長谷川博亮、濱田 珠美、阿部 修子、服部ユカリ 升田由美子、伊藤 幸子、伊藤 俊弘、及川 賢輔 荒 ひとみ、石川 洋子、一條 明美、森 浩美 平 義樹、児玉真利子、神成 陽子、塩川 幸子 苫米地真弓、石川 千恵、綱元 亜依、板東 利枝 松田奈緒美、山口 希美、山田 咲恵、野原 樹里 牧野 志津、巻島 愛、非常勤		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
3年生	後 期	1単位	30コマ
<b>授業の概要（履修目的・到達目標）</b>			
【履修目的】 実践看護技術学Ⅱでは、臨床の場に近い状況における技術試験を行うことによって、各科目で学習した知識・技術を統合し指導のもとに、原則をふまえつつ状況に合わせた看護技術を実施することができるようになることを目的とする。			
【行動目標】 1. コースの概要を理解し、履修目的・到達目標を説明できる。 2. 立案した看護計画から行動計画が立案できる。 3. 対象者の状況に合わせ、安全・安楽・自律の原則を踏まえ看護援助技術の実施ができる。 4. 実施した援助を評価することができる。 5. 指定された対象者の状況に応じた看護援助を実施することができる（技術試験）。			
<b>授業の形式</b> 事例に対する看護計画を活用し、場面設定や患者状況に応じた看護援助をトレーニングする。行動計画（事前）を立案し、実施、グループ間での評価で構成する。なお技術試験の課題は、この状況設定から出題する。			
<b>成績評価の基準等</b> 演習の参加状況、提出物、技術試験（詳細はガイダンス時に説明する）			
<b>学生へのメッセージ</b> 臨地看護学実習に向けての看護技術のチェックになりますので、今までの学習をしっかりと統合できるように主体的に学習しましょう。			

### 〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
適宜紹介する			

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1 2 3	技術トレーニング1	対象者の状況に合わせた看護援助を実施する。グループで行動計画を修正し、教員への報告・調整、実施の準備、看護援助の実施、教員への報告を行う。この一連の看護援助の指示に対してグループで評価を行う。	未定
4 5 6	技術トレーニング2	対象者の状況に合わせた看護援助を実施する。グループで行動計画を修正し、教員への報告・調整、実施の準備、看護援助の実施、教員への報告を行う。この一連の看護援助の指示に対してグループで評価を行う。	未定
7 8 9	技術トレーニング3	対象者の状況に合わせた看護援助を実施する。グループで行動計画を修正し、教員への報告・調整、実施の準備、看護援助の実施、教員への報告を行う。この一連の看護援助の指示に対してグループで評価を行う。	未定
10 11 12	技術トレーニング4	対象者の状況に合わせた看護援助を実施する。グループで行動計画を修正し、教員への報告・調整、実施の準備、看護援助の実施、教員への報告を行う。この一連の看護援助の指示に対してグループで評価を行う。	未定
13 14 15	技術トレーニング5	対象者の状況に合わせた看護援助を実施する。グループで行動計画を修正し、教員への報告・調整、実施の準備、看護援助の実施、教員への報告を行う。この一連の看護援助の指示に対してグループで評価を行う。	未定

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	試験ガイダンス	技術試験のガイダンスを行う	未定
17	自主練習	自主練習	未定
18		自主練習	未定
19	自主練習	自主練習	
20		自主練習	
21	自主練習	自主練習	未定
22		自主練習	
23 24 25 26 27 28	技術試験	技術試験	未定
29	まとめ	技術試験のフィードバックおよび実践看護技術学Ⅱのまとめ	未定
30		技術試験のフィードバックおよび実践看護技術学Ⅱのまとめ	

57. 在宅看護学（必修）

担当教員	◎山田 咲恵、照井 レナ、非常勤講師																																																														
対象学年	開講期	単位数	コマ数																																																												
第3学年	前期	2単位	30コマ																																																												
<b>授業の概要（履修目標・到達目標）</b> 【履修目的】在宅看護の対象である在宅療養者、障害者、要支援・要介護者とその家族の健康と生活について理解し、在宅看護の方法を学ぶ。また、その在宅ケアを支える保健・医療・福祉システムについて学習する。 【到達目標】 1. 在宅看護の機能と役割について説明できる。 2. 在宅療養者の健康と生活の特徴、および援助方法について説明できる。 3. 在宅ケアチームを構成する訪問看護を主とする諸機関および専門職の役割と連携について説明できる。 4. 在宅ケアに必要な社会資源である保健・医療・福祉システムについて説明できる。 5. 看護に有用な理論・概念はもとより、アセスメントの枠組みであるローパー・ローガン・ティアニー（以下、RLT）生活看護モデルを適用して、在宅の特性を反映したアセスメントができる。 6. 在宅療養者の権利擁護と看護職の説明責任について説明できる。																																																															
<b>授業の形式</b> 主に講義形式で行い、随時グループワーク、課題学修を行う。講義には、教科書、ハンドアウトのほか、パワーポイントやDVDなどの視聴覚教材も用いる。非常勤講師による講義が予定されているため、順序および内容が一部変更する可能性がある。																																																															
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 予習：シラバスや講義で配布するコースガイドに記載されている内容について、教科書・参考書にて予習しておくこと。 復習：配布されたハンドアウトを学習し直し、理解を深めてください。また、あなたの暮らす社会で日々起きている在宅看護に関する出来事に興味・関心を持ち、看護職を目指すものとして、自身の意見を持つこと。																																																															
<b>成績評価の基準等</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価方法</th> <th colspan="6">到達目標</th> <th rowspan="2">評価基準</th> <th rowspan="2">評価割合</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>正解率60%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>授業内レポート</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>レポート内容の適切 咳/ 妥当な記述量</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>質問カード</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>質問の有無/意見の表明</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>授業態度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>講義への取り組み姿勢</td> <td>参考</td> </tr> <tr> <td>出席</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2/3以上の出席</td> <td>欠格</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎：より重視する    ◎：重視する    空欄：評価に加えず</p>				評価方法	到達目標						評価基準	評価割合	1	2	3	4	5	6	定期試験	◎	◎	◎	◎	◎	◎	正解率60%	60%	授業内レポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	レポート内容の適切 咳/ 妥当な記述量	20%	質問カード	◎	◎	◎	◎	◎	◎	質問の有無/意見の表明	20%	授業態度	○	○	○	○	○	○	講義への取り組み姿勢	参考	出席							2/3以上の出席	欠格
評価方法	到達目標						評価基準	評価割合																																																							
	1	2	3	4	5	6																																																									
定期試験	◎	◎	◎	◎	◎	◎	正解率60%	60%																																																							
授業内レポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	レポート内容の適切 咳/ 妥当な記述量	20%																																																							
質問カード	◎	◎	◎	◎	◎	◎	質問の有無/意見の表明	20%																																																							
授業態度	○	○	○	○	○	○	講義への取り組み姿勢	参考																																																							
出席							2/3以上の出席	欠格																																																							
<b>学生へのメッセージ</b> 愚かな質問は存在しない、また質問する力も皆の能力のうちである。積極的な質問を期待する。在宅看護学は、各看護学領域との関連が深く、応用的かつ実践的な看護学領域である。専門的あるいは複雑・多岐にわたる内容を含むので、講義・演習以外にも資料を活用し、主体的に学修することを望む。																																																															

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 在宅看護学講座	スーディ神崎和代編	ナカニシヤ出版	3,024 円
(教) 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版	日本糖尿病学会	文光堂	972 円
(参) 家族看護理論とアセスメント	フリードマンM.M 野島佐由美監訳	へるす出版	—
(参) ローパー・ローガン・ティアニー看護モデルの実践—生活行為に基づく看護過程—	久間圭子	メディカ出版	—
(参) 在宅看護過程演習—アセスメント・統合・看護計画から実施・評価へ—	上田泉編	クオリティケア	—

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2 3	コースガイダンス	<input type="checkbox"/> コースガイダンス <input type="checkbox"/> 訪問看護師の役割 映像：NHK プロフェッショナル 第140回 2010年3月16日放送 訪問看護師 秋山正子 <input type="checkbox"/> 在宅看護とは何か/在宅看護を定義する	照井山田
4 5	在宅看護と制度・社会資源	<input type="checkbox"/> 在宅看護と制度・社会資源～旭川市：『いきいき長寿』をもとに学ぶ <input type="checkbox"/> 新聞記事を題材にして、制度の活用を考える	照井山田
6	意思決定支援	<input type="checkbox"/> 死を迎えようとしている人の価値観に向き合う (田嶋華子さんの事例・映像)	照井山田
7		<input type="checkbox"/> 医療処置を必要とする人のケア (小児/認知症)	非常勤
8	訪問看護ステーションの運営	<input type="checkbox"/> 医療処置を必要とする人のケア (がん/精神障害者) <input type="checkbox"/> 事前指示書とDNR (Do Not Resuscitate)	非常勤
9		<input type="checkbox"/> リスクマネジメント (災害看護を含む) <input type="checkbox"/> 医療処置を必要とする人のケア (慢性疾患患者・障がい者) <input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマ事例	照井山田
10		<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステム <input type="checkbox"/> 地域包括支援センターの役割と活動	非常勤
11	地域包括ケアシステム/ケアマネジメント/チームケア	<input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所・介護支援専門員の活動とケアマネジメント	非常勤
12		<input type="checkbox"/> ケアマネジメント事例の検討 <input type="checkbox"/> チーム医療・チームビルディング	照井山田
13 14	継続看護マネジメント	<input type="checkbox"/> 在宅ケア移行支援と在宅療養支援事例の検討	照井山田
15	在宅看護過程	<input type="checkbox"/> 異文化アセスメント <input type="checkbox"/> 家族アセスメント <input type="checkbox"/> 家族看護	照井山田

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16 17 18	在宅看護学過程	<input type="checkbox"/> 在宅看護学過程の枠組み ローバー・ローガン・ティアニー（RLT）生活看護モデルの適用 <input type="checkbox"/> エコマップ、ジェノグラム	照井山田
19 ～ 29	在宅における対象別看護	<input type="checkbox"/> 慢性疾患療養者 <input type="checkbox"/> 在宅がん療養者 <input type="checkbox"/> 在宅精神障害者 <input type="checkbox"/> 在宅難病療養者 <input type="checkbox"/> 在宅認知症療養者 <input type="checkbox"/> 在宅小児疾患療養者 <input type="checkbox"/> 形態機能、疾病、看護、家族支援について学ぶ <input type="checkbox"/> GW 各講義終了後、1Gにつき1事例看護過程を展開し、グループ発表を行う。 <input type="checkbox"/> 個人ワーク 上記より1事例選び、看護過程を展開、提出する	照井山田
30	定期試験	<input type="checkbox"/> 定期試験	照井山田



## 58. がん看護学（必修）

担当教員	◎濱田 珠美、石川 洋子、 尾崎 靖子（がん看護専門看護師）、 尾山 朋世（がん看護専門看護師）、 岩崎 真実（化学療法認定看護師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	15コマ
<b>授業の概要（履修目的・到達目標）</b> <b>【履修目的】</b> 近年、エビデンスに基づくがん医療は、先進的な技術を伴い、高度化・複雑化している。また、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族の療養の状況も多様化している。こうした社会、状況の理解に基づき、高度で専門的ながん看護の基本的知識を学び、ロールプレイを通して、がんを持つ人とその家族ががんと共生することを支援する技術、倫理的課題について取り組みQOLを高めるための実践を導く基本的がん看護を学ぶ。 <b>【到達目標】</b> 一般目標： 我が国のがんの現状とその対策・治療方法についての理解をふまえ、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族が主体的に健康問題を解決するために求められる看護の基本的アプローチを理解し、言語化する。 行動目標： 1. 我が国で多いがん（乳がん、肺がん、大腸がんなど）と共に生きる人とその家族の健康問題を説明できる。 2. がん（乳がん、肺がんなど）と共に生きる人とその家族の共生の過程を支えるアプローチと支援のあり方について表現できる。 3. がんと共に生きる人（乳がん、肺がんなど）とその家族へのチームアプローチの重要性と看護の役割を説明できる。			
<b>授業の形式</b> 講義では、がんと共に生きる人とその家族の特徴ならびに看護の特殊性に関する概念・理論を紹介しながら、がんと共に生きる人とその家族を支援するための方策を解説する。また、ロールプレイにより、がんと共に生きる人の症状を体験的に理解し、正確なアセスメント、緩和ケア方策を効果的にするための看護技術の学習へとつなげる。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> シラバスに記載されているキーワードについて教科書・参考図書にて予習しておくこと。乳がん・肺がん・大腸がん・生殖器系がんと共に生きる人の体験が書かれた闘病記などを各講義の前に1冊読んでおくこと。講義終了後は、配布されたプリントを読み返し、疑問点、看護ケアについてまとめ、次回の講義にそなえること。			
<b>成績評価の基準等</b> 1. 出席率が60%を下回る者は受験資格をもたない。 2. 出席状況（10%）、グループワークならびに成果発表状況（20%）、援助技術に関する課題レポート（30%）、期末テスト（40%）。			
<b>学生へのメッセージ</b> がんを持ち生きる人とその家族がどこにしようとも、がん医療チームのメンバーとして看護の役割を担うため、がん看護の知識、技術、態度を学び、効果的がん看護実践につながる基盤を培うことを期待します。がん看護コアカリキュラムは、がん看護実践に必要な知識を体系的にまとめた基礎から応用まで活用できる優れた教科書です。一緒に基礎から始めましょう。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) がん看護コアカリキュラム	監 訳 小島操子 佐藤禮子	医学書院	10,500円
(教) 成人看護学 E. がん患者の看護 第3版	監修:氏家幸子 編集:小松浩子 土居洋子	廣川書店	2,200円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・がんの動向	欧米・わが国のがんの動向、がん患者の病態、がん医療及び治療の特殊性について学ぶ。	濱田
2	QOLと予防メカニズム	がんと共に生きる人とその家族のQOLの概念の重要性、がんと共に生きる人について生じる身体メカニズムの変化について学ぶ。	濱田
3	がんに伴う苦痛症状・栄養・排泄状態の変化	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	石川
4	がんに伴う苦痛症状・呼吸・循環状態の変化	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	石川
5	大腸がんと共に生きる人の看護ケア	大腸がんの動向をふまえ、大腸がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	石川
6	肺がんと共に生きる人の看護ケア	肺がんの動向をふまえ、肺がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	濱田
7	生殖器系がんと共に生きる人の看護ケア	生殖器系がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	石川
8	乳がんと共に生きる人の看護ケア	乳がんの動向をふまえ、乳がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	石川
9	症状マネジメント	がんと共に生きる人が体験する症状について症状マネジメントの一連を学ぶ。	尾崎
10	セルフケア	がんと共に生きる人のセルフケア支援	岩崎
11	グループワーク看護過程	がんと共に生きる人とその家族の事例についてアセスメントを行い、看護計画を立案する。(ケーススタディ)	濱田 石川
12	グループワーク看護過程	"	"
13	援助技術	がんと共に生きる人とその家族への援助技術について学ぶ(ロールプレイ)	濱田 石川 尾崎 尾山
14	援助技術	"	"
15	まとめ・発表	がんと共に生きる人とその家族への援助技術について学習成果を発表する。	濱田 石川

## 59. 英語文献講読（必修）

担当 教員	◎濱田 珠美、伊藤 俊弘、及川 賢輔、 三好 暢博、平 義樹、桑名 保智、 戸塚 将、石川 洋子		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	1単位
コマ数 30コマ			
授業の概要（履修目的・到達目標）			
【履修目的】 英文で書かれた看護・保健・医療の文献を教材として、グローバルな視点から健康問題を意識し、看護師や保健師として活躍する際に活用できる英文読解力や実践的英語力の基礎を養う。			
【到達目標】			
1. 看護、保健、医療に関する英語表現の語彙を増やす。 2. 英文の構造に慣れ、短時間で内容を正確に読み取ることができる。 3. WHOからのレポートの内容を理解し、グローバルな視点から、健康問題について説明できる。 4. 欧米の看護師の活用する実践的英語表現の基礎的内容を表現できる。			
授業の形式			
看護・保健・医療に関する英語文献の読解とDVDの視聴による講義とグループワーク（GW）。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
教材を前もって読解し、分らない単語や熟語を辞書で調べておくこと。辞書を何回も引くことを薦めます。1コマあたり1時間程度を想定しています。			
成績評価の基準等			
・授業時間の全てに出席するのが、原則です。単位履修には3分の2以上の出席が必要です。 ・出席状況（10%）、グループワークへの参加度・貢献度（40%）、プレゼンテーション態度、成果物等（50%）で評価する。			
学生へのメッセージ			
英語文献講読の受講を通して、看護・保健・医療について、グローバルに活躍するための視点や知識、思考を養ってください。まずは、楽しんで世界の看護・医療・保健の情報に一步踏み出しましょう。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
教材は適宜示す			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1～3	今日のがん対策 － A Global Problem	ガイダンス WHOレポート：Global Action Against Cancer の抄読	濱田 石川
4～6	研究論文の抄読	英文資料の読解（GW）	濱田 石川
7～9	"	英文資料の抄読	伊藤
10～12	"	英文資料の抄読	及川
13～15	"	英文資料の読解（GW）	濱田 石川
16～18	日米の看護－比較と考察	英文資料の抄読（GW） 到達度の確認	三好 桑名 戸塚
19～21	"	英文資料の読解（GW）	濱田 石川
22～24	"	英文資料の抄読	平
25～27	"	英文資料の読解（GW）	濱田 石川
28～30	Presentations	英文資料の読解 成果発表	"

## 60. 看護研究 I (必修)

担当教員	◎伊藤 俊弘、阿部 修子、伊藤 幸子、及川 賢輔、長谷川博亮、服部ユカリ、濱田 珠美、藤井 智子、升田由美子 (看護学科)、照井 レナ (非常勤)、糸林真優子、田中 愛子、大西 詩織、佐々木杏里、田北 智子、佐藤 恵介 (学内特別講師/図書館)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	30コマ
<b>授業の概要 (履修目標・到達目標)</b> 【履修目的】 1. 看護研究に必要な基礎知識・技術・態度について学ぶ。 2. 実践科学であるといわれる看護学における看護研究の意義とその特徴について理解する。 3. 自然科学の模倣から出発した看護研究が目指す、人間の意識や体験といった主観性に着目した研究方法について理解する。 【到達目標】 1. 看護領域でよく用いられる研究 (事例研究・調査研究・実験研究) の方法とプロセスについて説明できる。 2. 看護研究でよく用いられる用語に関して、定義を説明できる。 3. 学んだ研究方法に関して、その実際を文献を通して検証できる。 [演繹法: 量的研究、帰納法: 質的研究] [事例研究・調査研究・実験研究] 4. 看護研究を行う学生としての準備が整う。 [遅刻・欠席がない/教科書を活用している/課題が期限内に提出される]			
<b>授業の形式</b> 授業は講義と演習を1パックとして展開し、知識と技能が習得されるよう意図しています。看護研究は、研究に関する知識を学んだだけでは習得できないものです。知識と共に、研究データを収集する技能や得られたデータを分析する技能、実践能力が必要になります。			
<b>準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量</b> 1. 講義と共に演習も、授業時間内で実施できるようなプランになっています。 2. 学習が積み上げられていくよう、復習をしっかりと行ってください。 3. 復習を通して疑問や不明な点がございましたら、次の講義の開始段階で申し出てください。			
<b>成績評価の基準等</b> ・成績評価は、レポート課題による。研究論文 (ケーススタディ/調査研究/実験・準実験研究/質的研究) のクリティークの4レポート (評価割合は各10%)、および最終レポート (夏休み後提出、評価割合は60%) の、合計5レポートにより評価する。 ・最終レポート課題は、以下の文献のいずれかを読み、その史実から看護研究における倫理的配慮について得た教訓を述べることである。 ①遠藤周作:『海と毒薬』新潮文庫、②上坂冬子:『生体解剖』中公文庫、③ベンオ・ミューラーヒル (南光進一郎監訳):『ホロコーストの科学 ナチスの精神科医たち』岩波書店、④野田正彰:『戦争と罪責』岩波書店、⑤野田正彰:『喪の途上にて』岩波書店 ・最終レポートの評価の視点は、次の6点である。①レポートの構成 (表紙含む)、②誤字脱字・引用文献の記載内容、③用いた史実の紹介、④史実から読み取れる医療 (科学) 者の行動を決定づけたものについての考察、⑤史実を踏まえた自分の考えの表明、⑥提出期限遵守			
<b>学生へのメッセージ</b> 看護研究を学びながら、日常生活で見聞きする人権や倫理的配慮について、更に実習で見聞きする看護場面と重ね合わせ、興味・関心、問題意識を育てていってほしいと思っています。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
これからの看護研究—基礎と応用— 第3版	小笠原知枝 松木光子	ヌーベルヒロカワ	3,990円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護研究ガイダンス	<input type="checkbox"/> 看護研究の動向と現状・課題 <input type="checkbox"/> 実践科学である看護における研究の意義・目的 <input type="checkbox"/> 研究倫理と研究者の責務	照井
2	看護研究とは何か	<input type="checkbox"/> 「看護研究とは何か」についてのグループディスカッション <input type="checkbox"/> 卒業生の看護研究のテーマをクリティークする	
3			
4	研究疑問と研究課題	<input type="checkbox"/> 研究疑問を立てる (演習) <input type="checkbox"/> 研究デザインと特徴 <input type="checkbox"/> 研究デザインの決定のキーコンセプト	
5	看護研究論文のクリティーク	<input type="checkbox"/> 看護研究をクリティーク (批判的に吟味) する過程を学ぶ	糸林 田中 大西 佐々木 田北 佐藤
6	文献の検索	<input type="checkbox"/> 電子ジャーナル、医学中央雑誌 Web 版、CINAHL、MEDLINE、PubMed、OPAC の使い方を習得する。	
7	調査研究の実際	<input type="checkbox"/> 質問紙調査票を用いた調査研究の特性について理解する <input type="checkbox"/> 調査票作成の留意点を知る <input type="checkbox"/> ①SD法 ②リッカート尺度 <input type="checkbox"/> 量的研究の分析方法を学ぶ <input type="checkbox"/> 仮説と検証 ①相関 ② t 検定 ③ x <sup>2</sup> 検定 ④一元配置分散分析	
8			
9			
10	量的研究の分析方法	<input type="checkbox"/> 模擬質問紙への回答 <input type="checkbox"/> データファイルの作成 (Excel) <input type="checkbox"/> 統計ソフト SPSS による分析 <input type="checkbox"/> 統計ソフト SPSS による分析結果を読みとる	
11		統計ソフトを使った分析の実際	
12		課題1: 調査研究論文の検索とクリティーク	
13	実験・準実験研究の実際	<input type="checkbox"/> 実験研究・準実験研究の特性について理解する ①操作 ②コントロール ③無作為 <input type="checkbox"/> 実験・準実験研究論文のクリティークの実際	照井
14			
15		課題2: 実験・準実験研究論文の検索とクリティーク	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	事例研究・質的研究の実際	<input type="checkbox"/> 事例研究の特性について理解する <input type="checkbox"/> 質的研究の特性について理解する ①データ収集法 ②分析手法 <input type="checkbox"/> 質的記述的分析の実際 健康と病の語り（ディベックスジャパンHP） <a href="https://www.dipex-j.org/">https://www.dipex-j.org/</a>  課題3：健康と病の語り：認知症を抱える人の語りから逐語録を作成して質的記述的に分析する。	照井
17			
18			
19	質的研究の分析の実際	<input type="checkbox"/> 質的記述的分析に取り組む <input type="checkbox"/> 事例・質的研究論文のクリティックの実際  課題4：質的研究論文の検索とクリティック	照井
20			
21			
22 ～ 30	看護学科研究者の研究紹介	<input type="checkbox"/> 看護学科研究者の研究紹介	阿部 伊藤(俊) 伊藤(幸) 及川 長谷川 服部 濱田 藤井 升田

61. 看護研究Ⅱ（必修）

担当教員	◎伊藤 俊弘、阿部 修子、伊藤 幸子、及川 賢輔、長谷川博亮、服部ユカリ、濱田 珠美、藤井 智子、升田由美子、児玉真利子、荒 ひとみ、石川 洋子、一條 明美、平 義樹、森 浩美、神成 陽子、塩川 幸子、苔米地真弓、石川 千恵、綱元 亜依、板東 利枝、山口 咲恵、野原 樹里、巻島 愛、山口 希美（看護学科）、照井 レナ（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通 年	1 単位	30コマ
<b>授業の概要（履修目標・到達目標）</b> 【履修目的】 1. 看護研究に必要な基礎知識・技術・態度について学ぶ。 2. 実践科学であるといわれる看護学における看護研究の意義とその特徴について理解する。 3. 自然科学の模倣から出発した看護研究が目指す、人間の意識や体験といった主観性に着目した研究方法について理解する。 【到達目標】 1. 看護領域でよく用いられる研究（事例研究・調査研究・実験研究）の方法とプロセスについて説明できる。 2. 看護研究でよく用いられる用語に関して、定義を説明できる。 3. 学んだ研究方法に関して、その実際を文献を通して検証できる。 [演繹法：量的研究、帰納法：質的研究] [事例研究・調査研究・実験研究] 4. 看護研究を行う学生としての準備が整う。 [遅刻・欠席がない／教科書を活用している／課題が期限内に提出される]			
<b>授業の形式</b> 授業は講義と演習を1パックとして展開し、知識と技能が習得されるよう意図しています。看護研究は、研究に関する知識を学んだだけでは習得できないものです。知識と共に、研究データを収集する技能や得られたデータを分析する技能、実践能力が必要になります。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 1. 講義と共に演習も、授業時間内で実施できるようなプランになっています。 2. 学習が積み上げられていくよう、復習をしっかりと行ってください。 3. 復習を通して疑問や不明な点が生じましたら、次の講義の開始段階で申し出てください。			
<b>成績評価の基準等</b> 成績は最終版の研究計画書により評価する。 評価項目は、①看護現象に着目したテーマであるか、②より優先される研究対象であるか、③研究計画書の構成要素が守られているか、④構成要素の内容が妥当であるか、⑤【演繹法】仮説・概念枠組みを記述しているか、【帰納法】分析プロセスを記述しているか（逐語録・コード化・カテゴリ化）			
<b>学生へのメッセージ</b> 看護研究を学びながら、日常生活で見聞きする人権や倫理的配慮について、更に実習で見聞きする看護場面と重ね合わせ、興味・関心、問題意識を育ててほしいと思っています。			

〈教科書〉

書 名	著者名	発行所	価格
これからの看護研究－基礎と応用－ 第3版	小笠原知枝 松 木 光 子	ヌーベルヒロカワ	3,990 円

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員	
1 2 3	コースガイド ダンス 研究計画書の構成要素	<input type="checkbox"/> 研究計画書の構成要素について理解する <input type="checkbox"/> 研究計画書の作成上の確認事項について理解する：①テーマ ②研究の背景(文献検討の重要性) ③目的と意義 ④予測される結果(仮説) ⑤研究デザイン(方法) ⑥研究の進行計画 ⑦看護への示唆 研究の準備性について(想起) ・看護研究テーマの源泉 ・看護実践・評価からの看護研究へのステップ  課題：研究テーマの設定、指導看護学領域の希望 看護研究のテーマかクリエィクする	照井	
4 5 6	看護研究における倫理的配慮①	<input type="checkbox"/> 対象者の人権擁護について学ぶ <input type="checkbox"/> モラルの形成と看護教育について学ぶ <input type="checkbox"/> ニュールンベルグ綱領の背景と意義について理解する ①提供されるべき情報 ②インフォームドコンセント ③プライバシーの保護 ④匿名 ⑤無害 <input type="checkbox"/> 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 <input type="checkbox"/> 看護研究における倫理的配慮 <input type="checkbox"/> 倫理審査委員会とは・倫理審査申請書・審査内容 <input type="checkbox"/> 研究(人間を対象とする)の限界について <input type="checkbox"/> 研究計画書作成における注意事項について  課題：自身の研究計画書への倫理的配慮の具体的記載		
7 8 9	看護研究における倫理的配慮②	<input type="checkbox"/> 科学者の倫理(DVD教材：夜と霧) <input type="checkbox"/> 看護研究Ⅰ 最終レポートを作成する  課題：看護研究における倫理的配慮について、史実から教訓を得る		
10 11 12	論文構成とまとめ方 論文投稿の 手続き 学会発表の 仕方	<input type="checkbox"/> 論文の種類と基本的な構成 <input type="checkbox"/> 雑誌投稿における原著論文の構成 <input type="checkbox"/> 論文をまとめるための確認事項 <input type="checkbox"/> 論文投稿から掲載までのプロセス <input type="checkbox"/> 図表の作成 <input type="checkbox"/> 引用文献の書き方 <input type="checkbox"/> 学会発表の仕方		伊藤
13 18	研究計画書の作成・提出	<input type="checkbox"/> 模擬指導 <input type="checkbox"/> 研究計画書の作成・提出 <input type="checkbox"/> 発表用の PowerPoint の作成・提出		看護学科 教員 伊藤
19 24	研究計画書発表会	<input type="checkbox"/> 自身の研究計画を PowerPoint を使って発表する。		
25 30	研究発表会への参加	<input type="checkbox"/> 4年生の卒業研究発表会の仕方を学ぶ <input type="checkbox"/> 興味のある研究テーマのディスカッションに参加し、その内容をレポートする		

## 62. 成人看護学実習 I (慢性期) (必修)

担当教員	◎荒 ひとみ、松田奈緒美、阿部 修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	2週間
履修目的・授業概要			
<p>1. 慢性期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、対象者のセルフマネジメント能力が最大限発揮されるとともに、QOLが向上するような看護援助を実践する。</p> <p>2. 終末期の対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、苦痛の緩和とQOLが向上するような看護援助を実践する。</p> <p>3. 慢性期および終末期にある対象者にかかわる専門職やチーム医療、および継続的な医療・看護の役割機能について理解する。</p> <p>4. 看護実践の体験から自己の看護観（死生観）を深める。</p>			
到達目標			
「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。			
授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)			
臨地実習			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量			
看護過程をしっかりと復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習の目的目標の他に『成人看護学実習 I における自己の課題と目標』を明らかにしておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。			
成績評価の基準等			
実習内容、実習記録類、出席状況などにより、総合的に評価する。詳細は「臨地看護学実習実践編(評価表)」を参照のこと。			
学生へのメッセージ(履修上の心得など)			
自己の健康管理と主体的な学習を期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開 第4版	山口端穂子 関口恵子	学習研究社	6,400円+税
(参) 疾患別看護過程第2版	井上智子	医学書院	7,000円+税
(参) 症状別看護過程	井上智子	医学書院	5,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。	荒松田

### 63. 成人看護学実習Ⅱ（急性期）（必修）

<b>担当教員</b> ◎苫米地真弓、山口 希美、阿部 修子			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第3学年	後期	3単位	3週間
<b>履修目的・授業概要</b> 急性期、周手術期、回復期にある成人を対象とし、援助関係を発展させながら、対象者の健康に関わる顕在的および潜在的な能力が最大限発揮されるよう、看護援助を行うことができる。			
<b>到達目標</b> ①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。 ①②を参照のこと。			
<b>授業形式</b> 臨地実習と学内演習。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 看護過程をしっかりと復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習の目的目標の他に『成人看護学実習Ⅱにおける自己の課題と目標』を明らかにしておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録類（レポートを含む）技術チェック、出席状況などにより総合的に評価する。 3分の2以上出席した場合を評価対象とする。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 自己の健康管理と主体的な学習姿勢を期待します。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開 第4版	山口端穂子 関口恵子	学習研究社	6,400円+税
(参) 疾患別看護過程の展開	井上智子	医学書院	7,000円+税
(参) 経過別看護過程の展開	井上智子	医学書院	5,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
3週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと 1週目：手術室見学実習・ICU見学実習・学内演習・技術チェック 2週目・3週目：病棟実習	

## 64. 成人看護学実習Ⅲ（外来）（必修）

担当教員	◎荒 ひとみ、松田奈緒美、阿部 修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	1単位	1週間
履修目的・授業概要			
<p>1. 健康障害をもち外来を受診する成人期にある対象者を理解し、対象者に必要な看護支援ができる能力を養う。</p> <p>2. 医療チームにおける看護の役割を理解し、継続看護を実践するために必要な能力を養う。</p>			
到達目標			
<p>1. 健康障害により外来を受診する対象者を、ライフスタイルや成人期の発達段階をふまえ、身体・心理・社会的特徴にそって、総合的にアセスメントができる。</p> <p>2. 外来で行われている看護を通して、対象者のセルフマネジメント能力を高めるための看護支援について説明することができる。</p> <p>3. 地域連携および入退院に関する機能を知り、対象者に必要な継続看護について説明することができる。</p> <p>4. 外来で行われる治療・検査に必要な看護援助を説明することができる。</p> <p>5. 外来実習を通して、チーム医療の意義や看護職の役割について説明することができる。</p>			
授業形式			
臨地実習と学内演習			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>配付資料の中にある各実習場所における事前学習の内容をピックアップしてあるので各自学習しておくこと。</p> <p>実習中に不明だった点などはカンファレンスで必ず解決すること。</p>			
成績評価の基準等			
<p>実習内容、実習記録類（レポート含む）、出席状況などにより総合的に評価する。</p> <p>詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照のこと。</p>			
学生へのメッセージ			
<p>外来を受診する対象者および医療者の活動状況を観察して、自己の看護観を深めましょう。</p>			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 成人看護学実習ガイドⅡ（慢性期・回復期）	野並葉子	照林社	3,300円(税別)
(参) 高齢者と成人の周手術期看護 外来／病棟における術前看護 第2版	竹内登美子	医歯薬出版	1,900円(税別)
(教) 成人看護学慢性期看護	鈴木久美他編	南江堂	3,300円(税別)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1週間		<p>①「臨地看護学実習ガイドライン」、</p> <p>②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。</p>	荒松田



65. 高齢者看護学実習（必修） [高齢者、看護過程、高齢者専門病棟、通所サービス、地域資源]

<b>担当 教員</b>	◎牧野 志津、服部ユカリ、野中 雅人、 遠藤美紀子（非常勤講師） 石崎 弥生（非常勤講師） 西宮ひとみ（非常勤講師）		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第3学年	後期	4単位	4週間
<b>履修目的・授業概要</b> 健康障害や生活障害がある高齢者やその家族を理解し、個別性に 応じた看護を实践できる能力を養う。 高齢者に対する地域資源の活用方法を理解し、看護の役割を学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 高齢者の健康問題と生活障害が説明できる。 2. 高齢者の尊厳を守り、高齢者の健康障害と生活障害に応じた援 助ができる。 3. 高齢者の家族への援助を考えることができる。 4. 高齢者の個別性に合わせて看護過程が展開できる。 5. 地域の高齢者に関する資源について理解できる。 6. 地域での暮らしや看取りまで見据えた看護について考察でき る。			
<b>授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)</b> 体験型実習、病院実習、統合学習を通して、高齢者とその家族へ の支援方法を学ぶ。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 1. 高齢者看護学Ⅰ・Ⅱの講義のプリント、教科書の内容を整理し、 復習して実習に臨むこと。 2. 高齢者看護学演習で演習した技術、基礎看護学領域で学んだ技 術を復習し実施できるようにしておくこと。 3. 実習ガイダンスで提示する。事前課題を実施する。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 自己の健康管理に留意し、主体的に実習に臨んでほしい。 これまでの実習・演習を振り返って、自分の課題と目標を考えて 臨むこと。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参)生活機能からみた老年 看護過程	山田 律子 編	医学書院	3,780 円
(参)老年看護の実際	大 淵 律子 編	メディカ出版	3,570 円

コマ 数	履修主題	履 修 内 容	担当 教員
4週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編Ⅰ』『実習ガ イダンス資料』 ③高齢者看護学実習要項を参照するこ と。	服部 牧野 野中 非常勤

## 66. 小児看護学実習 I (必修)

担当 教員	◎森 浩美、板東 利枝、 舟林 綾子 (非常勤講師)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	1単位	1週間
<b>履修目的・授業概要</b> 本科目の目的は、健康な小児とその家族を理解し、対象に応じた看護の基礎を養うことである。健康な子どもの成長・発達を理解し、それに応じた看護技術、倫理的態度の基礎を修得するために、保育所で看護学実習を行う。また、子どもをとりまく家族や大人の役割についても考察する。			
<b>到達目標</b> 1. 小児をありのままに理解する。 2. 小児における家族・大人の役割・機能について理解する。 3. 小児の成長・発達段階、発達課題に応じた看護技術を修得する。 4. 看護学生として倫理的責任ある行動をとる。			
<b>授業の形式</b> 旭川市内の保育所（緑が丘東保育園、または旭川おおぞら認定子ども園）で実習し、毎日異なる年齢のクラスをローテーションする。実習終了日は学内カンファレンスを行い、学びを共有する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 『臨地看護学実習ガイドライン』『臨地看護学実習実践編』を熟読し、実習内容を周知してください。小児看護学講義・演習で学習した内容を復習してから臨んでください。カンファレンスでは活発に討議し、学びを深めてください。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。評価項目、評価配分割合、評価基準については、「臨地看護学実習実践編・小児看護学実習 I」を参照してください。評価表の得点を100%とします。全コマ数の2/3以上出席しないと単位は取得できません。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> これまで小児と接する機会が少なく、関わりに困難を感じることも多いかもしれません。しかし、小児との体験一つ一つが学習です。積極的にコミュニケーションしてください。また、小児の安全、事故防止に十分留意して行動し、自己の健康管理に努めてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学 I	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,730 円
(教) 小児看護学 II	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,940 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	森 板東 舟林 非常勤講師

## 67. 小児看護学実習Ⅱ（必修）

担当 教員	◎森 浩美、板東 利枝、 舟林 綾子（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	2週間
<b>履修目的・授業概要</b> 本科目の目的は、健康問題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもと家族に応じた看護実践能力を養うことである。子どもと家族の看護を計画・実施・評価するために必要な基本的知識・技術・態度の修得に向け、小児病棟、小児科外来にて看護学実習を行う。			
<b>到達目標</b> 1. 健康問題をもつ子どもと家族を身体的・心理的・社会的側面から捉え、ありのままに理解する。 2. 健康問題をもつ子どもにおける家族の役割を理解する。 3. 健康問題をもつ子どもと家族の成長・発達段階、発達課題、個別性にあった看護を計画・実施し、評価できる。 4. 看護学生としての倫理的かつ責任ある行動・態度を身につける。			
<b>授業の形式</b> 実習は旭川医科大学病院4階西ナーステーションと小児科外来で行う。病棟実習では入院している子ども一人を受け持ち、看護過程を展開する。外来実習では、一般外来や専門外来等を受診する子どもの看護を見学または実施する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 小児看護学講義・演習、小児看護学実習Ⅰで学習した内容を復習して臨んでください。教科書や参考書を活用しながら、日々の看護を振り返り、実習終了後には学んだことをレポートにまとめてください。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。評価項目、評価配分割合、評価基準については、「臨地看護学実習実践編・小児看護学実習Ⅱ」を参照してください。評価表の得点を100%とします。全コマ数の2/3以上出席しないと単位の取得はできません。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 健康問題をもつ小児と家族には何が必要か、看護として何をすべきかを考えながら、小児看護を学んでください。そして、子どもの目線に立ち、一人の人として尊重することが最も重要です。小児の安全を守る事故防止を徹底し、自己の健康管理にも努めてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,730 円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,940 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	森 板東 舟林 非常勤講師

## 68. 母性看護学実習（必修）

担当 教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、 野原 樹里		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3・4学年	第3学年後期～第4学年前期	2単位	2週間
<b>履修目的・授業概要</b> 妊産婦および新生児とその家族の特徴を理解し、個性性を考慮した看護課程を展開し、基本的な母性看護ケア実践ができる能力を養う。また、実習を通し、看護学生としての責務、倫理的行動、生命や人権の尊重について学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 周産期の対象の生理的变化、心理社会的変化を記述できる。 2. 周産期の日常生活の変化を記述できる。 3. 周産期の対象の健康課題や健康問題をアセスメントできる。 4. アセスメントに基づいて、個別的な看護ケアを立案できる。 5. 計画に基づいてケアを実施し、その結果から評価することができる。 6. ケアの実践を通し、母子相互作用について観察したことを表現できる。 7. 実習を通して、看護職に求められる倫理、生命や人権尊重について自己の考えを記述できる。			
<b>授業の形式</b> 産科病棟実習では、妊産婦あるいは新生児を受け持ち、個性のある看護を展開する。産科外来実習では、妊婦健康診査を実施する。学内では母性の対象に行う集団指導の企画を行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 予習として、看護過程と2学年で学習した母性看護学の基本的な知識を確認しておくこと。実習記録はその日にあったことを丁寧に記述することから始まるので、指導者や教員を活用し、その日の振り返りをする。			
<b>成績評価の基準等</b> 母性看護学実習評価表（病棟実習記録、外来実習レポート、実習態度など）、出席日数3分の2以上の者を評価の対象とする。			
<b>学生へのメッセージ</b> 妊娠出産は受け持ちの事例の方やそのご家族にとっても、貴重な体験です。その場に看護学生として関わることをよく考えて参加してください。また、自分の健康管理を怠りなく、実習に望んでください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,700円+税
(教) 系統看護学講座 母性看護学1	森 恵 美 他	医学書院	2,400円+税
(教) 系統看護学講座 母性看護学2	森 恵 美 他	医学書院	3,000円+税
(参) ウェルネスから見た母性看護過程+病態関連図	佐世正勝他	医学書院	3,800円+税
(参) 新生児学入門	仁志田博志	医学書院	5,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	伊藤 山内 巻島 野原

## 69. 精神看護学実習（必修）

担当教員	◎長谷川博亮、石川 千恵、他（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	60コマ
履修目的・授業概要 精神を障害された個人およびその家族を理解し、精神の健康回復への治療的かかわりを実践できる能力を養う。			
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち患者の状態を全体的に捉えることができる。</li> <li>・受け持ち患者の看護の方向性が説明できる。</li> <li>・コミュニケーション技術が看護の大切な技術であることが説明できる。</li> <li>・精神保健看護の基礎的技術を学ぶ。</li> <li>・疾病の回復過程を理解し、看護支援を行うことを学ぶ。</li> </ul>			
授業の形式 受け持ち患者をもち、目標にそって実習を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 事例に関する看護過程の展開が可能となるための予習を行う。日々の看護実習においての行動計画の実施について振り返りを行い、記録し、指導を受けること。			
成績評価の基準等 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。			
学生へのメッセージ 自己の健康管理に留意し、主体的に実習に望んでほしい。 患者との関わりの中で、自己の傾向に気づき、自己洞察をしながら、実習を進めていってほしい。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護実習ガイド	萱間 真美	照林社	3,024円
(参) 精神看護臨地実習	川野雅資編著	医学書院	3,024円
(参) ナーシング・ポケットマニュアル精神看護学	田中恵美子他	医歯薬出版	2,592円
(参) 援助技法としてのプロセスレコード - 自己一致からエンパワメントへ -	宮本 真巳	精神看護出版	2,700円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
60コマ		①「臨地看護実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編Ⅰ」を参照のこと	(精神看護学領域教員) 長谷川 石川

## 70. 在宅看護学実習（必修）

担当教員	◎山田 咲恵、照井 レナ、非常勤講師							
対象学年	開講期	単位数	コマ数					
第3学年	後期	2単位	2週間					
履修目的・授業概要 在宅療養者およびその家族の生活と健康に対する支援の実際を理解する。また、訪問看護を取り巻く社会資源の機能と役割、それらとの連携について学修することを目的とする。家庭や施設で暮らす在宅療養者と家族に対して、訪問看護師が多職種・多機関と連携しながら展開している看護活動について、実習プログラムにそって系統的に学修する。								
到達目標 1. 在宅看護の場、対象者の特性に応じたコミュニケーションがはかれる。 2. 在宅療養者と家族の生活を包括的にとらえ、健康課題及び生活課題をアセスメントできる。 3. 在宅療養者と家族に対する支援の方向性を示すことができる。 4. 在宅における生活援助技術を経験し、在宅看護技術の特徴を説明できる。 5. 訪問看護を取り巻く社会資源（ヒト・カネ・モノ・情報）の機能と役割、連携について説明できる。 6. 在宅において看護を展開する場面に応じた倫理的態度・行動が実践できる。								
授業の形式 旭川市内の訪問看護ステーションで実習する。								
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 各自が実習する訪問看護ステーションの特徴や所掌する地区の特徴を、当該ステーションや旭川市役所のホームページなどを活用して事前に学習をすること。 在宅看護学で配付した資料（いきいき長寿・旭川市2014年度版）を参考にして、介護保険サービスについて事前に学修をすること。								
成績評価の基準等								
評価方法	到達目標						評価基準	評価割合 (%)
	1	2	3	4	5	6		
①実習記録	○	○	○	○	○	○	記録内容、日々の評価の適切性。事前・事後学修の妥当性。	20
②最終レポート		◎	◎	○	◎	○	レポート内容・記述量の妥当性。	20
③ケースカンファレンス	○	○	○	○	○	○	発表内容の適切性、各自の発言（質問等）内容。	20
④クラスカンファレンス		○	○	○	○	○	発表内容の適切性。	20
⑤実習態度	◎	○	○	◎	○	◎	実習に対する積極的な行動・態度。	20
出席							2 / 3 (60時間) 以上出席。	欠格
◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず ①～⑤は、実習評価表により評価する。								
学生へのメッセージ 協力してくださる方がいるからこそ実習が成立していることを自覚し、積極的かつ実践から多くのことを学修することを期待します。対象者の生活の場に足を踏み入れることの意味を十分にわきまえた態度・行動をとるように望みます。								

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと	

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 在宅看護学講座	スーディ神崎和代	ナカニシヤ出版	3,024 円
(教) 訪問看護の世界を写真で学ぶ! 写真でわかるシリーズ (改訂第2版)	押川 真喜子	インターメディカ	2,916 円

# 必修科目

【第4学年】

## 71. 成人看護学実習 I (慢性期) (必修)

担当教員	◎荒 ひとみ、松田奈緒美、阿部 修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	2週間
履修目的・授業概要			
<p>1. 慢性期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、対象者のセルフマネジメント能力が最大限発揮されるとともに、QOLが向上するような看護援助を実践する。</p> <p>2. 終末期の対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、苦痛の緩和とQOLが向上するような看護援助を実践する。</p> <p>3. 慢性期および終末期にある対象者にかかわる専門職やチーム医療、および継続的な医療・看護の役割機能について理解する。</p> <p>4. 看護実践の体験から自己の看護観（死生観）を深める。</p>			
到達目標			
「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。			
授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)			
臨地実習			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量			
看護過程をしっかりと復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習の目的目標の他に『成人看護学実習 I における自己の課題と目標』を明らかにしておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。			
成績評価の基準等			
実習内容、実習記録類、出席状況などにより、総合的に評価する。詳細は「臨地看護学実習実践編(評価表)」を参照のこと。			
学生へのメッセージ(履修上の心得など)			
自己の健康管理と主体的な学習を期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開 第4版	山口端穂子 関口恵子	学習研究社	6,400円+税
(参) 疾患別看護過程第2版	井上智子	医学書院	7,000円+税
(参) 症状別看護過程	井上智子	医学書院	5,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。	荒松田



## 72. 成人看護学実習Ⅱ（急性期）（必修）

<b>担当教員</b> ◎ 苫米地真弓、阿部 修子、非常勤講師			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第4学年	前期	3単位	3週間
<b>履修目的・授業概要</b> 急性期、周手術期、回復期にある成人を対象とし、援助関係を発展させながら、対象者の健康に関わる顕在的および潜在的な能力が最大限発揮されるよう、看護援助を行うことができる。			
<b>到達目標</b> ①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。 ①②を参照のこと。			
<b>授業形式</b> 臨地実習と学内演習。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 看護過程をしっかりと復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習の目的目標の他に『成人看護学実習Ⅱにおける自己の課題と目標』を明らかにしておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録類（レポートを含む）技術チェック、出席状況などにより総合的に評価する。 3分の2以上出席した場合を評価対象とする。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 自己の健康管理と主体的な学習姿勢を期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学 成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開 第4版	山口端穂子 関口恵子	学習研究社	6,400円+税
(参) 疾患別看護過程の展開	井上智子	医学書院	7,000円+税
(参) 経過別看護過程の展開	井上智子	医学書院	5,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
3週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと 1週目：手術室見学実習・ICU見学実習・学内演習・技術チェック 2週目・3週目：病棟実習	

### 73. 成人看護学実習Ⅲ（外来）（必修）

担当教員	◎荒 ひとみ、松田奈緒美、阿部 修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	1週間
履修目的・授業概要			
<p>1. 健康障害をもち外来を受診する成人期にある対象者を理解し、対象者に必要な看護支援ができる能力を養う。</p> <p>2. 医療チームにおける看護の役割を理解し、継続看護を実践するために必要な能力を養う。</p>			
到達目標			
<p>1. 健康障害により外来を受診する対象者を、ライフスタイルや成人期の発達段階をふまえ、身体・心理・社会的特徴にそって、総合的にアセスメントができる。</p> <p>2. 外来で行われている看護を通して、対象者のセルフマネジメント能力を高めるための看護支援について説明することができる。</p> <p>3. 地域連携および入退院に関する機能を知り、対象者に必要な継続看護について説明することができる。</p> <p>4. 外来で行われる治療・検査に必要な看護援助を説明することができる。</p> <p>5. 外来実習を通して、チーム医療の意義や看護職の役割について説明することができる。</p>			
授業形式			
臨地実習と学内演習			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>配付資料の中にある各実習場所における事前学習の内容をピックアップしてあるので各自学習しておくこと。</p> <p>実習中に不明だった点などはカンファレンスで必ず解決すること。</p>			
成績評価の基準等			
<p>実習内容、実習記録類（レポート含む）、出席状況などにより総合的に評価する。</p> <p>詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照のこと。</p>			
学生へのメッセージ			
<p>外来を受診する対象者および医療者の活動状況を観察して、自己の看護観を深めましょう。</p>			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 成人看護学実習ガイドⅡ（慢性期・回復期）	野並葉子	照林社	3,300円(税別)
(参) 高齢者と成人の周手術期看護 外来／病棟における術前看護 第2版	竹内登美子	医歯薬出版	1,900円(税別)
(教) 成人看護学慢性期看護	鈴木久美他編	南江堂	3,300円(税別)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1週間		<p>①「臨地看護学実習ガイドライン」、</p> <p>②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。</p>	荒松田

74. 高齢者看護学実習（必修） [高齢者、看護過程、高齢者専門病棟、通所サービス、地域資源]

<b>担当 教員</b>	◎牧野 志津、服部ユカリ、野中 雅人、 坂本 里美（非常勤講師） 石崎 弥生（非常勤講師） 西宮ひとみ（非常勤講師）		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第4学年	前期	4単位	4週間
<b>履修目的・授業概要</b> 健康障害や生活障害がある高齢者やその家族を理解し、個別性に 応じた看護を実践できる能力を養う。 高齢者に対する地域資源の活用方法を理解し、看護の役割を学ぶ。			
<b>到達目標</b> 1. 高齢者の健康問題と生活障害が説明できる。 2. 高齢者の尊厳を守り、高齢者の健康障害と生活障害に応じた援 助ができる。 3. 高齢者の家族への援助を考えることができる。 4. 高齢者の個別性に合わせて看護過程が展開できる。 5. 地域の高齢者に関する資源について理解できる。 6. 地域での暮らしや看取りまで見据えた看護について考察でき る。			
<b>授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)</b> 体験型実習、病院実習、統合学習を通して、高齢者とその家族へ の支援方法を学ぶ。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 1. 高齢者看護学Ⅰ・Ⅱの講義のプリント、教科書の内容を整理し、 復習して実習に臨むこと。 2. 高齢者看護学演習で演習した技術、基礎看護学領域で学んだ技 術を復習し実施できるようにしておくこと。 3. 実習ガイダンスで提示する。事前課題を実施する。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 自己の健康管理に留意し、主体的に実習に臨んでほしい。 これまでの実習・演習を振り返って、自分の課題と目標を考えて 臨むこと。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参)生活機能からみた老年看護過程	山田 律子 編	医学書院	3,780 円
(参)老年看護の実際	大 淵 律子 編	メディカ出版	3,570 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
4週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編Ⅰ』『実習ガイ ダンス資料』 ③高齢者看護学実習要項を参照するこ と。	服部 牧野 野中 非常勤

## 75. 小児看護学実習 I (必修)

担当 教員	◎森 浩美、板東 利枝、 舟林 綾子 (非常勤講師)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	1週間
<b>履修目的・授業概要</b> 本科目の目的は、健康な小児とその家族を理解し、対象に応じた看護の基礎を養うことである。健康な子どもの成長・発達を理解し、それに応じた看護技術、倫理的態度の基礎を修得するために、保育所で看護学実習を行う。また、子どもをとりまく家族や大人の役割についても考察する。			
<b>到達目標</b> 1. 小児をありのままに理解する。 2. 小児における家族・大人の役割・機能について理解する。 3. 小児の成長・発達段階、発達課題に応じた看護技術を修得する。 4. 看護学生として倫理的責任ある行動をとる。			
<b>授業の形式</b> 旭川市内の保育所（緑が丘東保育園、または旭川おおぞら認定子ども園）で実習し、毎日異なる年齢のクラスをローテーションする。実習終了日は学内カンファレンスを行い、学びを共有する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 『臨地看護学実習ガイドライン』『臨地看護学実習実践編』を熟読し、実習内容を周知してください。小児看護学講義・演習で学習した内容を復習してから臨んでください。カンファレンスでは活発に討議し、学びを深めてください。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。評価項目、評価配分割合、評価基準については、「臨地看護学実習実践編・小児看護学実習 I」を参照してください。評価表の得点を100%とします。全コマ数の2/3以上出席しないと単位は取得できません。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> これまで小児と接する機会が少なく、関わりに困難を感じることも多いかもしれません。しかし、小児との体験一つ一つが学習です。積極的にコミュニケーションしてください。また、小児の安全、事故防止に十分留意して行動し、自己の健康管理に努めてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学 I	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,730 円
(教) 小児看護学 II	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,940 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	森 板東 舟林 非常勤講師

## 76. 小児看護学実習Ⅱ（必修）

担当 教員	◎森 浩美、板東 利枝、 舟林 綾子（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	2週間
<b>履修目的・授業概要</b> 本科目の目的は、健康問題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもと家族に応じた看護実践能力を養うことである。子どもと家族の看護を計画・実施・評価するために必要な基本的知識・技術・態度の修得に向け、小児病棟、小児科外来にて看護学実習を行う。			
<b>到達目標</b> 1. 健康問題をもつ子どもと家族を身体的・心理的・社会的側面から捉え、ありのままに理解する。 2. 健康問題をもつ子どもにおける家族の役割を理解する。 3. 健康問題をもつ子どもと家族の成長・発達段階、発達課題、個別性にあった看護を計画・実施し、評価できる。 4. 看護学生としての倫理的かつ責任ある行動・態度を身につける。			
<b>授業の形式</b> 実習は旭川医科大学病院4階西ナーステーションと小児科外来で行う。病棟実習では入院している子ども一人を受け持ち、看護過程を展開する。外来実習では、一般外来や専門外来等を受診する子どもの看護を見学または実施する。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 小児看護学講義・演習、小児看護学実習Ⅰで学習した内容を復習して臨んでください。教科書や参考書を活用しながら、日々の看護を振り返り、実習終了後には学んだことをレポートにまとめてください。			
<b>成績評価の基準等</b> 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。評価項目、評価配分割合、評価基準については、「臨地看護学実習実践編・小児看護学実習Ⅱ」を参照してください。評価表の得点を100%とします。全コマ数の2/3以上出席しないと単位の取得はできません。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 健康問題をもつ小児と家族には何が必要か、看護として何をするべきかを考えながら、小児看護を学んでください。そして、子どもの目線に立ち、一人の人として尊重することが最も重要です。小児の安全を守る事故防止を徹底し、自己の健康管理にも努めてください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,730 円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田 洋子 他	医歯薬出版	2,940 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	森 板東 舟林 非常勤講師

## 77. 母性看護学実習（必修）

<b>担当教員</b>			
◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、 野原 樹里			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第3・4学年	第3学年後期～第4学年前期	2単位	2週間
<b>履修目的・授業概要</b>			
妊産婦および新生児とその家族の特徴を理解し、個性性を考慮した看護課程を展開し、基本的な母性看護ケア実践ができる能力を養う。また、実習を通し、看護学生としての責務、倫理的行動、生命や人権の尊重について学ぶ。			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期の対象の生理的变化、心理社会的変化を記述できる。</li> <li>2. 周産期の日常生活の変化を記述できる。</li> <li>3. 周産期の対象の健康課題や健康問題をアセスメントできる。</li> <li>4. アセスメントに基づいて、個別的な看護ケアを立案できる。</li> <li>5. 計画に基づいてケアを実施し、その結果から評価することができる。</li> <li>6. ケアの実践を通し、母子相互作用について観察したことを表現できる。</li> <li>7. 実習を通して、看護職に求められる倫理、生命や人権尊重について自己の考えを記述できる。</li> </ol>			
<b>授業の形式</b>			
産科病棟実習では、妊産婦あるいは新生児を受け持ち、個性のある看護を展開する。産科外来実習では、妊婦健康診査を実施する。学内では母性の対象に行う集団指導の企画を行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
予習として、看護過程と2学年で学習した母性看護学の基本的な知識を確認しておくこと。実習記録はその日にあったことを丁寧に記述することから始まるので、指導者や教員を活用し、その日の振り返りをする。			
<b>成績評価の基準等</b>			
母性看護学実習評価表（病棟実習記録、外来実習レポート、実習態度など）、出席日数3分の2以上の者を評価の対象とする。			
<b>学生へのメッセージ</b>			
妊娠出産は受け持ちの事例の方やそのご家族にとっても、貴重な体験です。その場に看護学生として関わることをよく考えて参加してください。また、自分の健康管理を怠りなく、実習に望んでください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,700円+税
(教) 系統看護学講座 母性看護学1	森 恵 美 他	医学書院	2,400円+税
(教) 系統看護学講座 母性看護学2	森 恵 美 他	医学書院	3,000円+税
(参) ウェルネスから見た母性看護過程+病態関連図	佐世正勝他	医学書院	3,800円+税
(参) 新生児学入門	仁志田博志	医学書院	5,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	伊藤 山内 巻島 野原

## 78. 精神看護学実習（必修）

担当教員	◎長谷川博亮、石川 千恵、他（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	60コマ
履修目的・授業概要 精神を障害された個人およびその家族を理解し、精神の健康回復への治療的かかわりを実践できる能力を養う。			
到達目標 ・受け持ち患者の状態を全体的に捉えることができる。 ・受け持ち患者の看護の方向性が説明できる。 ・コミュニケーション技術が看護の大切な技術であることが説明できる。 ・精神保健看護の基礎的技術を学ぶ。 ・疾病の回復過程を理解し、看護支援を行うことを学ぶ。			
授業の形式 受け持ち患者をもち、目標にそって実習を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 事例に関する看護過程の展開が可能となるための予習を行う。日々の看護実習においての行動計画の実施について振り返りを行い、記録し、指導を受けること。			
成績評価の基準等 実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。			
学生へのメッセージ 自己の健康管理に留意し、主体的に実習に望んでほしい。 患者との関わりの中で、自己の傾向に気づき、自己洞察をしながら、実習を進めていってほしい。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護実習ガイド	萱間 真美	照林社	3,024円
(参) 精神看護臨地実習	川野雅資編著	医学書院	3,024円
(参) ナーシング・ポケットマニュアル精神看護学	田中恵美子他	医歯薬出版	2,592円
(参) 援助技法としてのプロセスレコード - 自己一致からエンパワメントへ -	宮本 真巳	精神看護出版	2,700円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
60コマ		①「臨地看護実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編Ⅰ」を参照のこと	(精神看護学領域教員) 長谷川 石川

## 79. 在宅看護学実習（必修）

担当教員	◎山田 咲恵、照井 レナ、非常勤講師							
対象学年	開講期	単位数	コマ数					
第4学年	前期	2単位	2週間					
履修目的・授業概要 在宅療養者およびその家族の生活と健康に対する支援の実際を理解する。また、訪問看護を取り巻く社会資源の機能と役割、それらとの連携について学修することを目的とする。家庭や施設で暮らす在宅療養者と家族に対して、訪問看護師が多職種・多機関と連携しながら展開している看護活動について、実習プログラムにそって系統的に学修する。								
到達目標 1. 在宅看護の場、対象者の特性に応じたコミュニケーションがはかれる。 2. 在宅療養者と家族の生活を包括的にとらえ、健康課題及び生活課題をアセスメントできる。 3. 在宅療養者と家族に対する支援の方向性を示すことができる。 4. 在宅における生活援助技術を経験し、在宅看護技術の特徴を説明できる。 5. 訪問看護を取り巻く社会資源（ヒト・カネ・モノ・情報）の機能と役割、連携について説明できる。 6. 在宅において看護を展開する場面に応じた倫理的態度・行動が実践できる。								
授業の形式 旭川市内の訪問看護ステーションで実習する。								
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 各自が実習する訪問看護ステーションの特徴や所掌する地区の特徴を、当該ステーションや旭川市役所のホームページなどを活用して事前に学習をすること。 在宅看護学で配付した資料（いきいき長寿・旭川市2014年度版）を参考にして、介護保険サービスについて事前に学修をすること。								
成績評価の基準等								
評価方法	到達目標						評価基準	評価割合 (%)
	1	2	3	4	5	6		
①実習記録	○	○	○	○	○	○	記録内容、日々の評価の適切性。事前・事後学修の妥当性。	20
②最終レポート		◎	◎	○	◎	○	レポート内容・記述量の妥当性。	20
③ケースカンファレンス	○	○	○	○	○	○	発表内容の適切性、各自の発言(質問等)内容。	20
④クラスカンファレンス		○	○	○	○	○	発表内容の適切性。	20
⑤実習態度	◎	○	○	◎	○	◎	実習に対する積極的な行動・態度。	20
出席							2 / 3 (60時間)以上出席。	欠格
◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず ①～⑤は、実習評価表により評価する。								
学生へのメッセージ 協力してくださる方がいるからこそ実習が成立していることを自覚し、積極的かつ実践から多くのことを学修することを期待します。対象者の生活の場に足を踏み入れることの意味を十分にわきまえた態度・行動をとるように望みます。								

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと	

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 在宅看護学講座	スーディ神崎和代	ナカニシヤ出版	3,024 円
(教) 訪問看護の世界を写真で学ぶ! 写真でわかるシリーズ (改訂第2版)	押川 真喜子	インターメディカ	2,916 円



## 80. 卒業研究（必修）〔看護学、卒業研究〕

担当 教員	◎升田由美子（看護学科） 看護学科教員		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	通年	4単位	120コマ
<b>履修目的・授業概要</b> これまで看護学について学んできたことを基礎に、これらに対する関心や疑問を明らかにするために研究課題の決定、研究計画の作成、データの収集と分析、研究抄録の作成、研究発表までのプロセスを体験する。			
<b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題の決定に際して、看護学をとおして学んだ知識や疑問を具体化し、研究の意義を明らかにするために必要な文献等を正しく検索できる。</li> <li>・エビデンスに基づいた仮説の設定と研究目的に沿った研究デザインにより研究計画を作成できる。</li> <li>・適切な方法に基づいた調査や実験からデータの収集と分析を適切に行える。</li> <li>・研究結果や考察が明瞭な研究抄録を作成できる。</li> <li>・研究発表では他人が容易に理解できるように研究内容を説明できる。</li> </ul>			
<b>授業の形式</b> 具体的な研究の進め方については、担当の指導教員と相談して決める。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 研究課題の内容については、これまで看護学科で学んできた全ての教科が基盤になっており、研究方法に関しては情報リテラシー・保健統計学・看護研究が基盤となるので十分に復習をしておくこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 研究抄録、研究発表会および研究への取り組み等についてルーブリック評価を用いて評価する。			
<b>学生へのメッセージ</b> 卒業研究は知的好奇心・向上心を持ち、知的共有財産（研究論文）の作成をめざして主体的に取り組もう。そして卒業後の職場で期待される問題解決力と研究に対する力量を培おう。			

## 81. 医療安全論（必修）

担当教員	◎児玉真利子 加藤千津子（非常勤） 北川佳奈子（学内特別講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第4学年	前期	1単位
			コマ数 15コマ
履修目的・授業概要			
1999年に発生した大学病院における手術患者取り違い事故をきっかけに、わが国の医療安全対策は急激な変化を遂げた。そこで本科目においては、過去の医療事故や安全対策の背景と取り組み内容を学び、組織として医療安全に取り組む意義と体制について理解する。そして人間の行動特性を踏まえたヒューマンエラーの防止や、医療事故に伴う看護職の法的責任について学ぶ。また医療安全においては、医療の対象者と医療者の信頼関係の構築が重要であり、その基本となるインフォームド・コンセント（以下IC）についても学習する。			
到達目標			
1. 医療における安全の基本的な考え方を説明できる。 2. 医療事故発生のメカニズムを説明できる。 3. 人間の行動特性とヒューマンエラーの防止について説明できる。 4. 病院組織における安全対策と取り組みについて説明できる。 5. 組織として医療安全に取り組む意義と体制を説明できる。 6. 看護事故の特徴と安全対策について説明できる。 7. 医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。			
授業の形式			
配付資料およびビデオ視聴などによる講義、グループワークなど			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
予習は臨地看護学実習等で体験あるいは見聞きした医療安全に関連した事例の問題点や疑問点を整理して授業に臨んでください。復習は配布資料や文献を参考に、各自思考したことをまとめておいてください。			
成績評価の基準等			
出席状況及び授業への参加態度（40%）、試験及びレポート（60%）の配分で評価を行う。			
学生へのメッセージ			
医療安全論は統合科目であり、他の領域との重複部分については医療安全の視点から学んでください。安全な医療の提供は医療の基本であり、医療の質に関わる重要な課題です。医療安全の重要性を自分の課題として認識し、卒業後も学びを深め続けることを期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 人は誰でも間違える	米国医療の質委員会他	日本評論社	2,500円+税
(参) 医療安全	松下由美子他	MCメディカ出版	3,000円+税
(参) 医療安全ワークブック	川村治子	医学書院	2,800円+税
(参) 医療倫理学のABC	井部俊子監修	メヂカルフレンド社	2,900円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	医療安全と看護の責務	過去の医療事故事例や看護の責務、看護職の法的な規定について学ぶ。	加藤
2	"		"
3	医療安全の基本的な考え方と医療安全施策	医療安全の基本的な考え方と国の医療安全に関する取り組みを理解する。また、医療安全関連の用語の定義、医療事故の報告制度、医療の質の評価について学ぶ。	"
4	"		"
5	医療事故発生のメカニズムと防止対策	医療事故発生のメカニズムを理解する。また、ヒューマンエラーと対策、医療事故分析手法と防止対策について学ぶ。	"
6	"		"
7	看護における安全対策	ICの歴史と医療安全におけるICの重要性を理解する。また、看護業務と事故発生要因、看護事故と安全対策について学ぶ。	児玉
8	"		"
9	"		"
10	病院組織における安全対策とその取り組み	病院組織における医療安全管理体制を理解する。また、医療事故防止活動、安全文化の醸成のための取り組みについて学ぶ。	北川
11	"		"
12	"		"
13	"		"
14	医療事故後の対応	医療事故発生時の初期対応と紛争化の防止について学ぶ。	児玉
15	まとめ	これまでの学習を振り返り、課題レポートを作成する。	"

## 82. 国際保健看護論（必修）

担当教員 ◎藤井 智子、北村久美子（非常勤）			
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 今や、看護師、保健師、助産師は、国際的視点で保健・看護について考えることの必要性を理解する。人々の集まりを対象とする地域保健・地域看護を家族や学校、企業、地方自治体、さらには日本という国へと広げ、最終的に大きな視野でとらえると、国際保健看護になるという基本的なことを学ぶ。 さらに、人々の生活や環境、健康は、日常的に世界とつながっており、世界の健康の状況の変化とその対応を理解し、将来に向けての目標をさまざまな立場の人々が共有していくことの重要性を理解する。			
到達目標 ・国際協力の基本的な枠組みについて知る。 ・保健医療分野での国際協力に関わる主な国際機関、非政府組織などの特徴とその活動について説明できる。 ・世界の健康格差と国際協力の必要性を説明できる。 ・プライマリヘルスケアと看護職への期待を説明できる。			
授業形式 講義 グループワーク 視聴覚機器の活用			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 日常的に国際社会の情勢、世界的な健康課題に関する情報に関心を持つこと。特に印象深い情報については、その背景を調べまとめておくこと。			
成績評価の基準等 出席（10%）および試験（90%）から総合的に評価する。			
学生へのメッセージ 国内外の社会情勢、保健医療分野等の新聞、テレビ、ラジオのニュースに耳を傾け、「国際保健看護とは」、「国際協力とは」について興味と関心を持ち、世界の人々の健康、広く地球の健康まで考えが発展することを強く望んでいます。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 国際看護学	田村やよい他	メジカルフレンド社	2,300円
(参) 国際保健・看護	丸山英二他	弘文堂	2,200円
(参) 災害看護学・国際看護学	浦田喜久子他	医学書院	2,300円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	国際保健看護とは	グローバル社会における日本の現状をとらえ、国際的な看護の視点の必要性を理解する。	北村(非常勤)
2	国際協力とは	国際協力の基本的な枠組み、政府開発援助（ODA）について学ぶ。	〃
3	〃	保健医療分野での国際協力に関わる主な国際機関、非政府組織などの特徴とその活動について学ぶ。	〃
4	国内の健康の格差と世界の健康の格差	国内外の健康に関する格差・不平等について理解し、誰のため何のための国際保健看護なのかを学ぶ。	〃
5	国際保健看護の場と対象	人々の生活や環境の変化と出現する健康問題について学ぶ。	〃
6	〃	健康問題と国際保健看護活動について理解する。	〃
7	日本の看護経験と国際協力	世界から求められている日本の看護の役割について考える。	〃
8	〃	保健師活動と技術協力について学ぶ。	〃
9	プライマリヘルスケアと看護職への期待	プライマリヘルスケアにおける看護職への期待について学ぶ。	〃
10	世界の健康問題と活動	途上国における健康問題と保健医療政策、保健医療サービスの現状について学ぶ。	藤井
11	〃	途上国の地域保健看護活動について学ぶ。	〃
12	〃	臨床看護の視点からみた国際保健看護活動について学ぶ	〃
13	〃	災害看護の視点からみた国際保健看護活動について学ぶ	〃
14	〃	〃	〃
15	〃	まとめ	〃



# 選 択 科 目

【専門科目】

## 84. 疫学Ⅱ（選択）〔疫学、疫学調査、メタアナリシス、スクリーニング、公衆衛生看護〕

担当教員	◎伊藤 俊弘（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通年	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 疫学Ⅰで学んだ講義内容について主に演習を通して確認するとともに、看護師・保健師としての保健指導と、公衆衛生・産業保健活動に必要な疫学の技術を学ぶ。本講義は保健統計Ⅱとセットで行うので、本講義と同時に選択すること。			
<b>到達目標</b> 1. 疫学で用いられる調査方法、疫学指標を理解し説明できること。 2. 各疾患の疫学についても概説できるようになること。 3. 疫学に関する演習等から疫学の研究方法について理解することを目標とします。			
<b>授業の形式</b> 講義は教科書の内容に基づいた資料を配布し、知識を整理するとともに課題演習を中心に進める。学生主体、問題解決型教育を意識した授業とし、総合的な疫学の応用力を養う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> シラバスに記載されている履修内容について教科書等にて予習しておくこと。講義終了後は、配布されたプリントや講義内容を整理し内容のまとめを行うこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 評価は、講義後のレポート（20%）、出席状況（10%）および定期試験（70%）により判定する。定期試験期間に筆記試験を行うが、単に知識のみを問うのではなく、考え方も重視したものとする。総合点6割以上を合格とする。全体の出席が2/3を割るものは、原則として定期試験を受けさせない。			
<b>学生へのメッセージ</b> 疫学手法は、保健師のみならず看護師や助産師においても重要な知識である。講義内容を確実に理解して、看護研究や卒業研究において研究論文を読み、自ら調査・研究を行えるように、疫学の勉強を続けるための基礎を確実に身に付けてもらいたい。講義はカリキュラムに示された項目に基づいて進めるので、あらかじめ教科書等を予習して受講することを期待する。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
標準保健師講座（別巻2） 疫学・保健統計学	牧本清子他	医学書院	2,800円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2	疫学の内容 (1)	疫学の定義と分類（記述疫学と分析疫学）、曝露と疾病発生（危険因子、診断基準、疫学調査での診断の妥当性）を学ぶ。	伊藤
	疾患の内容 (2)	因果関係（時間的関係、強固性と一致性、多要因原因説）、疫学研究における倫理（疫学研究に関する倫理指針）を学ぶ	伊藤
3 4	疾患頻度の指標（1）	指標の考え方（割合、率、比）、割合（有病率、累積罹患率、致命率、相対頻度）、率（罹患率、死亡率）を学ぶ	伊藤
	曝露効果の指標（2）	相対危険（罹患率比・死亡率比、累積罹患比<リスク比>、オッズ比、ハザード比）を説明できる。	伊藤
5 6	曝露効果の指標（3）	寄与危険（寄与危険、寄与危険割合、人口<集団>寄与危険、人口<集団>寄与危険割合を説明できる。	伊藤
	疫学調査法（1）	対象集団の選定（母集団と対象集団、標本抽出法、無作為抽出）を説明できる。調査方法①－生態学的研究、横断研究を説明できる。	伊藤
7	疫学調査法（2）	調査方法②－コホート研究を説明できる	伊藤
	疫学調査法（3）	調査方法③－症例対照研究を説明できる	伊藤
8 9	疫学調査法（4）	調査方法④－介入研究を説明できる	伊藤
	疫学調査法（5）	調査方法⑤－誤差（偶然誤差と制度、系統誤差と妥当性）、偏り<バイアス>（選択の偏り、情報の偏り）、交絡とその制御方法（交絡の概念、無作為化（割付）、制限、マッチング、層化（標準化））を説明できる	伊藤
10	スクリーニング	スクリーニングの目的と要件、評価（感受度と感度、陽性的中度、偏り<バイアス>）を説明できる	伊藤
11	疾病登録	疾病登録の意義、がん登録、循環疾患の登録について説明できる。	伊藤
12	主な疾患の疫学（1）	母性関連疾患、小児疾患、がん、心血管疾患（高血圧を含む）、脳血管疾患、糖尿病の疫学について概説できる	伊藤
13	主な疾患の疫学（2）	難病、精神疾患、感染症、事故、学校保健、産業保健、環境の疫学について概説できる	伊藤
14 15	疾病発生疫学と公衆衛生看護	社会疫学（健康の社会的決定要因、健康格差）、政策疫学（政策の決定方針、リスクファクターと予防対策）、臨床疫学（ケア効果の評価、エビデンスに基づく公衆衛生看護）について概説できる。がん登録・循環器疾患の登録について概説できる。	伊藤

85. 保健統計Ⅱ（選択）〔統計学、罹患率、有病率、死亡率、致死率、保健統計指標〕

担当教員	◎伊藤 俊弘（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 公衆衛生活動を行うために必要な保健統計学の基礎と代表的な保健統計調査の知識を習得する。保健統計Ⅰで学んだ講義内容を主に演習を通して確認するとともに、看護師・保健師研究に必要な統計手法を改めて学ぶ。 本講義は疫学Ⅱとセットで行うので、本講義と同時に選択すること。			
到達目標 ・主な統計方法を説明できる。 ・情報処理に関する必要な知識・方法を習得し、データの種類や性質に対応した統計方法を選択できる。 ・おもな保健統計調査について、その概要を説明できる。			
授業の形式 講義は、配布プリントによる講義と計算練習に加え、情報処理室における統計処理ソフト（SPSS）を用いた演習を行う。 講義における計算練習は電卓を使用する。期末試験に計算問題を出题する予定であるが、その際は携帯電話・スマートフォン・電子辞書等は使用できないので注意して下さい。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスに記載されている主題・履修内容に沿って教科書および参考書で予習を行ってから講義に臨むこと。講義後は講義内容を整理し実際に統計解析が行なえるようにしておくこと。			
成績評価の基準等 出席（10%）、定期試験（70%）、課題提出（20%）により評価する。レポート提出は期限を厳守すること。 基本的には総合点6割以上を合格とする。講義の出席が2/3を割るものは、原則として定期試験を受けることができないので注意すること。			
学生へのメッセージ 保健師の活動において統計情報の取扱は必須事項です（看護師においても看護研究等で統計学的知識が必要になることが多々あります）。地域集団の健康管理や患者の動向を知るためにも正しい統計方法を用いる必要があります。そのためにも基本的な統計方法とこれらの使い方をしっかりと修得できるよう目指して下さい。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
標準保健師講座（別巻2） 疫学・保健統計学	牧本清子他	医学書院	2,800円
国民衛生の動向 2017/2018版 （前年度使用したもの）		厚生労働統計協会	2,500円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2	統計学の基礎（1、2）	①データの種類と分布、測定と尺度。 ②主な確率分布（正規分布、二項分布など）および代表値（平均値、中央値、最頻値）と散布度（分散と標準偏差、四分位数とパーセンタイル値）について学ぶ。③関連の指標（相関・散布図、回帰、クロス集計など）について学ぶ。	伊藤（看護）
3 4	統計学の基礎（3、4）	統計分析1：相関と回帰（散布図、相関分析における相関係数、回帰分析における回帰式と回帰直線）について学ぶ	伊藤（看護）
5 6	統計学の基礎（5、6）	統計分析2：推定と検定（点推定と区間推定、帰無仮説と統計学的有意性、割合・平均に関する推定と検定）について学ぶ。	伊藤（看護）
7 8	統計学の基礎（7、8）	統計分析3：推定と検定（ノンパラメトリック検定・相関係数に関する推定と検定）について学ぶ。	伊藤（看護）
9 10	統計学の基礎（9、10）	統計分析4：多変量解析1.重回帰分析について学ぶ。	伊藤（看護）
11 12	統計学の基礎（11、12）	統計分析5：多変量解析2.ロジスティック回帰分析について学ぶ。	伊藤（看護）
13	衛生統計1	人口静態統計、人口動態統計、生命表と主な健康指標の意味を理解しこれらの概要を概説できる。	伊藤（看護）
14	衛生統計2	わが国の保健医療分野に関する各種基幹統計に対する理解を深め、これらの役割と意義を概説できる。	伊藤（看護）
15	衛生統計3	わが国の保健医療分野に関する基幹統計以外の統計調査の種類と役割を理解するとともに、これらについて概説できる。	伊藤（看護）

## 86. 保健医療福祉行政論（選択）

担当 教員	佐々木 健（非常勤）、本田 真子（非常勤）、 横山 純一（非常勤）、糸田 尚史（非常勤）、 深津 恵美（非常勤）、 ◎藤井 智子（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 保健医療福祉行政とは国民の基本的な人権である健康で文化的な生活を営む権利を保障するために、行政権の主体である国・地方自治体が行う活動である。その基本原則や社会情勢に伴う変遷を学び、様々なライフサイクル、健康課題をもつ人々の支援に向けての施策、保健医療福祉計画の立案について理解を深める。			
到達目標 ・基本的な法体系や保健医療福祉行政の目的、制度、仕組み、財政について理解する。 ・保健医療福祉計画の作成、評価の方法、策定のプロセスについて理解する。 ・将来、専門職として保健医療福祉施策を担い、社会情勢に応じた新たな施策の構築に主体的に参画するための役割を探究する。			
授業の形式 ・講義およびディスカッション ・保健・福祉分野の第一線で活躍、研究されている方々を講師に迎え、オムニバス方式の講義です。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 講義前には教科書の該当部分をよく読み臨んでください。配られた資料、プリントは講義終了後よく読んでください。			
成績評価の基準等 試験及び出席状況で評価します。 試験は各講師から出題し、合計します。			
学生へのメッセージ 地域で暮らす住民の健康を守るには保健、医療、福祉が連携をとりながら、地域にあったしくみをつくっていくことが不可欠であり、多様な専門職が活躍していることを理解することが大事です。選択制で少人数であることが予想されますので積極的な発言、態度で参加することを期待しています。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 保健医療福祉行政論	藤内修二他	医学書院	3,024円
(教) 厚生指標・国民衛生の動向	厚生統計協会	厚生統計協会	2,400円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健医療福祉行政のめざすもの	・保健医療福祉行政の基本理念と目標	佐々木 (非常勤)
2	公衆衛生行政の機能	・地域保健法と地方自治 ・国、都道府県、市町村の行政の仕組みと役割	
3	保健医療福祉制度の変遷	・公衆衛生の基盤形成 ・ライフサイクルに応じた各対策、施策	
4		・地域保健の体系 －地域保健に関する公的機関 保健所・市町村における保健師活動と連携	本田 (非常勤)
5	保健医療福祉行政と保健師活動	・健康課題に応じた各対策、施策	
6		”	
7	保健医療福祉の財政	・国の財政のしくみ ・地方財政のしくみ －予算制度、予算編成の実際	横山 (非常勤)
8	”	”	
9	海外における高齢者福祉施策	・フィンランドにおける高齢者福祉の変化	糸田 (非常勤)
10		・社会福祉の法規と行政体系 ・児童家庭福祉－児童福祉の制度 －発達症群への支援を通して－	
11	社会福祉の制度	”	
12		”	深津 (非常勤)
13		・地方自治体の保健医療福祉計画	
14	保健医療福祉計画と評価	・保健医療福祉計画の策定プロセス ・計画の推進と評価 ・住民と行政の協働	
15		・計画策定における保健師の役割と責任	



## 87. 公衆衛生看護学概論（選択）

担当 教員	◎藤井 智子、北村久美子（非常勤）、塩川 幸子、 小林 有美（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 公衆衛生看護学は、地域社会の大きなヘルスケアシステムの中に位置づけられる固有の看護専門機能である。その定義は、それぞれの時代の健康問題を反映し実践活動の積み重ねの中で形成されてきた。 どの時代にも共通する要素として公衆衛生看護学は、公衆衛生学および看護学という2領域が統合したひとつの専門領域であるということである。 そこで目的は、地域社会で生活をしている人々の健康レベルの向上と地域全体の健康レベルの向上を目指す活動について理解する。			
<b>到達目標</b> ・地域で生活している人々が健康に関心を持ち、自ら健康問題と課題を（認識し）解決できる力を高める必要性を学ぶ。 ・既習の教育課程で学んだ知識・技術をさらに地域・対象特性に合わせて工夫し発展させることを学ぶ。 ・常に実態ニーズ把握、計画、実施、評価を行い“無”から“有”を生み出す創造力と実践力が求められることを学ぶ。			
<b>授業形式</b> 講義、グループワーク、視聴覚機器の活用			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 看護とは、公衆衛生とは、福祉とは、について復習・予習を充分に行って臨むこと。1学年に履修した地域看護学の「地域見学レポート」を持参して臨むこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席、レポート、試験から総合的に評価します。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 公衆衛生とは何か、福祉とは何か、地域の健康レベルの向上とは何か……など次々と疑問が湧き社会が求める公衆衛生看護について考えましょう。人々の健康・福祉に関する日常の出来事（新聞記事など）にも大いに関心を持ち物事の見方、考え方の視野を広めましょう。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護学概論	金川克子編集	メジカルフレンド	3,240円
(参) 公衆衛生看護学	荒賀直子他	インターメディアカル	4,400円
(参) 新版保健師業務要覧	井伊久美子他	日本看護協会出版会	4,536円
(参) 沢内村奮戦記	太田祖電他	あけび書房	3,000円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		・既習の教育課程で得た自己の看護観を明確にすることにより、公衆衛生看護学は、看護が基盤になっていることを理解する。	北村 (非常勤)
2		”	”
3	看護の本質	”	”
4		”	”
5		・公衆衛生の本質や健康管理活動を理解し、公衆衛生看護学は看護学と公衆衛生学から成る専門領域であることを学ぶ。	”
6	公衆衛生看護活動の意義と目的	”	”
7		・保健師の活動事例をとおして公衆衛生看護活動の目的、目標、意義について理解する。	”
8		”	”
9		・保健師が誕生した背景について学ぶ。	”
10		”	”
11	わが国の保健師活動の特徴	・特に保健所・市町村の行政機関に勤務する保健師と憲法第25条、地方自治法との関連、社会的責任について学ぶ。	”
12		”	”
13	公衆衛生看護活動と看護理論	・履修内容の地域保健法・社会福祉法・介護保険法などの法律、ヘルスプロモーション、ナイチンゲール等の理論を通しサポートネットワークづくり、政策づくりなど公衆衛生看護活動の本質を学ぶ。	”
14			”
15	公衆衛生看護活動の芽生え・時代的背景推移とその要因		”

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	公衆衛生看護活動の芽生え・時代的背景推移とその要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生や公衆衛生看護は、社会情勢が深く関連していることについて学ぶ。</li> <li>・先輩保健師の活動から、地域の人々の健康上のニーズを行政施策、制度化に反映するとはどういうことなのかについて学ぶ。</li> <li>・歴史的事実に照らして考察した公衆衛生看護活動をふまえ、現代にどのように影響しているのか、さらに将来を展望する意義について学ぶ。</li> </ul>	北村 (非常勤)
17			”
18			”
19			”
20			”
21			”
22			”
23	保健師と公衆衛生看護活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる個人・家族の特性および保健行動と保健活動について学ぶ。</li> <li>・保健師の活動モデルについて学ぶ。</li> </ul>	”
24			”
25	公衆衛生看護活動の展開とその特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域観察の俯瞰的・緻密な視点について理解する。</li> <li>・情報収集は多面的に行い、情報の“意味あい”を明確にする意義について学ぶ。</li> </ul>	小林
26			”
27			”
28			”
28	公衆衛生看護活動の将来と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所保健師の役割と活動の実際について学ぶ。</li> </ul>	塩川
29			”
30			”

88. 助産学基礎理論 I (必修・選択) [助産学、保助看法、母子保健統計、外国の母子保健、助産にかかわる概念と理論]

担当 教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、 西野 共子 (非常勤講師) 高槻 友子 (非常勤講師) 阿部 明美 (学内特別講師)		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	後期	1単位
コマ数 15コマ			
履修目的・授業概要 助産学の基本として、助産師の専門性、役割を法律や倫理から学び、助産師に求められる能力(知識・態度)を理解する。また、統計や施策から母子保健の現状を理解する。助産師の活動の場とその管理について学ぶ。			
到達目標 1. 助産の定義を述べることができる。 2. 法に基づいた助産師の責務、業務と役割を説明できる。 3. 母子保健の動向と課題を外国と比較して説明できる。 4. 母子保健の施策、制度について述べることができる。 5. 母子保健に関わる法律の種類と内容を述べることができる。 6. リプロダクティブヘルスとセクシャリティの概念を説明できる。 7. 産科施設の特徴と管理のポイントを説明できる。 8. 助産師として、母子保健にどのように責務を果たしていくか、考えることができる。			
授業の形式 講義、グループワーク			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量 母性看護学のテキストは既習のこととして進めるので、準備として復習をしておくこと。履修内容を事前に自己学習予習してから出席すること。母子保健やリプロダクションに関連する新聞記事やカレント情報などを積極的に収集し、さらにそのことについて、専門的に自己学習し、学生間で共有してほしい。			
成績評価の基準 選択科目であり、助産学の基礎であるから、全時間の出席を期待する(全時間出席の場合、試験結果に10%加点)。グループワーク、講義時間の参加姿勢、発言などの受講姿勢(10%)。試験は80%とし、合計100点として、6割以上を合格とする。			
学生へのメッセージ 助産師は何をする人か、どのような役割を担うのか、法的位置づけや国際倫理綱領などを学習し、自分の目指す助産師像が描けるようになってほしいと思います。そしてなりたい自分自身の将来像のseedをしっかりと蒔き付けてください。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座1 助産学概論	我部山キヨ子他編	医学書院	3,800円+税
(教) 助産学講座10 助産管理	我部山キヨ子他編	医学書院	3,200円+税
(参) 新版 助産師業務要覧 第3版I基礎編	福井トシ子編	日本看護協会出版会	2,800円+税
(参) 新版 助産師業務要覧 第3版II実践編	福井トシ子編	日本看護協会出版会	3,000円+税
(参) 母子保健の主なる統計		母子保健事業団	1,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	助産学履修の方法と今後の予定、学習・実習の進め方をガイダンスする。また、助産の基本概念について学習する。	伊藤
2	助産師の定義、責務、業務範囲	助産師の業務と責任を関連法規から学ぶ。助産に求められる役割と能力を学習する。	伊藤
3			伊藤
4	外国の母子保健1	外国の母子保健の現状と課題について学ぶ。	西野
5	外国の母子保健2		西野
6	母子保健の動向	母子保健統計から母子保健の課題と動向を学ぶ。	伊藤
7	母子保健に関する法律と施策	我が国の母子保健にかかわる法律と施策について学ぶ。	伊藤
8	助産師と倫理	助産師に求められる倫理意識を理解する。	山内
9	お産の歴史と産習俗	日本における助産の歴史と参習俗について学ぶ。	伊藤
10	助産師の活動の場と管理	助産師の活動の場の特徴と業務管理について学ぶ。	伊藤
11	助産管理－助産院1	助産所の特徴、管理の実際について学ぶ。	高槻
12	助産管理－助産院2		
13	助産管理－産科病棟	周産母子センターの産科病棟の特徴、管理の実際と課題について学ぶ。	石倉
14	助産に関わる概念と理論－1	助産ケアに活用される理論について学ぶ。	伊藤
15	助産に関わる概念と理論－2	セクシャリティの概念について学ぶ。	伊藤

## 89. 助産活動論 I (必修・選択) [リプロダクションと健康]

担当 教員	◎伊藤 幸子、巻島 愛 千石 一雄 (学内特別講師) 蒔田 芳男 (学内特別講師) 林 時仲 (非常勤講師) 赤塚 美枝 (非常勤講師) 金森 聖美 (非常勤講師)		
	対象学年	開講期	単位数
	3 学年	後 期	1 単位
コマ数 15コマ			
履修目的・授業概要 女性の生涯をとおして、リプロダクティブヘルス/ライツを支援するために必要な女性特有の課題を学ぶ。			
到達目標 1. リプロダクティブヘルス/ライツの概念を述べるができる。 2. 家族の発達、家族システムについて説明できる。 3. 愛着理論、母子・父子関係と相互作用について説明できる。 4. 不妊症と生殖補助医療について理解し、看護者の役割を説明できる。 5. 母乳育児の意義と支援について理解し、看護者の役割を説明できる。 6. 周産期におけるグリーンワークを理解し、看護者の役割を説明できる。 7. 児童虐待や家庭内暴力について理解し、看護職の役割を考える。 8. 遺伝と遺伝カウンセリングの必要性について学び、看護者の役割を説明できる。			
授業の形式 課題となるテーマを専門とする講師による講義が中心となるが、それをふまえて、看護者の役割を考察すること。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 関連トピックスについて様々なメディアを通して予習し、自己の考えをもって参加すること。また、復習として、学習した内容について、看護職者としての役割を考察し、記述しておくこと。			
成績評価の基準等 各トピックスに関するレポートにより評価する (レポートは体裁が整っているか、文章構成は正しいか、他者の意見と自分の意見を明確に区別して記述しているか、文献を引用して自己の考え導いているか、引用方法は正しいか、引用が長すぎないかなどを評価する)。出席が3分の2以上の者を評価の対象とする。助産学国家試験を受験希望する選択者は全出席を期待する。			
学生へのメッセージ 女性のライフサイクルを通しての課題や社会的に問題となっている課題がテーマであるため、ニュースやカレントトピックスに注意し、関心を寄せ、自分自身の考えを持って参加すること。			

### 〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(参) 助産学講座 2 母子の基礎科学	我部山キヨ子他編	医学書院	4,300円+税
(参) 助産学講座 3 母子の健康科学	我部山キヨ子他編	医学書院	3,800円+税
(参) 助産学講座 4 母子の心理・社会学	村瀬聡美他編	医学書院	4,300円+税
(参) 助産学講座 5 助産診断・技術学 I	堀内成子編	医学書院	3,800円+税
(参) 赤ちゃんの死を前にしてー 流産・死産・新生児死亡への 関わり方とこころのケア	竹内正人編	中央法規	3,024円 (税込)

コマ 数	履修主題	履 修 内 容	担当 教員
1	女性のライフサイクルとリプロダクション	女性の発達の特徴と健康問題をリプロダクションの視点から学ぶ。	伊藤
2	女性の人権と健康	権利を搾取された女性の置かれている現状について学ぶ。	伊藤
3	家族親子関係 母子・父子関係	家族システム論、家族の発達について学ぶ。アタッチメント、愛着・愛着障害、親子・母子相互作用について学ぶ。	伊藤
4	思春期・青年期のケア	思春期・青年期のメンタルヘルスケア、思春期の栄養など思春期・青年期の課題と看護について学ぶ。	巻島
5	不妊症の現状	不妊症の現状と治療、看護について学ぶ。	千石
6	生殖補助医療	生殖補助医療を学び、助産師の役割を考察する。	千石
7	母乳育児	母乳育児について学び、支援について考察する。	林
8	障害児育成	障害児育成の現状について学び、助産師の役割について考察する。	林
9	周産期におけるグリーンケア	流産や死産、新生児死亡を体験した女性と家族への看護について学ぶ。	林
10	児童虐待	児童虐待の現状について学び、助産師の役割について考察する。	伊藤
11	女性とDV	女性の健康と権利を養護することをDVの視点から考察する。	赤塚
12	双胎育児支援	双胎児の育児の実際について理解し、育児支援について考察する。	金森
13	遺伝とカウンセリング ①	家系図の書き方、遺伝について学ぶ。	蒔田
14	遺伝とカウンセリング ②	遺伝カウンセリングについて学び、看護職の役割を考察する。	蒔田
15	遺伝とカウンセリング ③	出生前診断について学び、検査を受ける女性への看護を考察する。	蒔田

## 90. 公衆衛生看護活動論 I (個人・家族・集団) (選択)

担当教員	◎塩川 幸子、吉田 貴彦、 横尾由紀子 (非常勤)、高松 葉子 (非常勤)、 南 博 (非常勤)		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	2単位
コマ数			
30コマ			
履修目的・授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で生活する人々のライフサイクル、健康課題の特性に応じた健康と生活を守るために必要な基本的な知識・技術を学ぶ。</li> <li>公衆衛生看護活動の特徴と具体的な展開を理解し、地域の健康課題の解決に結びつけていく保健師の役割について探求することができる。</li> </ul>			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期から高齢期に至る発達段階の特性を踏まえて全てのライフサイクルにある人々の健康を保持・増進するために、地域で行われる保健福祉活動の展開方法を理解する。</li> <li>行政、産業保健、学校保健における場の特性に応じた健康課題と看護の役割を理解する。</li> <li>時代や社会の変化から多様化する健康課題の特性に応じた保健福祉活動について、その背景を理解し、保健師が果たす役割と具体的な展開方法を理解する。</li> </ul>			
授業の形式			
<ul style="list-style-type: none"> <li>講義、グループワーク、課題学習を組み合わせる。毎回、プリントを配布する。</li> </ul>			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量			
<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆衛生看護活動の目的、活動展開方法について教科書・参考書にて予習してこること。配付資料、教科書等に掲載されている事例を読み、様々なライフサイクル、健康課題を持つ人々への支援方法についてまとめる。</li> </ul>			
成績評価の基準等			
出席状況 (20%)、課題レポート (20%)、試験 (60%) とし、総合的に評価します。			
学生へのメッセージ			
様々なライフサイクル、健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法について、地域でよく出会う事例を通して具体的に理解を深めていきましょう。積極的な発言、主体的な学習を期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 最新公衆衛生看護学各論1	宮崎美砂子他編	日本看護協会出版会	4,968 円
(教) 最新公衆衛生看護学各論2	宮崎美砂子他編	日本看護協会出版会	3,888 円
(教) 国民衛生の動向 (2017/2018)		厚生統計協会	2,400 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		個人、家族、集団、組織、地域全体を対象とする公衆衛生看護活動とは何か	塩川
2	公衆衛生看護活動とは	ライフサイクル、健康課題の特性に応じた公衆衛生看護活動の考え方と活動展開方法について学ぶ。	〃
3		難病対策の現状と課題について学ぶ。	〃
4	健康課題別保健活動① 難病保健福祉活動	難病患者・家族が抱える課題と保健師の支援について理解する。	〃
5		難病患者・家族を支える地域ケアシステムづくりにおける保健師の役割を学ぶ。	〃
6		感染症対策の基本となる法律と考え方、感染症の予防対策と発生時における保健師の役割を学ぶ。	〃
7	健康課題別保健活動② 感染症保健福祉活動	結核の基礎知識と法律、結核対策の実際と保健師の役割について理解する。	〃
8		主な感染症 (エイズ、肝炎、インフルエンザ等) の予防と対策、保健福祉活動について学ぶ。	〃
9		精神障害者に関わる施策の歴史と支援活動について学ぶ。	〃
10	健康課題別保健活動③ 地域精神保健福祉活動	地域で生活する精神障害者の相談、家庭訪問、グループ支援、地域づくりについて学ぶ。	〃
11		断酒会の活動とアルコール依存症の回復について学ぶ。	南 (非常勤)
12		自殺対策と心の健康づくり活動における保健師の役割について理解する。	塩川
13	産業保健① 労働衛生行政	労働衛生行政と産業保健の考え方について学ぶ。	吉田
14		〃	〃
15	産業保健② 産業保健における看護活動	産業保健活動の現状、地域保健と産業保健の連携について学ぶ。	横尾 (非常勤)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	産業保健② 産業保健における看護活動	産業保健活動の現状、地域保健と産業保健の連携について学ぶ。	横尾 (非常勤)
17	学校保健①	学校保健の現状と課題、地域保健と学校保健の連携について学ぶ。	塩川
18	学校保健②	学校保健の実際と養護教諭の役割について学ぶ。	高松 (非常勤)
19		母子保健福祉活動の理念と変遷、子育て支援施策について学ぶ。	塩川
20		子育て支援における保健師の役割と活動（乳幼児健診、予防接種）について理解する。	〃
21	ライフサイクル別保健活動①母子保健福祉活動	子育て支援における保健師の役割と活動（母子健康手帳の交付、新生児訪問）について理解する。	〃
22		地域の子育て支援体制づくりについて事例をもとに考える。	〃
23		障害児の支援活動や児童虐待予防活動における保健師の役割について学ぶ。	〃
24		成人保健の現状と課題、健康づくりの基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。	〃
25		〃	〃
26	ライフサイクル別保健活動②成人保健活動	生活習慣病予防活動と保健指導について学ぶ。	〃
27		〃	〃
28	ライフサイクル別保健活動③高齢者保健福祉活動	高齢者保健福祉の現状と課題、介護予防活動の基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。	〃
29		介護予防に向けた保健師活動の展開について学ぶ。	〃
30	まとめ	公衆衛生看護活動の特徴と保健師の役割について考える。	〃

## 91. 公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）（選択）

<b>担当教員</b> ◎藤井 智子、工藤 裕子（非常勤）			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第3学年	後期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 公衆衛生看護活動とは、地域の特性やそこで生活する人々の健康・生活のニーズをとらえ、どのような地域になることが望ましいのかその姿を描き、実現に向け人々が協働して活動することです。この活動の中で看護の立場で地区活動、すなわち地域を看護の対象として、受け持ち地区に責任を持ち、活動を展開していく一連の看護過程を学習します。地区活動の目的、対象の捉え方、活動方法の特徴を理解し、そのダイナミックな動きを学んでください。			
<b>到達目標</b> ・地区活動の目的、対象の捉え方、活動方法の特徴を理解する。 ・地域の特性を把握し、地域の健康課題を明確するための地区診断の視点を理解する。 ・地域の健康課題を解決していくための地区活動計画作成における目標設定、事業計画の立案、評価方法を理解できる。			
<b>授業の形式</b> 講義、グループワーク、課題学習を組み合わせ進めます。毎回、プリントを配ります。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでください。			
<b>成績評価の基準等</b> ・試験（70%）、出席状況（30%）で評価します。			
<b>学生へのメッセージ</b> 看護の対象を個人から地区へと広がります。地域に住むすべての人々の健康を守るという責任について考えてみましょう。自由に発言しながら皆さんの考える力を大切にしたいと思っています。主体的な学習を期待しています。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護管理論	平野かよ子編集	メジカルフレンド社	2,808 円
(教) 地域看護アセスメントガイド	佐伯和子編著	医歯薬出版	2,592 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		・公衆衛生看護活動における地域とはなにか	藤井
2	地区活動の基本と対象の捉え方	・地区活動の目的～なぜ地区が看護の対象となるのか	〃
3		・地区活動を支えている理念 ヘルスプロモーション	〃
4		・地区を看護の対象とした活動を支えるモデル コミュニティ・アズ・パートナーモデルなど	〃
5		・地区の看護過程の概要 ・地区把握の方法	〃
6	地区の看護過程① 地区把握	・地区把握に必要な情報 ○地域特性・基本構造 ○地域の健康課題 ○地域の力	〃
7		〃	〃
8		〃	〃
9		・データ収集方法とデータの加工	〃
10	地区の看護過程② データ収集と分析	〃	〃
11		〃	〃
12		〃	〃
13	地区の看護過程③ 健康課題の明確化	・健康課題の種類 ・地区アセスメントから健康課題を抽出 ・健康課題の種類と優先順位	〃
14		〃	〃
15	地区の看護過程④ 地区活動計画	・地区活動計画の種類と位置づけ ・計画の構成要素	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	地区の看護過程④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画づくりの方法とプロセス</li> <li>・目標の構造と事業</li> </ul>	藤井
17	地区活動計画	〃	〃
18	地区の看護過程⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価とは</li> <li>・評価の指標</li> <li>・評価計画</li> </ul>	〃
19	地区活動の評価	〃	〃
20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を使って地区活動を考える</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	〃
21	地区活動の実際①	〃	〃
22		〃	〃
23		市町村保健師の地区活動の実際	工藤 (非常勤)
24	地区活動の実際②	〃	〃
25		〃	〃
26	地区活動の実際③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を使って地区活動を考える</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	藤井
27		〃	〃
28		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に所属する看護職の役割</li> <li>・全住民を対象とした活動とは</li> <li>・保健師活動と自治体の政策との関連</li> </ul>	〃
29	行政組織に所属する看護職の特徴	〃	〃
30		〃	〃



92. 臨床検査論（選択）〔検体の基礎、検体検査、生体機能検査〕

担当 教員	◎藤井 聡、河端 薫雄、赤坂 和美、 幸村 近（非常勤）、渡 智久		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 臨床検査から得られる生体情報は、病気の診断や治療経過の観察など、日常診察、看護業務にも欠かせない。また、信頼性の高い検査結果を得るためには検査前後、検査中の患者への適切な対応が必須となる。看護の技術・実践においては、リスクマネジメントも念頭に入れ、検査にいたるまでの正しい前処置、適切な検体の採取・保存が正確な情報提供のための基本となる。検査法の原理、手技、測定法、検査値の意義、限界を十分に把握し、更には、得られたデータの統計量としての特性の理解を目標とする。 臨床検査は検体検査（細菌、生化学、血清、病理、輸血など）と、生理検査（心電図、超音波、呼吸機能、脳波など）から構成される。前者では検査の誤差要因、精度管理の原理・実際について、後者については患者との接し方の基本が主眼となる。急速に発展、多様化する検査技術のなかで患者の状態（緊急、在宅療養など）や、社会的要因（予防、経済性）にあわせて、検査項目や検査法を選択する意義を考える。生体臓器・組織を肉眼的、顕微鏡学的に検査する病理検査は、診断・病態把握に不可欠で、概要を学ぶ機会とする。			
<b>到達目標</b> ①臨床検査の基本原則、意義について理解し、述べることができる。 ②検査に関する基本的手技を適切に行うための手法について理解し、概説できる。			
<b>授業の形式(板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など)</b> 板書、スライド、プリント、他の視聴覚機器など、講義内容の理解に適した種々の方法を用いる。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> 履修内容に記載されている内容について、教科書等で予習する。終了後は、配付プリント等を整理しまとめを行なう。参考書を学期中に読み、知識を深める。			
<b>成績評価の基準等</b> 試験、又はレポート。 試験の受験資格、又はレポートの提出資格は3分の2以上の出席とする。試験は6割以上の正答率、レポートは6割以上の評価をもって合格とする。			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 病者の精神的、肉体的、社会的全体性の回復という医療行為の中でも、検査医学は疾病を自然科学的、合理的に把握する分野です。実践的、技術的、病理学的側面も多く、幅広く積極的に学習することを望みます。質問はいつでも歓迎いたします。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 系統看護学講座 別巻 臨床検査第6版	大久保昭行 編集	医学書院	2,376円
(参) ナースのための検査 メモ 改訂第3版	扇谷茂樹 編	南江堂	2,484円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	総論	診療における臨床検査の目的や意義を理解し、データの解釈、基準値、変動因子などを学ぶ。患者への適切な対応、検体採取、保存法などの重要性を理解する。	藤井
2	生理機能検査	心電図検査の代表的な所見と超音波検査の原理、患者への対応などを理解する。	赤坂
3	一般検査	尿、糞便、髄液など一般検査の内容を理解する。目的がなかった検体の採取、保存法を理解し、更に患者状態の管理、検査の説明ができるように学ぶ。	河端
4	細菌検査	院内感染対策法の実際を理解する。	渡
5	血清検査	自己抗体などの免疫系疾患、感染症と血清検査について学ぶ。	河端
6	生化学検査	糖、脂質代謝障害と生活習慣病について理解する。	河端
7	輸血検査	種々の血液製剤、輸血適合性などについて学ぶ。	藤井
8	血液検査	赤血球と、白血球の計算、分類と病態との関連性を理解する。正しい検体採取を学ぶ。	幸村 (非常勤講師)
9	慢性腎臓病の臨床検査	慢性腎臓病の診断で主な検査法とその解釈について学ぶ。	幸村 (非常勤講師)
10	生化学検査	血中、尿中蛋白成分による病態解析の基礎を学ぶ。腫瘍マーカー検査について学ぶ。	河端
11	生化学検査	酵素による病態解析を学ぶ。非蛋白窒素成分、BUN、クレアチニンとビリルビン検査の意義を理解する。検査の目的に適した検体採取の意義を理解する。	河端
12	細胞性免疫検査	免疫とは微生物など外からの攻撃やガンによる内からの破壊から生体を守る仕組みである。そのメカニズムに関連するものとして、抗体や補体などの液性因子、顆粒球やマクロファージなどの食食細胞、そして主として特異的免疫反応を担うリンパ球が存在する。生体の免疫反応において、これらの液性因子や細胞群がどのように関わるかを総合的に学ぶ。また免疫反応のまぎれ効果として結果的にアレルギーが生じるが、それについても言及する。	河端
13	他の検査	他の検査について学ぶ。	河端
14	生理機能検査	呼吸機能検査を学び、その意義を知る。さらに、パルスオキシメーターや血液ガス分析の有用性を知る。	赤坂
15	遺伝子検査	多くの疾患や個人の健康状態を規定している遺伝子検査を学ぶ。	河端

### 93. 看護管理論（選択）

<b>担当教員</b>			
◎児玉真利子、藤井 智子、山本 明美、 原口真紀子（学内特別講師）、 河地 範子（学内特別講師）、 黒崎 明子（学内特別講師）、 大宮 剛（学内特別講師）、 尾崎 靖子（学内特別講師）			
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第4学年	前期	1単位	15コマ
<b>履修目的・授業概要</b>			
看護を的確に提供し、実践活動を発展させるため、人材や資源、組織を効果的に活用し、組織における目標を達成する方法を学ぶ。さらに人々の健康向上に関わる看護サービスを担う組織としての機能や、社会に貢献するための看護管理の方法を理解することを目的とする。			
<b>到達目標</b>			
1. 看護管理の基本、病院管理、地域ケアにおける看護管理の特徴を理解する。 2. リーダーシップ・マネジメントの方法を学ぶ。 3. 地域医療における看護ケアの質の保証やケアの質の向上に関する方法を学ぶ。			
<b>授業の形式</b>			
講義形式を主とし、プリントの配布、グループワークなども取り入れて行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b>			
履修内容に関する教科書や他の科目の関連内容について予習復習を行うこと。			
<b>成績評価の基準等</b>			
各講師が提示する履修主題の課題レポート及び出席態度や出席時間などを総合して評価する。			
<b>学生へのメッセージ</b>			
看護管理は看護管理者が行うものというイメージがあるかもしれませんが、臨床の看護職も重要なケアマネジメントを担っています。また、組織の一員として協働することで、医療・看護の質向上に大きく貢献しています。看護管理論の学びが将来の看護実践活動に役立ち、看護の発展につながることを講師一同願っています。			

#### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 看護管理	上泉和子他	医学書院	2,500円+税
(参) 看護サービス管理	中西睦子他	医学書院	2,800円+税
(参) もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海	ダイヤモンド社	1,600円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護管理学概論	看護管理の定義・対象・範囲を理解する。また、組織構造と組織目的達成のマネジメントについて学ぶ。	児玉
2	看護ケアのマネジメント	看護ケアのマネジメントについて学ぶ。また、チーム医療と看護職の役割、多職種連携と協働について学ぶ。	〃
3	看護サービスのマネジメント①	サービスの概念と看護サービス提供システムについて学ぶ。また、組織管理・運営に必要な情報管理について学ぶ。	〃
4	看護サービスのマネジメント②	医療の質評価の枠組みを理解し、医療・看護の質を改善する取り組みについて学ぶ。	〃
5	看護を取り巻く諸制度	看護管理の視点から法律・制度を概観し、最近の保健医療福祉政策の動向を理解する。	〃
6	医療経営と看護	医療保険制度を理解し、病院経営と看護の経済的評価について学ぶ。	〃
7	人的資源のマネジメント	人的資源の活用、労働環境の整備、働きやすい職場環境づくりについて学ぶ。	河地
8	安全管理と施設環境のマネジメント	組織におけるリスクマネジメント、災害対策について学ぶ。また、施設環境のマネジメント、物的資源管理について学ぶ。	原口
9	人材育成とキャリア開発	キャリアディベロップメント、新人教育、キャリア開発システムについて学ぶ。	黒崎
10	地域看護マネジメント論	コミュニティの特性を踏まえた地域看護管理の構造について学ぶ。	藤井
11	看護管理の諸理論①	リーダーシップと組織変革、組織の調整に必要な諸理論とマネジメントスキルについて学ぶ。	児玉
12	看護管理の諸理論②	組織調整に必要な諸理論と組織を形成する個人のマネジメントスキルについて学ぶ。	児玉
13	ワークライフバランス	ワークライフバランスについて学ぶ。 (1) 二輪草センターの活動	山本
14	ワークライフバランス	ワークライフバランスについて学ぶ。 (2) キャリア開発の視点から	大宮 尾崎
15	まとめ	看護管理についてこれまでの学習を振り返り、まとめを行う。	児玉

94. 看護教育論（選択）〔カリキュラム作成過程・カリキュラムデザイン・カリキュラムモデル〕

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
4 学年	前 期	1 単位	15コマ
履修目的・授業概要 我が国の看護教育制度及び看護教育の変遷を概観し、看護教育の現状及び課題について学ぶ。			
到達目標 1. 我が国の看護教育制度の歴史の変遷を概観し、諸外国（アメリカ・イギリス）とは異なる日本の特徴を説明できる。 2. 看護教育カリキュラムの作成過程について説明できる。 1) 実践科学の特徴 2) 学際的学問の特徴 3) カリキュラムの作成過程 4) カリキュラムデザイン 5) 看護学の体系化と内容へのアプローチ 3. 現行の看護教育制度及びカリキュラムについて概観し、看護教育の現状と課題について理解する。 1) 編入学カリキュラム 2) 現行カリキュラム 3) 諸外国の看護教育制度の特徴			
授業の形式 講義及びグループワークを中心に展開する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 関心のあるテーマを持参し、グループワークテーマに取り上げる。 例えば 1) 自分が受けた教育時のカリキュラム 2) 3年課程と大学（学士課程）カリキュラムの比較 3) 看護教育カリキュラムにおける講義・演習・実習の割合			
成績評価の基準等 成績評価は、テストではなく①レポート評価となります。その他として②学習への取り組み、③課題レポート、④出席状況等から総合的に評価します。			
学生へのメッセージ 看護教育をうけながら、日頃わからないままにしてきたこと、あるいは関心がありじっくり考えてみたい、調べてみたいと思う事柄・話題等をテーマにディスカッション、意見交換ができるような学習方法・取り組みを期待します。			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(参) 看護教育カリキュラム その作成過程	近藤潤子他訳	医学書院	2,575 円
(参) 看護教育新カリキュラム 展開ガイドブック①～③	看護教育 編集室編	医学書院	後日伝達
(参) 看護基礎教育における教育カリキュラムと「看護学体系」	金子道子	日本看護協会 出版会	1,260 円

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1	看護教育論 導入	ガイダンス	長谷川
2	看護教育制度 の変遷	看護教育制度の変遷を理解する 1) 歴史の変遷の概略 2) 諸外国と日本の特徴	〃
3	カリキュラムの作成過程	カリキュラムの作成過程を理解する 1) 方向づけ段階 2) 形成段階	〃
4	カリキュラムの作成過程	3) 機能段階 4) 評価段階	〃
5	カリキュラムの作成過程	代表的なカリキュラムデザインについて理解する 1) 積み上げ型デザイン	〃
6	カリキュラムの作成過程	2) 漸進的デザイン 3) 平行型デザイン	〃
7	現行カリキュラム	代表的なカリキュラムモデルについて理解する 1) 伝統的医学モデル	〃
8	現行カリキュラム	2) 準医学モデル 3) 統合看護モデル	〃
9	現行カリキュラム	関心のあるテーマに関するグループワーク (グループ構成は学生に一任)	〃
10	現行カリキュラム	関心のあるテーマに関するグループワーク (グループ構成は学生に一任)	〃
11	現行カリキュラム	関心のあるテーマに関するグループワーク (グループ構成は学生に一任)	〃
12	発表	グループワーク成果の共有および意見交換	〃
13	看護教育の 光と影	看護教育が抱える問題と課題について	〃
14	看護教育の 課題	過密カリキュラムの解消 準医学モデルから統合看護モデルへ 看護における倫理原則&倫理綱領	〃
15	まとめ	評価 看護基礎教育における到達目標 (基礎的看護実践能力)	〃

95. 助産学基礎理論Ⅱ（必修・選択）〔生殖機能と形態、受精と着床、妊娠の成立、分娩の三要素、分娩機序、胎児の健康〕

担当 教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、 野原 樹里		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	30コマ
<b>履修目的・授業概要</b> 妊娠、分娩及び産褥期の正常な経過を判断するために必要な解剖生理、基本知識を理解する。生殖に関わる解剖生理、妊娠の成立機序、胎児発育と妊娠経過、分娩機序と母児への影響、分娩経過を理解する。			
<b>到達目標</b> ①妊娠の成立に必要な男女の生殖器の形態・機能を説明できる。 ②女性の性周期とホルモン ③妊娠の成立（受精と着床）と検査法を説明できる。 ④胎児の発育とその評価方法、胎児循環と胎盤機能を説明できる。 ⑤妊娠経過と母体の身体的心理的变化～妊娠時期を判断する情報を説明できる。 ⑥分娩機序と正常分娩の経過、分娩が母児に及ぼす影響と心理的特徴を説明できる。 ⑦産褥期の経時的身体的変化と心理的特徴を説明できる。			
<b>授業の形式</b> 一部講義を含めながら、学生が主体となるモジュール形式で行う。			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書から予習していただくこと。講義は自分自身の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。			
<b>成績評価の基準等</b> 出席3分の2以上のものを評価の対象とする（遅刻・早退は3回で1回の欠席とする）。試験は60点以上を合格とする（2回実施予定）。プレゼンテーション内容は参考点とする。ミニテストは評価点に加えない。			
<b>学生へのメッセージ</b> 4学年になって、初めての助産科目です。助産師を目指す学生として、求められるものを理解して臨んでください。妊産褥婦の助産過程を展開する上で、アセスメントに必要な基本となる知識を学修するので、積極的に参加し、知識を確かなものとして身につけてください。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座 (全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	3,200～ 4,800円+税
(教) 最新産科学 正常編	荒木 勤	文光堂	5,000円+税
(教) 最新産科学 異常編	荒木 勤	文光堂	7,000円+税
(教) 産婦人科診療ガイドライン	日本産婦人科学会	日本産婦人科学会	6,000円(税込)
(参) 新生児学入門	武谷雄二他編	医学書院	5,800円+税
(参) プリンシプル産科婦人科学2	武谷雄二他編	医学書院	13,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員			
1	科目ガイダンス	今後の助産履修のスケジュール、実習に向けての準備、卒業時到達目標について説明する。	伊藤 山内 巻島 野原			
2	自己の目標設定	ミニテストにより、自分に備わっている知識を確認し、不足点を明らかにする。助産師を目指す自己の目標を設定し、具体的な達成方法を考える。	伊藤 山内 巻島 野原			
3	助産診断と助産過程	①助産診断の定義、助産診断類型 ②課題提示	伊藤 山内 巻島 野原			
4	妊娠の基礎知識	以下の課題について、テーマごとに担当を決め、学習した内容を発表する。  1. 妊娠 1) 男女の生殖器の形態と機能 2) 女性の性周期とホルモン、卵巣機能 3) 妊娠の成立機序（受精と着床） 妊娠の診断方法 4) 不妊症の原因 2. 胎児・胎盤系 1) 胎芽の発生・発育、器官形成 2) 胎児循環の構造と特徴 3) 器官形成、胎児の発育評価 4) 胎盤の形態機能、卵膜・臍帯の構造 羊水の源と役割、胎盤ホルモン 3. 妊娠経過 1) 妊娠経過に伴う生理的变化 (全身的变化、子宮増大とその影響) 2) 妊婦の心理的变化 4. 母児の免疫と感染 1) 妊娠の維持機構と母体の免疫能 2) 胎児・新生児の免疫学的特性 3) 母子感染の機序 4) 具体的な母子感染症と対策 5. 上記の学習内容を発表し、学習を深める。	伊藤 山内 巻島 野原			
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13				まとめ	学習課題に関する疑問を解決する。	伊藤 山内 巻島 野原
14				試験	上記4～12コマの内容に関する試験	伊藤 山内 巻島 野原
15	振り返り	テスト結果から、自己学習の課題を明らかにする。	伊藤 山内 巻島 野原			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	自己の目標設定	ミニテストにより、自分に備わっている知識を確認し、不足点を明らかにする。助産師を目指す自己の目標を設定し、具体的な達成方法を再検討する。	伊藤 山内 巻島 野原
17	課題の提示	以下に学習する課題の担当を決定する。	伊藤 山内 巻島 野原
18	分娩の基礎知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分娩の分娩の三要素（産道、娩出力、娩出物）</li> <li>2. 分娩機転 第1～第4回旋と児頭の下降 児頭回旋の評価、胎児降下度の評価</li> <li>3. 分娩経過               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ビショップスコアと分娩経過の予知</li> <li>2) 正常分娩経過と三要素の経時的変化、三要素の変化と関係、軟産道開大機序、フリードマン頸管開大曲線</li> <li>3) 分娩進行に伴う基本的ニーズの変化</li> <li>4) 分娩進行に伴うケアを通じた観察</li> </ol> </li> <li>4. 分娩経過に伴う産婦の身体的変化と分娩が母体に及ぼす影響</li> <li>5. 産婦の分娩時のストレスと心理的特徴</li> <li>6. 分娩が胎児に及ぼす影響と健康状態の観察</li> </ol>	伊藤 山内 巻島 野原
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25	講義	以下の内容に関する講義 <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 分娩機転</li> <li>3. 分娩経過</li> <li>6. 分娩が胎児に及ぼす影響と健康状態の観察</li> </ol>	伊藤 山内 巻島 野原
26			
27			
28			
29	試験	上記18～28コマの内容に関するテスト	伊藤 山内 巻島 野原
30	まとめ	科目全体を通しての総括	伊藤 山内 巻島 野原

96. 助産活動論Ⅱ（選択）〔妊娠期の助産診断〕

担当 教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、 野原 樹里		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 妊婦の助産診断とそれに基づく保健指導および妊婦健康診査について理解する。			
到達目標 ・妊娠の診断のための検査項目と基準について説明できる。 ・妊娠時期について判断するための診査項目と基準について説明できる。 ・妊娠各期の母児の状態を判断するための診査項目と基準について説明できる。 ・妊娠に影響する健康状態や日常生活および家族関係等について説明できる。 ・紙上事例を用いて、妊娠の有無、妊娠時期、母児の健康状態、影響要因についてアセスメントし、必要な保健指導を立案する。			
授業の形式 助産師の役割および助産過程の展開に用いる「妊娠期のアセスメント項目」を用いて学生が自ら学ぶ授業を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予習：助産学基礎理論Ⅱの授業内容を確実に理解する。 復習：主体的に復習しておくこと。			
成績評価の基準等 提出記録（妊娠中期の助産診断40%、妊娠後期の助産診断40%）、演習の取り組み姿勢20%で評価する。全体の60%以上を合格とし、出席3分の2以上で評価の対象とする。			
学生へのメッセージ 既習学習を統合し、助産過程を展開し、専門職としての判断と援助を修得することを目標としている。主体的に取り組む姿勢が求められる。前提条件として、看護過程をしっかりと身につけておくこと。助産学実習に直結する内容であるため、積極的に出席・参加すること。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座1～10(全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	3,200～ 4,800円+税
(教) 最新産科学 正常編	荒木 勤	文光堂	5,000円+税
(教) 最新産科学 異常編	荒木 勤	文光堂	7,000円+税
(教) 産婦人科診療 ガイドライン2017	日本産婦人科学会	日本産婦人科学会	6,000円(税込)
(参) 新生児学入門	仁志田博司	医学書院	5,800円+税
(参) プリンシプル産科婦人科学2	武谷雄二他監	医学書院	13,000円+税
(参) 今日の助産	北川真理子他編	南江堂	8,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員	
1	学習の進め方	学習の進め方（ガイダンス） 妊娠期の助産過程の展開 妊娠期の助産診断	伊藤	
2	事例展開①	妊娠中期の事例を通して、以下の内容について学び、必要な保健指導を立案する。 1. 妊娠の診断 1) 妊娠の診断 2) 妊娠時期の診断 3) 分娩予定日の診断 2. 妊娠経過の診断 1) 母体の生理的变化の診断 2) 母体の健康度の診断 3) 初産婦と経産婦の診断 4) マイナートラブルの診断 3. 正常からの逸脱の診断 1) 妊娠合併症の診断 2) 異常妊娠の診断 4. 胎児の診断 1) 胎児の生死の診断 2) 胎児数の診断 3) 胎位の診断 4) 胎児発育の診断 5) 胎児の健康度の診断 5. 胎児付属物の診断 1) 羊水の診断 2) 臍帯の診断 3) 胎盤の診断 4) 胎盤機能の診断 5) 卵膜の診断 6. 妊婦の日常生活への適応診断 1) 日常生活行動の診断 2) ボディイメージの診断 7. 妊婦の心理的適応の診断 1) 妊娠の受容の診断 2) 胎児の受容の診断 3) 親役割準備状態の診断 8. 出産・育児準備の診断 1) 出産・育児準備に伴う身体的準備の評価 2) 出産・育児準備に伴う心理的準備の評価 3) 出産・育児準備に伴う物品準備の評価 4) パースプランの評価 9. 妊婦の社会的適応の診断 1) 妊娠に伴う家族適応の診断 2) 妊娠に伴う社会的適応の診断	伊藤 山内 巻島 野原	
3				
4				
5				
6				
7				フィードバック
8				
9				
10				
11				事例展開①
12				
13				
14				
15	まとめ			

助産活動論Ⅱ 第4学年・前期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	妊婦健康診査演習	1. 目的、法的根拠 2. 診査内容 3. 必要性の説明 4. 診査項目の正常範囲 5. 健康診査の実施（ロールプレイ） 6. 診査結果の説明 7. 正常逸脱の判断 8. 保健指導の立案・実施 9. 母子手帳の記載	伊藤 山内 巻島 野原
17			
18			
19	ハイリスク妊娠・異常妊娠	①合併症妊娠、妊娠高血圧症候群 ②周産期の感染症（TORCHなど） ③妊娠の異常、付属物の異常 ④羊水塞栓症、肺塞栓症、子宮内反症など	巻島
20			
21			
22	事例展開②	妊娠後期の事例を通して、事例展開①と同様に診断類型を用いて助産過程を展開する。	伊藤 山内 巻島 野原
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

97. 助産活動論Ⅲ（必修・選択）〔生殖機能と形態、受精と着床、妊娠の成立、分娩の三要素、分娩機序、胎児の健康、分娩時の異常〕

担当教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、 野原 樹里 長屋 建（学内特別講師） 本村 勅子（学内特別講師） 非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	60コマ
履修目的・授業概要 ・分娩期の助産診断能力を養う（紙上事例展開） ・診断に必要な診察方法を身につける ・分娩助産法の基本を身につける ・分娩期の正常逸脱や異常時の対応、新生児蘇生法を学ぶ ・「Woman centered care」の実践力を身につける			
到達目標 ①分娩経過判断に必要な観察項目、技術、判断基準が説明できる。 ②分娩経過に応じた支援の必要性和内容を説明できる。 ③分娩各期の予測をふまえた対応について説明できる。 ④分娩助産準備の時期と内容を説明できる。 ⑤分娩助産の根拠を理解し、基本的な助産技術ができる。 ⑥分娩期の異常について、病態・治療・ケアを説明できる。 ⑦出産にかかわる諸手続と書類について説明できる。 ⑧新生児蘇生法の基本を説明できる。			
授業の形式 座学と演習が組み込まれ、進行する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 助産学の既習内容を復習しておくこと。また、シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書を予習してくること。講義は自分自身の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。助産技術は主体的に行うこと。			
成績評価の基準等 出席3分の2以上のものを評価の対象とする（遅刻・早退は3回で1回の欠席とする）。 ①ペーパー試験（40％）は60点以上を合格とする（1回実施予定）。 ②助産技術試験（40％） ③助産過程の展開（20％）（展開記録を提出すること） プレゼンテーション内容は参考点とする。			
学生へのメッセージ 分娩助産実習に向けて、助産技術の取得と分娩経過を判断するための知識を学ぶ科目です。産婦とその家族に対して、誠意を込めて向き合うように、繰り返し技術の練習をしてください。また、質問責めにするほどの旺盛な学習態度で臨んでください。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座1～10(全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	3,200～ 4,800円+税
(教) 最新産科学 正常編	荒木 勤	文光堂	5,000円+税
(教) 最新産科学 異常編	荒木 勤	文光堂	7,000円+税
(教) 産婦人科診療ガイドライン 産科編2017	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	6,000円(税込)
(教) 新生児蘇生法テキスト第3版	細野 茂 春	MEDICAL VIEW	4,000円+税
(参) 新生児学入門	武谷雄二他編	医学書院	5,800円+税
(参) プリンシプル産科婦人科学2	武谷雄二他編	医学書院	13,000円+税
(参) 今日の助産 第3版	北川真理子他	南江堂	8,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1			
2	分娩期の助産診断①	分娩各期の分娩機序と進行を学習し、分娩進行の診断に必要な知識を確認する。	伊藤山内巻島野原
3			
4			
5	分娩期の助産診断②	分娩三要素の診断に必要な項目と診察方法、判断基準、影響因子について学ぶ。	伊藤山内巻島野原
6			
7			
8			伊藤山内巻島野原
9			
10			
11	分娩期の助産診断③	分娩期の助産過程の展開 紙上事例を用いて、分娩第1期から第4期までのアセスメント・診断、助産援助を導く。	
12			
13			伊藤山内巻島野原
14			
15			



コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	分娩期の助産診断④	分娩期の助産診断の展開 紙上事例を用いて分娩第1期から第4期までのアセスメント・診断、助産援助を導く。	伊藤 山内 巻島 野原
17			
18			
19	分娩介助の実際	①産道通過に伴う介助原理と要点 ②内診の観察項目と判断基準、手技の実際、注意点	伊藤 山内 巻島 野原
20			
21			
22	産婦のケアの実際	①第1期のケア（入院時、破水時、産痛緩和法、日常生活支援） ②第2期のケア（産痛緩和法、リラクゼーション法） ③第3期ケア（子宮収縮の促進、出血予防） ④第4期のケア（愛着形成、出血予防）	伊藤 山内 巻島 野原
23			
24			
25	分娩介助技術演習	①機械の準備－清潔操作 ②清潔野の作成（外陰部消毒、ガウンテクニック） ③分娩介助 ・肛門保護 ・会陰保護 ・軀幹娩出 ④出生直後の新生児のケア ⑤胎盤娩出 ⑥分娩後精査 ⑦産婦の身仕舞い	伊藤 山内 巻島 野原 非常勤
26			
27			
28			
29			
30			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	分娩介助技術演習	①機械の準備－清潔操作 ②清潔野の作成（外陰部消毒、ガウンテクニック） ③分娩介助 ・肛門保護 ・会陰保護 ・軀幹娩出 ④出生直後の新生児のケア ⑤胎盤娩出 ⑥分娩後精査 ⑦産婦の身仕舞い	伊藤 山内 巻島 野原 非常勤
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40	分娩時の書類と記録	分娩児の必要な諸文書や記録書き方を学ぶ（バルトグラム、助産録、出生証明書、母子手帳など）	伊藤
41	誘発分娩と麻酔分娩	誘発分娩・麻酔分娩の意義、適応、観察・注意点について学び適応産婦のケアを考察する。	野原
42			
43	異常分娩	分娩三要素の正常からの逸脱・異常について学び、産婦のケアを考察する。	巻島
44			
45			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	産科出血・産科手術	分娩時に起こる出血の特徴と産科出血に備えた管理、帝王切開を含む産科手術について学習し、ケアを考察する。	野原
47			
48			
49	試験	これまでの学習内容確認・評価	伊藤 山内 巻島 野原
50	会陰縫合術演習	軟産道の縫合について学習し、シミュレーターにより、練習する。	伊藤 山内 巻島 野原
51			
52	入院時間診演習	1. 問診 問診の留意点をふまえた分娩入院時の助産録聴取（ロールプレイ） 2. 分娩監視装置 装着の目的、装着方法、モニター所見の判断	伊藤 山内 巻島 野原
53			
54			
55	新生児の異常	新生児仮死、早産低出生体重児、ハイリスク児の病態とケア、母親と家族への支援について学習する。	NICU 長屋医師
56			
57			
58	新生児蘇生	NCPR指導者による新生児蘇生演習	NICU 認定Ns 本村師長
59			
60			

98. 助産学実習（必修・選択）〔助産学、継続事例実習、分娩介助実習〕

担当教員	◎伊藤 幸子、山内まゆみ、巻島 愛、野原 樹里、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	通年	11単位	11週間
履修目的・授業概要 妊婦・産婦・褥婦および新生児の助産過程を展開し、助産診断に基づき助産援助を実践する能力を養う。			
到達目標 ＜継続事例実習目標＞ ①妊娠期の健康診査の結果に基づき、助産過程を展開し対象に必要な保健指導が実施できる。 ②分娩期・産褥期の助産過程を展開し、対象に必要な援助が実施できる。 ③助産師として必要な倫理的かつ責任ある行動を取ることができる。 ＜分娩介助実習＞ ①分娩各期に必要な診断技術を用いて、分娩経過中に必要な援助を助産診断に基づき実施できる。 ②分娩経過中の逸脱異常の予防及び徴候の早期発見と対応を指導の下にできる。 ③④※ ⑤産褥期、新生児期の助産過程を展開し、対象に必要な援助が実施できる。 ⑥助産援助を通し、助産師として必要な倫理的かつ責任ある行動を取ることができる。 *詳細は別途配布する各助産学実習要領を参照のこと。			
授業の形式 継続事例実習では一人の妊婦を妊娠中期から産褥期まで受け持ち、助産過程を展開し、ケアを実践する。 分娩介助実習では10例の産婦を入院時から分娩後帰室まで受け持ち、分娩介助を中心としたケア実践を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 既習内容を全て活用して助産過程を展開するため、母性看護学・助産学のみならず、基本的な看護技術の練習・修得や、解剖学生理学などの復習も早い時期から始めておくこと。			
成績評価の基準等 各実習評価表、実習中の態度、実習記録、出席日数により評価する。*詳細は別途配布する各助産学実習要領を参照のこと。			
学生へのメッセージ 長期にわたる実習になるので、自分自身の生活を整え、体調管理をしてください。また、事前の演習や学習をしっかりと行い実習に臨んでください。母子が安全に安楽に過ごし、且つ母として自立していくためのお手伝いです。自分自身も自律しましょう。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座1～10(全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	3,200～4,800円+税
(教) 最新産科学 正常編	荒木 勤	文光堂	5,000円+税
(教) 最新産科学 異常編	荒木 勤	文光堂	7,000円+税
(教) 産婦人科診療ガイドライン2017	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	6,000円(税込)
(参) 新生児学入門	仁志田博司	医学書院	5,800円+税
(参) 写真でわかる助産技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,700円+税
(参) 分娩介助学	進 純 郎	医学書院	4,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
11週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』『臨地看護学実習実践編』を参照のこと ②後日配布される各助産学実習要領を参照のこと	伊藤 山内 巻島 野原 非常勤講師

99. 公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）（選択）

担当教員	◎藤井 智子、塩川 幸子、工藤 裕子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 公衆衛生看護活動とは、地域の特性やそこで生活する人々の健康・生活のニーズをとらえ、どのような地域になることが望ましいのかその姿を描き、実現に向け人々と協働して活動することです。そのために、地域が抱える健康課題を施策に反映させ、地域の実情に応じた地域ケアシステムを構築する役割が保健師には期待されています。これらの活動を進めていくための公衆衛生看護管理とは何か、人、モノ、金をどのように管理していくかを学びます。また、地域ケアシステムを構築していくためのプロセスには何が必要なのか、保健師としての姿勢について考察します。多職種の専門性を深く理解し、人々の力を育て、繋げ、同じ目標に向かって協力するための連携・調整技術としての事例検討会や地域ケア会議の企画・方法も学びます。			
到達目標 ・公衆衛生看護管理の目的および機能を理解する。 ・施策・事業の円滑な運営のために必要な事例管理・予算管理の内容と方法を理解する。 ・地域の健康課題を解決していくための施策化・システム化に向けた連携調整の技術を学ぶ。			
授業の形式 講義、グループワーク、課題学習を組み合わせ進めます。毎回、プリントを配ります。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでくること。講義内でミニテストを数回実施します。これらのテスト内容がしっかり理解できるように講義を復習してください。			
成績評価の基準等 ・試験（50%）、レポート（30%）、出席状況（20%）から総合的に評価します。 ・2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。			
学生へのメッセージ（履修上の心得など） 連携、調整とは何か？ 施策化、システム化とは？ そこにどのような技術があるのか？ そのでの保健師の動き方とは？ 自由に発言しながら皆さんの考える力を大切にしたいと思っています。主体的な学習を期待しています。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護管理論	平野 かよ子	メヂカルフレンド社	2,808 円
(参) ケア会議の技術	野 中 猛	中央法規	2,808 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護管理の目的と機能	・公衆衛生看護管理とは ・定義と特徴 ・前提となる公共性の理念	藤井
2		・新任期から担う公衆衛生看護管理の機能 地区管理、事例管理、事業・事務管理、情報管理、予算管理、健康危機管理	〃
3	公衆衛生看護の倫理	・日常生活の中の倫理を考える ・公衆衛生看護の倫理実践における原則	〃
4	事例管理	・保健師が行う家庭訪問の特徴を学ぶ。 ・事例管理とは何か、事例管理のプロセスについて学ぶ ・支援台帳の作成方法と台帳管理	塩川
5		・事例管理から地区管理への広がり（事例を通して考える）	〃
6		・保健師の看護過程について学ぶ。	〃
7	予算管理	・市町村財政と保健師活動 ・法律と予算	工藤 (非常勤)
8		・予算編成のプロセス ・予算書を作成する ー予防接種の予算を作ってみるー	〃
9		〃	〃
10	事業・業務管理	・地域の健康課題に応じた保健事業の内容と種類について学ぶ ・保健事業の企画・評価と考え方と具体的な手法について学ぶ	塩川
11		・保健事業の企画のプロセス	〃
12		〃	〃
13	地域ケアシステムの概念	・地域ケアシステムとは～その理念、構成要素、機能および必要性について理解する	藤井
14	地域ケアシステムの構築のプロセス	・社会資源とは何か、種類、内容 ・地域ケアシステムのアセスメント	〃
15	〃	・地域ケアシステム構築における保健師の役割	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	連携・調整の技術① (ケースカンファレンス技術) (プレゼンテーション技術)	・公衆衛生看護における連携調整の技術	藤井塩川
17		・地区の健康管理の明確化 (地区把握や事例の共通するニーズから抽出、分析)	〃
18		・事例検討会とは	〃
19	まとめ	・公衆衛生看護管理のまとめ	〃
20	連携・調整の技術② (事例検討会)	・事例検討会の企画 ・事例検討会のねらいの検討、資料作成	〃
21		・事例検討会の実施	〃
22	連携・調整の技術③ (ネットワーク技術・チームワーク技術)	・実態把握～他職種と共有すべき健康課題の分析・焦点化・抽出	〃
23		・課題を解決していくための方法の分析、役割分担の検討	〃
24		〃	〃
25		・地域ケア会議の企画 ・企画書、媒体（会議資料）の作成	〃
26		〃	〃
27		〃	〃
28	連携調整の技術の実践 (地域ケア会議の実践)	・地域ケア会議のロールプレイ	〃
29		〃	〃
30		・会議の評価およびまとめ	〃

## 100. 公衆衛生看護技術論（選択）

担当教員 ◎塩川 幸子、藤井 智子、伊藤 俊弘			
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	60コマ
履修目的・授業概要 ・保健師が地域で出会う個人・家族・集団・地域を看護の対象として援助していくための基本的な技術を学び、実践力向上をめざす。 ・公衆衛生看護活動における特徴のある看護場面を通して、支援の方法と看護技術について理解する。			
到達目標 ・公衆衛生看護における技術の体系について理解する。 ・様々なライフサイクルや健康レベルに応じた公衆衛生看護技術について理解できる。 ・援助関係の成立を目指した面接の技術と態度について学ぶ。 ・生活の場において、保健師が行う家庭訪問や健康相談の技術を習得する。 ・小集団に対して、対象者のセルフケア力を高める健康教育の企画および実施ができる。 ・モデル地区の地区把握を行い、地域の健康課題をアセスメントし、地域の実態をとらえることができる。			
授業の形式 ・講義、グループワーク、ロールプレイ演習を組み合わせる。必要時、資料を配付する。ペーパーベシエントを用いて、アセスメント、計画立案、ロールプレイによる実践、評価を行う。信頼関係を築くための面接技術を基本とし、対象の特徴に合わせた支援技術の獲得をめざす。詳細は演習要項に示す。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 ・公衆衛生看護技術について教科書・参考書で予習して演習に臨むこと。各回の演習事例について事前にアセスメントを行い、支援計画を立案する。演習実施後は支援内容の記録および評価を行う。実際に地区視診を行う。			
成績評価の基準等 ・成績評価は、出席（10%）、技術（70%）、最終レポート（20%）とする。 ・2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。			
学生へのメッセージ（履修上の心得など） 公衆衛生看護活動における対象の広がりや様々なライフサイクル・健康レベルに応じた支援技術とは何か、自分なりにつかみとってください。対象者の生活背景や価値観の理解に努め、体験から学びを深める姿勢を大切にしましょう。			

### 〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 最新保健学講座2 公衆衛生看護支援技術	村嶋幸代編集	メジカルフレンド社	4,644円
(教) 地域看護アセスメントガイド	佐伯和子	医歯薬出版株式会社	2,592円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		公衆衛生看護における技術の体系について学ぶ	藤井塩川
2	公衆衛生看護の技術とは	援助関係の成立を目指した面接の技術と態度	〃
3		事例説明とアセスメント 「地域でよく出逢う事例」への看護	〃
4		面接技術（ロールプレイ）	〃
5	面接技術①	〃	〃
6		〃	〃
7		面接技術（ロールプレイ）	〃
8	面接技術②	〃	〃
9		〃	〃
10		保健師が行う家庭訪問の基本的技術について学ぶ	〃
11	家庭訪問①	家庭訪問の事例について対象の理解	〃
12		アセスメント・看護計画の立案	〃
13		アセスメント・看護計画の立案 (グループワーク)	〃
14	家庭訪問②	〃	〃
15		〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16		家庭訪問 ①新生児訪問 ②高齢者・難病 (ロールプレイ)	藤井 塩川
17	家庭訪問③	〃	〃
18		〃	〃
19		家庭訪問の実施に対するフィードバック	〃
20	家庭訪問④	家庭訪問の記録・評価の方法について学ぶ	〃
21		グループワーク「家庭訪問の技術とは」	〃
22		母子健康手帳交付場面の面接における留意点	〃
23	健康相談①	健康相談（母子健康手帳交付）のロールプレイ	〃
24		〃	〃
25		乳幼児健診の進め方と技術	〃
26	健康診査②	乳幼児健診（ロールプレイ） 3歳児健診の問診	〃
27		〃	〃
28		特定健診・特定保健指導について、健診から保健指導までのプロセスを理解する	〃
29	健康診査③	特定健診の進め方、問診のとり方	〃
30		健診結果の読みとりと指導案作成	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31		健康相談（特定保健指導）のロールプレイ	藤井 塩川
32	健康相談②	〃	〃
33		〃	〃
34		健康教育の企画・実施・評価	〃
35	健康教育①	健康教育におけるアセスメント・指導案・媒体作成 (グループワーク)	〃
36		〃	〃
37		〃	〃
38	健康教育②	〃	〃
39		〃	〃
40		健康教育の実践 (ロールプレイ)	〃
41	健康教育③	〃	〃
42		〃	〃
43		地区把握の方法	〃
44	地区把握①	グループワーク ・地区の基本構造の把握	〃
45		〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46		地区把握（グループワーク） ・地区の社会資源に関する情報収集と分類、加工	藤井 塩川 伊藤
47	地区把握②	”	”
48		”	”
49		地区把握（グループワーク） ・情報からのアセスメント	藤井 塩川
50	地区把握③	”	”
51		”	”
52		地区把握（グループワーク） ・地区の健康課題の明確化・構造化	”
53	地区把握④	”	”
54		”	”
55		地区把握（グループワーク） ・報告会準備	”
56	地区把握⑤	”	”
57		”	”
58		地区把握の報告会	藤井 塩川 伊藤
59	地区把握⑥	”	”
60		グループワーク 「公衆衛生看護技術について学んだこと」	”



## 101. 公衆衛生看護学実習 I (選択)

<b>担 当 教 員</b>	◎塩川 幸子、藤井 智子		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第4学年	後 期	3単位	3週間
<b>履修目的・授業概要</b> 地域で生活する個人・家族、集団・組織、地域全体を対象とした公衆衛生看護活動のあり方を考え、実践できる基礎的能力を養う。			
<b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の健康と関連づけて地域特性を把握することができる。</li> <li>・様々なライフサイクル、健康レベルにある地域住民の個人・家族、集団・組織、地域全体を対象とした公衆衛生看護活動が理解できる。</li> <li>・地域住民の主体性を尊重するとともに予防の視点から効果的な支援のあり方を理解できる。</li> <li>・保健医療福祉の連携・調整および地域ケアシステム構築において、保健師が果たす役割を理解できる。</li> </ul> <p>*詳細は実習要項に示す。</p>			
<b>授業の形式</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設：上川保健所・富良野保健所管内の市町村</li> <li>・実習内容：地区把握、家庭訪問、健康相談、健康診査、健康教育、地域ケア会議、事例検討会、カンファレンス等</li> </ul>			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前に配付される各市町村の事業計画書、保健統計資料、町政要覧等を読み込み実習市町村の健康課題をまとめましょう。</li> <li>・公衆衛生看護技術の特徴をふまえ、実践する技術を事前に練習してください。</li> </ul>			
<b>成績評価の基準等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、出席状況（10%）、実習状況・実習記録（70%）、実習レポート（20%）とする。</li> <li>・2／3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。</li> </ul>			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 実習に向けて、事前学習や準備を十分に行い、公衆衛生看護活動の実践に積極的に取り組むことを期待します。講義や演習で学んだことを生かし、実習地では地域の健康課題にどのように取り組んでいるのか体感してください。			

### 〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(教) 最新保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術	村嶋幸代編集	メジカルフ レンド社	4,644 円
(教) 最新保健学講座 5 公衆衛生看護管理論	平野かよ子編集	メジカルフ レンド社	2,808 円

## 102. 公衆衛生看護学実習Ⅱ（選択）

<b>担 当 教 員</b>	◎塩川 幸子、藤井 智子		
<b>対象学年</b>	<b>開講期</b>	<b>単位数</b>	<b>コマ数</b>
第4学年	後 期	2単位	2週間
<b>履修目的・授業概要</b> 公衆衛生行政機関としての保健所の機能・役割を学ぶとともに公衆衛生に関わる看護の機能・役割を理解する。			
<b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性および健康課題を総合的に理解する。</li> <li>・各種専門職で構成されている保健所の責任と役割を理解する。</li> <li>・個人・家族、集団のセルフケア力を引き出す支援の重要性について考える。</li> <li>・施策化・システム化の意義とそのプロセスにおける保健師の役割と技術を理解する。</li> </ul> <p>*詳細は実習要項に示す。</p>			
<b>授業形式</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設：上川保健所、富良野保健所</li> <li>・実習内容：地区把握、家庭訪問、保健事業、事例検討会、カンファレンス等</li> </ul>			
<b>準備学習（予習・復習）等の内容と分量</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前に配付される保健所事業計画書、保健統計資料等を参考に保健所管轄地域を広域に見た健康課題をまとめて下さい。</li> <li>・教科書等を参考に地域ケアシステム構築までのプロセスを事前学習しましょう。</li> </ul>			
<b>成績評価の基準等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、出席状況（10%）、実習状況・実習記録（70%）、実習レポート（20%）とする。</li> <li>・2／3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。</li> </ul>			
<b>学生へのメッセージ（履修上の心得など）</b> 公衆衛生行政の場における保健所の役割、保健所保健師として求められていることは何か、何ができるか、市町村との違いや共通点を考えてみましょう。事前学習や準備を十分に行い、主体的に実習に取り組むことを期待します。			

### 〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(参) 衛生行政大要		日本公衆衛生協会	3,996 円
(教) 国民衛生の動向(2016/2017)		厚生統計協会	2,500 円

# オフィスアワー 一覧表

## オフィスアワー 一覧表

オフィスアワーとは、学生の皆さんからの授業に関すること、履修に関することなど、質問や相談等に応じるための時間帯をいいます。

学生の皆さんが、気軽に研究室を訪問してオフィス・アワーを積極的に活用することで、履修上の問題解決に役立てることを目的としています。

講座・学科目名	氏名	実施場所	実施日時	摘要
歴史・哲学	藤尾 均	看護学科棟 4 F 411号室	随時	不在の場合が多いので、事前にメール(kondo@asahikawa-med.ac.jp)で確認するか、一般教育事務係(講義実習棟 4 F)に問い合わせてください。
心理学	高橋 雅治	講義実習棟 4 F 心理学教授室	随時	事前にメールで確認してください。 (takam@asahikawa-med.ac.jp)
	池上 将永	講義実習棟 4 F 心理学講師室	随時	事前にメールで確認してください。 (ikegamim@asahikawa-med.ac.jp)
数 学	寺本 敬	講義実習棟 4 F 数学	随時	事前にメールで確認してください。 (teramoto @ asahikawa-med.ac.jp)
数理情報科学	高橋 龍尚	講義実習棟 4 F 数理情報科学准教授室	随時 (昼休み時間も含む)	気軽に訪問してください。 (ryushow@asahikawa-med.ac.jp)
物 理 学	本間 龍也	講義実習棟 3 F 物理学教授室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (honma@asahikawa-med.ac.jp)
	稲垣 克彦	講義実習棟 3 F 物理学研究室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (kina@asahikawa-med.ac.jp)
	藤井 敏之	講義実習棟 3 F 物理学研究室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (tfujii@asahikawa-med.ac.jp)
化 学	秋田谷 龍男	講義実習棟 3 F 化学研究室 1	月～金	事前にメールで確認してください。 (akitaya@asahikawa-med.ac.jp)
	眞山 博幸	講義実習棟 3 F 化学研究室 1	月～金	事前にメールで確認してください。 (mayama@asahikawa-med.ac.jp)
	室崎 喬之	講義実習棟 3 F 化学研究室 1	月～金	事前にメールで確認してください。 (murosaki@asahikawa-med.ac.jp)
生 物 学	立野 裕幸	講義実習棟 3 F 生物学教授室	随時	気軽に訪問してください。
	日下部 博一	講義実習棟 3 F 生物学准教授室	随時	気軽に訪問してください。
	日野 敏昭	講義実習棟 3 F 生物学研究室	随時	気軽に訪問してください。
	渡部 浩之	講義実習棟 3 F 生物学研究室	随時	気軽に訪問してください。
生 命 科 学	林 要喜知	看護学科棟 4 F 410号室	随時	気軽に訪問してください。 (yokichi@asahikawa-med.ac.jp)
	津村 直美	看護学科棟 4 F 409号室	随時	気軽に訪問してください。 (nshi@asahikawa-med.ac.jp)
英 語	三好 暢博	講義実習棟 4 F 英語 2	随時	事前にメールで確認してください。 (ed-miyoshi@ed.asahikawa-med.ac.jp)
	桑名 保智	講義実習棟 4 F 英語 3	随時	事前にメールで確認してください。 (yasukuwa@asahikawa-med.ac.jp)
	戸塚 将	講義実習棟 4 F 英語 1	随時	事前にメールで確認してください。 (ed-m-totsuka@ed.asahikawa-med.ac.jp)
社 会 学	工藤 直志	講義実習棟 4 F 社会学講義室	随時	事前にメールで確認してください。 (kudot@asahikawa-med.ac.jp)
解剖学講座 (機能形態学分野)	吉田 成孝	総合研究棟 2階 解剖学講座 (機能形態学分野) 教員研究室	金曜午後 5時～6時	指定時間外でも対応可
解剖学講座 (顕微解剖学分野)	渡部 剛	解剖学講座 (顕微解剖学分野) 多目的研究室	月～金 17:00～18:00	会議などで渡部不在の場合には、甲賀准教授が対応します。
生理学講座 (自律機能分野)	高井 章	講座セミナー室	随時	前もって電話又はメールで相談してください。 (takai@asahikawa-med.ac.jp)
	宮津 基			前もって電話又はメールで相談してください。 (mmotoi@asahikawa-med.ac.jp)
	山口 陽平			気軽に入室してください。 (6月1日着任予定)
	金子 智之			前もって電話又はメールで相談してください。 (kaneko@asahikawa-med.ac.jp)
生理学講座 (神経機能分野)	柏柳 誠	生理神経機能スタッフ室	随時	事前にメールで確認 (yanagi@asahikawa-med.ac.jp)
	野口 智弘	生理神経機能スタッフ室		直接来てください
	笹嶋 仁	生理神経機能スタッフ室		直接来てください
	宮園 貞治	生理神経機能スタッフ室		直接来てください
生 化 学 講 座 (細胞制御科学分野)	谷口 隆信	総合研究棟 8階 生化学講座 細胞制御科学分野 図書室	10時～16時	まずは、電話で (内線2342 外線68-2342) 連絡してください。(メールも可 takotago@asahikawa-med.ac.jp)
	加藤 剛志			まずは、電話で
	矢澤 隆志			(内線2342 外線68-2342)
	宇和田 淳介			連絡してください。

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
生 化 学 講 座 (機能分子科学分野)	鈴木 裕	総合研究棟 生化学講座図書室	17:00-18:00	指定時間外でも対応可能です。 講座事務室に連絡してください。 (tel 68-2352)
	大保 貴嗣		12:00-13:00	
	山崎 和生		随時	
薬 理 学 講 座	牛首 文隆	薬理学講座オフィス	月～金 13:00-15:00	事前に連絡してください。 (事務室68-2362)
	結城 幸一			
	柏木 仁			
	今道 力敬			
病 理 学 講 座 (腫瘍病理分野)	西川 祐司	腫瘍病理図書室	随時	気軽に訪問して下さい。 (nishikwa@asahikawa-med.ac.jp)
	大塩 貴子		随時	気軽に訪問して下さい。 (tooshio@asahikawa-med.ac.jp)
	後藤 正憲		随時	気軽に訪問して下さい。 (gotom@asahikawa-med.ac.jp)
病 理 学 講 座 (免疫病理分野)	小林 博也	病理学講座	随時	気軽に訪問して下さい。 (hiroya@asahikawa-med.ac.jp)
	青木 直子			
微 生 物 学 講 座	森 健一郎	微生物学講座図書室	随時	気軽に訪問してください。
	松田 泰幸	微生物学講座図書室		気軽に訪問してください。
社 会 医 学 講 座	吉田 貴彦	社会医学講座	随時	可能な限り事前にメールで確認してください。 (tyoshida@asahikawa-med.ac.jp)
	西條 泰明			可能な限り事前にメールで確認してください。 (y-saijo@asahikawa-med.ac.jp)
	吉岡 英治			可能な限り事前にメールで確認してください。 (e-yoshi@asahikawa-med.ac.jp)
	小笠原 準悦			可能な限り事前にメールで確認してください。 (junetsu@asahikawa-med.ac.jp)
寄 生 虫 学 講 座	迫 康仁	総合研究棟 寄生虫学講座 図書室	随時	講座事務室に連絡してください。 Tel (68-2422) メール (msakai@asahikawa-med.ac.jp)
	中尾 稔			
	佐々木 瑞希			
法 医 学 講 座	清水 恵子	法医学講座	随時	講座事務室に連絡ください。 Tel 68-2433 メール (tsukumim@asahikawa-med.ac.jp)
	浅利 優			
	奥田 勝博			
	田中 宏樹			
内 科 学 講 座 (循環・呼吸・神経 病態内科学分野)	長谷部 直幸	講座・教授室	随時	講座図書室に連絡してください。 (68-2442)
	佐藤 伸之	一内図書室・教育センター	随時	まずは、メールで相談ください。 (nsato@asahikawa-med.ac.jp)
	片山 隆行	一内医局	随時	まずはメールでご相談ください。 (katataka@asahikawa-med.ac.jp)
	竹内 利治	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 (take21@asahikawa-med.ac.jp)
	藤野 貴行	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 (ffujj42@asahikawa-med.ac.jp)
	田邊 康子	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 (yasuko-t@asahikawa-med.ac.jp)
	坂本 央	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 (nakasaka@asahikawa-med.ac.jp)
	山本 泰司	呼吸器センター	随時	まずはメールでご相談ください。 (yasuyama@asahikawa-med.ac.jp)
	澤田 潤	一内医局	随時	まずはメールでご相談ください。 (sawajun@asahikawa-med.ac.jp)

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
循環・呼吸医療再生フロンティア講座	長 内 忍	循環・呼吸医療再生フロンティア講座	月・水 9:00-12:00	事務室に連絡ください。(68-2838)
保健管理センター	川 村 祐一郎	保健管理センター	月 14:00-16:00	事務室に連絡ください。(68-2768)
心 血 管 再 生 ・ 先 端 医 療 開 発 講 座	川 辺 淳 一	一内医局・図書室 または左記講座オフィス	水～金 いつでも	事前にメールまたは電話でアポイントをお願いします (kawabeju@asahikawa-med.ac.jp, 68-2442)
呼 吸 器 セ ン タ ー	大 崎 能 伸	呼吸器センター 教授室	随時	医局に連絡してください。(69-3290)
内 科 学 講 座 (病態代謝内科学分野)	太 田 嗣 人	2内図書室 (医局)	随時	いつでも気軽に訪問してください。
	牧 野 雄 一			
	安孫子 亜津子			
	滝 山 由 美			
	麻 生 和 信			
	北 野 陽 平			
	藤 田 征 弘			
	岡 田 充 巧			
岡 本 健 作				
内 科 学 講 座 (消化器・血液腫瘍制御内科学分野)	奥 村 利 勝	総合研究棟 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御 内科学分野 図書室 他	随時	講座図書室で予約受付しています。
	藤 谷 幹 浩			
	水 上 裕 輔			
	生 田 克 哉			
	進 藤 基 博			
	盛 一 健 太 郎			
田 邊 裕 貴				
精 神 医 学 講 座	千 葉 茂	精神医学講座医局	木 15:00-17:00	事前に講座事務室に連絡し、アポイントを取ってからお越しください。(68-2473)
	田 村 義 之		火 10:00-12:00	
	吉 澤 門 土		金 10:00-12:00	
	吉 原 慎 佑		木 15:00-17:00	
	高 崎 英 気		水 14:00-17:00	
	安 田 麻 美		金 15:00-17:00	
小 児 科 学 講 座	東 寛	小児科医局	随時	講座事務室までお越し下さい。(総合研究棟7階小児科医局)
	長 屋 建			
	岡 本 年 男			
	高 橋 悟			
	棚 橋 祐 典			
	中 右 弘 一			
	鈴 木 滋			
	高 橋 弘 典			
	更 科 岳 大			
	岡 山 亜 貴 恵			

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
外 科 学 講 座 (循環・呼吸・腫瘍 病態外科学分野)	東 信 良	一外医局	12:00-13:00 17:00以降	講座事務室に連絡してください。 (tel 68-2494)
	北 田 正 博			
	宮 本 和 俊			
	齊 藤 幸 裕			
	平 澤 雅 敏			
	古 屋 敦 宏			
	内 田 大 貴			
	菊 地 信 介			
外 科 学 講 座 (心臓大血管外科学分野)	石 橋 佳			
	紙 谷 寛 之			
	石 川 成 津 矢			
	中 西 仙 太 郎			
	伊 勢 隼 人			
	吉 田 侑 里			
小 林 大 太				
外 科 学 講 座 (消化器病態外科学分野)	古 川 博 之	講座教授室	随時	電話 (68-2503) 確認 または f-hiro@asahikawa-med.ac.jp
	松 野 直 徒	移植医工学治療開発講座		電話 (68-2508) 確認 または mtm@asahikawa-med.ac.jp
	川 原 敏 靖	講師室 (2)		電話 (68-2503) 確認のこと
	長 谷 川 公 治	講師室 (1)		電話 (68-2503) 確認のこと
	今 井 浩 二	講師室 (1)		電話 (68-2503) 確認のこと
整 形 外 科 学 講 座	松 野 丈 夫	整形外科学講座医局 (図書室)	随時	事前にメールで確認してください。 (kuni38@asahikawa-med.ac.jp)
	伊 藤 浩			
	小 林 徹 也			
	丹 代 晋			
	谷 野 弘 昌			
	入 江 徹			
	阿 部 里 見			
	三 好 直 樹			
	佐 藤 達 也			
	神 保 静 夫			
	奥 山 峰 志			
	西 田 恭 博			
	柴 田 宏 明			
佐 藤 剛				
光 武 遼				

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
人工関節講座	佐々木 祐 介			
	清 水 睦 也			
皮膚科学講座	山 本 明 美	皮膚科図書室	随時	講座事務室に連絡してください。 68-2523
	本 間 大	皮膚科図書室	水 13:00-14:00	
腎泌尿器外科学講座	柿 崎 秀 宏	腎泌尿器外科学講座	随時	講座事務室に連絡してください。 68-2533
	北 雅 史			68-2533に連絡して下さい。
	玉 木 岳			68-2533に連絡して下さい。
	堀 淳 一			68-2533に連絡して下さい。
	和 田 直 樹			68-2533に連絡して下さい。
	萬 上 弘 子			68-2533に連絡して下さい。
	土 田 美 結			68-2533に連絡して下さい。
	阿 部 紀 之			68-2533に連絡して下さい。
舘 岡 穰	68-2533に連絡して下さい。			
眼科学講座	吉 田 晃 敏	眼科学講座 研究室1	随時	事前にメールで確認してください。 ganka@asahikawa-med.ac.jp
	廣 川 博 之			
	石 子 智 士			
	木ノ内 玲 子			
	花 田 一 臣			
	西 川 典 子			
	十 川 健 司			
	大 前 恒 明			
	中 林 征 吾			
	石 居 信 人			
	大 野 晋 治			
	善 岡 尊 文			
下 内 昭 人				
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	原 渕 保 明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	随時	まずはメールでご相談ください。 (3387beya@asahikawa-med.ac.jp) <先生の名前を必ず明記してください。>
	林 達 哉			
	片 田 彰 博			
	高 原 幹			
	岸 部 幹			
	上 田 征 吾			
	長 門 利 純			
	野 村 研 一 郎			
	久 保 田 圭 一			



講座・学科目名	氏名	実施場所	実施日時	摘要
産婦人科学講座	千石 一雄	産婦人科医局図書室	随時	(68-2562) に連絡して予約
	西脇 邦彦			
	片山 英人			
	加藤 育民			
	宮本 敏伸			
	市川 英俊			
放射線医学講座	教員全員	放射線医学講座医局 又は読影室	随時	講座事務室に連絡 (tel68-2572・メール radasahi@asahikawa-med.ac.jp)
麻酔・蘇生学講座	教員全員	総合研究棟 3階 麻酔・蘇生学講座医局	随時	講座事務室に連絡 (68-2583) またはお越し下さい。
脳神経外科学講座	鎌田 恭輔	総合研究棟 脳神経外科医局	随時	講座事務室に連絡・又は訪問ください。 (68-2594)
	安栄 良悟			
	和田 始			
	広島 覚			
臨床検査医学講座	藤井 聡	機器センター 4F 臨床検査医学講座事務室	随時	事前に電話又はメールで確認してください。 Tel : 0166-68-2745 rinken@asahikawa-med.ac.jp
	赤坂 和美			
	河端 薫雄			
歯科口腔外科学講座	竹川 政範	臨床研究棟 5F 歯科口腔外科図書室	随時	事前にメールで確認してください。 mt906@asahikawa-med.ac.jp 事前にメールで確認してください。 yo4718@asahikawa-med.ac.jp 事前にメールで確認してください。 gamioy@asahikawa-med.ac.jp 事前にメールで確認してください。 hide@asahikawa-med.ac.jp
	吉田 将重			
	小神 順也			
	佐藤 栄晃			
救急医学講座	藤田 智	医局 (急ぎの時は特定しない)	随時	講座事務室に電話してください。 (68-2852) 事前にメール (kyukyugaku@asahikawa- med.ac.jp) で相談してください。 急ぎの時の連絡は PHS で (8381)
	小北 直宏			
	岡田 基			
総合診療部				
経営企画部	廣川 博之	経営企画部 部長室	随時	事前にメールで確認してください。 whiro@asahikawa-med.ac.jp
	谷 祐児	経営企画部 副部長室	随時	事前にメールで確認してください。 y_tani@asahikawa-med.ac.jp

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
看護学科	阿部修子	看護学科棟602号室	随時	事前にメールで確認してください。 (学内メールアドレスを利用してくだ さい。) s-abc002@asahikawa-med.ac.jp
看護学科	伊藤俊弘	看護学科棟607号室	随時	気軽に来室してください。部屋にい ないことも多いので事前にメールで 確認されることをお奨めします。 (toshitoh@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	伊藤幸子	看護学科棟508号室	随時	気軽にどうぞ。事前に学内メールで 日程を確認してください。 (yukitoh@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	及川賢輔	看護学科棟406号室	随時	気軽に来室してください。 (oiken@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	長谷川博亮	看護学科棟507号室	随時	気軽に訪室してください。 (hiroh@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	服部ユカリ	看護学科棟5階 501室 服部研究室	随時	気軽に訪問して下さい。事前にメー ルをいただけると確実です。 (luna@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	濱田珠美	看護学科棟401号室	随時	事前にメールで確認してください。 (thamada@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	藤井智子	看護学科棟608号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメ ールをいただけると確実です。 (koitomo@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	升田由美子	看護学科棟4階403研究室	随時	気軽に訪問してください。 事前にメールをいただけると確実です。 (y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	児玉真利子	看護学科棟601号室	随時	気軽に訪問してください。 (m-kodama@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	荒ひとみ	看護学科棟603号室	随時	事前にメールで確認してください。 (hitomara@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	一條明美	看護学科棟402研究室	随時	気軽に訪問してください。 (aichijo@asahikawa-med.ac.jp) 件名に学年と氏名を記してください。
看護学科	平義樹	看護学科棟408号室	随時	気軽に来室してください。 (hira@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	森浩美	看護学科棟413号室	随時	事前にメールで確認してください。 (ekubo-h@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	石川洋子	看護学科棟412号室	随時	事前にメールで確認してください。 (hiroff@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	神成陽子	看護学科棟5階 506研究室	随時	気軽に訪問してください。事前にメ ールをいただけると確実です。件名 に学籍番号と氏名を記してください。 (ykannari@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	塩川幸子	看護学科棟606号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメ ールいただけると確実です。 (shio32@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	苔米地真弓	看護学科棟503号室	随時	事前にメールで確認してください。 (bechieco@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	石川千恵	看護学科棟505号室	随時	気軽に来室してください。 (chiei@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	綱元亜依	看護学科棟404号室	随時	事前にメールで確認してください。 (march22@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	野原樹里	看護学科棟505号室	随時	気軽に来室してください。 (noharaj@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	板東利枝	看護学科棟504号室	随時	事前にメールで確認してください。 (rbando@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	巻島愛	看護学科棟505号室	随時	気軽に訪問してください。 (sai-mizu@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	松田奈緒美	看護学科棟404号室	随時	気軽に訪問してください。 (kikui@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	山口希美	看護学科棟505号室	随時	気軽に来室してください。 (nozomi-y@asahikawa-med.ac.jp)
看護学科	山田咲恵	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。 (syamada@asahikawa-med.ac.jp)

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
教 育 セ ン タ ー	蒔 田 芳 男	教育センター	不定時	事前にメールで予定を確認してね makita5p@asahikawa-med.ac.jp 遺伝学のみならず、カリキュラムの問題についても対応します。
	佐 藤 伸 之	教育センター	随時	まずは、メールでご相談ください。 (nsato@asahikawa-med.ac.jp)
	井 上 裕 靖	教育センター	月～金 16:00～18:00	メールで予定確認 inoueh5p@asahikawa-med.ac.jp 医療安全、休業中の実習相談、学修全般など
入 学 セ ン タ ー	坂 本 尚 志	入学センター教官室 (臨床研究棟4階)	随時	sakamoto@asahikawa-med.ac.jp 事前にメールで御連絡ください。
腫 瘍 セ ン タ ー	鳥 本 悦 宏	腫瘍センター	随時	センターに連絡してください。 (TEL 69-3232)
地域医療教育学講座	野 津 司	地域医療教育学 医局	随時	まずはメールで相談して下さい tmozu@asahikawa-med.ac.jp
脳 機 能 医 工 学 研 究 セ ン タ ー	高草木 薫	脳機能医工学研究センター	随時	事前に電話でご確認下さい。 (68-2884)
	小 原 和 宏	脳機能医工学研究センター	月・火 AM 9:00～ AM11:30	予約してください。 (kazuo@asahikawa-med.ac.jp)
	千 葉 龍 介	脳機能医工学研究センター	随時	事前にメールで確認して下さい。 (rchiba@asahikawa-med.ac.jp)
	中 島 敏	脳機能医工学研究センター	随時	事前にメールで確認して下さい。 (toxinak@asahikawa-med.ac.jp)
教育研究推進センター	船 越 洋	教育研究推進センター教授室	随時	事前にメールまたは電話(68-2886) でご確認下さい。 hfuna@asahikawa-med.ac.jp
	竹 内 文 也	教育研究推進センター管理室/ 准教授室	随時	まずはメールで相談して下さい。 f-take@asahikawa-med.ac.jp
	藤 倉 大 輔			まずはメールで相談して下さい。 daisuke_fujikura@asahikawa-med.ac.jp
	竹 原 有 史			まずはメールで相談して下さい。 takenao@asahikawa-med.ac.jp
	上 田 潤			まずはメールで相談して下さい。 junueda@asahikawa-med.ac.jp
	島 田 若 菜			事前に電話(68-2886)でご確認下さい。
リハビリテーション科	大 田 哲 生	臨床研究棟リハビリ科教授室	随時	事前にメールで確認してください。 tetsuota@asahikawa-med.ac.jp
	齋 藤 司	臨床研究棟リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 tsukasa@asahikawa-med.ac.jp
	及 川 欧	臨床研究棟リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 oikawa@asahikawa-med.ac.jp
緩 和 ケ ア 診 療 部	阿 部 泰 之	緩和ケア診療部	平日 9:00～17:00	事務室で時間調整します。
	鈴 木 晶 子	緩和ケア診療部	平日 9:00～17:00	事務室で時間調整します。
薬 剤 部	田 崎 嘉 一	病院2階 薬剤部内	随時	事前にメールで確認するか (tasakiy@asahikawa-med.ac.jp)、 病院2階の薬剤部薬務室を訪問して ください。
	福 土 将 秀			事前にメールで確認するか (mfukudo@asahikawa-med.ac.jp)、 病院2階の薬剤部薬務室を訪問して ください。

# 平成30年度 学年暦

前期 後期	入学 の 日	医 学 科						看 護 学 科				備 考												
		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年													
前	1	4.2 ~ 4.6	入学式 (4/6)						入学式 (4/6)				4月6日(金) 入学式・ガイダンス											
	2	4.9 ~ 4.13	授業 (4/11~7/13)						授業 (4/9~7/6)				4月9日(月)・10日(火) 新入生研修											
	3	4.16 ~ 4.20											授業 (4/9 5/11)				定期健康診断 4月12日(木)・18日(水)・ 24日(火)・5月9日(水) 12時30分~14時30分							
	4	4.23 ~ 4.27											授業 (4/9~7/13)				医学科第3、4学年・看護 学科第2学年対象 B型肝炎ワクチン第1回 接種日 4月18日(水)~20日(金) 15時20分~17時00分							
	5	4.30 ~ 5.4											臨床実習 (4/2~6/29)				授業 (4/11~7/6)				医学科第3、4学年・看護 学科第2学年対象 B型肝炎ワクチン第2回 接種日 5月23日(水)~25日(金) 15時20分~17時00分			
	6	5.7 ~ 5.11											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				臨床実習 (5/14~7/13)			
	7	5.14 ~ 5.18											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	8	5.21 ~ 5.25											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	9	5.28 ~ 6.1											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	10	6.4 ~ 6.8											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	11	6.11 ~ 6.15											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	12	6.18 ~ 6.22											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	13	6.25 ~ 6.29											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
	14	7.2 ~ 7.6											授業 (4/9~7/13)				授業 (4/9~7/6)				授業 (4/9~7/13)			
後	15	7.9 ~ 7.13	卒業時OSCE (7/7(予定))						卒業時OSCE (7/7(予定))				6月8日(金)~6月10日(日) 医大祭 (医学科5・6年及び看 護学科4年を除き休業) 6月11日(月) 医大祭後片付け (医学科5・6年及び看 護学科4年を除き午前 休講)											
	16	7.16 ~ 7.20	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/9~8/17) 【早期体験実習Ⅱ】 夏季休業中の1週間											
	17	7.23 ~ 7.27	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/16~8/10)											
	18	7.30 ~ 8.3	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/16~8/10)											
	19	8.6 ~ 8.10	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/16~8/10)											
	20	8.13 ~ 8.17	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/16~8/10)											
	21	8.20 ~ 8.24	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/16~8/10)											
	22	8.27 ~ 8.31	夏季休業 (7/16~8/17)						夏季休業 (7/9~8/14)				夏季休業 (7/16~8/10)											
	23	9.3 ~ 9.7	授業 (8/22~9/14)						授業 (8/22~9/14)				授業 (8/13~9/21)											
	24	9.10 ~ 9.14	授業 (8/22~9/14)						授業 (8/22~9/14)				授業 (8/13~9/21)											
	25	9.17 ~ 9.21	前期試験週 (9/10~9/21)						前期試験週 (9/3~9/19)				前期試験週 (9/3~9/19)											
	26	9.24 ~ 9.28	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)											
	27	10.1 ~ 10.5	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)											
	28	10.8 ~ 10.12	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)											
29	10.15 ~ 10.19	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
30	10.22 ~ 10.26	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
31	10.29 ~ 11.2	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
32	11.5 ~ 11.9	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
33	11.12 ~ 11.16	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
34	11.19 ~ 11.23	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
35	11.26 ~ 11.30	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
36	12.3 ~ 12.7	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
37	12.10 ~ 12.14	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
38	12.17 ~ 12.21	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
39	12.24 ~ 12.28	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
40	1.1 ~ 1.5	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
41	1.8 ~ 1.12	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
42	1.15 ~ 1.19	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
43	1.22 ~ 1.26	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
44	1.29 ~ 2.2	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
45	2.5 ~ 2.9	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
46	3.2 ~ 3.6	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
47	3.9 ~ 4.3	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
48	4.6 ~ 5.0	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
49	5.3 ~ 5.7	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
50	6.0 ~ 6.4	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
51	6.7 ~ 7.1	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
52	7.4 ~ 7.8	前期試験週 (9/17~9/28)						前期試験週 (9/17~9/28)				前期試験週 (9/17~9/28)												
摘 要		平成31年度授業開始日 4月8日 (予定)																						

備考 この学年暦の日程は、一部変更することがあります。

# 平成30年度カレンダー

\*欄外は予定

4/6 入学式  
4/9 授業開始  
4/9、4/10 新入生研修

始業からの週数	前期							始業からの週数	後期								
	4								10								
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
1	1	2	3	4	5	6	7	27	1	2	3	4	5	6			
2	8	9	10	11	12	13	14	28	7	8	9	10	11	12	13		
3	15	16	17	18	19	20	21	29	14	15	16	17	18	19	20		
4	22	23	24	25	26	27	28	30	21	22	23	24	25	26	27		
5	29	30						31	28	29	30	31					
	5								11								
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
				1	2	3	4	5						1	2	3	
6	6	7	8	9	10	11	12	32	4	5	6	7	8	9	10		
7	13	14	15	16	17	18	19	33	11	12	13	14	15	16	17		
8	20	21	22	23	24	25	26	34	18	19	20	21	22	23	24		
9	27	28	29	30	31				35	25	26	27	28	29	30		
	6								12								
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
						1	2								1		
10	3	4	5	6	7	8	9	36	2	3	4	5	6	7	8		
11	10	11	12	13	14	15	16	37	9	10	11	12	13	14	15		
12	17	18	19	20	21	22	23	38	16	17	18	19	20	21	22		
13	24	25	26	27	28	29	30	39	23	24	25	26	27	28	29		
								40	30	31							
	7								1								
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
							7				1	2	3	4	5		
14	1	2	3	4	5	6	7	41			6	7	8	9	10	11	12
15	8	9	10	11	12	13	14	42	13	14	15	16	17	18	19		
16	15	16	17	18	19	20	21	43	20	21	22	23	24	25	26		
17	22	23	24	25	26	27	28	44	27	28	29	30	31				
18	29	30	31														
	8								2								
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
					1	2	3	4							1	2	
19	5	6	7	8	9	10	11	45	3	4	5	6	7	8	9		
20	12	13	14	15	16	17	18	46	10	11	12	13	14	15	16		
21	19	20	21	22	23	24	25	47	17	18	19	20	21	22	23		
22	26	27	28	29	30	31	48	24	25	26	27	28					
	9								3								
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
							1								1	2	
23	2	3	4	5	6	7	8	49	3	4	5	6	7	8	9		
24	9	10	11	12	13	14	15	50	10	11	12	13	14	15	16		
25	16	17	18	19	20	21	22	51	17	18	19	20	21	22	23		
26	23	24	25	26	27	28	29	52	24	25	26	27	28	29	30		
	30								31								

後期授業開始  
 医学科1・2学年 10/1  
 医学科3学年 9/24  
 医学科4学年 10/9  
 看護学科1・2学年 10/1  
 看護学科3学年 9/20  
 看護学科4学年 9/24

11/5 本学記念日

6/8~10 医大祭

冬季休業  
 医学科1・2学年 12/17~1/11  
 医学科3学年 12/17~1/4  
 医学科4学年 12/31~1/11  
 看護学科1学年 12/17~1/11  
 看護学科2学年 12/17~1/15  
 看護学科3・4学年 12/10~1/4

9/19日 解剖体慰霊式

1/19~20 大学入試センター試験

夏季休業  
 医学科1学年 7/16~8/21  
 医学科2・3学年 7/16~8/17  
 医学科4学年 7/23~8/24  
 看護学科1学年 7/9~8/14  
 看護学科2学年 7/9~8/17  
 看護学科3学年 7/16~8/13  
 看護学科4学年 7/16~8/10

2/25・26 一般入試前期日程(予定)  
 2/22~ 春季休業  
 (医学科 4学年: 3/25~)  
 (看護学科3学年: 3/11~)  
 (看護学科4学年: 2/18~)

3/12 一般入試後期日程(予定)  
 3/25 学位記授与式

平成31年度入学式 4月8日(月)